

渋谷区

高齢者保健福祉計画及び

介護保険事業計画に係る実態調査報告書

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
在宅介護実態調査

令和8年3月

渋谷区

目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査実施の目的	3
2. 調査方法と回収状況	3
3. 日常生活圏域	4
4. 調査結果を見る上での注意事項	5
5. 用語の説明	5
第2章 調査結果の詳細①（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）	7
1. 基本属性	9
2. 家族や生活状況について	11
3. からだを動かすことについて	16
4. 食べることについて	28
5. 毎日の生活について	36
6. 地域の活動について	58
7. たすけあいについて	80
8. 健康について	83
9. 認知症にかかる相談窓口の把握等について	98
10. その他	107
11. 基本チェックリスト調査票	125
第3章 調査結果の詳細②（在宅介護実態調査）	127
1. 基本属性	129
2. 本人について（A票）	130
3. 主な介護者の方について（B票）	152
第4章 調査票	165
1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	167
2. 在宅介護実態調査	186

第1章 調査の概要

1. 調査実施の目的

第10期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定にあたり、区内高齢者の身体状況や認知症等のリスク要因、介護等の状況、家族介護者の状況を調査・分析し、日常生活圏域ごとの課題に対応したサービスの提供や事業の目標設定に活用することができる基礎資料を得ることを目的として、下記のとおり2種類の調査を実施しました。

2. 調査方法と回収状況

調査地域：渋谷区全域

調査対象者：【調査①】要介護認定者及び施設入所者を除く65歳以上の区民

【調査②】施設入所者を除く要介護認定を受けている区民

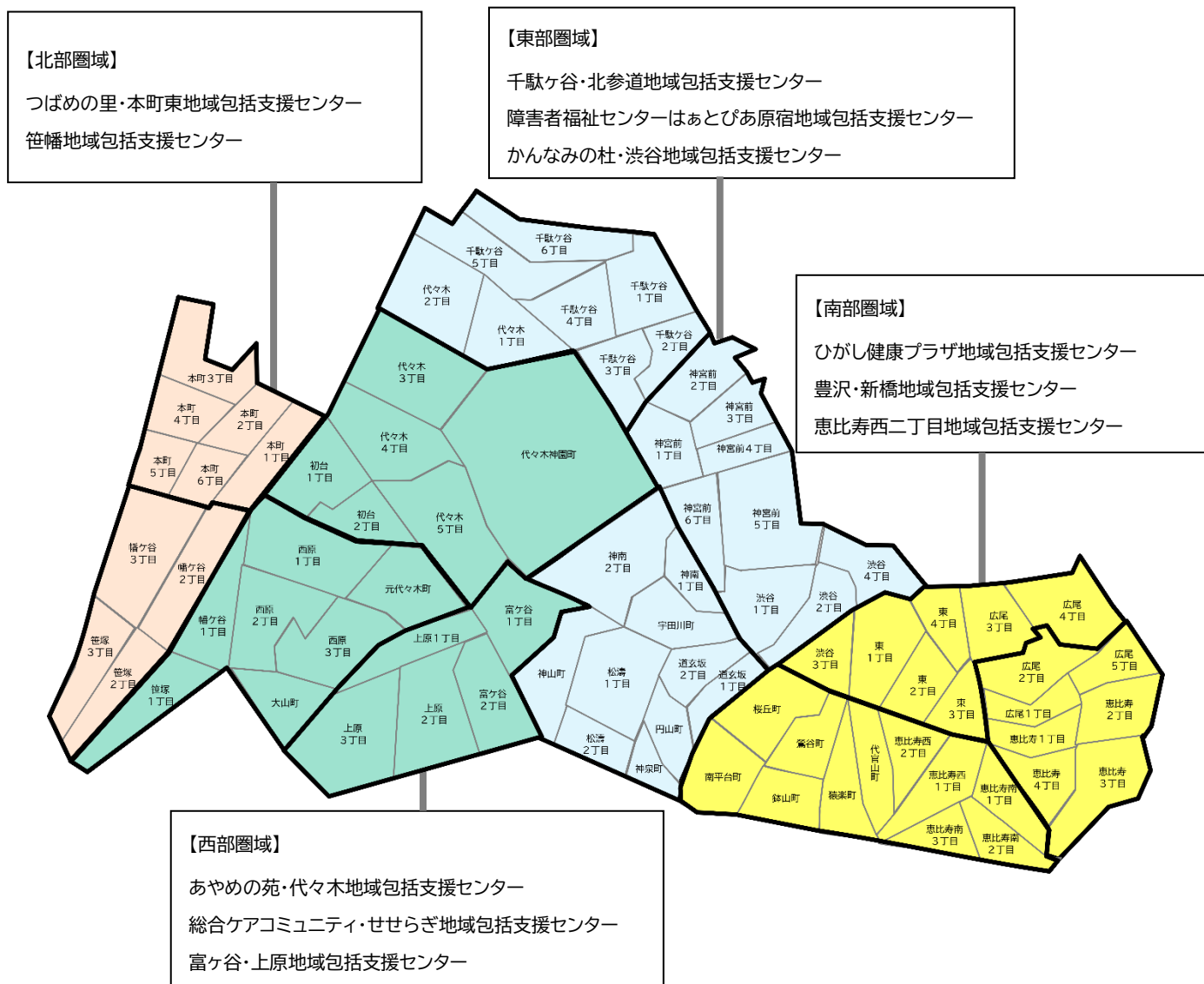
抽出方法：無作為抽出

調査方法：郵送によるアンケート調査

調査名	調査期間	発送数	回収数	回収率
【調査①】 介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査	令和7年11月12日～ 令和7年12月2日	2,500件	1,564件	62.6%
【調査②】 在宅介護実態調査	同上	1,500件	824件	54.9%

3. 日常生活圏域

渋谷区では、より区民の身近な地域に根ざした高齢者保健福祉施策及び介護保険事業を展開していくために、第6期計画から地域包括支援センターが11地区体制となったことに伴い、4つの日常生活圏域（「東部圏域」「西部圏域」「南部圏域」「北部圏域」）を設定しています。



4. 調査結果を見る上での注意事項

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数です。
- ・百分率（％）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示しました。従って、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で、％を足し合わせて100%にならない場合があります。
- ・複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、％の合計が100%を超える場合があります。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合があります。
- ・回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答・不明を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。

5. 用語の説明

一般高齢者	事業対象者と要支援者を除いた65歳以上の区民。
該当者	一般高齢者のうち基本チェックリストの各リスクに該当すると判定された者。
事業対象者	日常生活、運動、栄養などから評価される基本チェックリストにより生活機能の低下がみられ、要支援状態となるおそれがある高齢者で、サービス・活動事業の対象者。
要支援者	入浴や排泄、食事などの日常生活の一部に介助が必要だが、サービス利用によって生活機能が改善する可能性の高い状態の者。
基本チェックリスト	日常生活、運動、栄養、などから評価され、介護予防・日常生活支援総合事業の対象者選定に利用される。今回の調査票に含まれる設問に該当した場合、サービス・活動事業の対象者となりうる。
BMI（肥満指数）	体重（kg）／身長（m）／身長（m）によって求められる値。18.5未満が「やせ」、25.0以上が「肥満」。
フレイル	加齢に伴って、徐々に心身の機能が低下し、日常生活活動や自立度が低下していくこと。
IADL	買物や金銭管理など、地域で日常生活を自立して営む能力で、ADL（日常生活動作）よりも複雑な動作や判断力を要する。
プレシニア	おおよそ55歳以上65歳未満の者。
渋谷ハチコウ大学	区内在住の55歳以上の人を対象として、S-SAP（シブヤ・ソーシャル・アクション・パートナー）協定を締結している区内大学や企業等と連携し、それぞれの特色、専門性を活かした様々な講座を実施する区民大学。

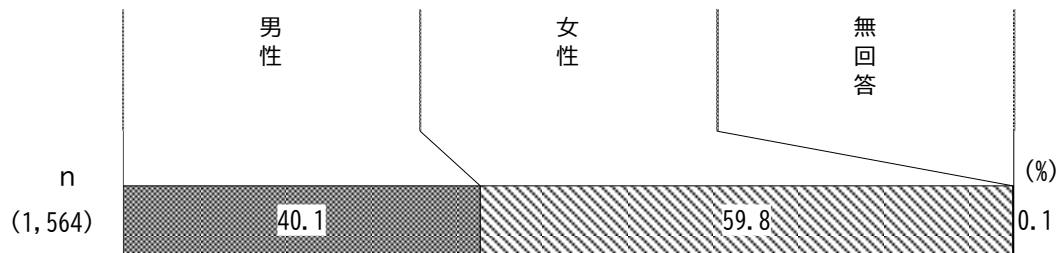
第2章 調査結果の詳細①

(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

1. 基本属性

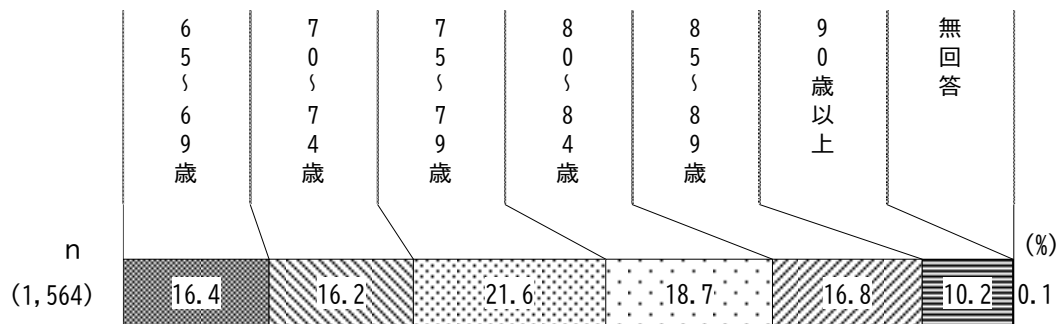
(1) 性別

「男性」が40.1%、「女性」が59.8%となっています。



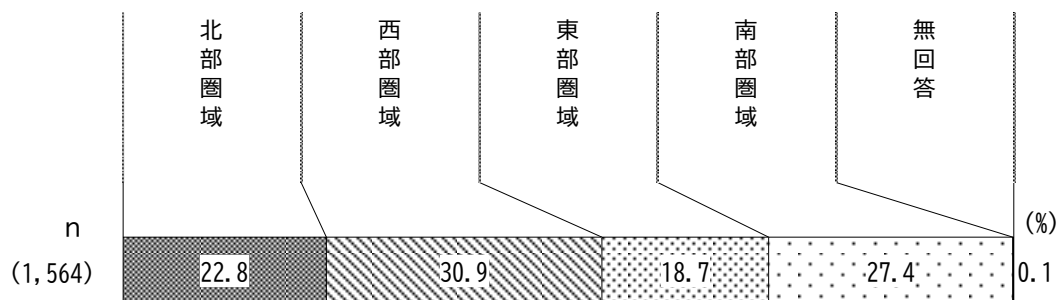
(2) 年齢

「75～79歳」が21.6%で最も高く、次いで「80～84歳」が18.7%、「85～89歳」が16.8%となっています。



(3) 日常生活圏域

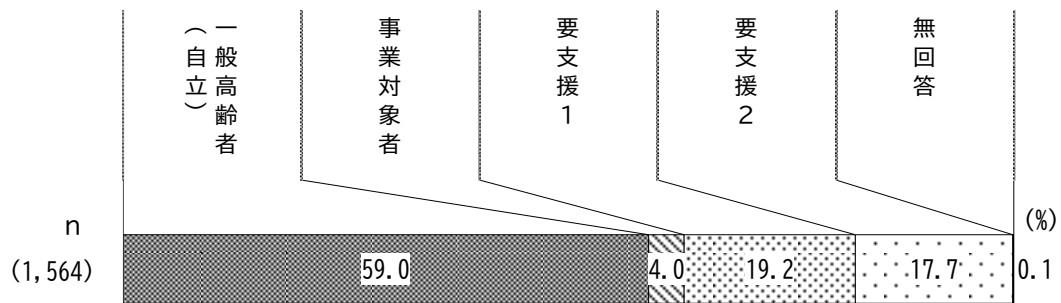
「西部圏域」が30.9%で最も高く、次いで「南部圏域」が27.4%、「東部圏域」が18.7%となっています。



第2章 調査結果の詳細①
 (介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

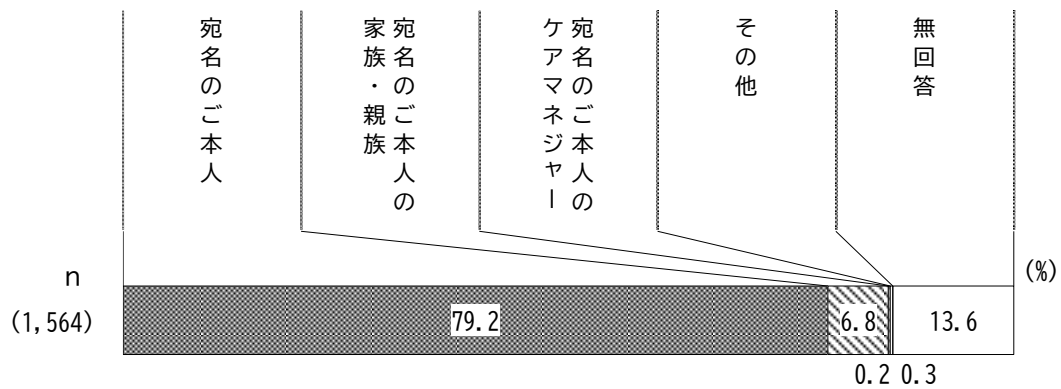
(4) 要介護度

「一般高齢者（自立）」が59.0%で最も高く、次いで「要支援1」が19.2%、「要支援2」が17.7%となっています。



(5) 調査票の記入者

「宛名のご本人」が79.2%で最も高くなっています。



2. 家族や生活状況について

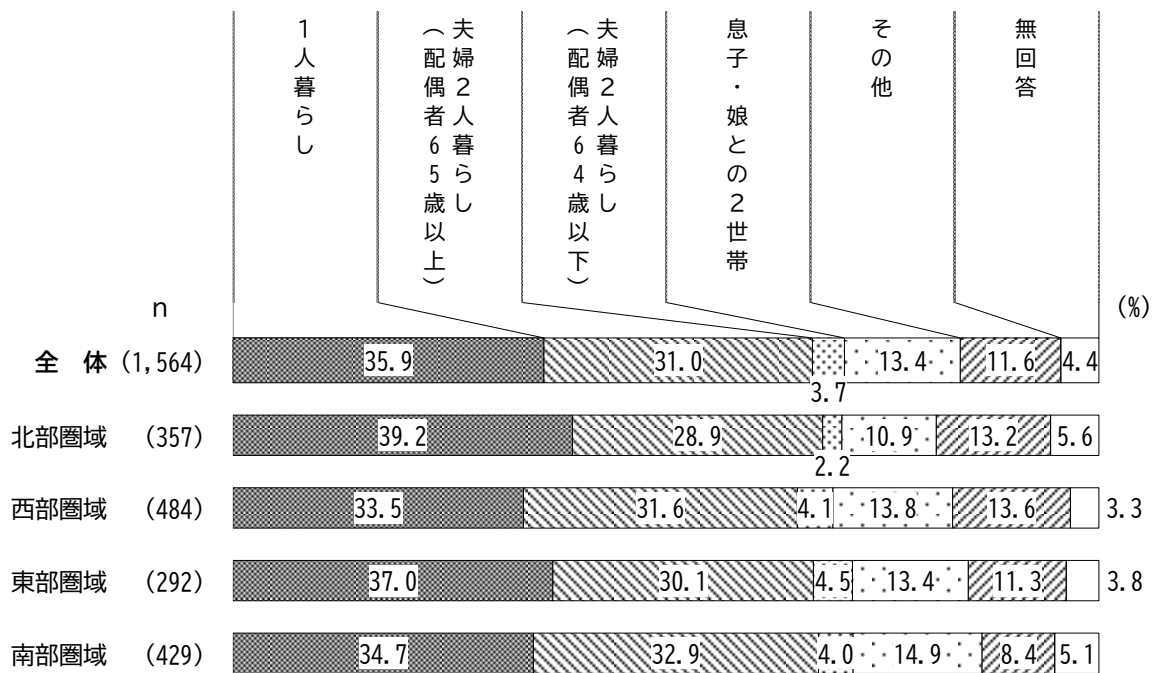
(1) 家族構成

問1 (1) 家族構成をお教えてください

「1人暮らし」が35.9%で最も高く、次いで「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が31.0%となっています。

日常生活圏域別にみると、“北部圏域”で「1人暮らし」が39.2%と高くなっています。

【圏域別】



(2) 介護・介助の必要性

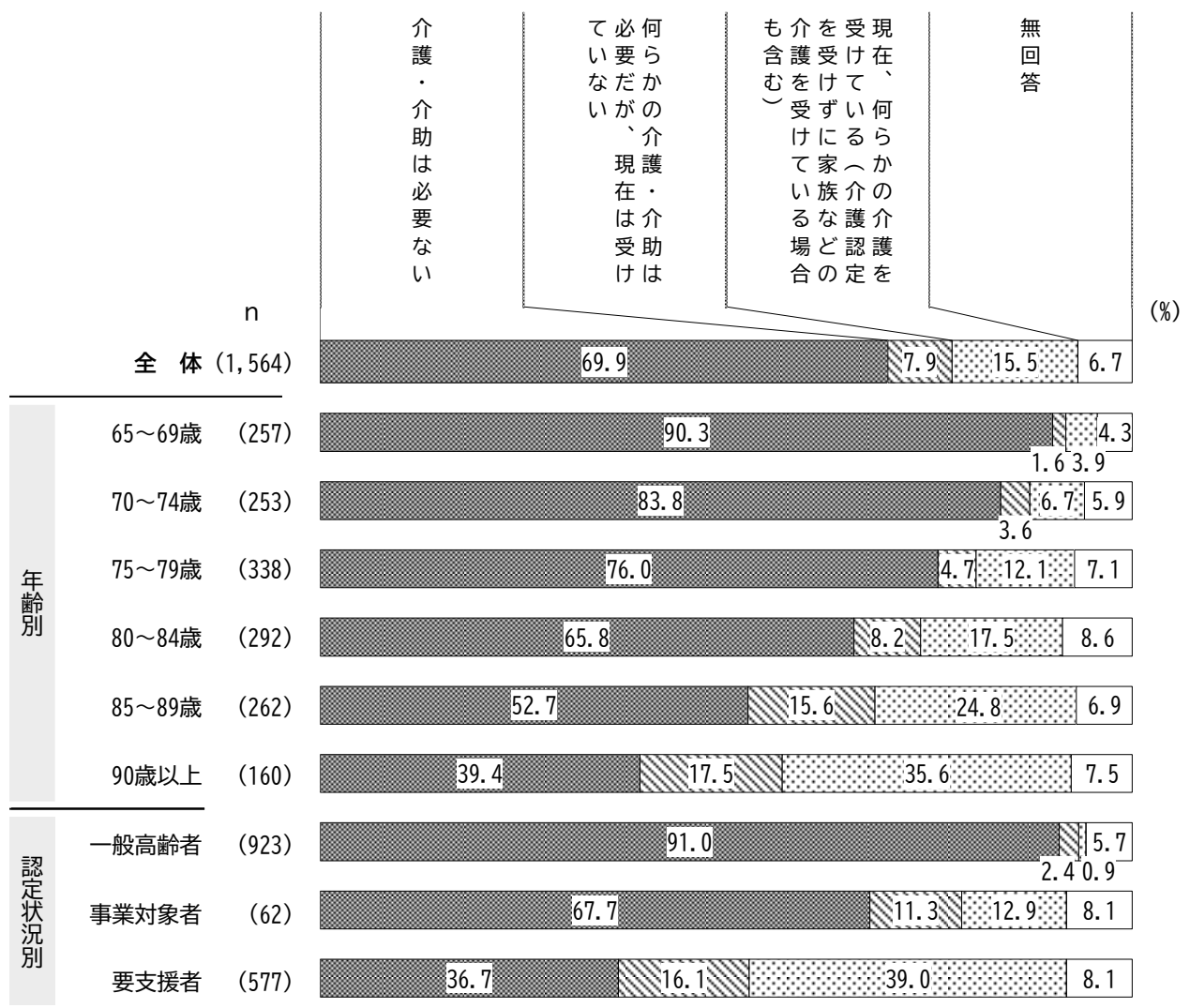
問1 (2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

「介護・介助は必要ない」が69.9%となっています。

年齢別にみると、“90歳以上”で「現在、何らかの介護を受けている」が35.6%と高くなっています。

認定状況別にみると、“要支援者”で「現在、何らかの介護を受けている」が39.0%と高くなっています。

【年齢別、認定状況別】



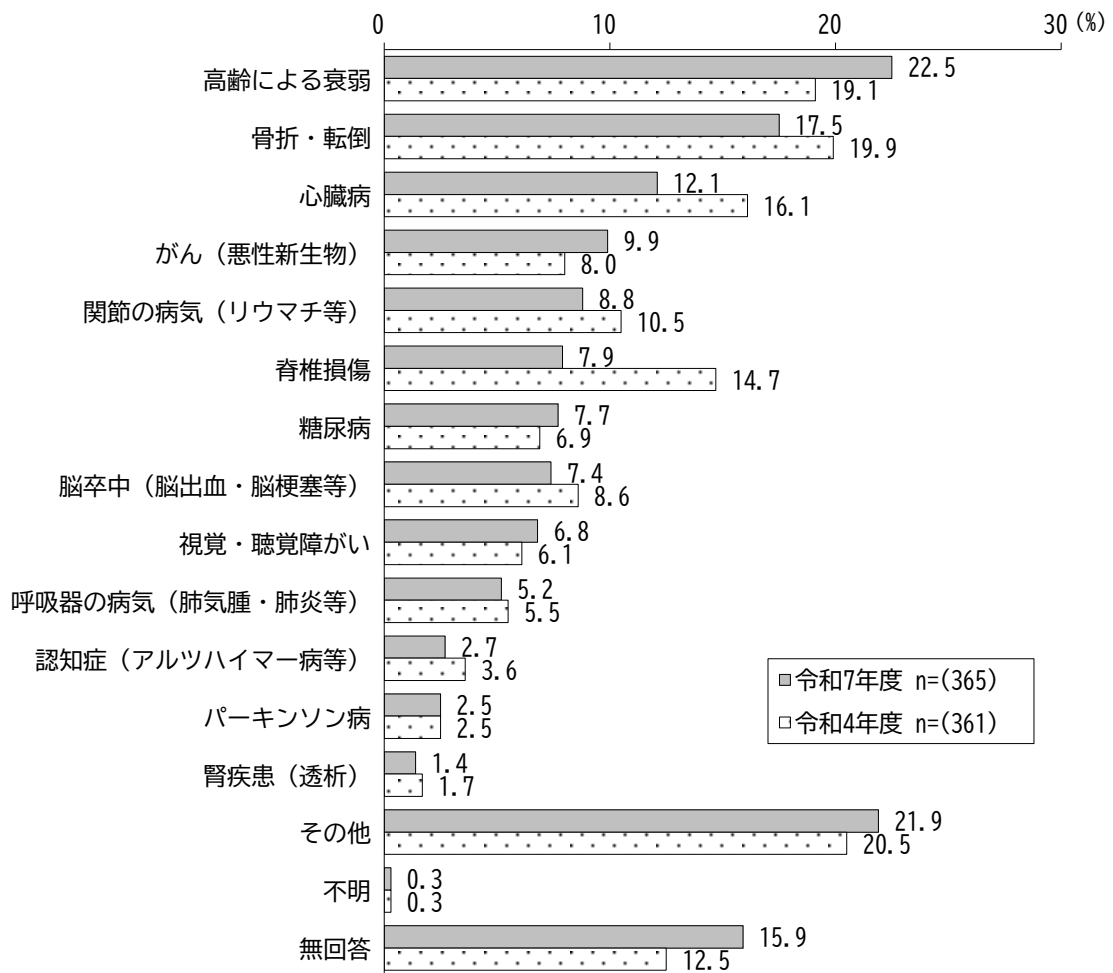
(3) 介護・介助が必要になった主な原因

【(2)において「2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「3. 現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】

①介護・介助が必要になった主な原因はなんですか (いくつでも)

「高齢による衰弱」が22.5%で最も高く、次いで「骨折・転倒」が17.5%となっています。前回の調査結果と比較すると、「高齢による衰弱」で3.4ポイント高くなっています。

【経年比較】

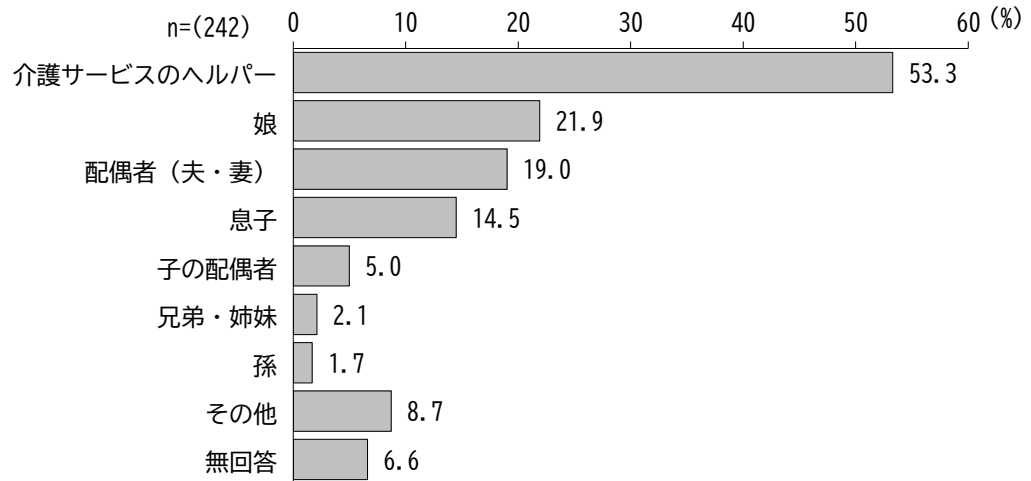


第2章 調査結果の詳細①
(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

(4) 主な介護・介助者

【(2) において「3. 現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】
②主にどなたの介護、介助を受けていますか (いくつでも)

「介護サービスのヘルパー」が53.3%で最も高く、次いで「娘」が21.9%となっています。

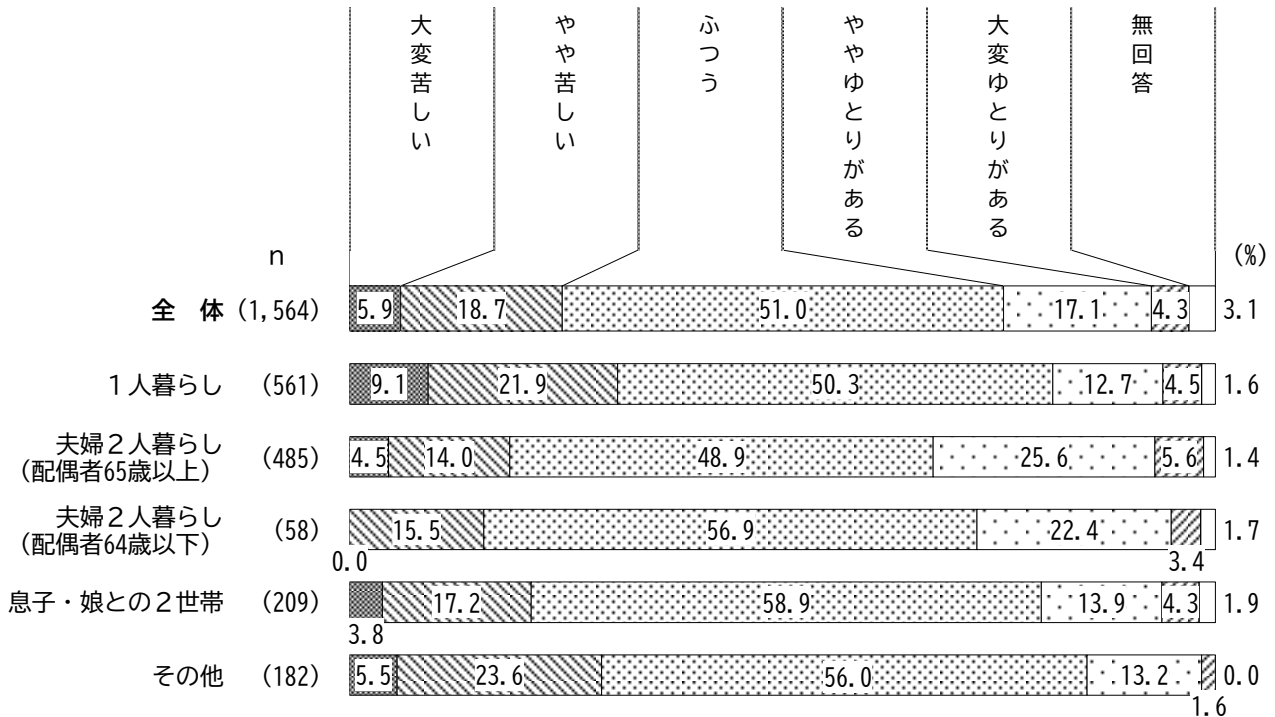


(5) 現在の暮らしの状況

問1 (3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

「ふつう」が51.0%で最も高く、次いで「やや苦しい」が18.7%となっています。
 世帯構成別にみると、“息子・娘との2世帯”で「ふつう」が58.9%と高くなっています。

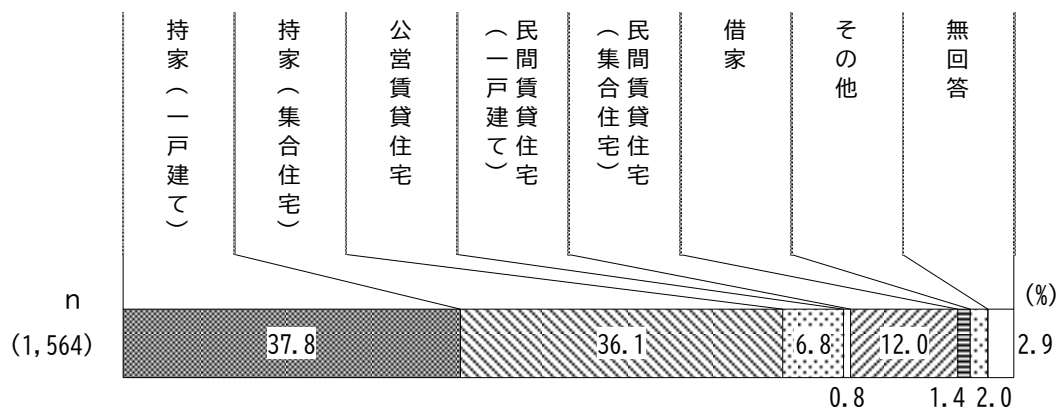
【世帯構成別】



(6) 住まい形態

問1 (4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか

「持家 (一戸建て)」が37.8%で最も高く、次いで「持家 (集合住宅)」が36.1%となっています。



第2章 調査結果の詳細①

(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

3. からだを動かすことについて

(1) 運動機能低下リスク

ア 設問と評価

介護予防・日常生活支援総合事業の対象者選定のための基本チェックリストでは、下の5つの設問に対する回答から、高齢者の運動機能に関してリスク判定をしています。

具体的には、今回の調査票に含まれる以下の設問5問中3問以上に該当した場合に運動器の機能低下と判定され、サービス・活動事業の対象者となります。

問番号	設問	該当する選択肢
問2(1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	「できるけどしていない」 「できない」
問2(2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	「できるけどしていない」 「できない」
問2(3)	15分位続けて歩いていますか	「できるけどしていない」 「できない」
問2(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	「何度もある」 「1度ある」
問2(5)	転倒に対する不安は大きいですか	「とても不安である」 「やや不安である」

イ 評価結果

要支援認定を受けていない回答者985人のうち8.8%（男性6.8%、女性10.4%）が該当しています。男性より女性で該当割合が高くなっています。

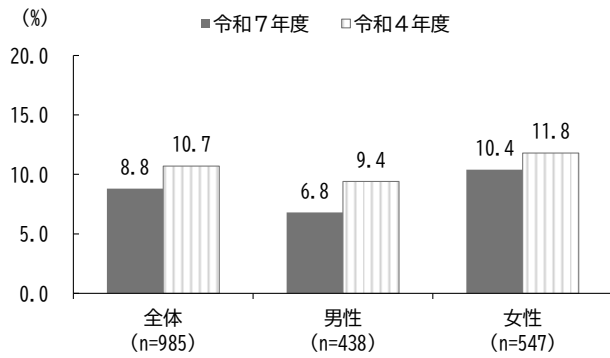
前回の調査結果と比べると、全体で1.9ポイント減少しています。

認定状況・性別にみると、要支援者で49.6%（男性48.1%、女性50.3%）が該当しています。男性、女性で比較すると女性が2.2ポイント高くなっています。

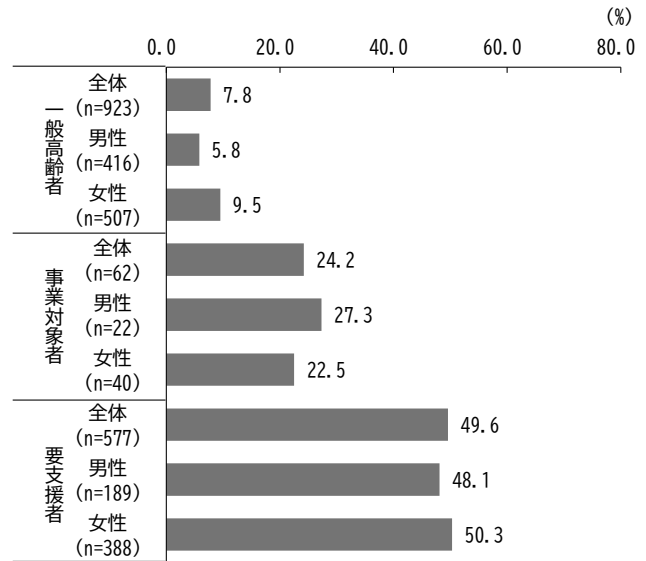
世帯構成・性別にみると、息子・娘との2世帯で15.3%（男性10.0%、女性18.5%）が該当しています。男性、女性で比較すると女性が8.5ポイント高くなっています。

日常生活圏域別にみると、南部圏域で10.5%（男性9.1%、女性11.5%）と高くなっています。男性、女性で比較すると女性が2.4ポイント高くなっています。

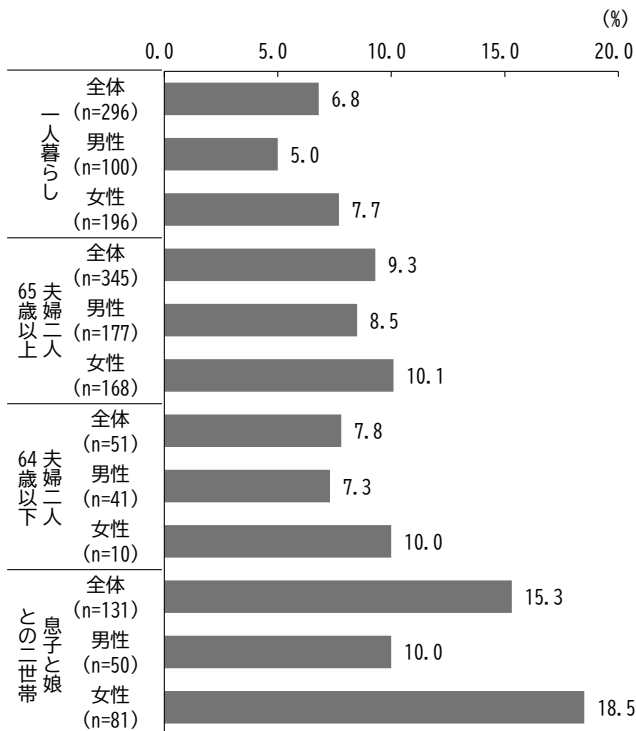
【該当割合】※要支援認定者は除く



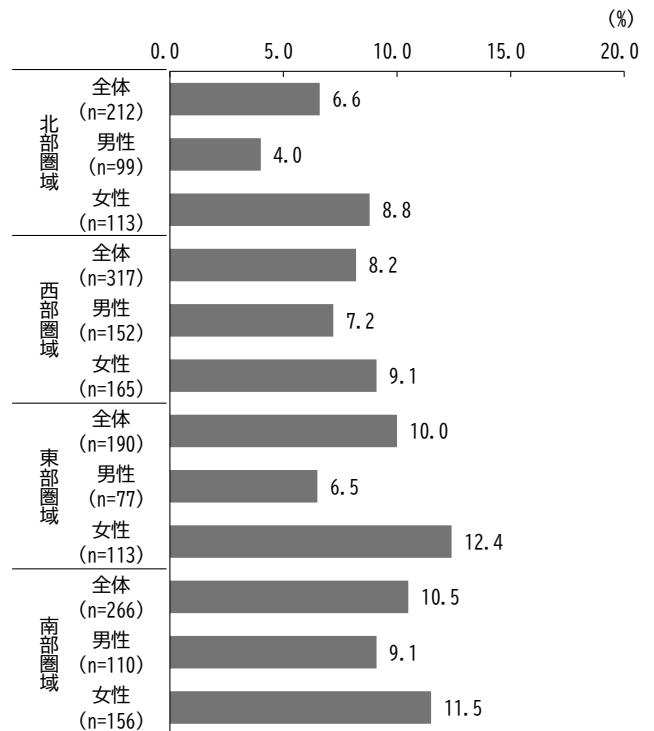
【認定状況別】



【世帯構成別】※要支援認定者は除く



【圏域別】※要支援認定者は除く

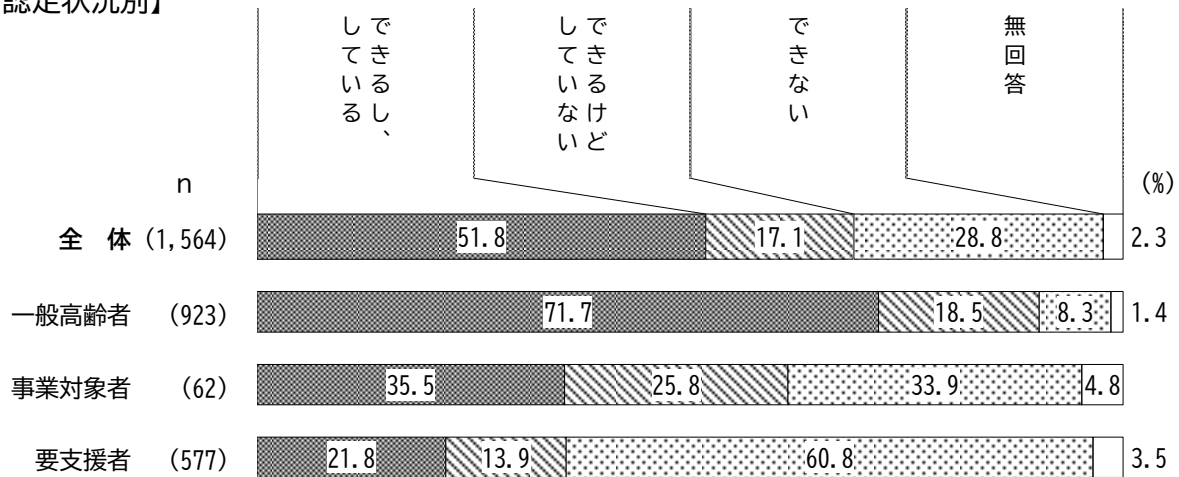


(2) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っている

問2 (1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか

「できるし、している」が51.8%となっています。
 認定状況別にみると、“一般高齢者”で「できるし、している」が71.7%と高くなっています。
 一方、“要支援者”で「できない」が60.8%と高くなっています。

【認定状況別】

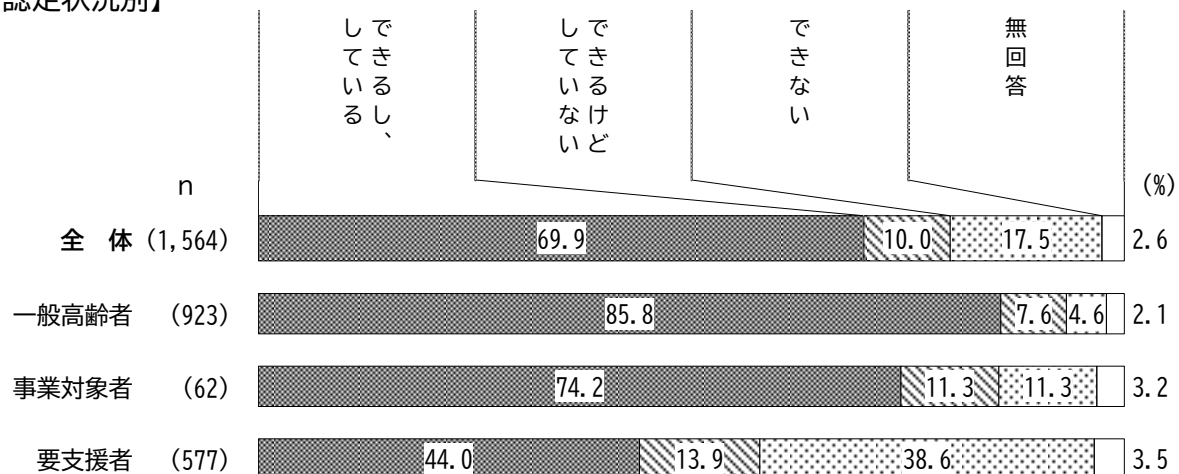


(3) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっている

問2 (2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

「できるし、している」が69.9%となっています。
 認定状況別にみると、“一般高齢者”で「できるし、している」が85.8%と高くなっています。
 一方、“要支援者”で「できない」が38.6%と高くなっています。

【認定状況別】



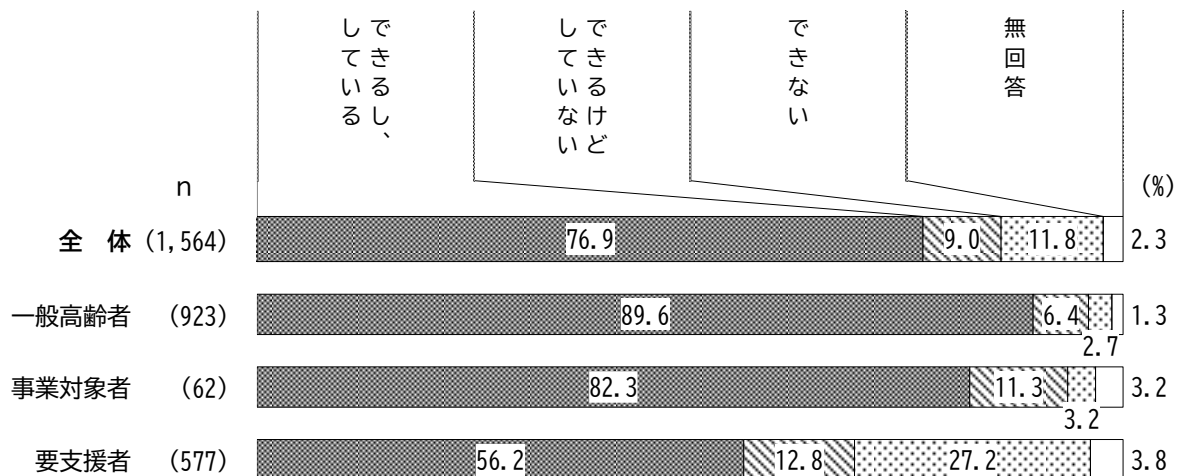
(4) 15分位続けて歩いている

問2 (3) 15分位続けて歩いていますか

「できるし、している」が76.9%となっています。

認定状況別にみると、“一般高齢者”で「できるし、している」が89.6%と高くなっています。一方、“要支援者”で「できない」が27.2%と高くなっています。

【認定状況別】



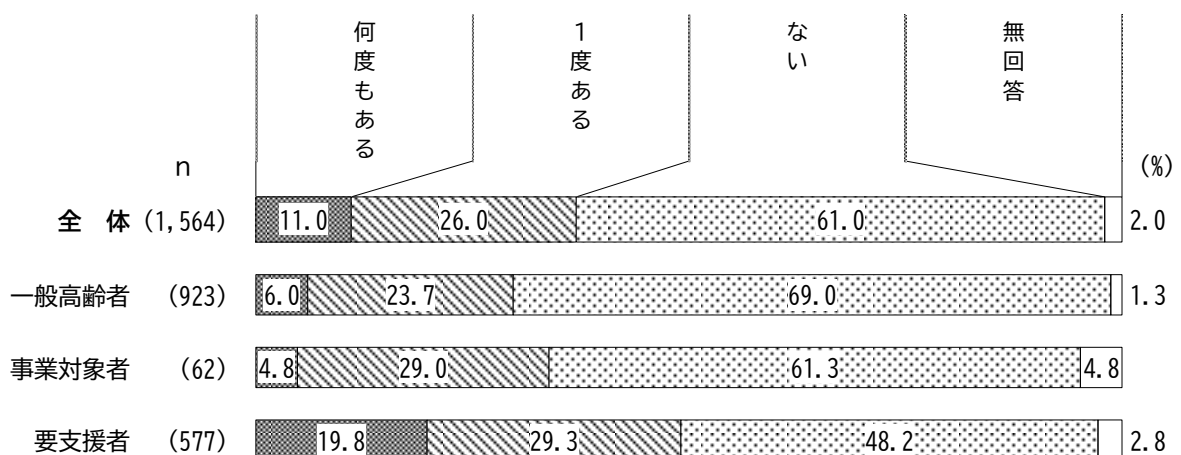
(5) 過去1年間の転倒経験

問2 (4) 過去1年間に転んだ経験がありますか

「ない」が61.0%となっています。

認定状況別にみると、“要支援者”で「何度もある」が19.8%と高くなっています。

【認定状況別】

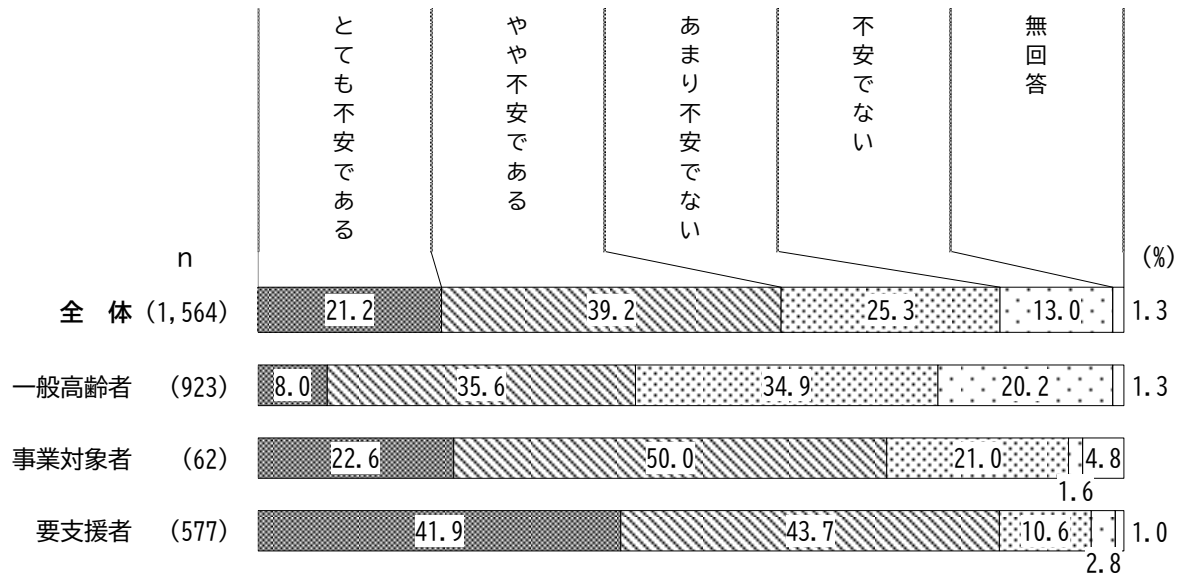


(6) 転倒に対する不安

問2 (5) 転倒に対する不安は大きいですか

「やや不安である」が39.2%で最も高く、次いで「あまり不安でない」が25.3%となっています。認定状況別にみると、“要支援者”で「とても不安である」が41.9%と高くなっています。

【認定状況別】



(7) 閉じこもりリスク

ア 設問と評価

今回の調査票には、運動に関連する指標として、閉じこもりのリスクに関する設問が含まれています。

具体的には、問2(6)に該当した場合閉じこもりと判定され、サービス・活動事業の対象者になります。さらに問2(7)にも該当している場合は、より注意が必要という評価になります。

問番号	設問	該当する選択肢
問2(6)	週に1回以上は外出していますか	「ほとんど外出しない」
問2(7)	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	「とても減っている」 「減っている」

イ 評価結果

要支援認定を受けていない回答者985人のうち1.8%(男性1.6%、女性2.0%)が該当しています。男性より女性で該当割合が高くなっています。

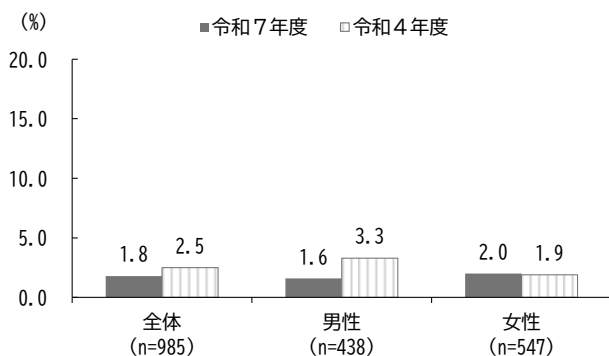
前回の調査結果と比べると、全体で0.7ポイント減少しています。

認定状況・性別にみると、要支援者で14.4%(男性15.9%、女性13.7%)が該当しています。男性、女性で比較すると男性が2.2ポイント高くなっています。

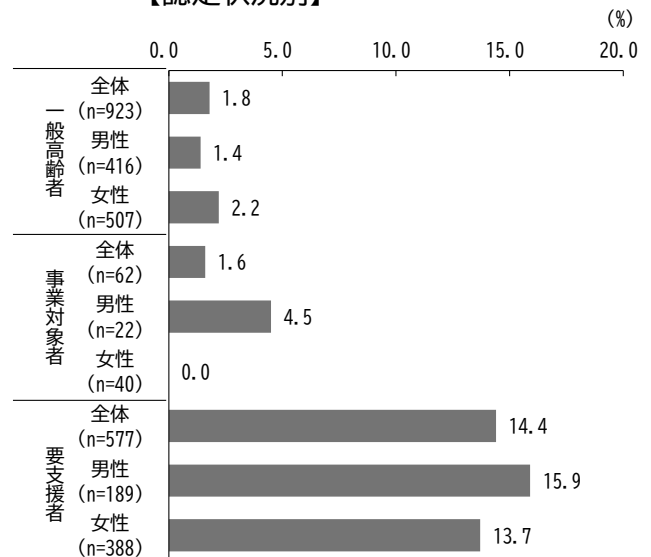
世帯構成・性別にみると、息子・娘との2世帯で3.8%(男性2.0%、女性4.9%)が該当しています。男性、女性で比較すると女性が2.9ポイント高くなっています。

日常生活圏域・性別にみると、大きな違いはみられません。

【該当割合】※要支援認定者は除く

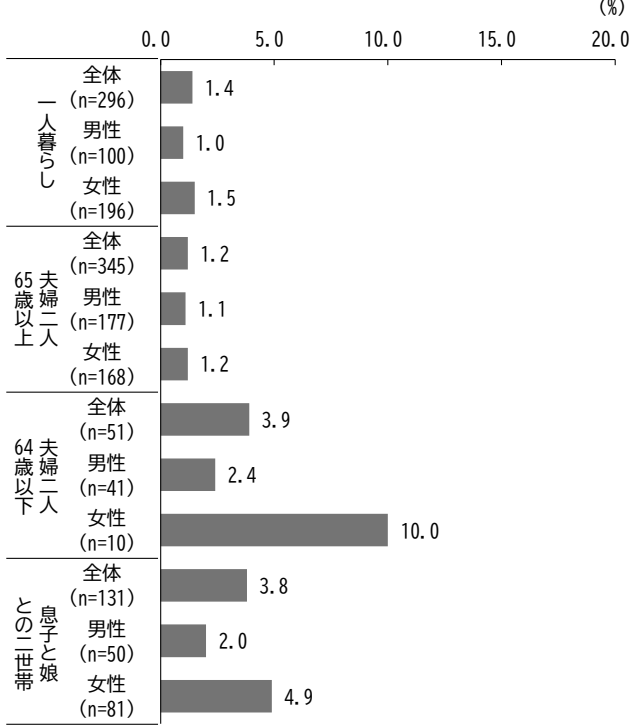


【認定状況別】

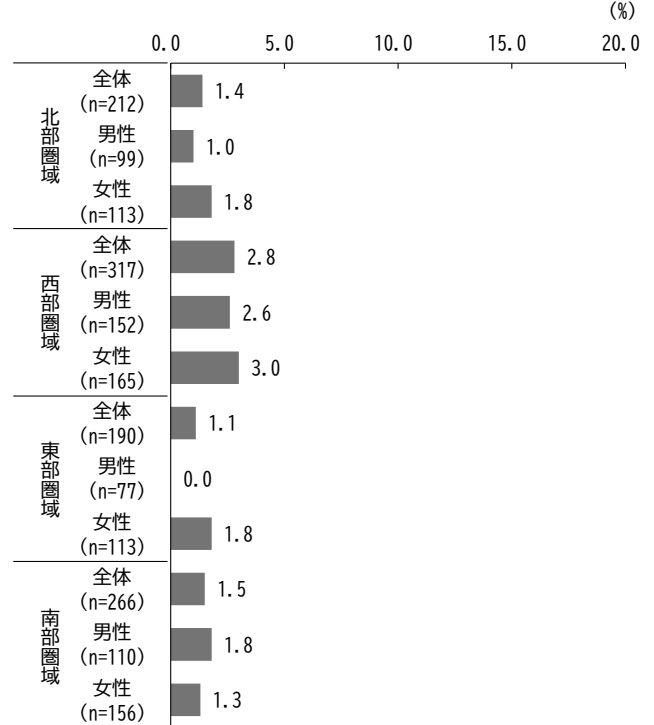


第2章 調査結果の詳細①
 (介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

【世帯構成別】※要支援認定者は除く



【圏域別】※要支援認定者は除く

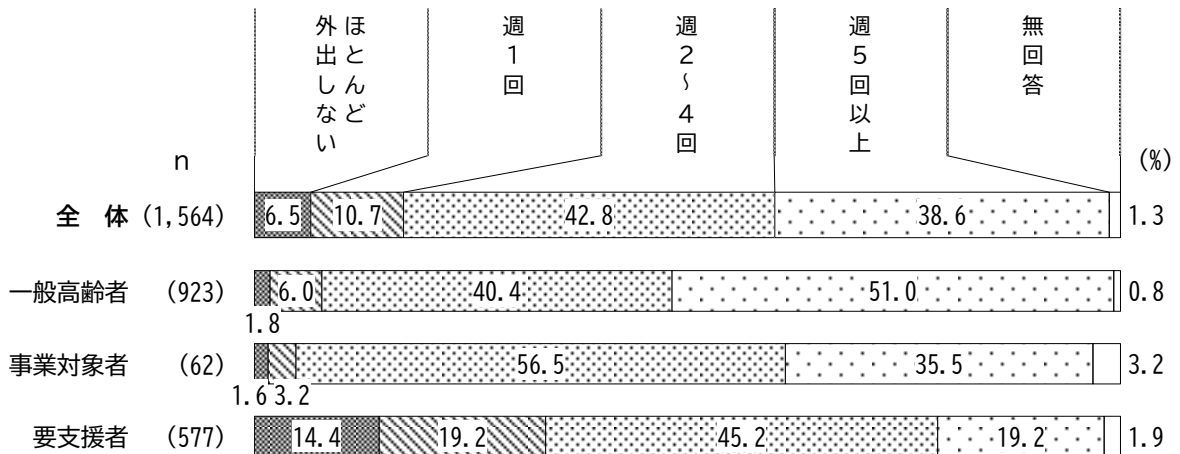


(8) 週に1回以上は外出している

問2 (6) 週に1回以上は外出していますか

「週2～4回」が42.8%で最も高く、次いで「週5回以上」が38.6%となっています。認定状況別にみると、「事業対象者」で「週2～4回」が56.5%と高くなっています。

【認定状況別】



(9) 昨年と比べて外出の回数が減っている

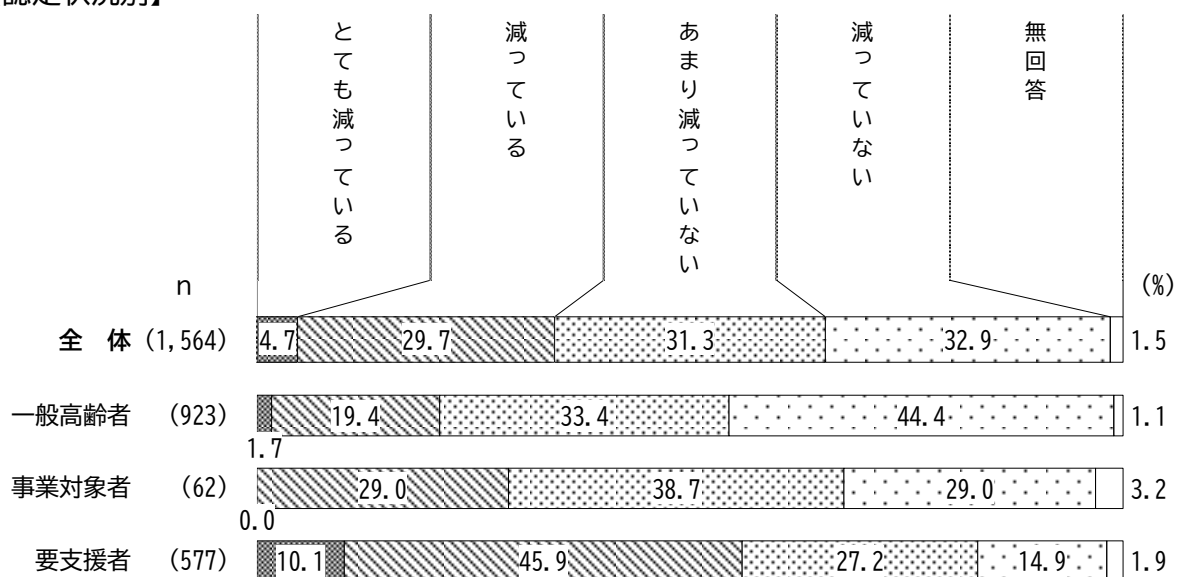
問2 (7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか

「減っていない」が32.9%で最も高く、次いで「あまり減っていない」が31.3%、「減っている」が29.7%となっています。

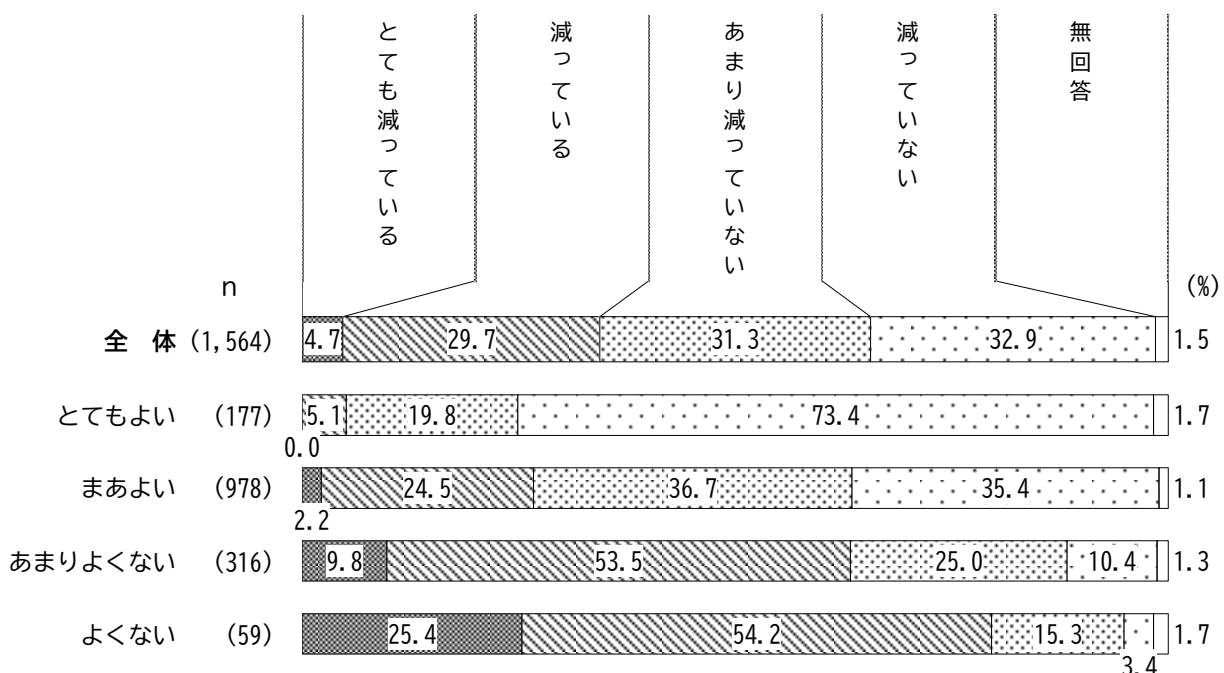
認定状況別にみると、“要支援者”で「減っている」が45.9%と高くなっています。

健康状態別にみると、健康状態がよいほど外出回数が「減っていない」割合が高くなっています。

【認定状況別】



【健康状態別】



第2章 調査結果の詳細①
 (介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

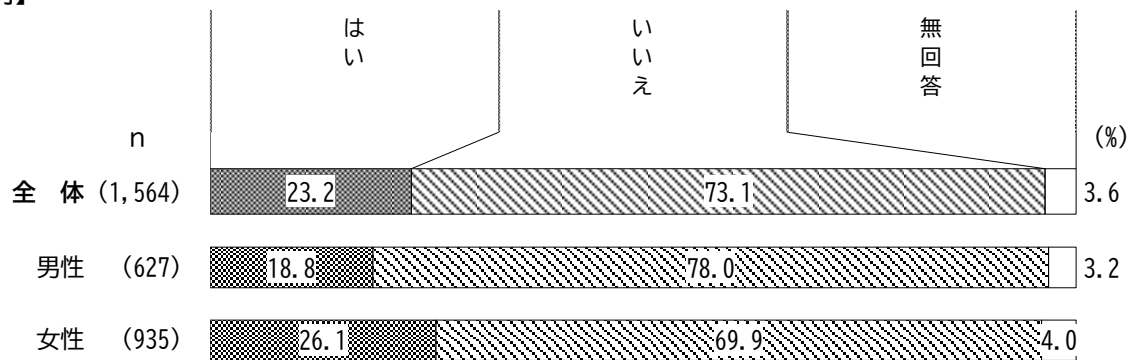
(10) 外出を控えている

問2 (8) 外出を控えていますか

「いいえ」が73.1%となっています。

性別にみると、“女性”で「はい」が26.1%と高くなっています。一方、“男性”で「いいえ」が78.0%と高くなっています。

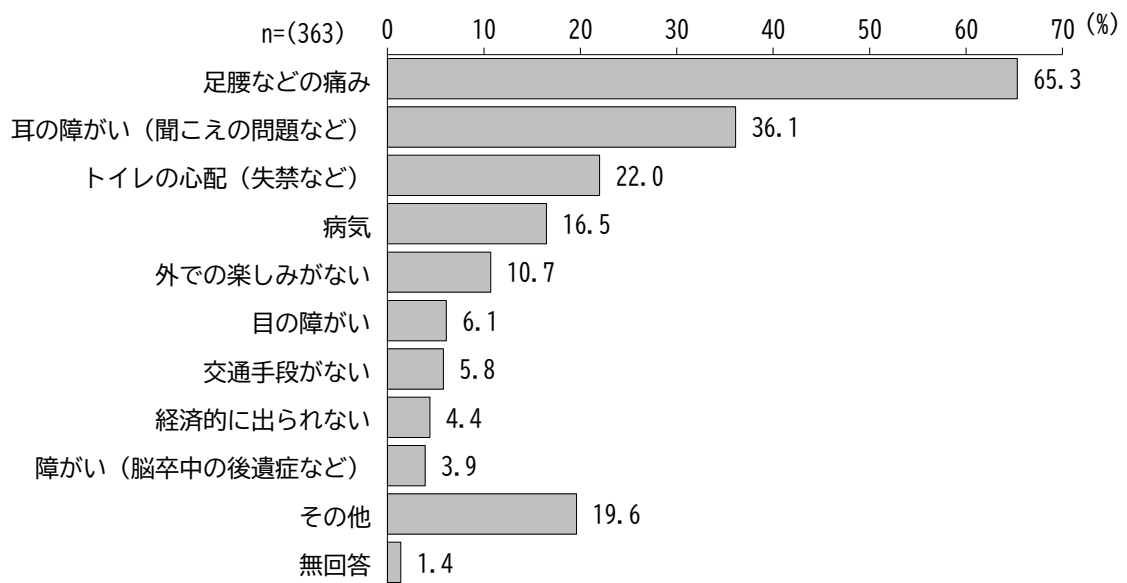
【性別】



(11) 外出を控えている理由

【(8)で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ】
 ①外出を控えている理由は、次のどれですか(いくつでも)

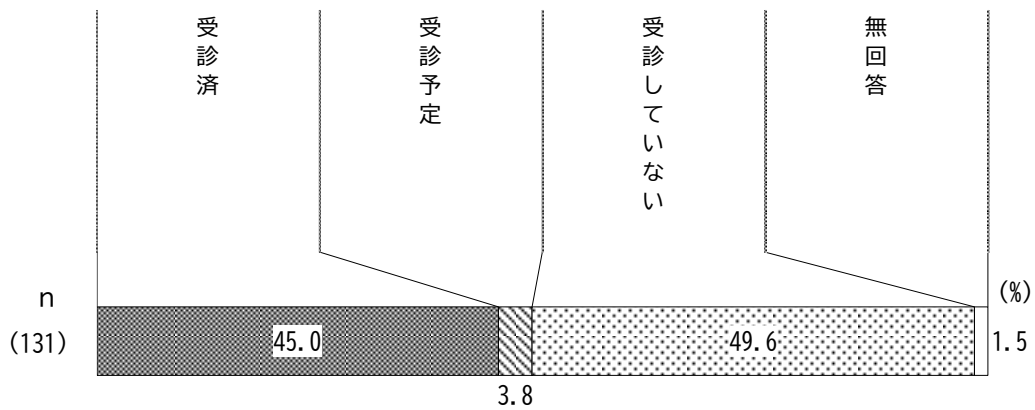
「足腰などの痛み」が65.3%で最も高く、次いで「耳の障がい(聞こえの問題など)」が36.1%となっています。



(12) 耳の聞こえについての耳鼻科受診の有無

【(8) ①で「5. 耳の障がい (聞こえの問題など)」の方のみ】
 ②耳の「聞こえ」について耳鼻咽喉科を受診したことがありますか。

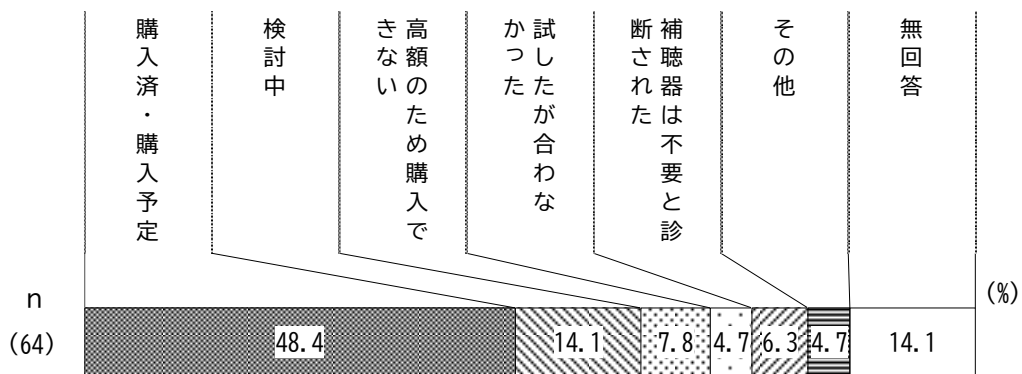
「受診していない」が49.6%で最も高く、次いで「受診済」が45.0%となっています。



(13) 補聴器の購入意向

【(8) ②で「1. 受診済」「2. 受診予定」の方のみ】
 ③補聴器の購入を検討していますか

「購入済・購入予定」が48.4%で最も高く、次いで「検討中」が14.1%となっています。



第2章 調査結果の詳細①
 (介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

(14) 外出する際の移動手段

問2(9) 外出する際の移動手段はなんですか(いくつでも)

「徒歩」が82.9%で最も高く、次いで「電車」が56.7%となっています。
 日常生活圏域別にみると、“南部圏域”で「徒歩」が84.4%と高くなっています。

【圏域別】

	n	徒歩	電車	路線バス	タクシー	自転車	自動車(人に乗せてもらう)	自動車(自分で運転)	(%)
全体	1,564	82.9	56.7	54.3	33.8	17.0	13.5	12.9	
北部圏域	357	80.7	50.4	61.6	26.1	24.9	8.7	9.0	
西部圏域	484	83.3	64.0	50.2	31.2	20.5	14.5	17.4	
東部圏域	292	82.9	56.2	42.8	41.1	12.7	16.4	11.6	
南部圏域	429	84.4	54.1	60.6	38.0	9.6	14.5	12.1	

	n	歩行器・シルバーカー	病院や施設のバス	バイク	車いす	電動車いす(カート)	その他	無回答	(%)
全体	1,564	5.6	3.3	1.5	1.5	0.3	1.5	1.2	
北部圏域	357	7.8	3.1	2.8	2.0	-	2.2	0.3	
西部圏域	484	5.8	2.7	1.7	1.4	0.2	0.8	1.4	
東部圏域	292	4.8	5.5	1.0	1.0	1.0	1.4	1.0	
南部圏域	429	4.0	2.8	0.7	1.4	-	1.9	1.9	

(15) 公共交通機関を利用時に不便と感ずること

問2 (10) 公共交通機関(鉄道・バス)を利用して区内の目的地まで移動する場合、不便と感ずることはありますか(いくつでも)

「不便と感ずない」が63.4%で最も高く、次いで「公共交通機関を利用しない」が10.2%となっています。

日常生活圏域別にみると、「東部圏域」で「公共交通機関を利用しない」が15.8%と高くなっています。

【圏域別】

	n	不便と感ずない	公共交通機関を利用しない	目的地までの路線はあるが、本数が少ない	混んでいていつも座れない	バリアフリー化がされていない	自宅や目的地の近くに駅やバス停がない	目的地までの路線がない	その他	無回答
全体	1,564	63.4	10.2	6.1	4.6	4.3	3.4	2.7	5.3	9.0
北部圏域	357	62.7	8.7	3.9	5.3	3.1	4.5	2.2	6.2	9.8
西部圏域	484	64.9	8.5	7.2	4.8	4.8	2.3	3.3	5.2	8.7
東部圏域	292	62.0	15.8	6.2	4.8	2.7	4.5	1.0	4.8	7.2
南部圏域	429	63.2	9.6	6.8	3.7	5.6	3.0	3.5	5.1	9.8

4. 食べることについて

(1) 低栄養リスク

ア 設問と評価

今回の調査票の設問に含まれている基本チェックリストでは、下の2つの設問に対する回答から、高齢者の低栄養リスクの判断を行っています。

具体的には、設問2問中2問に該当した場合（BMI = 体重kg / 身長m / 身長mが18.5未満で、ここ6か月間で2～3kg以上の体重減少があった場合）に低栄養状態と判定され、サービス・活動事業の対象者となります。

問番号	設問	該当する選択肢
問3(1)	身長・体重	BMI 18.5未満
問3(7)	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	「はい」

イ 評価結果

要支援認定を受けていない回答者985人のうち、1.9%（男性0.7%、女性2.9%）が該当しています。男性より女性で該当割合が高くなっています。

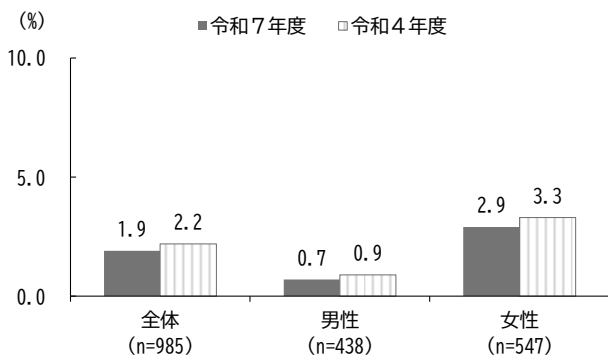
前回の調査結果と比べると、全体で0.3ポイント減少しています。

認定状況・性別にみると、事業対象者で6.5%（男性4.5%、女性7.5%）が該当しています。男性、女性で比較すると女性が3.0ポイント高くなっています。

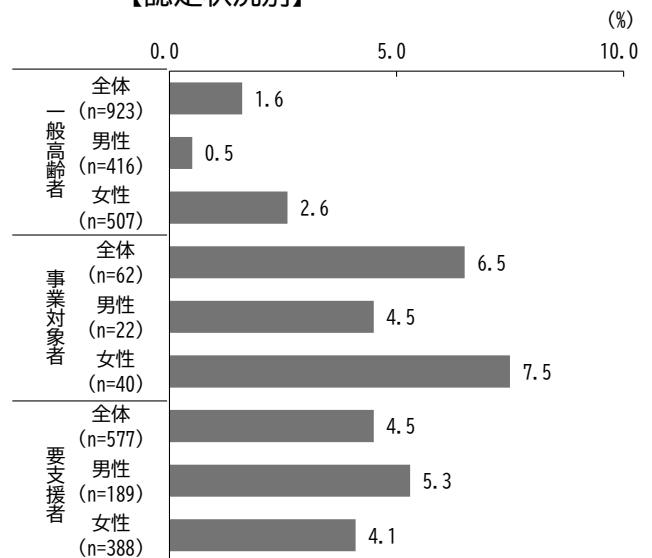
世帯構成・性別にみると、1人暮らしで2.7%（男性2.0%、女性3.1%）が該当しています。男性、女性で比較すると女性が1.1ポイント高くなっています。

日常生活圏域・性別にみると、東部圏域で3.2%（男性0%、女性5.3%）が該当しています。男性、女性で比較すると女性が5.3ポイント高くなっています。

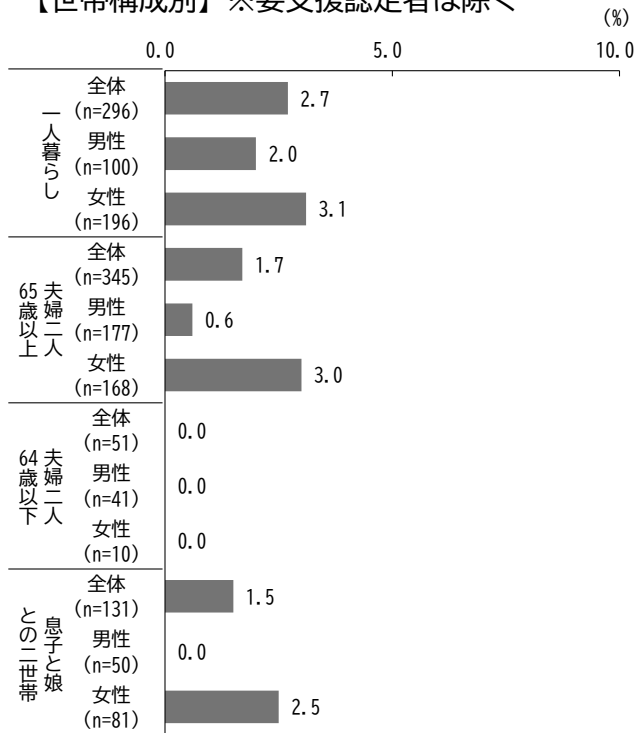
【該当割合】※要支援認定者は除く



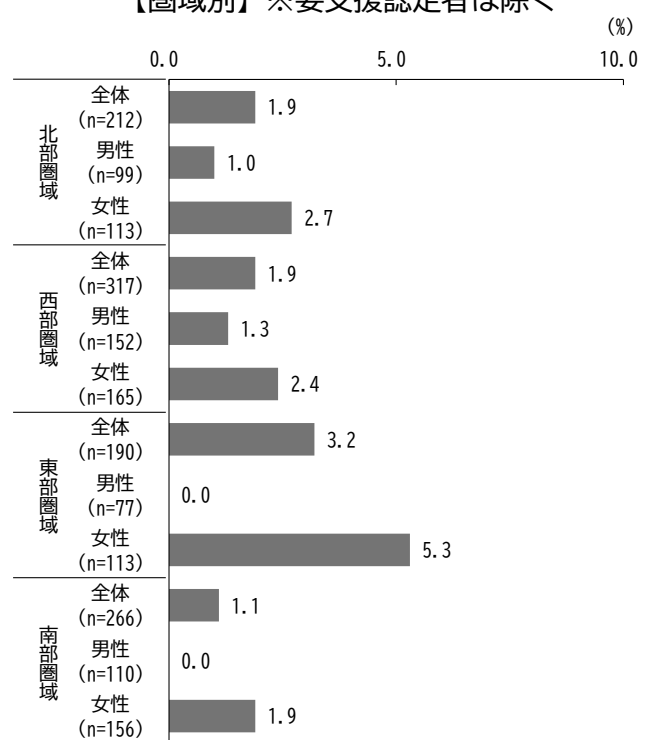
【認定状況別】



【世帯構成別】※要支援認定者は除く

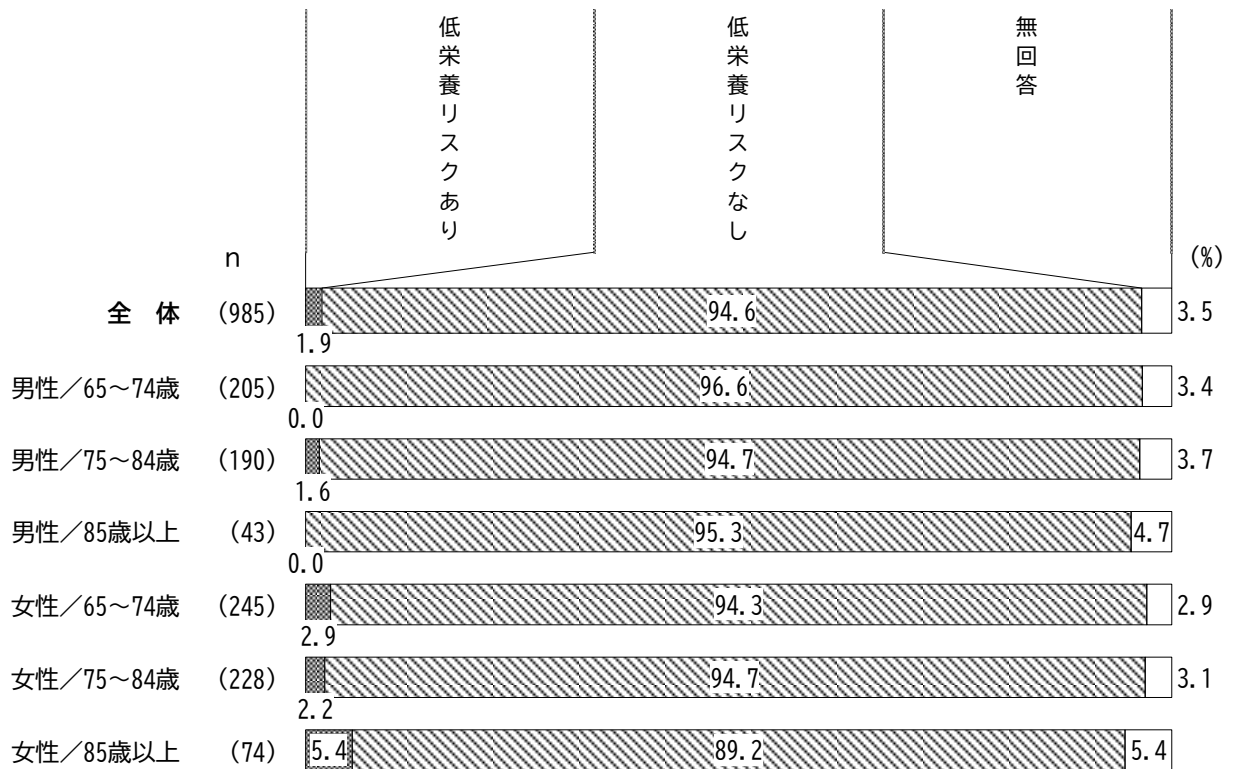


【圏域別】※要支援認定者は除く



【性・年齢別】※要支援認定者は除く

性・年齢別にみると、“女性85歳以上”で該当者（低栄養リスクあり）が5.4%と高くなっています。



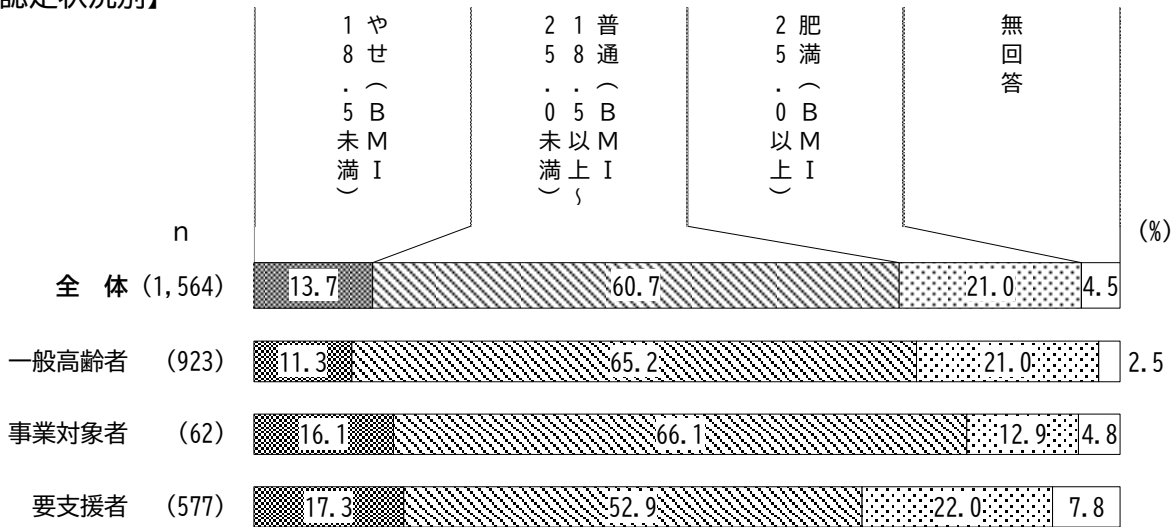
(2) BMI

問3 (1) 身長・体重

普通 (BMI 18.5以上~25.0未満) が60.7%となっています。

認定状況別にみると、“事業対象者”で「普通 (BMI 18.5以上~25.0未満)」が66.1%と高くなっています。

【認定状況別】



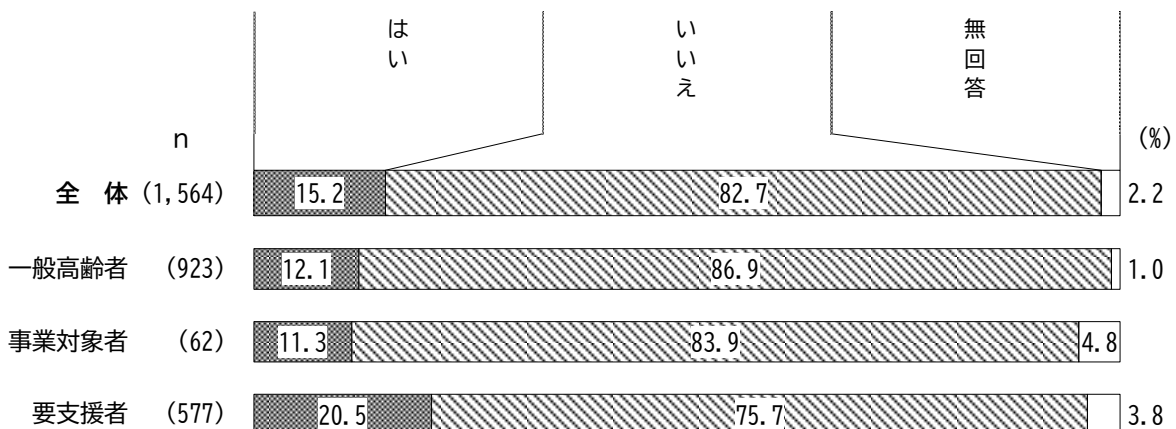
(3) 6か月間で2~3kg以上の体重減少がある

問3 (7) 6か月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか

「いいえ」が82.7%となっています。

認定状況別にみると、“要支援者”で「はい」が20.5%と高くなっています。一方、“一般高齢者”で「いいえ」が86.9%と高くなっています。

【認定状況別】



(4) 口腔機能低下リスク

ア 設問と評価

国の基本チェックリストでは、以下の3つの設問に対する回答から、栄養と関連する指標として口腔機能の低下リスクが判定されます。

具体的には、3問中2問以上に該当した場合に口腔機能の低下と判定され、サービス・活動事業の対象者となります。

問番号	設問	該当する選択肢
問3(2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	「はい」
問3(3)	お茶や汁物等でむせることがありますか	「はい」
問3(4)	口の渇きが気になりますか	「はい」

イ 評価結果

要支援認定を受けていない回答者985人のうち19.3%（男性17.6%、女性20.7%）が該当しています。男性より女性で該当割合が高くなっています。

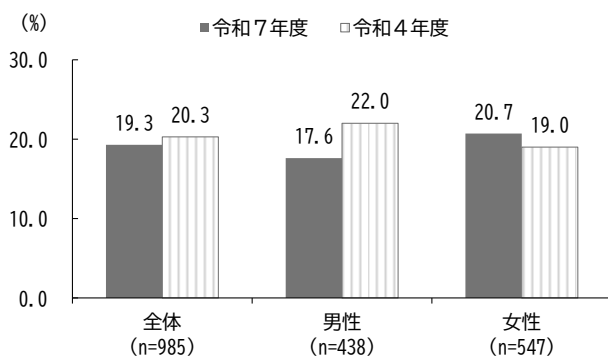
前回の調査結果と比べると、全体で1.0ポイント減少しています。

認定状況・性別にみると、要支援者で41.2%（男性41.8%、女性41.0%）が該当しています。男性、女性で比較すると男性が0.8ポイント高くなっています。

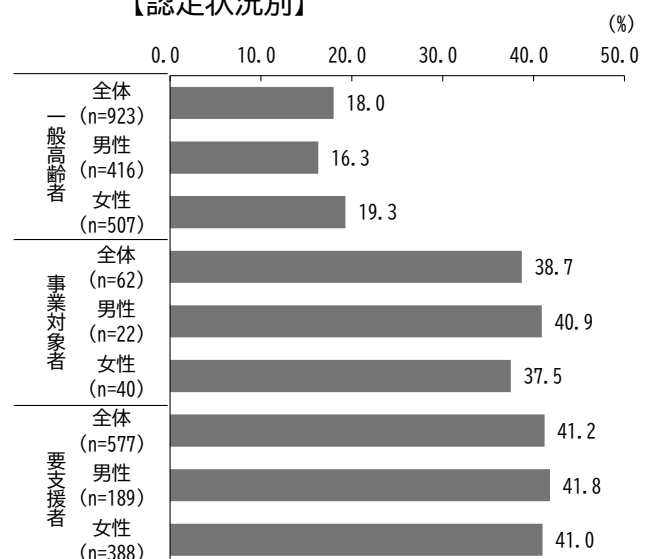
世帯構成・性別にみると、夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）で21.6%（男性22.0%、女性20.0%）が該当しています。男性、女性で比較すると男性が2.0ポイント高くなっています。

日常生活圏域・性別にみると、北部圏域で20.8%（男性19.2%、女性22.1%）が該当しています。男性、女性で比較すると女性が2.9ポイント高くなっています。

【該当割合】※要支援認定者は除く

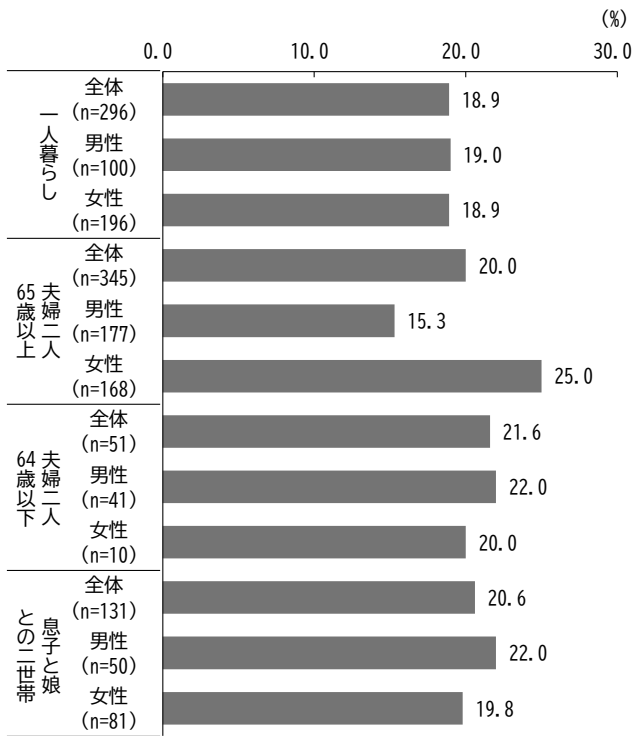


【認定状況別】

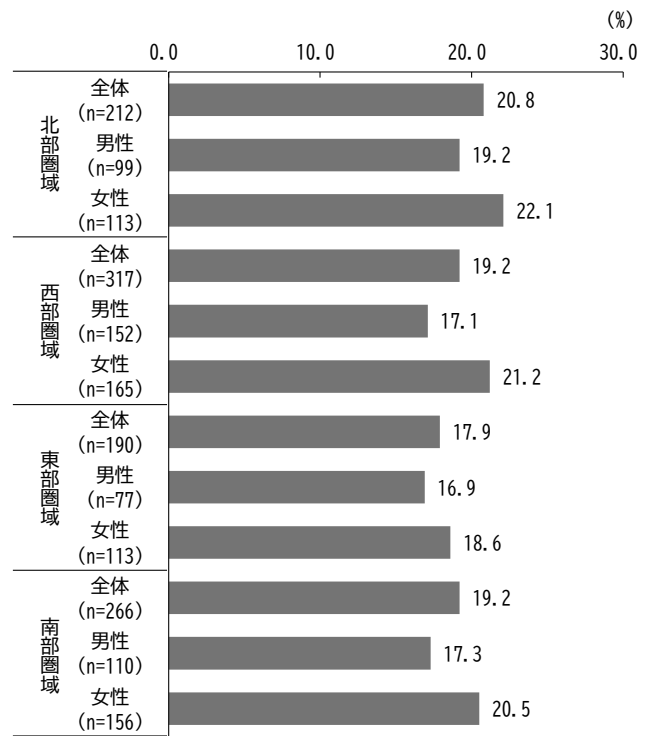


第2章 調査結果の詳細①
 (介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

【世帯構成別】 ※要支援認定者は除く

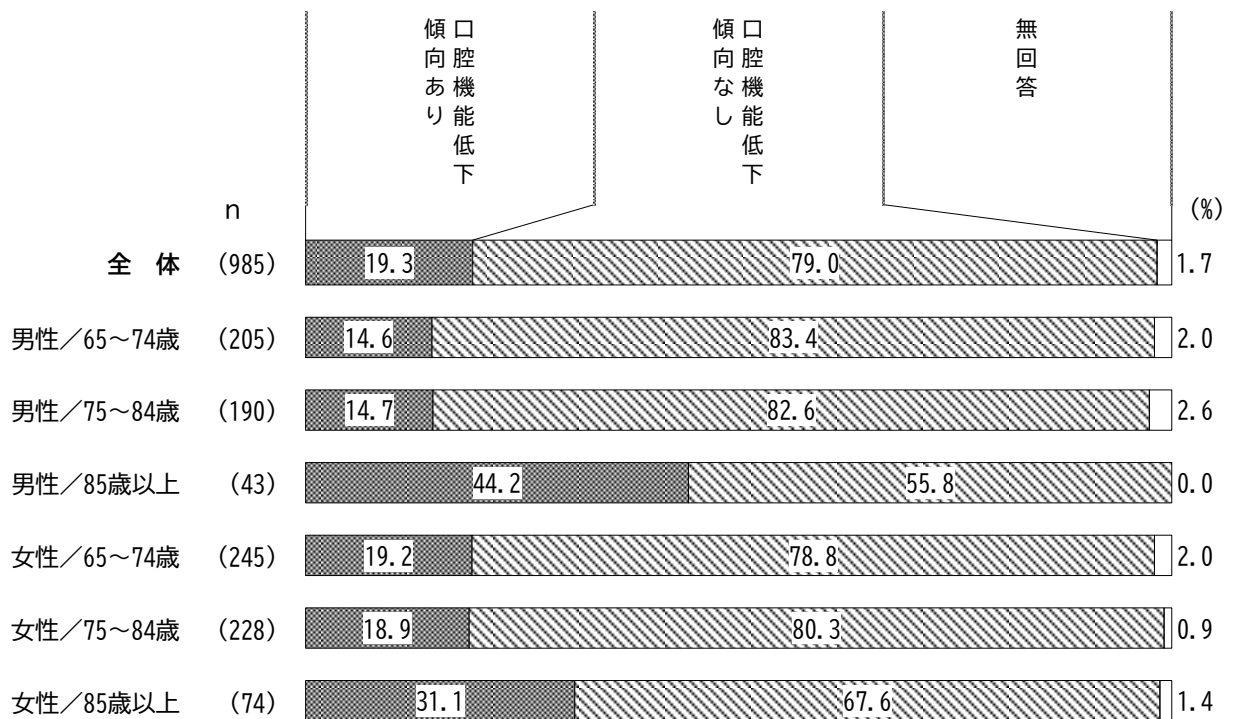


【圏域別】 ※要支援認定者は除く



【性・年齢別】 ※要支援認定者は除く

性・年齢別にみると、“男性85歳以上”で該当者（口腔機能低下傾向あり）が44.2%、“女性85歳以上”で該当者が31.1%と高くなっています。



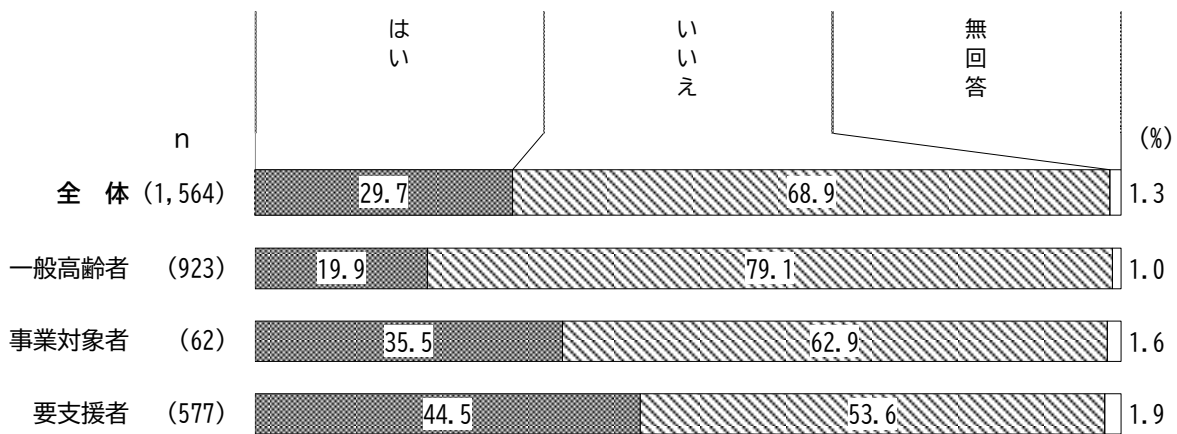
(5) 半年前に比べて固いものが食べにくい

問3 (2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

「いいえ」が68.9%となっています。

認定状況別にみると、“要支援者”で「はい」が44.5%と高くなっています。一方、“一般高齢者”で「いいえ」が79.1%と高くなっています。

【認定状況別】



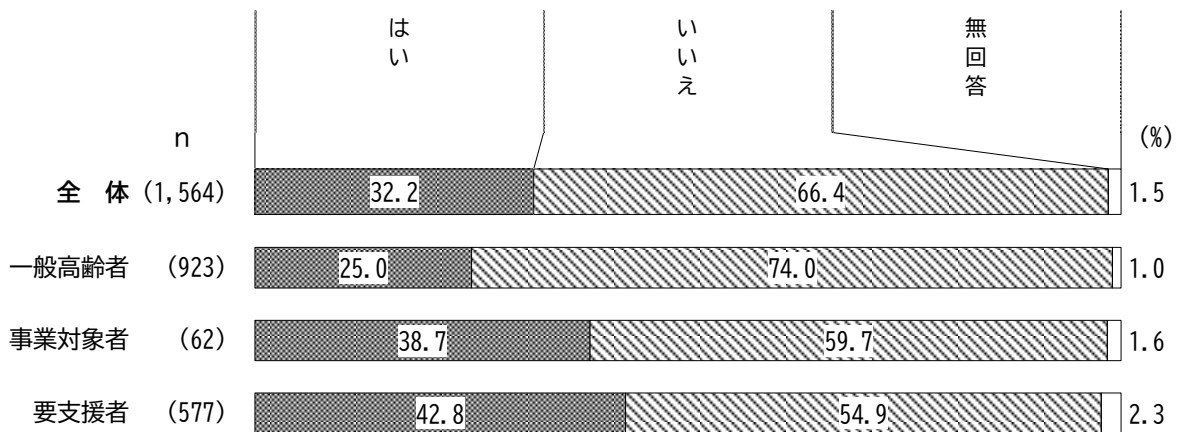
(6) お茶や汁物等でむせることがある

問3 (3) お茶や汁物等でむせることがありますか

「いいえ」が66.4%となっています。

認定状況別にみると、“要支援者”で「はい」が42.8%と高くなっています。一方、“一般高齢者”で「いいえ」が74.0%と高くなっています。

【認定状況別】



第2章 調査結果の詳細①
 (介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

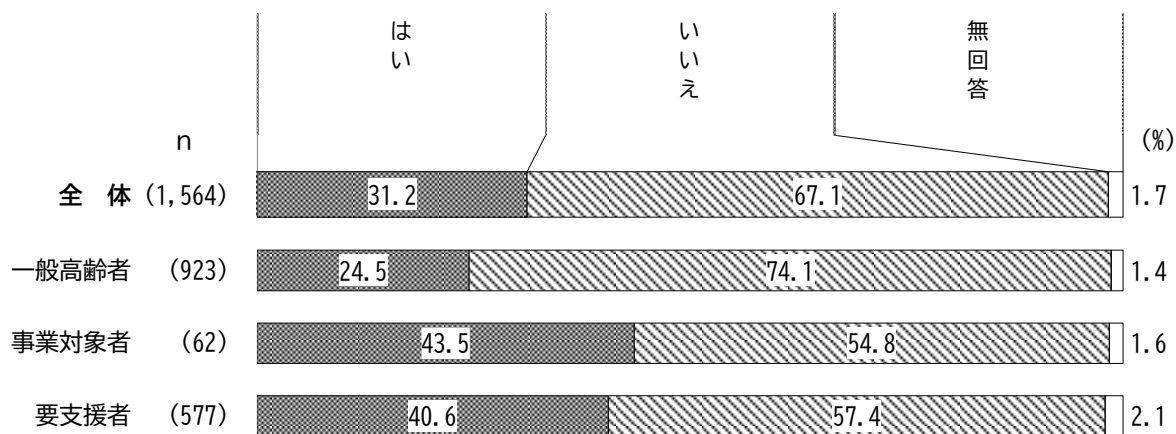
(7) 口の渇きが気になる

問3 (4) 口の渇きが気になりますか

「いいえ」が67.1%となっています。

認定状況別にみると、“事業対象者”で「はい」が43.5%と高くなっています。一方、“一般高齢者”で「いいえ」が74.1%と高くなっています。

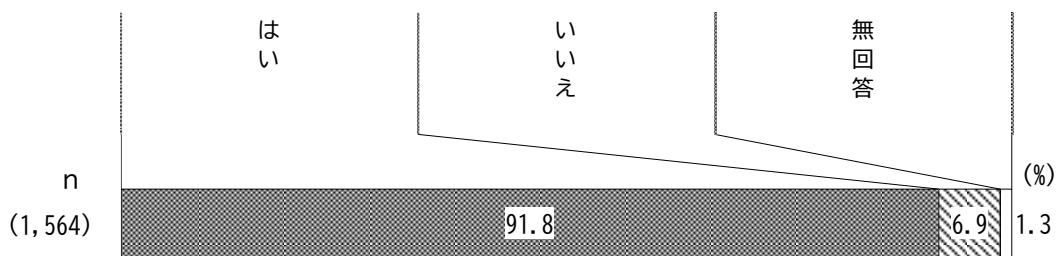
【認定状況別】



(8) 歯磨きの実施状況

問3 (5) 歯磨き (人にやってもらう場合も含む) を毎日していますか

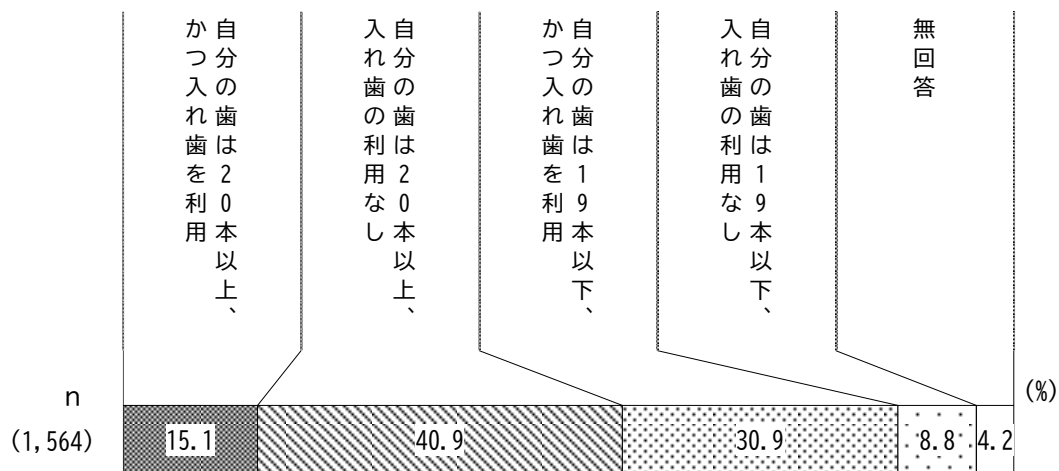
「はい」が91.8%となっています。



(9) 歯の本数と入れ歯の状況

問3 (6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が40.9%で最も高く、次いで「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が30.9%となっています。



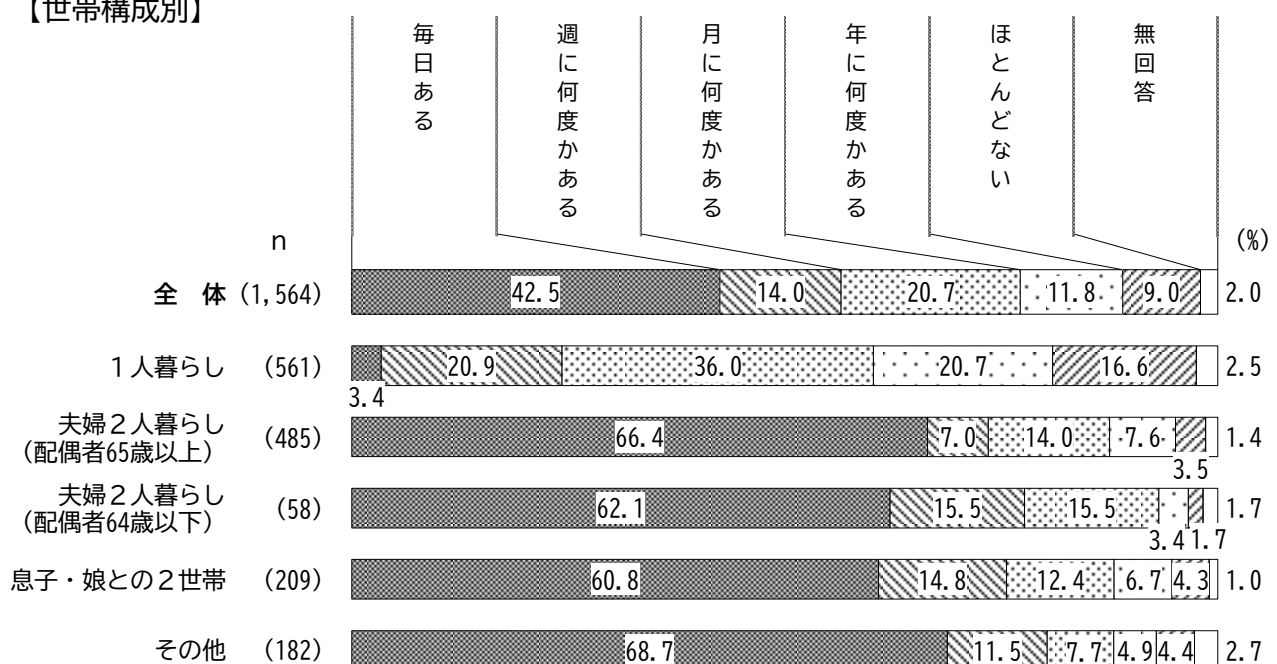
(10) 共食の機会

問3 (8) どなたかと食事をとにもする機会がありますか

「毎日ある」が42.5%で最も高く、次いで「月に何度かある」が20.7%となっています。

世帯構成別にみると、“夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)”で「毎日ある」が66.4%と高くなっています。

【世帯構成別】



5. 毎日の生活について

(1) 認知機能

ア 設問と評価

国の基本チェックリストでは、下の3つの設問に対する回答から、認知機能低下のリスク判断が可能です。

具体的には、3問中1問以上に該当した場合、認知機能低下と判定され、サービス・活動事業の対象者となります。

問番号	設問	該当する選択肢
問4 (1)	物忘れが多いと感じますか	「はい」
問4 (3)	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	「いいえ」
問4 (4)	今日が何月何日かわからない時がありますか	「はい」

イ 評価結果

要支援認定を受けていない回答者985人のうち、53.0% (男性53.2%、女性52.8%) が該当しています。女性より男性で該当割合が高くなっています。

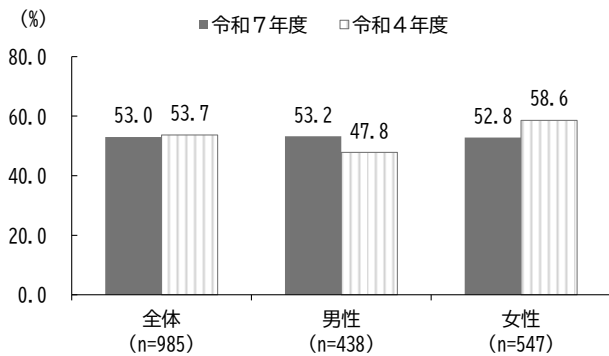
前回の調査結果と比べると、全体で0.7ポイント減少しています。

認定状況・性別にみると、要支援者で65.3% (男性62.4%、女性66.8%) が該当しています。男性、女性で比較すると女性が4.4ポイント高くなっています。

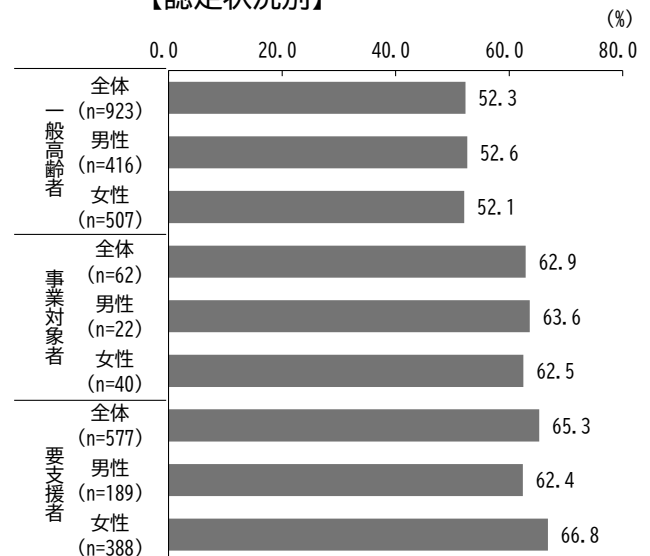
世帯構成・性別にみると、息子・娘との2世帯で56.5% (男性52.0%、女性59.3%) が該当しています。男性、女性で比較すると女性が7.3ポイント高くなっています。

日常生活圏域・性別にみると、南部圏域で58.6% (男性61.8%、女性56.4%) が該当しています。男性、女性で比較すると男性が5.4ポイント高くなっています。

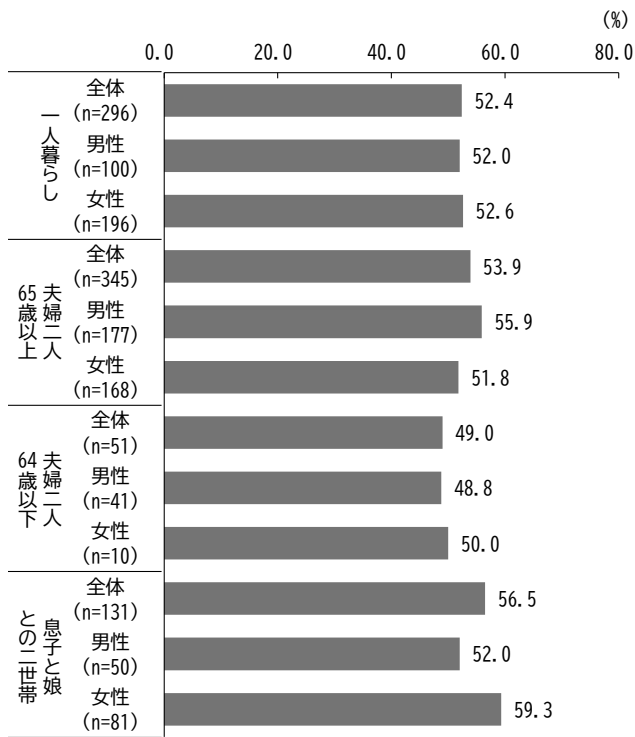
【該当割合】※要支援認定者は除く



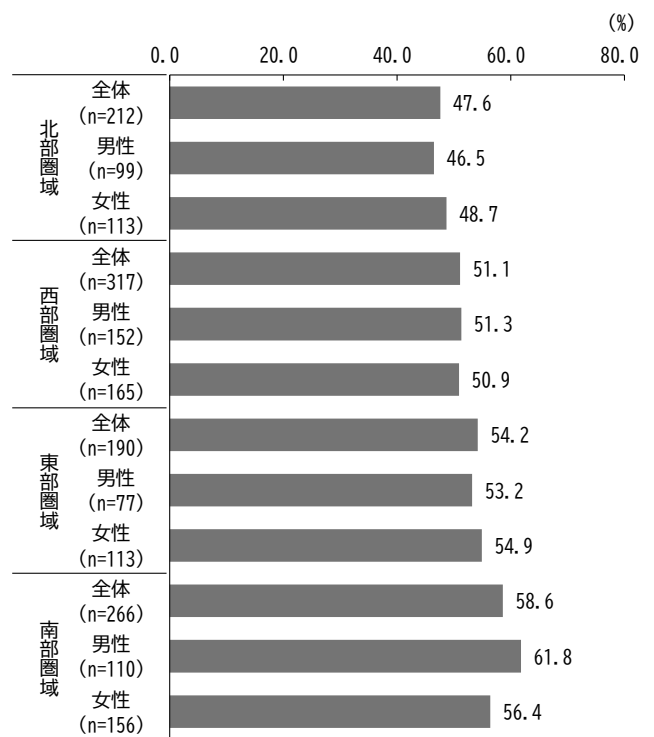
【認定状況別】



【世帯構成別】 ※要支援認定者は除く



【圏域別】 ※要支援認定者は除く



(2) 物忘れが多い

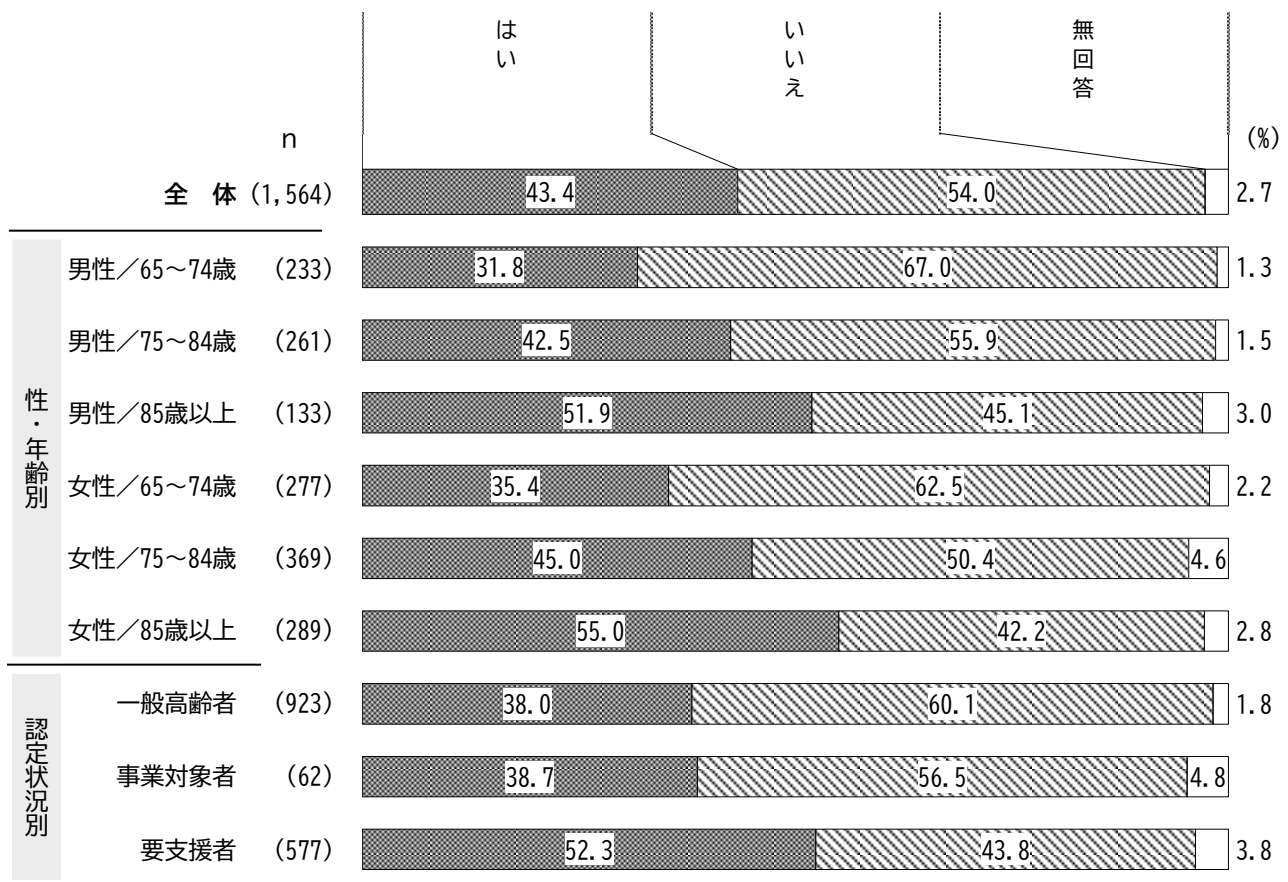
問4 (1) 物忘れが多いと感じますか

「はい」が43.4%、「いいえ」が54.0%となっています。

性・年齢別にみると、“女性85歳以上”で「はい」が55.0%、“男性85歳以上”で「はい」が51.9%と高くなっています。

認定状況別にみると、“要支援者”で「はい」が52.3%と高くなっています。一方、“一般高齢者”で「いいえ」が60.1%と高くなっています。

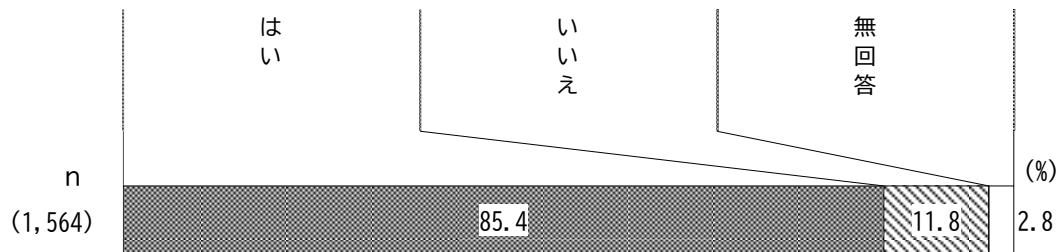
【性・年齢別、認定状況別】



(3) 5分前のことが思い出せる

問4 (2) 5分前のことが思い出せますか

「はい」が85.4%となっています。



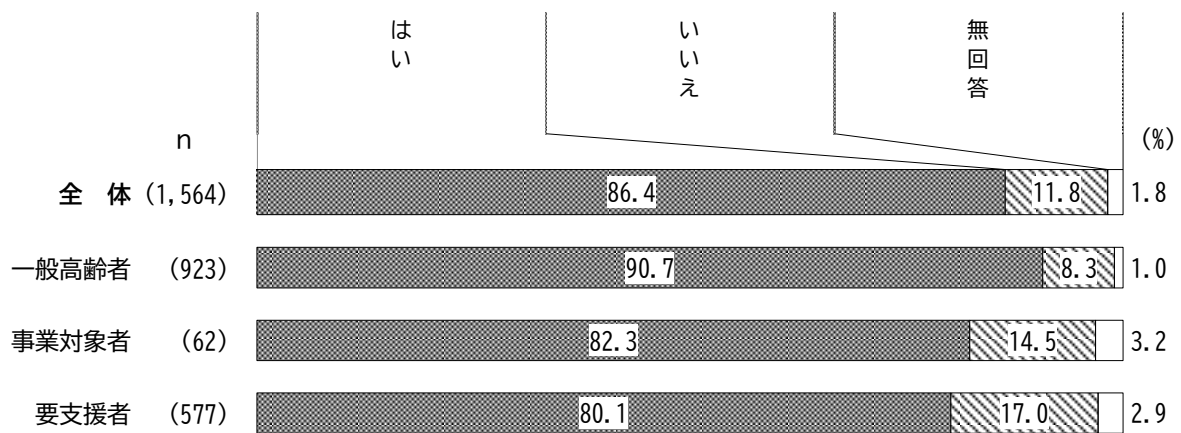
(4) 自分で電話番号を調べて、電話をかける

問4 (3) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか

「はい」が86.4%となっています。

認定状況別にみると、“一般高齢者”で「はい」が90.7%と高くなっています。

【認定状況別】



第2章 調査結果の詳細①
 (介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

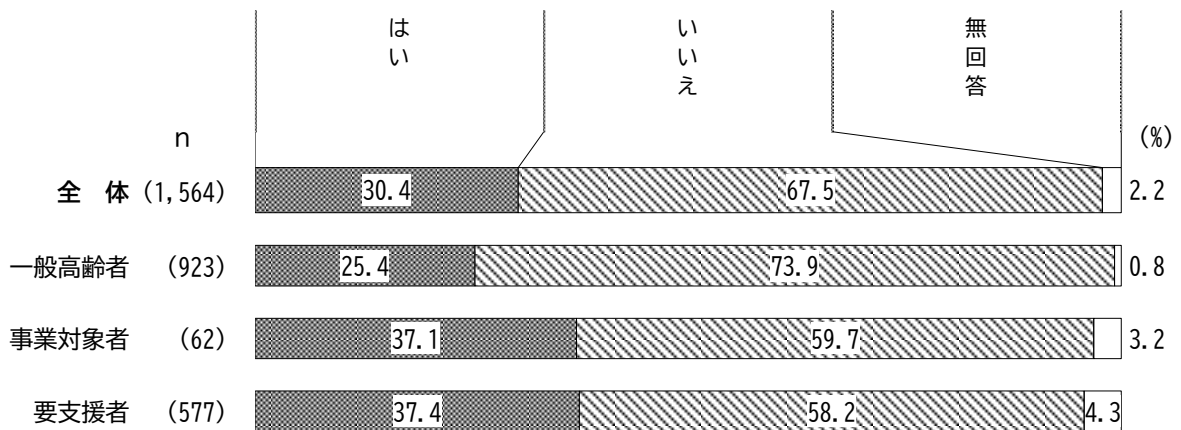
(5) 今日が何月何日かわかる

問4 (4) 今日が何月何日かわからない時がありますか

「はい」が30.4%、「いいえ」が67.5%となっています。

認定状況別にみると、“要支援者”で「はい」が37.4%と高くなっています。一方、“一般高齢者”で「いいえ」が73.9%と高くなっています。

【認定状況別】



(6) 手段的自立度 (IADL)

ア 設問と評価

今回の調査票には、高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができる老研式活動能力指標※に準じた設問を設けています。ここではそのうち、手段的自立度(問4(5)～(9))に関する結果についてみてみます。

各設問に「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した場合を1点として、5点満点で評価し、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」として評価しています。

なお、評価では、4点以下を低下者と定義しています。

※社会的に自立した生活を送るために必要な比較的高次の活動能力の指標で、「手段的自立度(IADL)」「知的能動性」「社会的役割」の3つの尺度から構成されている13項目の質問表のこと。

問番号	設問	該当する選択肢
問4(5)	バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)	1点:「できるし、している」 「できるけどしていない」
問4(6)	自分で食品・日用品の買物をしていますか	1点:「できるし、している」 「できるけどしていない」
問4(7)	自分で食事の用意をしていますか	1点:「できるし、している」 「できるけどしていない」
問4(8)	自分で請求書の支払いをしていますか	1点:「できるし、している」 「できるけどしていない」
問4(9)	自分で預貯金の出し入れをしていますか	1点:「できるし、している」 「できるけどしていない」

イ 評価結果

要支援認定を受けていない回答者985人のうち、12.7%(男性12.9%、女性12.4%)が該当しています。女性より男性で該当割合が高くなっています。

前回の調査結果と比べると、全体で3.3ポイント減少しています。

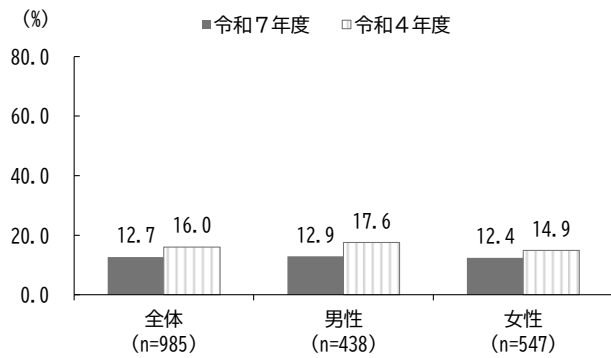
認定状況・性別にみると、要支援者で26.9%(男性28.6%、女性26.0%)が該当しています。男性、女性で比較すると男性が2.6ポイント高くなっています。

世帯構成・性別にみると、息子・娘との2世帯で18.7%(男性15.5%、女性20.3%)が該当しています。男性、女性で比較すると女性が4.8ポイント高くなっています。

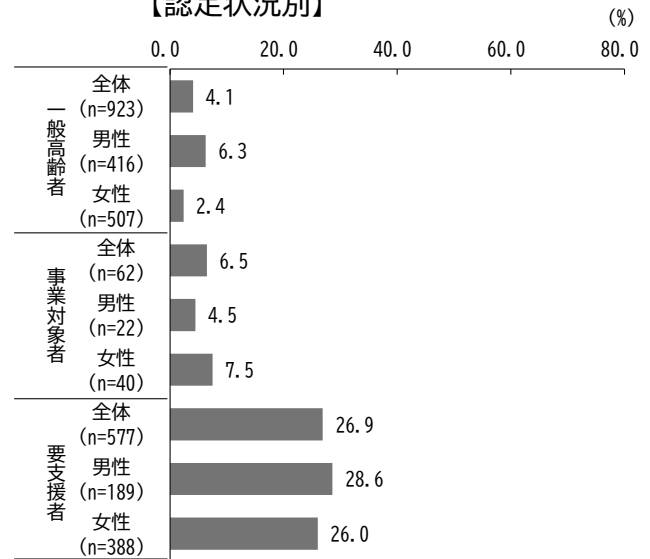
日常生活圏域・性別にみると、東部圏域で13.4%(男性14.0%、女性12.9%)が該当しています。男性、女性で比較すると男性が1.1ポイント高くなっています。

第2章 調査結果の詳細①
 (介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

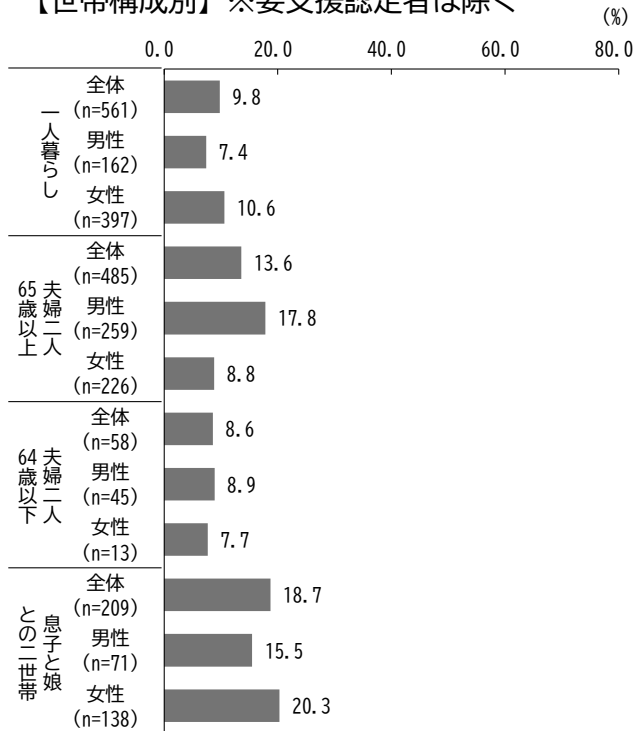
【該当割合】※要支援認定者は除く



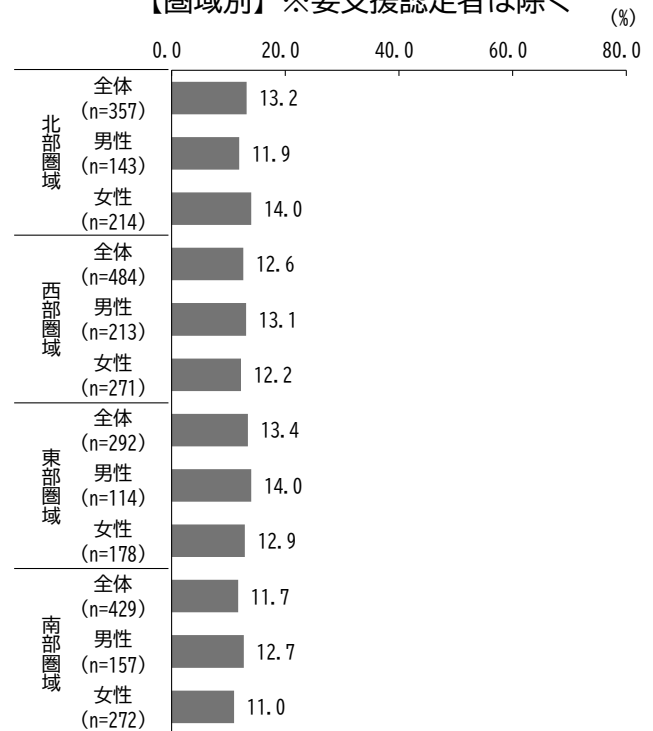
【認定状況別】



【世帯構成別】※要支援認定者は除く



【圏域別】※要支援認定者は除く



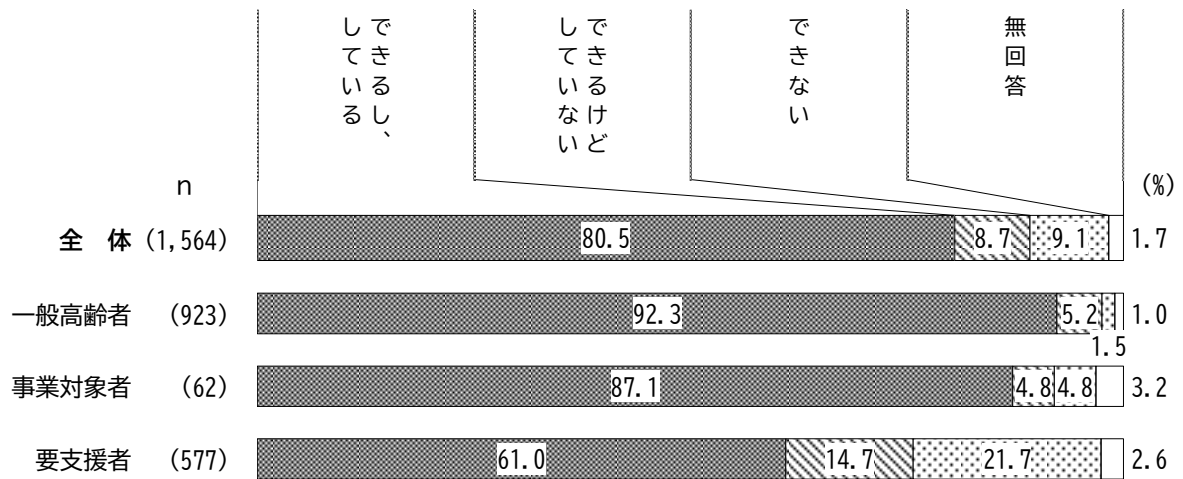
(7) バスや電車を使って1人で外出している

問4 (5) バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)

「できるし、している」が80.5%となっています。

認定状況別にみると、“一般高齢者”で「できるし、している」が92.3%と高くなっています。

【認定状況別】

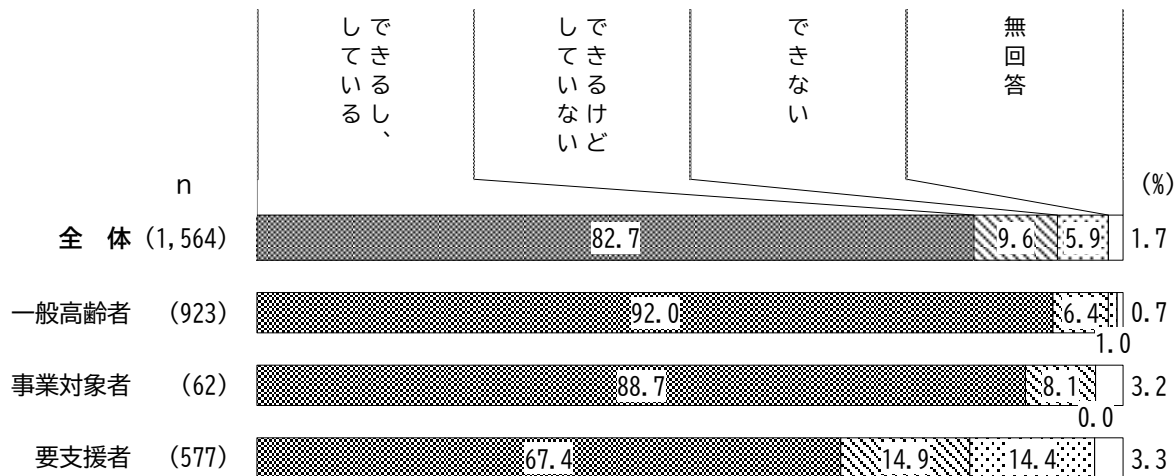


(8) 自分で食品・日用品の買物をしている

問4 (6) 自分で食品・日用品の買物をしていますか

「できるし、している」が82.7%となっています。
 認定状況別にみると、“一般高齢者”で「できるし、している」が92.0%と高くなっています。

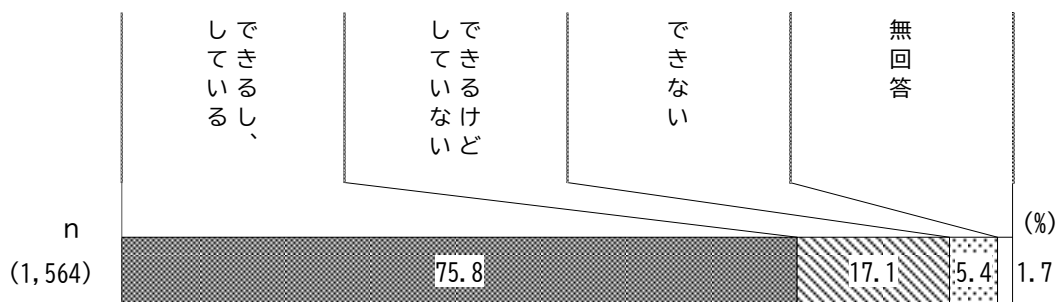
【認定状況別】



(9) 自分で食事の用意をしている

問4 (7) 自分で食事の用意をしていますか

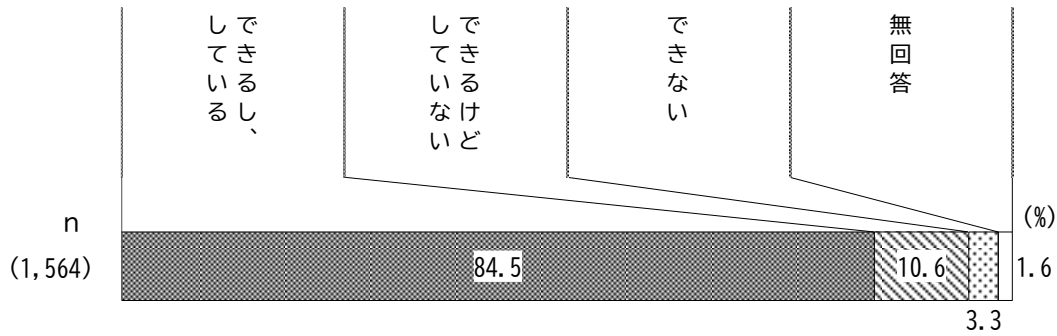
「できるし、している」が75.8%となっています。



(10) 自分で請求書の支払いをしている

問4 (8) 自分で請求書の支払いをしていますか

「できるし、している」が84.5%となっています。



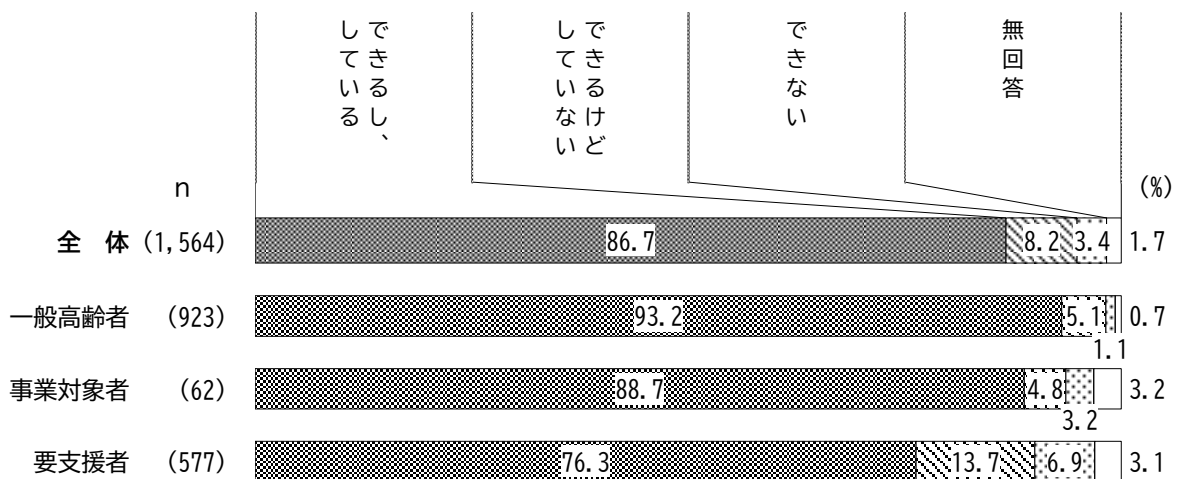
(11) 自分で預貯金の出し入れをしている

問4 (9) 自分で預貯金の出し入れをしていますか

「できるし、している」が86.7%となっています。

認定状況別にみると、“一般高齢者”で「できるし、している」が93.2%と高くなっています。

【認定状況別】



第2章 調査結果の詳細①

(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

(12) 知的能動性

ア 設問と評価

老研式活動能力指標には、高齢者の知的活動に関する設問が4問設けられ、「知的能動性」として尺度化されています(問4(10)~(13))。

評価は、各設問に「はい」と回答した場合を1点として、4点満点の4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価しています。

なお、評価では、3点以下を低下者と定義しています。

問番号	設問	該当する選択肢
問4(10)	年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか	1点:「はい」
問4(11)	新聞を読んでいますか	1点:「はい」
問4(12)	本や雑誌を読んでいますか	1点:「はい」
問4(13)	健康についての記事や番組に関心がありますか	1点:「はい」

イ 評価結果

要支援認定を受けていない回答者985人のうち、50.5%(男性51.4%、女性49.9%)が該当しています。女性より男性で該当割合が高くなっています。

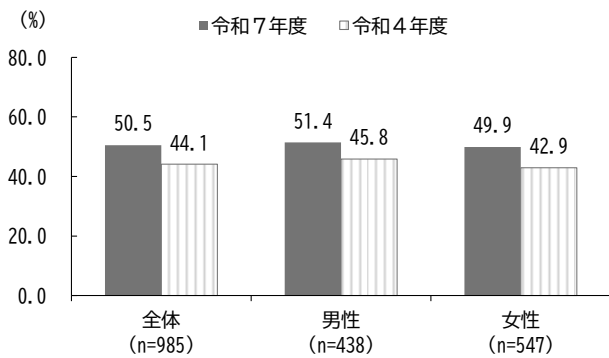
前回の調査結果と比べると、全体で6.4ポイント増加しています。

認定状況・性別にみると、要支援者で55.5%(男性59.8%、女性53.4%)が該当しています。男性、女性で比較すると男性が6.4ポイント高くなっています。

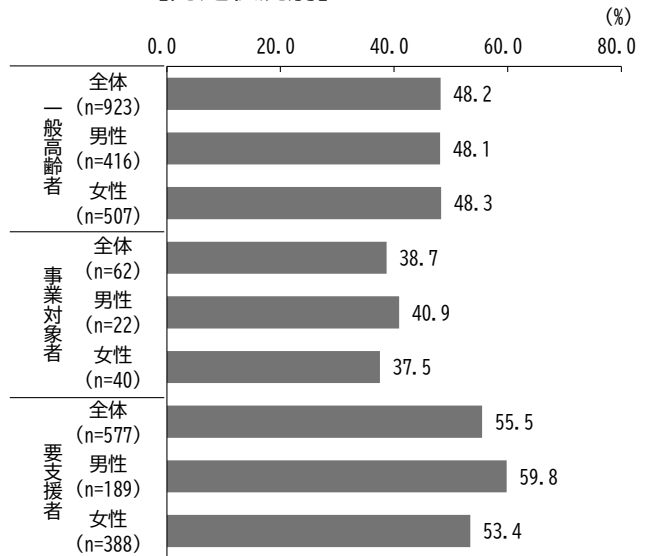
世帯構成・性別にみると、1人暮らしで55.3%(男性57.4%、女性54.4%)が該当しています。男性、女性で比較すると男性が3.0ポイント高くなっています。

日常生活圏域・性別にみると、北部圏域で53.8%(男性56.6%、女性51.9%)が該当しています。男性、女性で比較すると男性が4.7ポイント高くなっています。

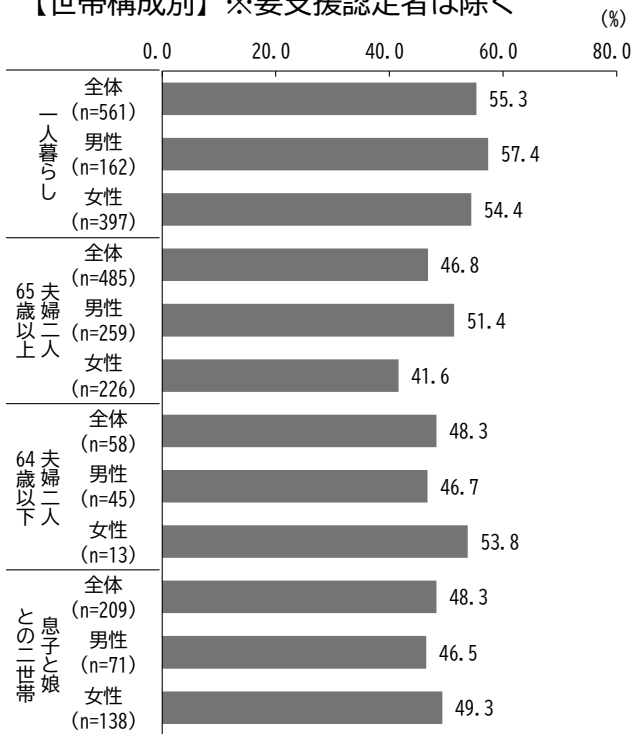
【該当割合】※要支援認定者は除く



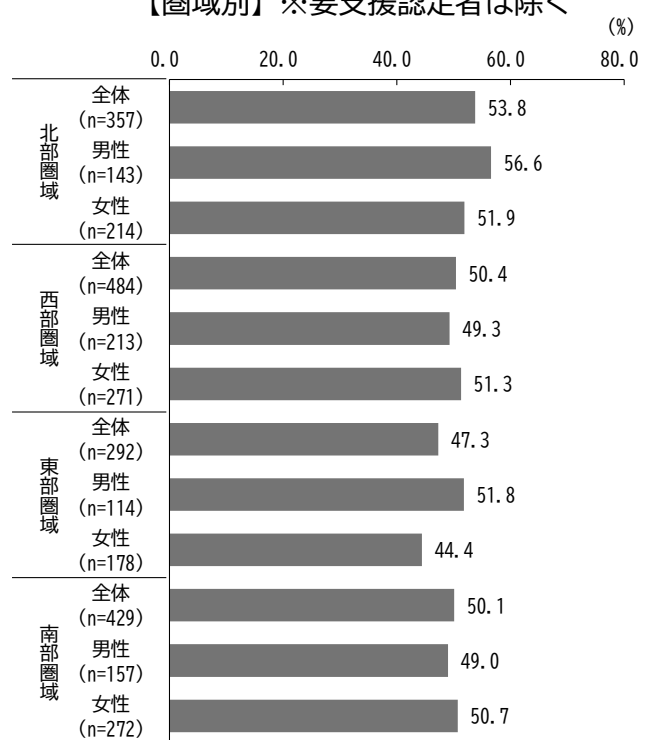
【認定状況別】



【世帯構成別】※要支援認定者は除く



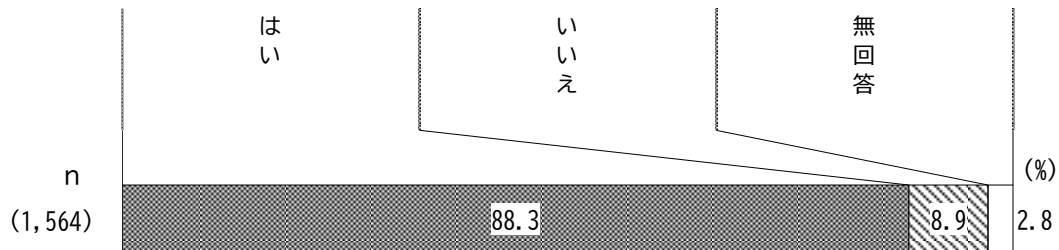
【圏域別】※要支援認定者は除く



(13) 年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書ける

問4 (10) 年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか

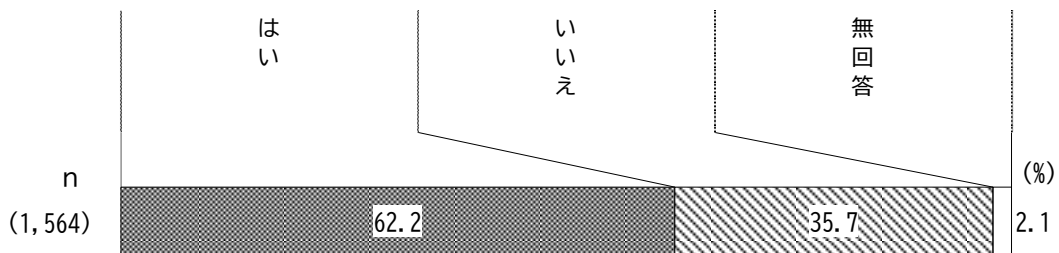
「はい」が88.3%となっています。



(14) 新聞を読んでいる

問4 (11) 新聞を読んでいますか

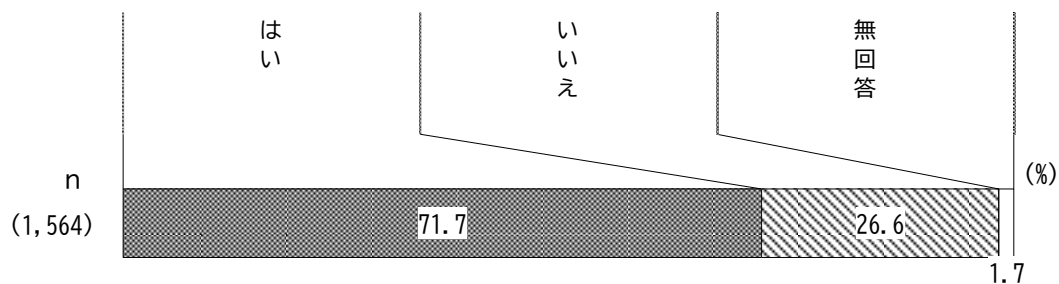
「はい」が62.2%、「いいえ」が35.7%となっています。



(15) 本や雑誌を読んでいる

問4 (12) 本や雑誌を読んでいますか

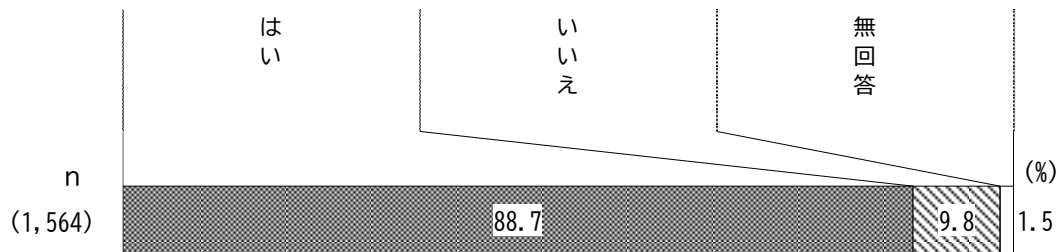
「はい」が71.7%、「いいえ」が26.6%となっています。



(16) 健康についての記事や番組に関心がある

問4 (13) 健康についての記事や番組に関心がありますか

「はい」が88.7%となっています。



第2章 調査結果の詳細① (介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

(17) 社会的役割

ア 設問と評価

老研式活動能力指標には、高齢者の社会活動に関する設問が4問設けられ、「社会的役割」として尺度化されています(問4(14)(15)(19)(20))。

評価は、各設問に「はい」と回答した場合を1点として、4点満点の4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価しています。

なお、評価では、3点以下を低下者と定義しています。

問番号	設問	該当する選択肢
問4(14)	友人の家を訪ねていますか	1点:「はい」
問4(15)	家族や友人の相談にのっていますか	1点:「はい」
問4(19)	病人を見舞うことができますか	1点:「はい」
問4(20)	若い人に自分から話しかけることがありますか	1点:「はい」

イ 評価結果

要支援認定を受けていない回答者985人のうち、62.3%(男性73.1%、女性53.7%)が該当しています。女性より男性で該当割合が高くなっています。

令和元年度の調査結果と比べると、全体で1.8ポイント減少しています。

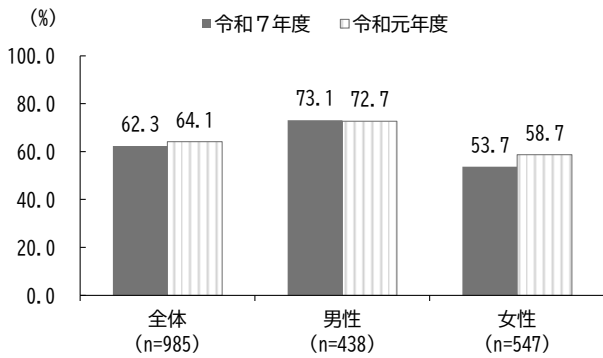
※前回(令和4年度)調査に社会的役割尺度の評価はないため令和元年度調査と比較。

認定状況・性別にみると、要支援者で77.6%(男性84.7%、女性74.2%)が該当しています。男性、女性で比較すると男性が10.5ポイント高くなっています。

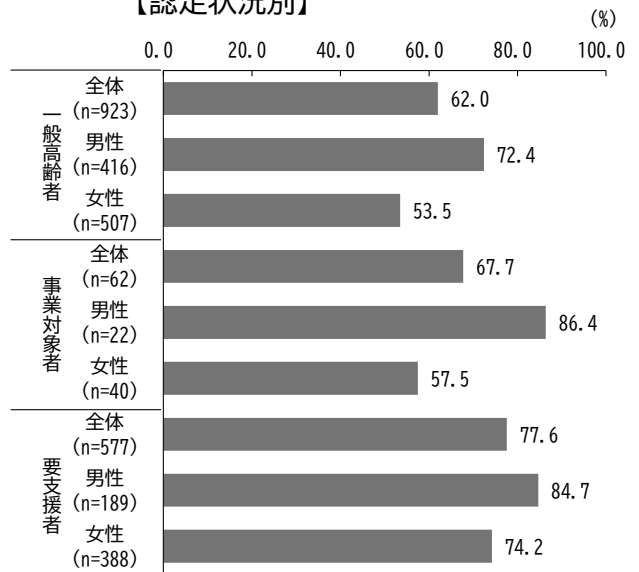
世帯構成・性別にみると、夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)で63.8%(男性72.9%、女性54.2%)が該当しています。男性、女性で比較すると男性が18.7ポイント高くなっています。

日常生活圏域・性別にみると、北部圏域と西部圏域で65.6%(北部圏域男性78.8%、北部圏域女性54.0%、西部圏域男性78.3%、西部圏域女性53.9%)が該当しています。男性、女性で比較すると北部圏域は男性が24.8ポイント高くなっており、西部圏域は男性が24.4ポイント高くなっています。

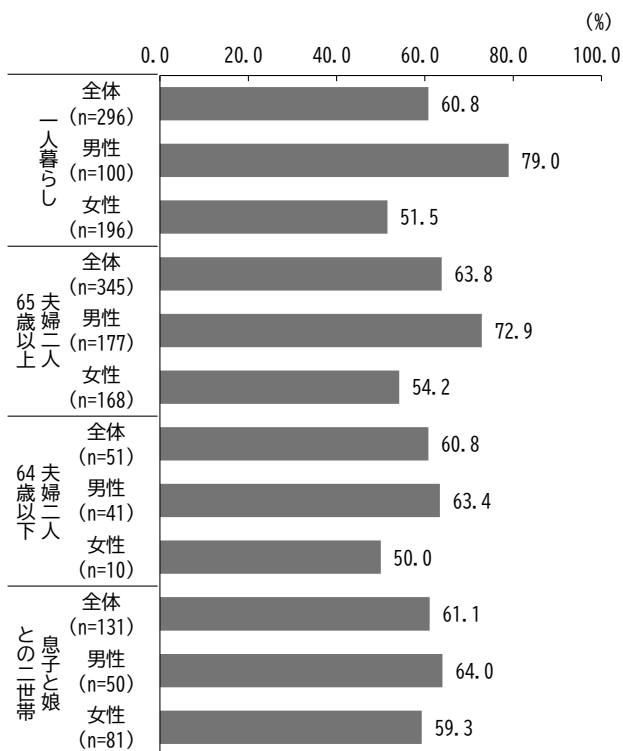
【該当割合】※要支援認定者は除く



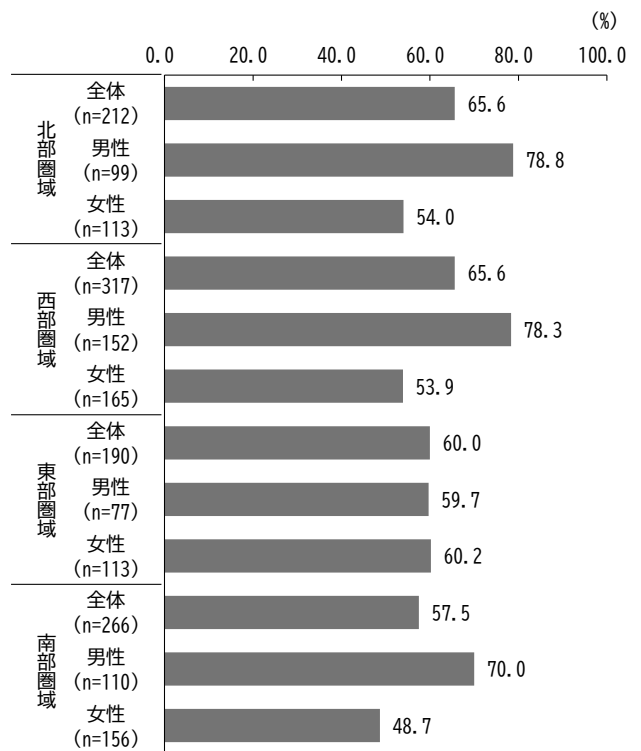
【認定状況別】



【世帯構成別】※要支援認定者は除く



【圏域別】※要支援認定者は除く



第2章 調査結果の詳細①

(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

(18) 虚弱

ア 設問と評価

基本チェックリストでは、うつに関する5問を除いた20問中10問以上に該当した場合、虚弱と判断され、サービス・活動事業の対象者となります。

この項目は、運動や栄養などの個別の評価項目に I A D L※や社会生活に関する設問を加えた生活機能の総合評価としての位置づけになります。

※買物や金銭管理など、地域で日常生活を自立して営む能力で、ADL（日常生活動作）よりも複雑な動作や判断力を要する。

	問番号	設問	該当する選択肢
日常生活	問4 (5)	バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)	「できるけどしていない」 「できない」
	問4 (6)	自分で食品・日用品の買物をしていますか	「できるけどしていない」 「できない」
	問4 (9)	自分で預貯金の出し入れをしていますか	「できるけどしていない」 「できない」
	問4 (14)	友人の家を訪ねていますか	「いいえ」
	問4 (15)	家族や友人の相談にのっていますか	「いいえ」
運動	問2 (1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	「できるけどしていない」 「できない」
	問2 (2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	「できるけどしていない」 「できない」
	問2 (3)	15分位続けて歩いていますか	「できるけどしていない」 「できない」
	問2 (4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	「何度もある」 「1度ある」
	問2 (5)	転倒に対する不安は大きいですか	「とても不安である」 「やや不安である」
栄養	問3 (1)	身長 (cm)・体重 (kg)	BMI <18.5
	問3 (7)	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	「はい」
口腔	問3 (2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	「はい」
	問3 (3)	お茶や汁物等でむせることがありますか	「はい」
	問3 (4)	口の渇きが気になりますか	「はい」
閉じこもり	問2 (6)	週に1回以上は外出していますか	「ほとんど外出しない」
	問2 (7)	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	「とても減っている」 「減っている」
認知機能	問4 (1)	物忘れが多いと感じますか	「はい」
	問4 (3)	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	「いいえ」
	問4 (4)	今日が何月何日かわからない時がありますか	「はい」

イ 評価結果

要支援認定を受けていない回答者985人のうち、4.7%（男性4.3%、女性4.9%）が該当しています。男性より女性で該当割合が高くなっています。

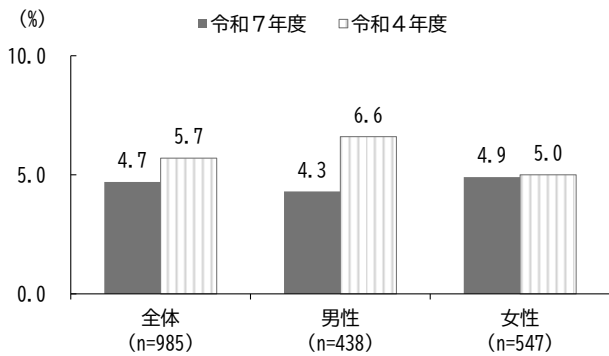
前回の調査結果と比べると、全体で1.0ポイント減少しています。

認定状況・性別にみると、事業対象者で9.7%（男性13.6%、女性7.5%）が該当しています。男性、女性で比較すると男性が6.1ポイント高くなっています。

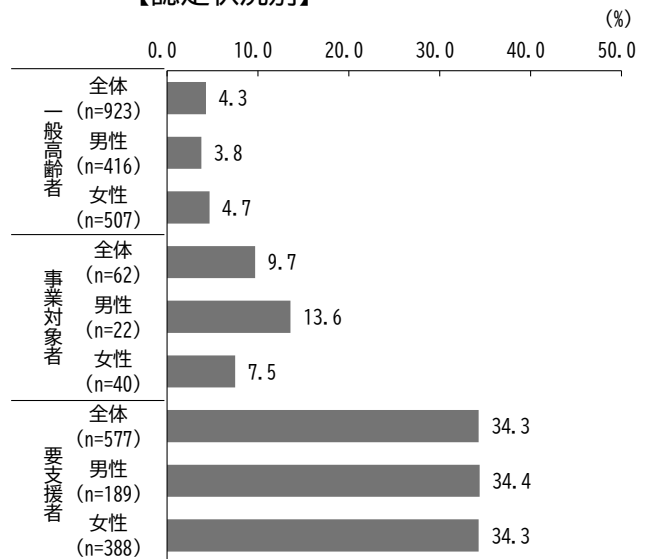
世帯構成・性別にみると、夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）で9.8%（男性7.3%、女性20.0%）が該当しています。男性、女性で比較すると女性が12.7ポイント高くなっています。

日常生活圏域・性別にみると、西部圏域で5.4%（男性5.9%、女性4.8%）が該当しています。男性、女性で比較すると男性が1.1ポイント高くなっています。

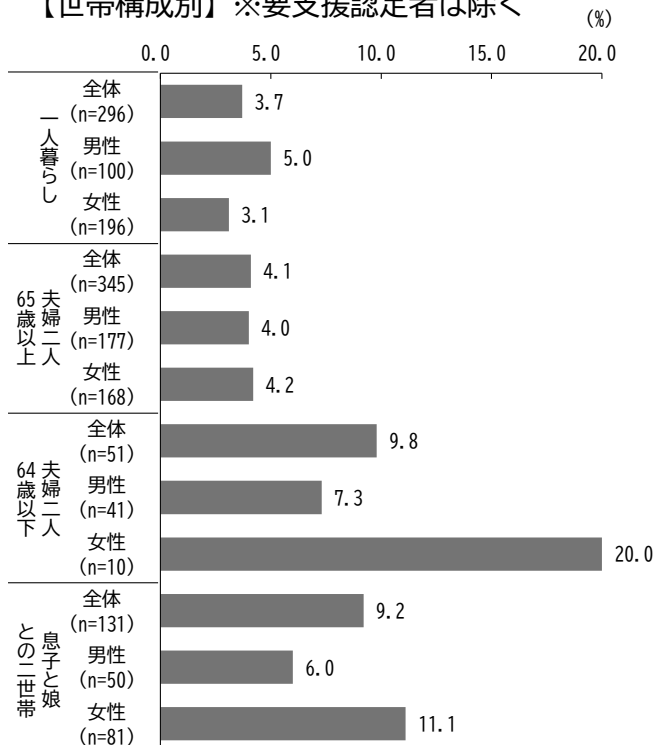
【該当割合】※要支援認定者は除く



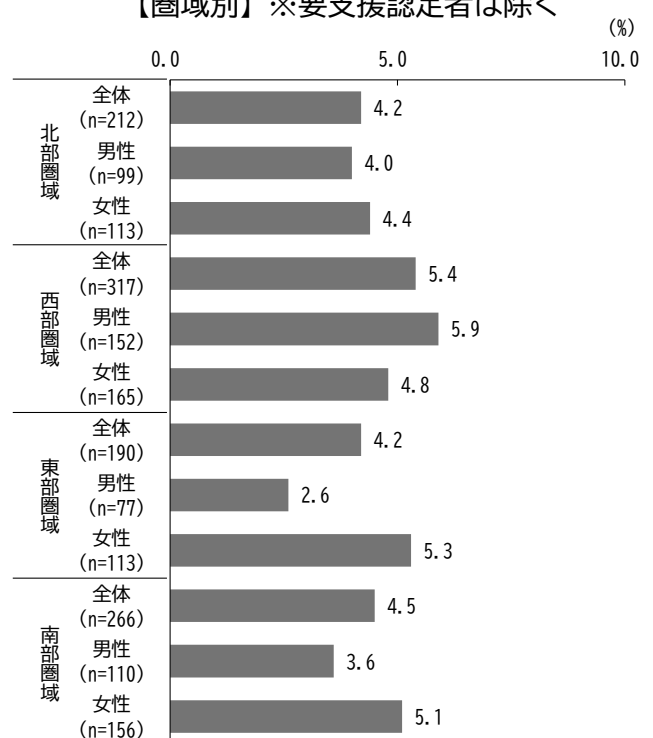
【認定状況別】



【世帯構成別】※要支援認定者は除く



【圏域別】※要支援認定者は除く



第2章 調査結果の詳細①
 (介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

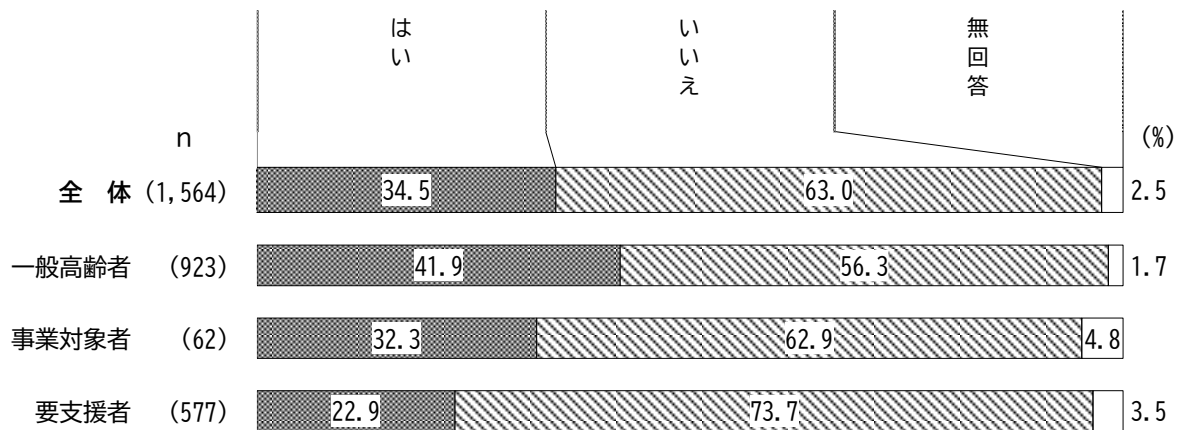
(19) 友人の家を訪ねている

問4 (14) 友人の家を訪ねていますか

「はい」が34.5%、「いいえ」が63.0%となっています。

認定状況別にみると、“一般高齢者”で「はい」が41.9%と高くなっています。一方、“要支援者”で「いいえ」が73.7%と高くなっています。

【認定状況別】



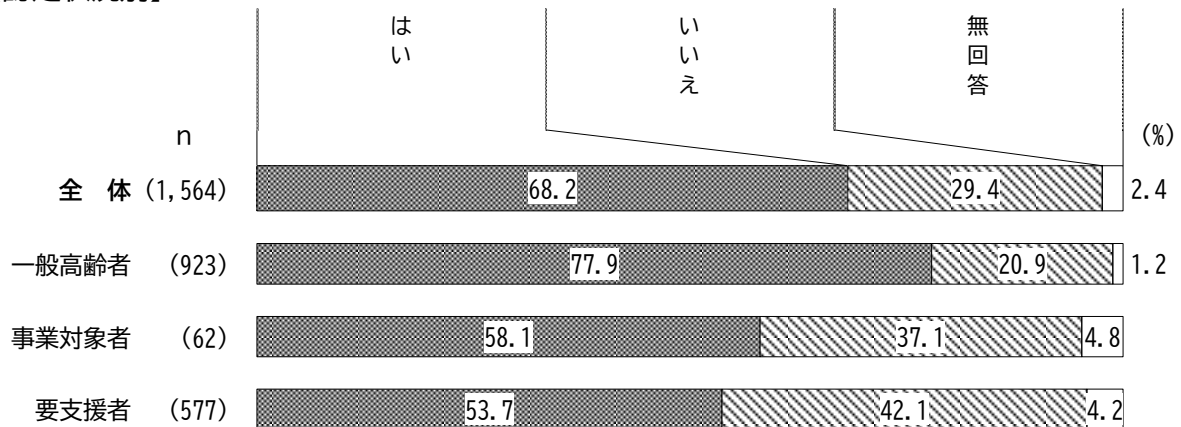
(20) 家族や友人の相談にのっている

問4 (15) 家族や友人の相談にのっていますか

「はい」が68.2%、「いいえ」が29.4%となっています。

認定状況別にみると、“一般高齢者”で「はい」が77.9%と高くなっています。

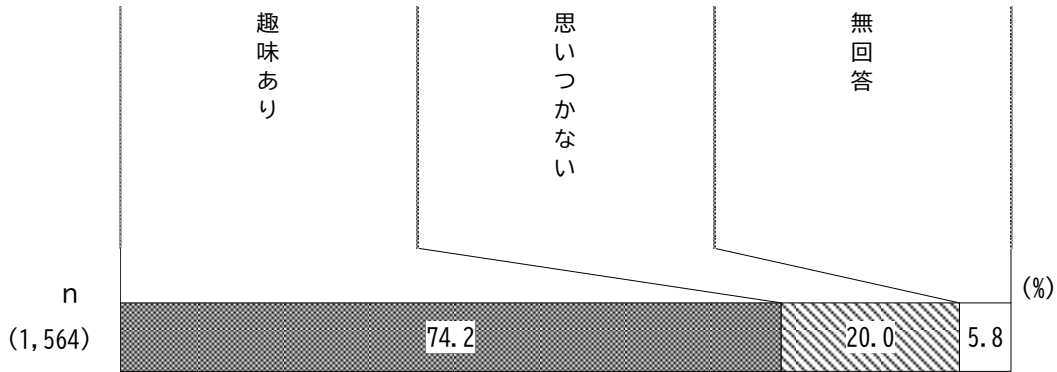
【認定状況別】



(21) 趣味の有無

問4 (16) 趣味はありますか

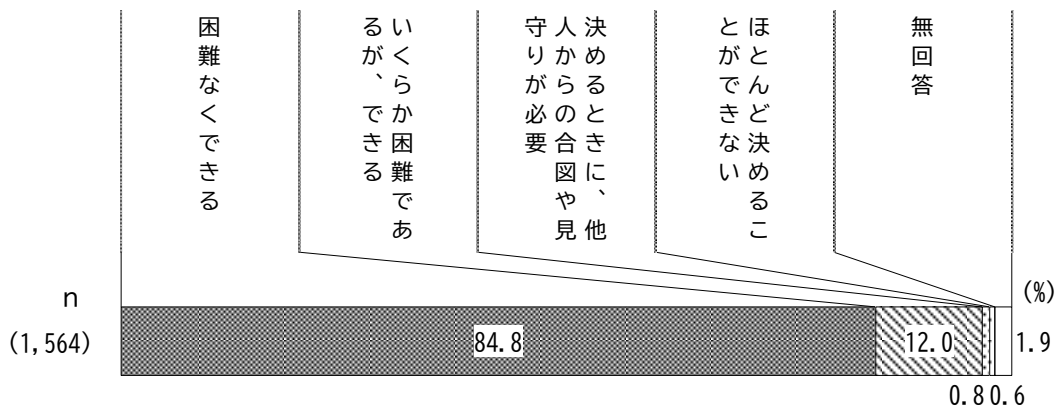
「趣味あり」が74.2%となっています。



(22) 日々の活動の意思決定

問4 (17) その日の活動（食事の内容や衣服を選ぶことなど）を自分で決めることができますか

「困難なくできる」が84.8%となっています。

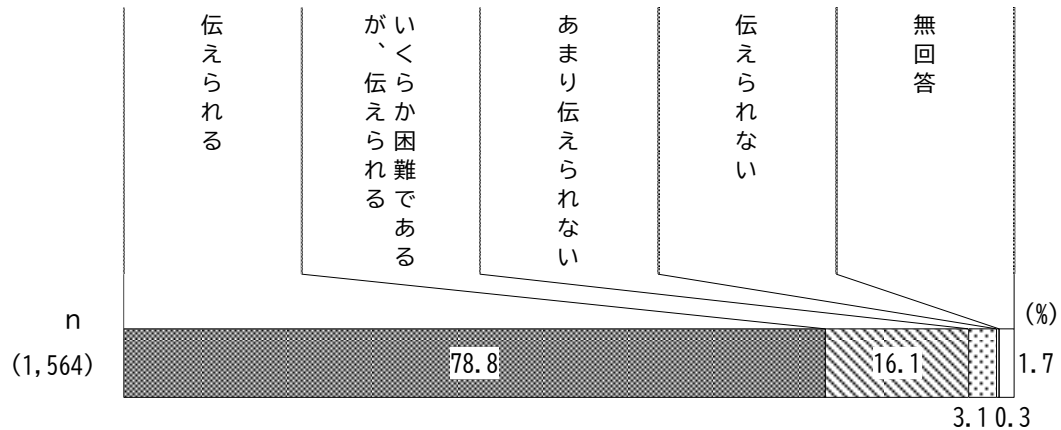


第2章 調査結果の詳細①
(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

(23) 人に自分の考えをうまく伝えられる

問4 (18) 人に自分の考えをうまく伝えられますか

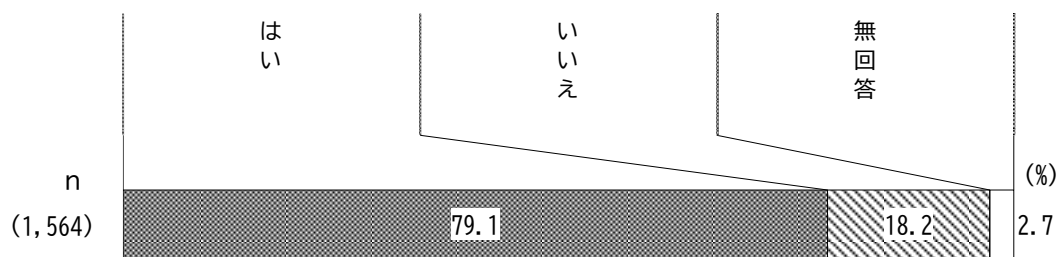
「伝えられる」が78.8%で最も高く、次いで「いくらか困難であるが、伝えられる」が16.1%となっています。



(24) 病人を見舞うことができる

問4 (19) 病人を見舞うことができますか

「はい」が79.1%、「いいえ」が18.2%となっています。



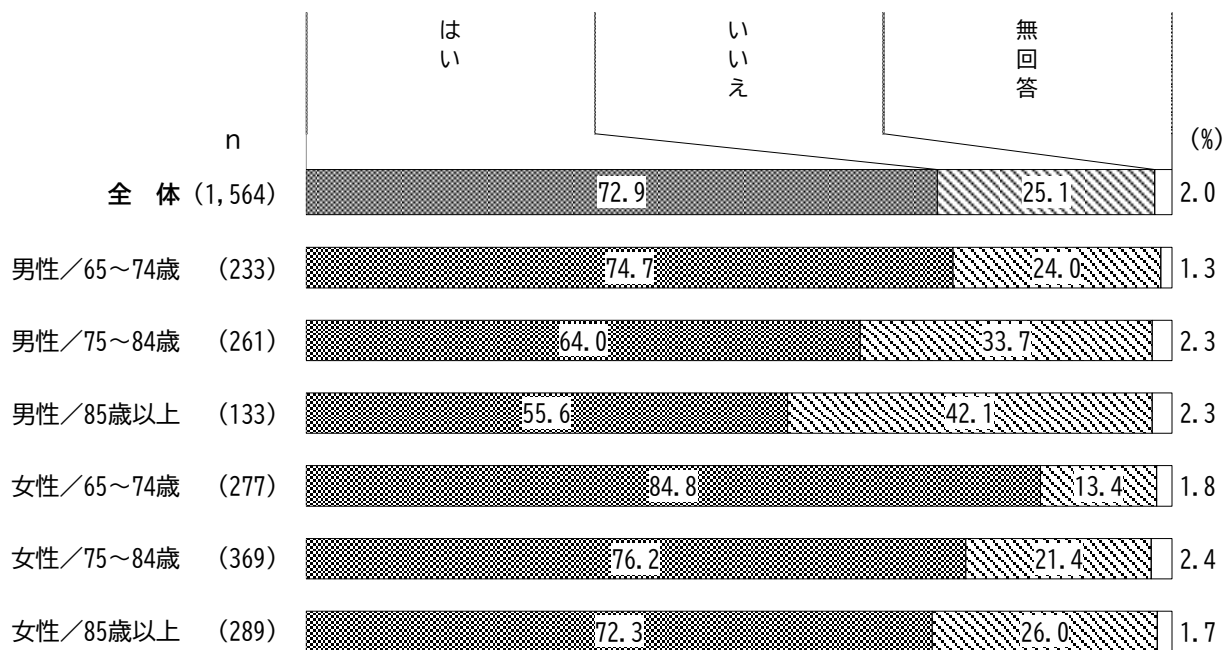
(25) 若い人に自分から話しかけることがある

問4 (20) 若い人に自分から話しかけることがありますか

「はい」が72.9%、「いいえ」が25.1%となっています。

性・年齢別にみると、“男性65～74歳”で「はい」が74.7%、“女性65～74歳”で84.8%と高くなっています。

【性・年齢別】

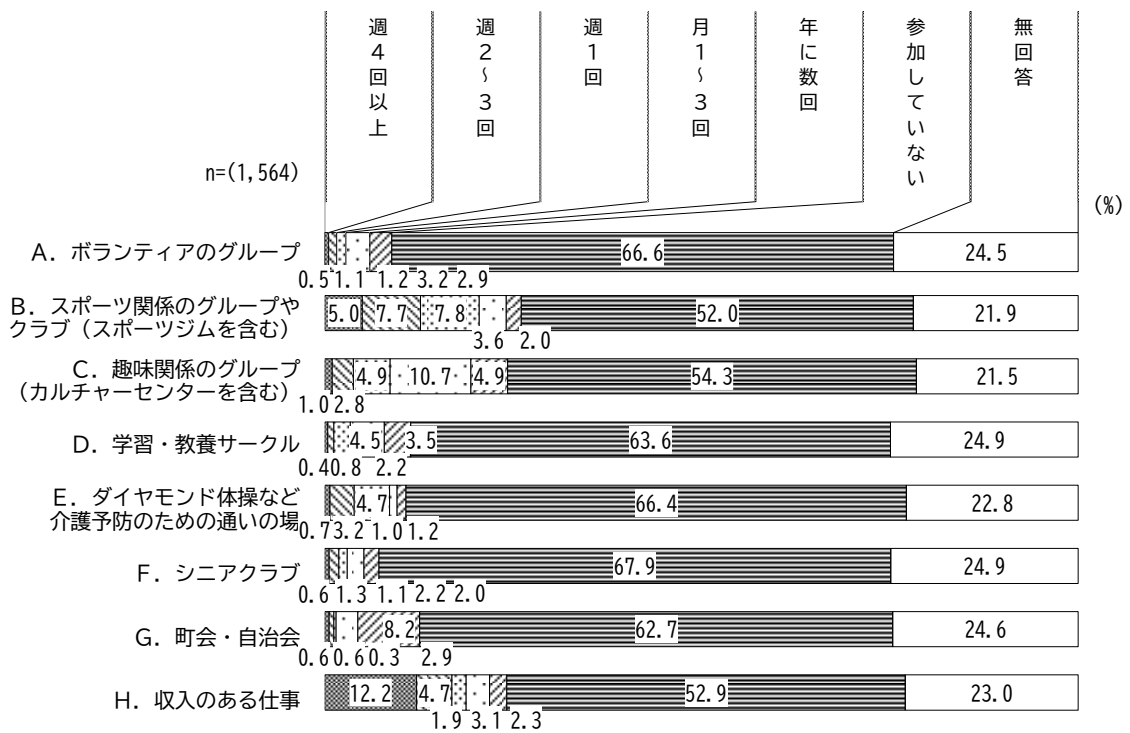


6. 地域の活動について

(1) 会・グループ等への参加頻度

問5 (1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか
 ※A-Hそれぞれにご回答ください

年に数回以上参加している割合は、“スポーツ関係のグループやクラブ（スポーツジムを含む）”
 “趣味関係のグループ（カルチャーセンターを含む）” “収入のある仕事” で2割以上と比較的高く
 なっています。



A. ボランティアのグループ

年に数回以上参加している割合は、8.9%となっています。

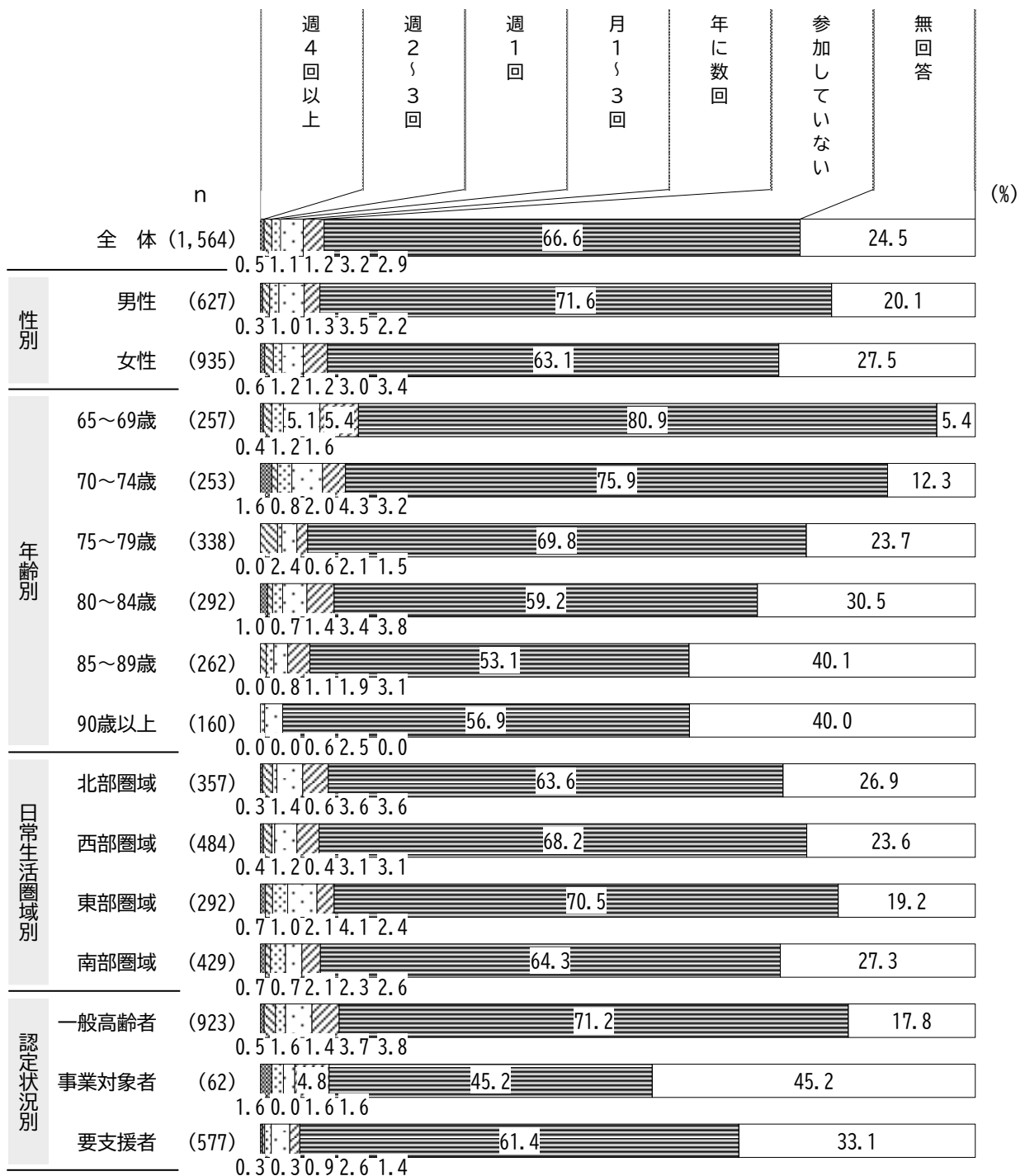
性別にみると、大きな違いはみられません。

年齢別にみると、“65～69歳”で年に数回以上参加している割合が13.7%と高くなっています。

日常生活圏域別にみると、大きな違いはみられません。

認定状況別にみると、“一般高齢者”で年に数回以上参加している割合が11.0%と高くなっています。

【性別、年齢別、圏域別、認定状況別】



第2章 調査結果の詳細①
 (介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

B. スポーツ関係のグループやクラブ (スポーツジムを含む)

年に数回以上参加している割合は、26.1%となっています。

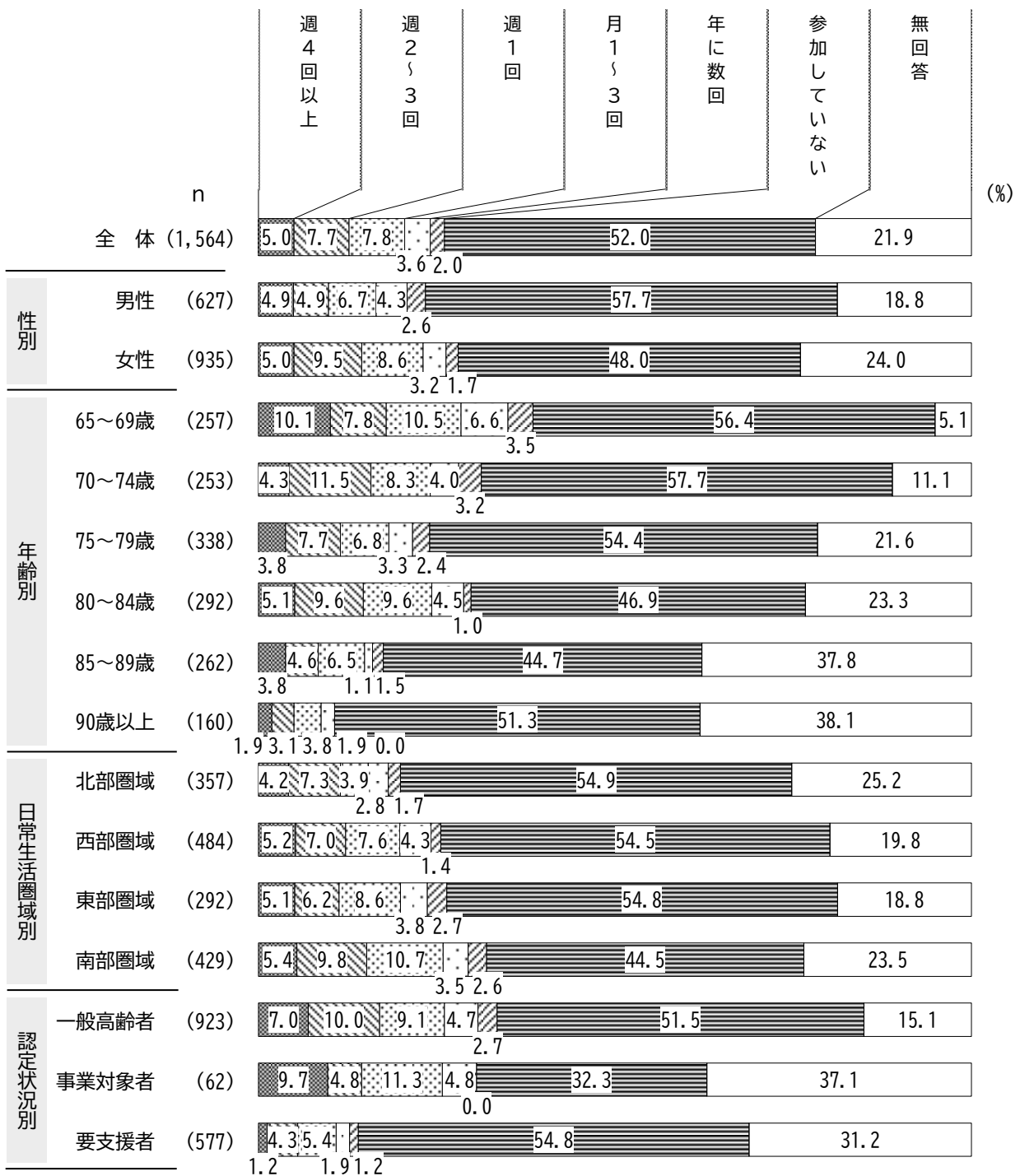
性別にみると、“女性”で年に数回以上参加している割合が28.0%と高くなっています。

年齢別にみると、“65～69歳”で年に数回以上参加している割合が38.5%と高くなっています。

日常生活圏域別にみると、“南部圏域”で年に数回以上参加している割合が32.0%と高くなっています。

認定状況別にみると、“一般高齢者”で年に数回以上参加している割合が33.5%と高くなっています。

【性別、年齢別、圏域別、認定状況別】



C. 趣味関係のグループ（カルチャーセンターを含む）

年に数回以上参加している割合は、24.3%となっています。

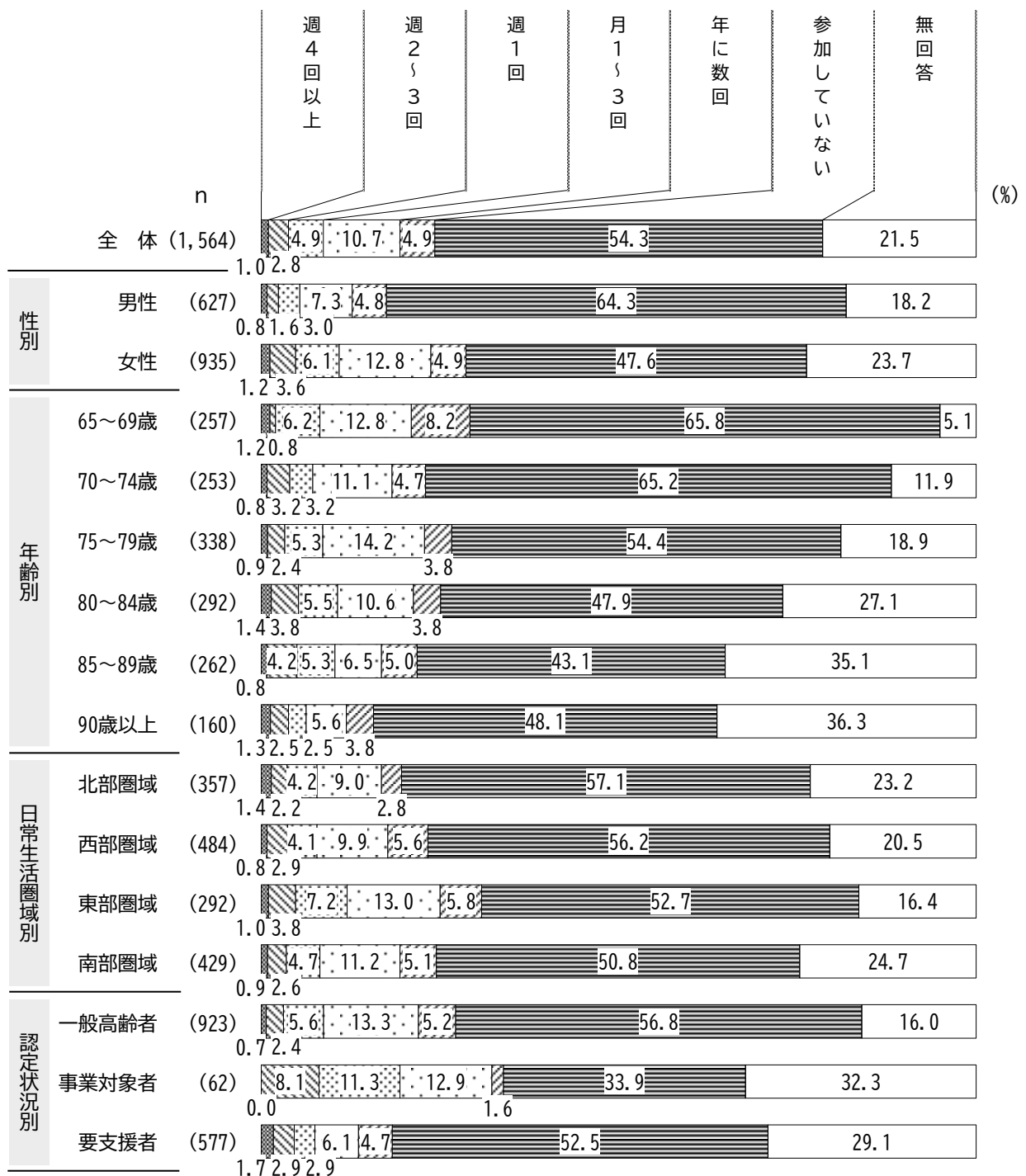
性別にみると、“女性”で年に数回以上参加している割合が28.6%と高くなっています。

年齢別にみると、“65～69歳”で年に数回以上参加している割合が29.2%と高くなっています。

日常生活圏域別にみると、“東部圏域”で年に数回以上参加している割合が30.8%と高くなっています。

認定状況別にみると、“事業対象者”で年に数回以上参加している割合が33.9%と高くなっています。

【性別、年齢別、圏域別、認定状況別】



第2章 調査結果の詳細①
 (介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

D. 学習・教養サークル

年に数回以上参加している割合は、11.4%となっています。

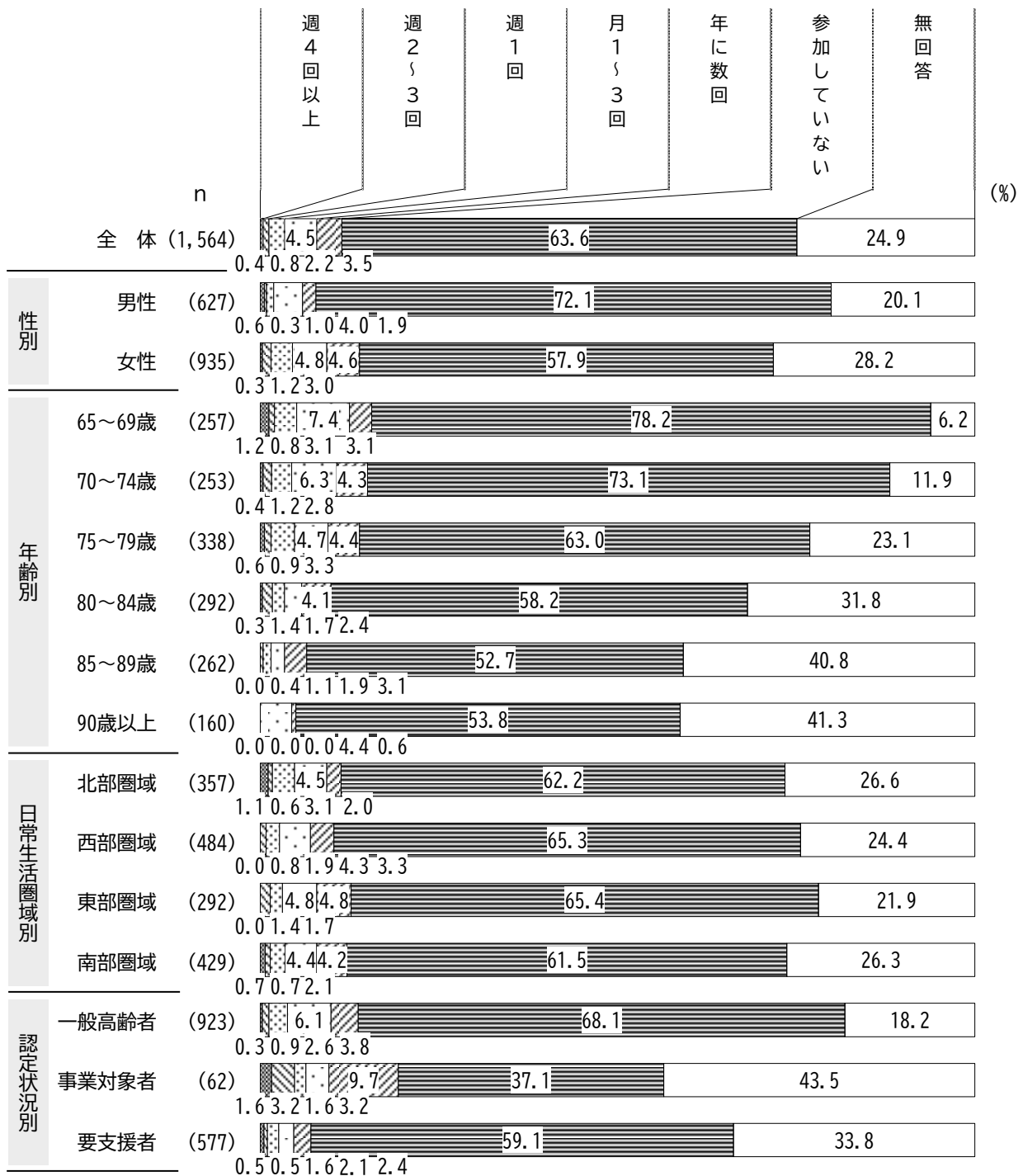
性別にみると、“女性”で年に数回以上参加している割合が13.9%と高くなっています。

年齢別にみると、“65～69歳”で年に数回以上参加している割合が15.6%、“70～74歳”で15.0%と高くなっています。

日常生活圏域別にみると、大きな違いはみられません。

認定状況別にみると、“事業対象者”で年に数回以上参加している割合が19.3%と高くなっています。

【性別、年齢別、圏域別、認定状況別】



E. ダイヤモンド体操など介護予防のための通いの場

年に数回以上参加している割合は、10.8%となっています。

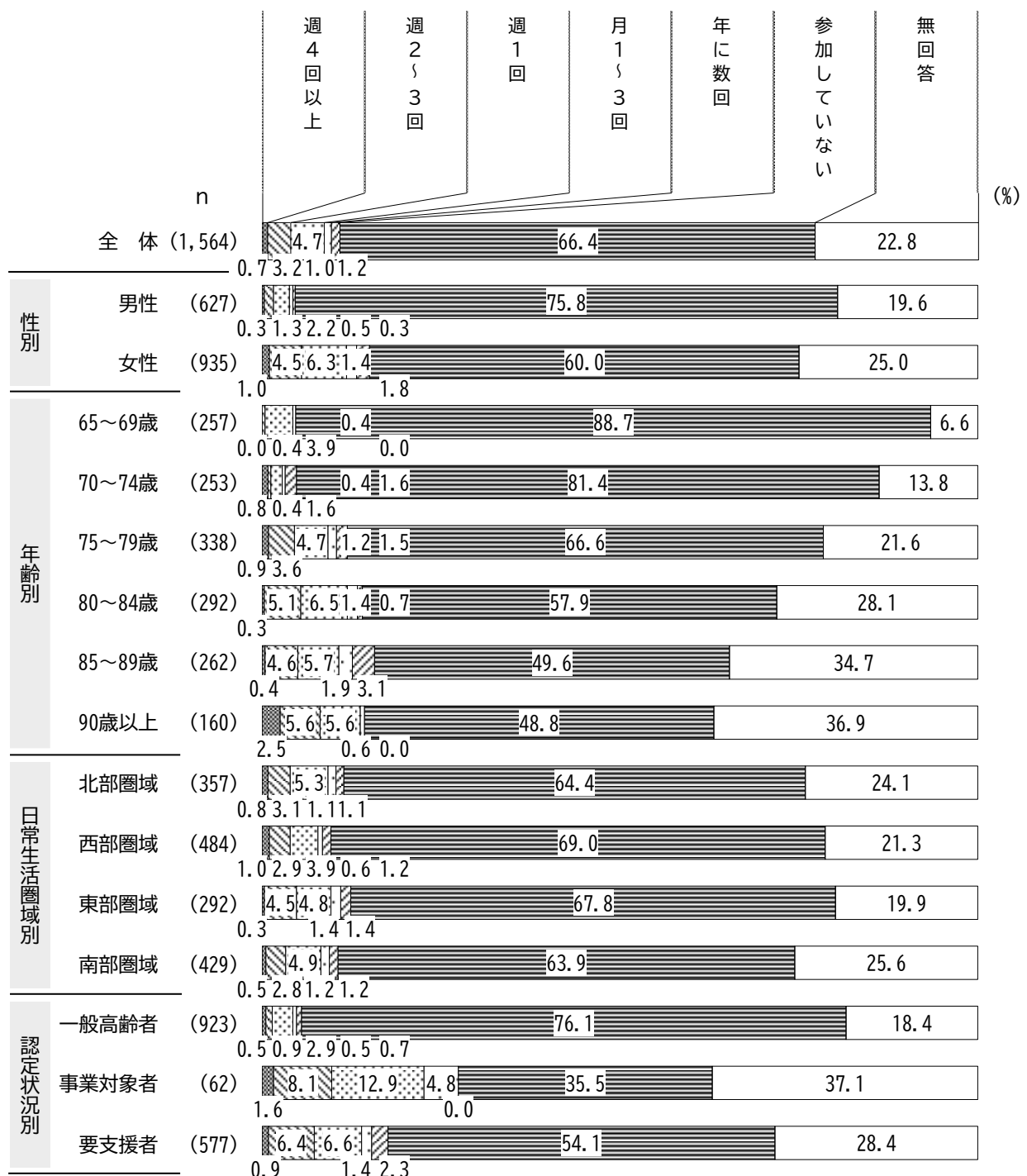
性別にみると、“女性”で年に数回以上参加している割合が15.0%と高くなっています。

年齢別にみると、“85～89歳”で年に数回以上参加している割合が15.7%、“90歳以上”で14.3%と高くなっています。

日常生活圏域別にみると、大きな違いはみられません。

認定状況別にみると、“事業対象者”で年に数回以上参加している割合が27.4%と高くなっています。

【性別、年齢別、圏域別、認定状況別】



第2章 調査結果の詳細①
 (介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

F. シニアクラブ

年に数回以上参加している割合は、7.2%となっています。

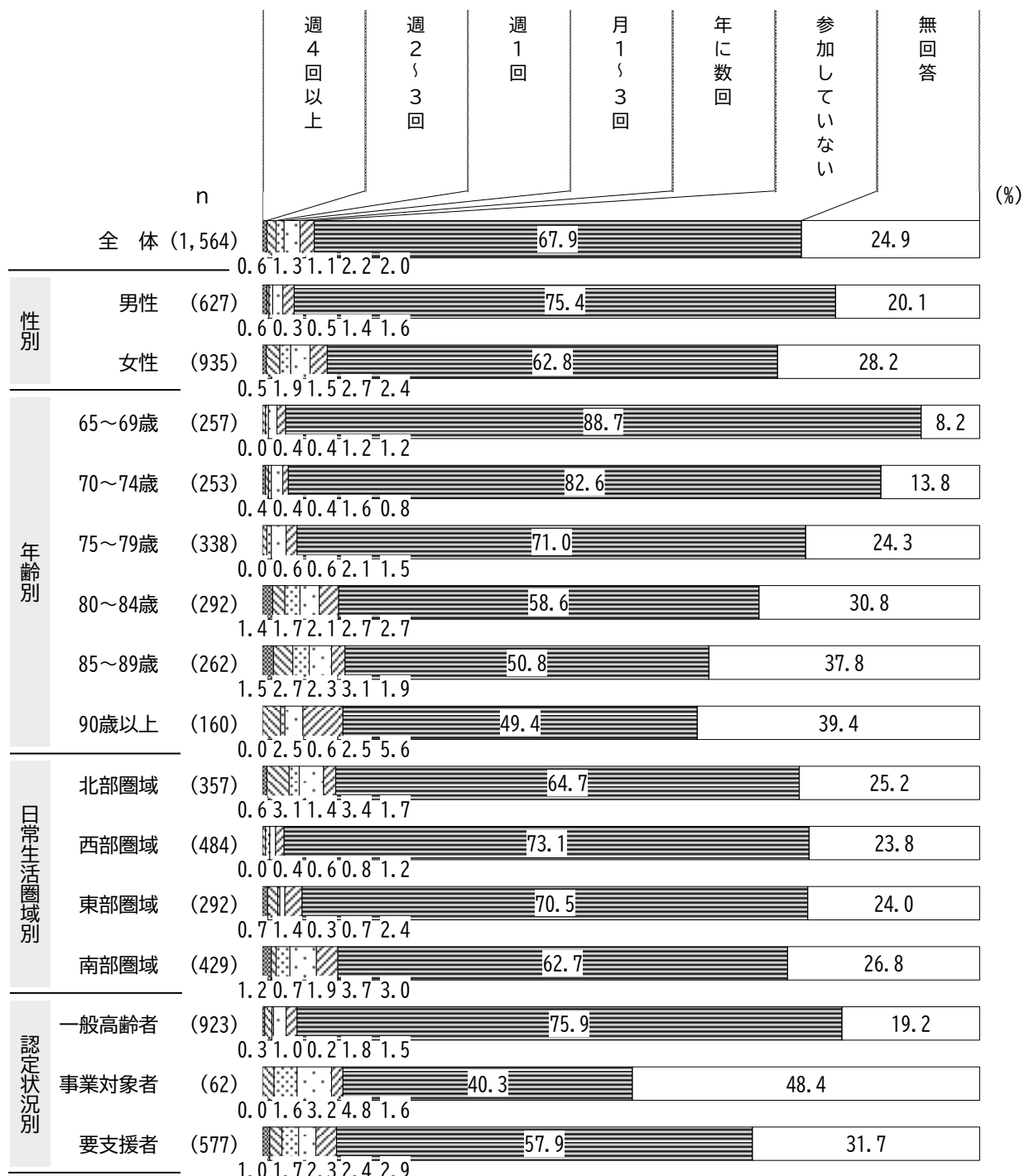
性別にみると、“女性”で年に数回以上参加している割合が9.0%と高くなっています。

年齢別にみると、“85～89歳”で年に数回以上参加している割合が11.5%、“90歳以上”で11.2%、“80～84歳”で10.6%と高くなっています。

日常生活圏域別にみると、“南部圏域”で年に数回以上参加している割合が10.5%、“北部圏域”で10.2%と高くなっています。

認定状況別にみると、“事業対象者”で年に数回以上参加している割合が11.2%、“要支援者”で10.3%と高くなっています。

【性別、年齢別、圏域別、認定状況別】



G. 町会・自治会

年に数回以上参加している割合は、12.6%となっています。

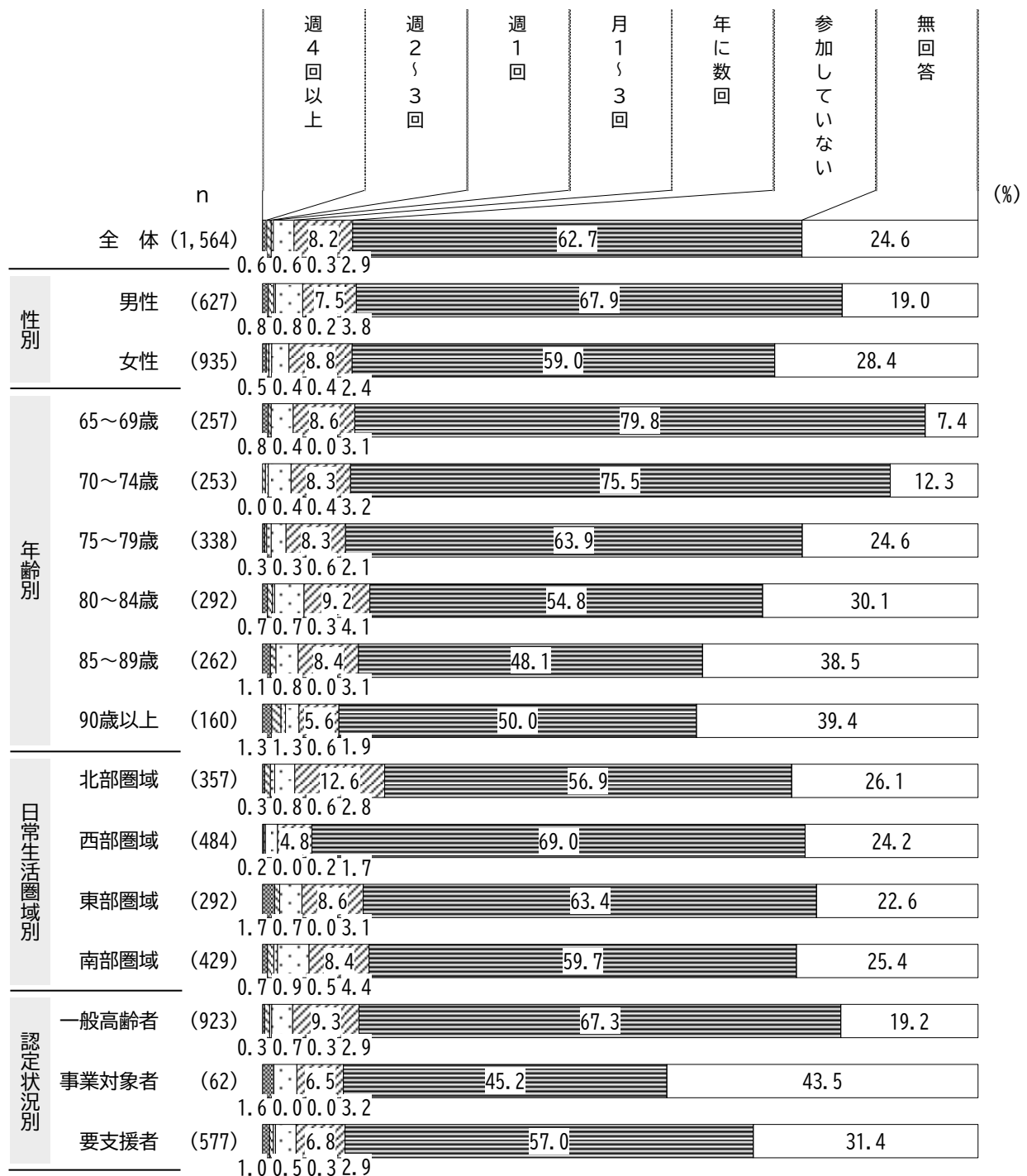
性別にみると、大きな違いはみられません。

年齢別にみると、“80～84歳”で年に数回以上参加している割合が15.0%と高くなっています。

日常生活圏域別にみると、“北部圏域”で年に数回以上参加している割合が17.1%と高くなっています。

認定状況別にみると、大きな違いはみられません。

【性別、年齢別、圏域別、認定状況別】



第2章 調査結果の詳細①
(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

H. 収入のある仕事

年に数回以上参加している割合は、24.2%となっています。

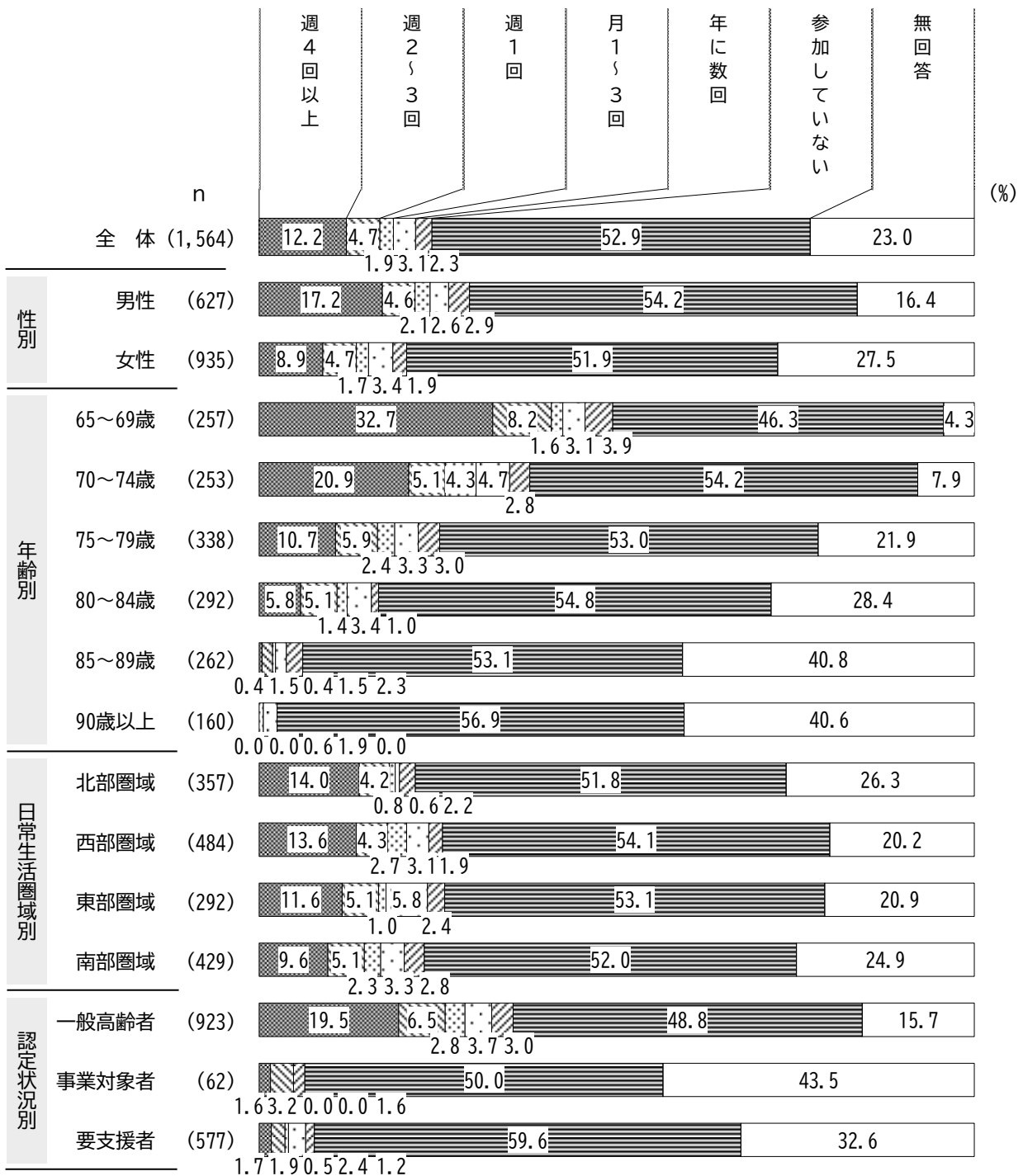
性別にみると、“男性”で年に数回以上参加している割合が29.4%と高くなっています。

年齢別にみると、“65～69歳”で年に数回以上参加している割合が49.5%と高くなっています。

日常生活圏域別にみると、“東部圏域”で年に数回以上参加している割合が25.9%、“西部圏域”で25.6%と高くなっています。

認定状況別にみると、“一般高齢者”で年に数回以上参加している割合が35.5%と高くなっています。

【性別、年齢別、圏域別、認定状況別】

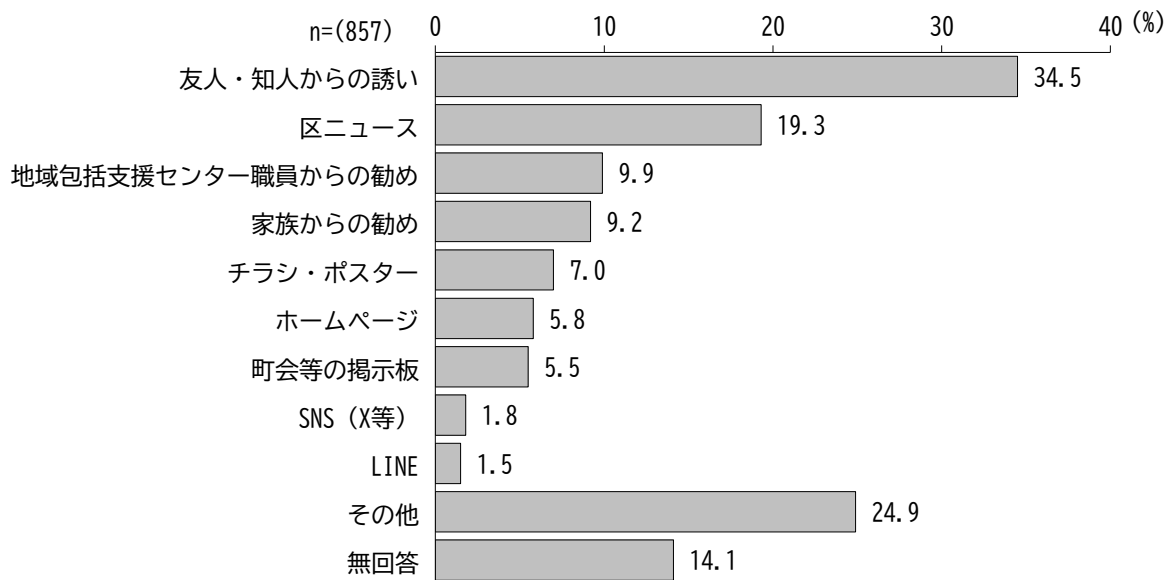


(2) 会・グループへの参加のきっかけ

【(1)において「1. 週4回以上」「2. 週2～3回」「3. 週1回」「4. 月1～3回」と回答した項目がある方のみ】

①参加のきっかけはどれですか (いくつでも)

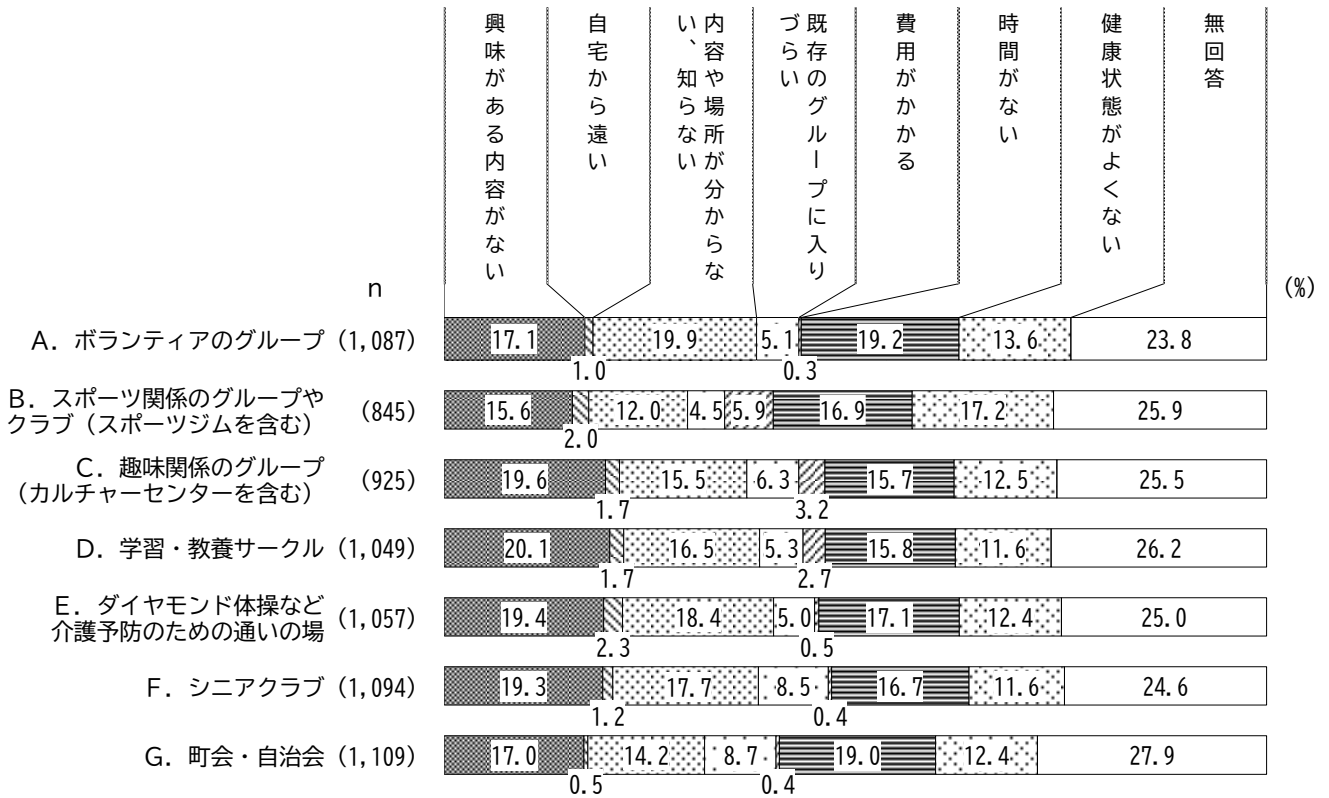
「友人・知人からの誘い」が34.5%で最も高く、次いで「区ニュース」が19.3%となっています。



(3) 参加していない理由

【(1) において「5. 年に数回」「6. 参加していない」に該当した項目のみ】
 ②あまり参加していない、参加していない理由として最も当てはまるものはどれですか
 ※A-Gそれぞれにご回答ください

“学習・教養サークル”で「興味がある内容がない」が20.1%と高くなっています。



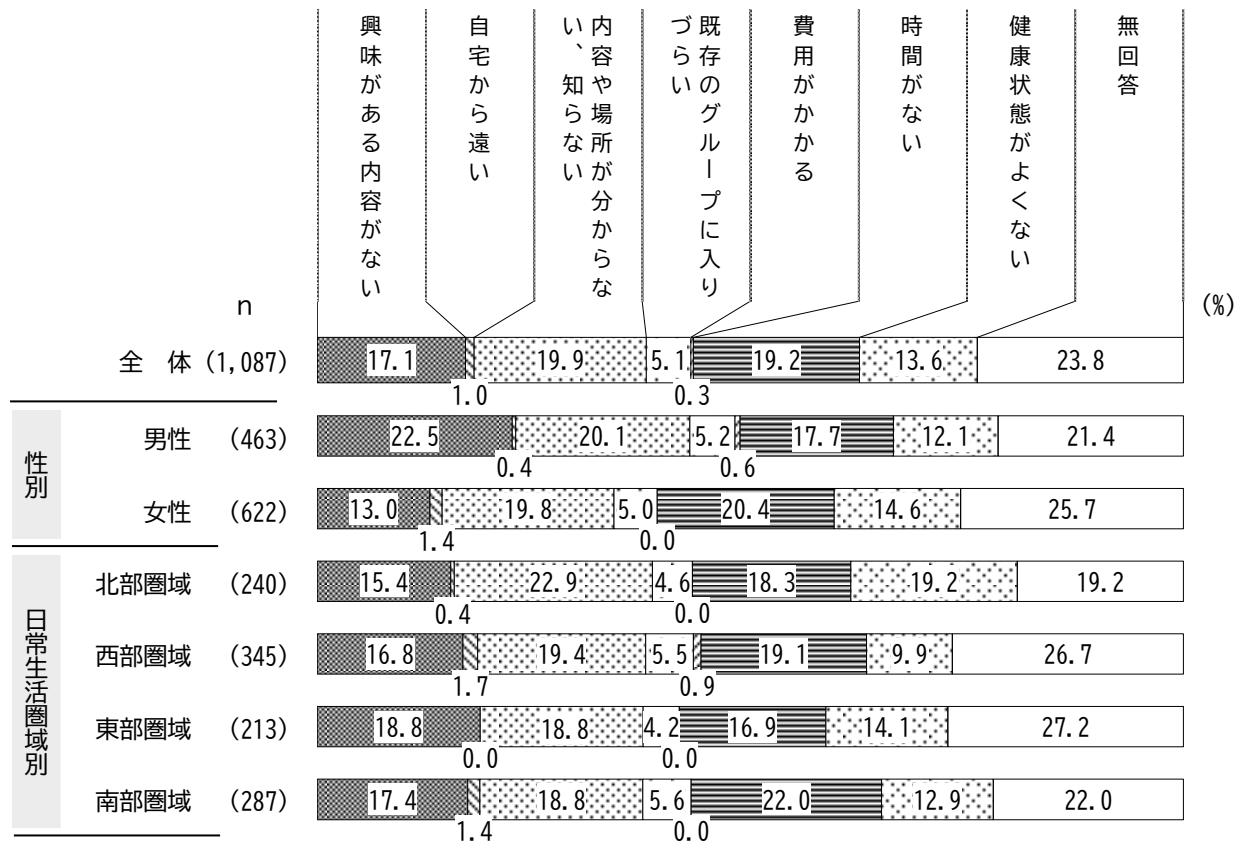
A. ボランティアのグループ

「内容や場所が分からない、知らない」が19.9%で最も高く、次いで「時間がない」が19.2%となっています。

性別にみると、“男性”で「興味がある内容がない」が22.5%と高くなっています。

日常生活圏域別にみると、“北部圏域”で「内容や場所が分からない、知らない」が22.9%と高くなっています。

【性別、圏域別】



第2章 調査結果の詳細①

(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

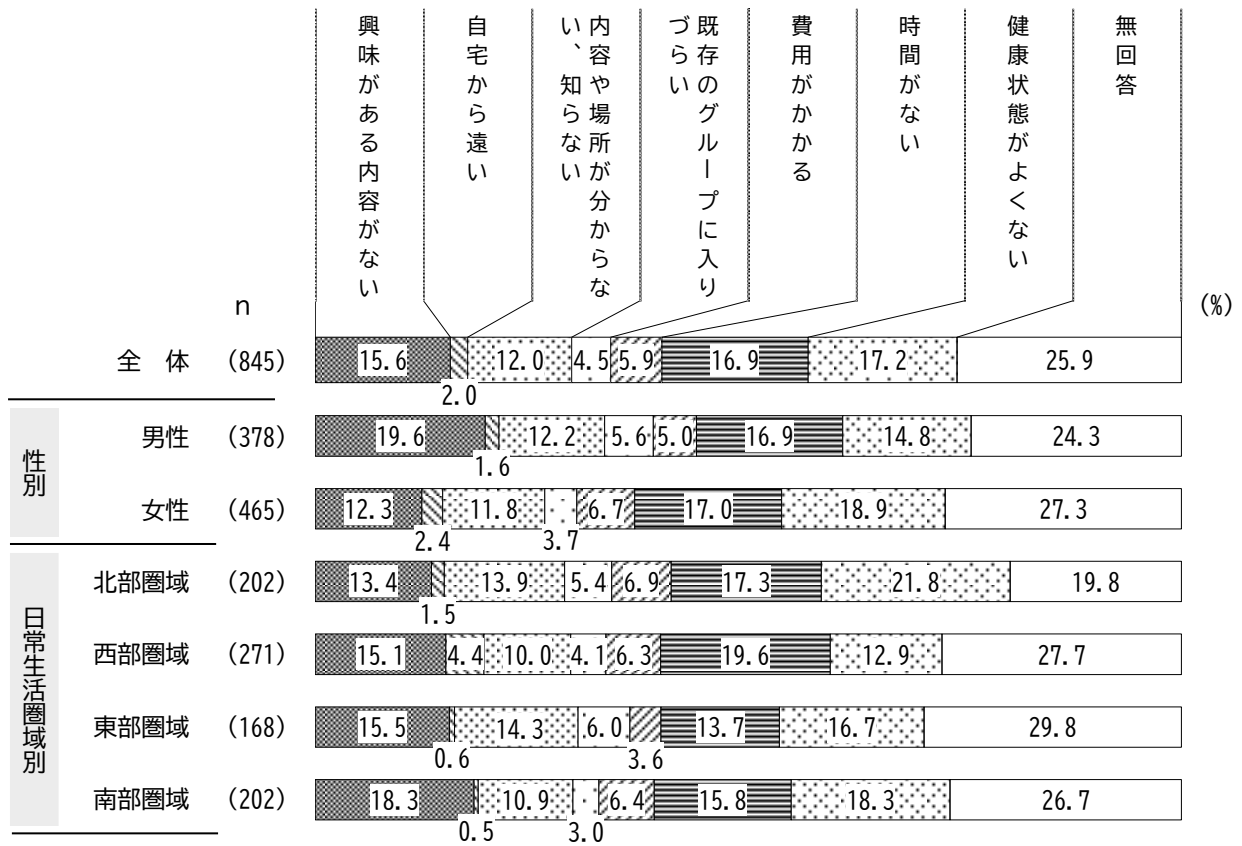
B. スポーツ関係のグループやクラブ（スポーツジムを含む）

「健康状態がよくない」が17.2%で最も高く、次いで「時間がない」が16.9%となっています。

性別にみると、“男性”で「興味がある内容がない」が19.6%と高くなっています。

日常生活圏域別にみると、“北部圏域”で「健康状態がよくない」が21.8%と高くなっています。

【性別、圏域別】

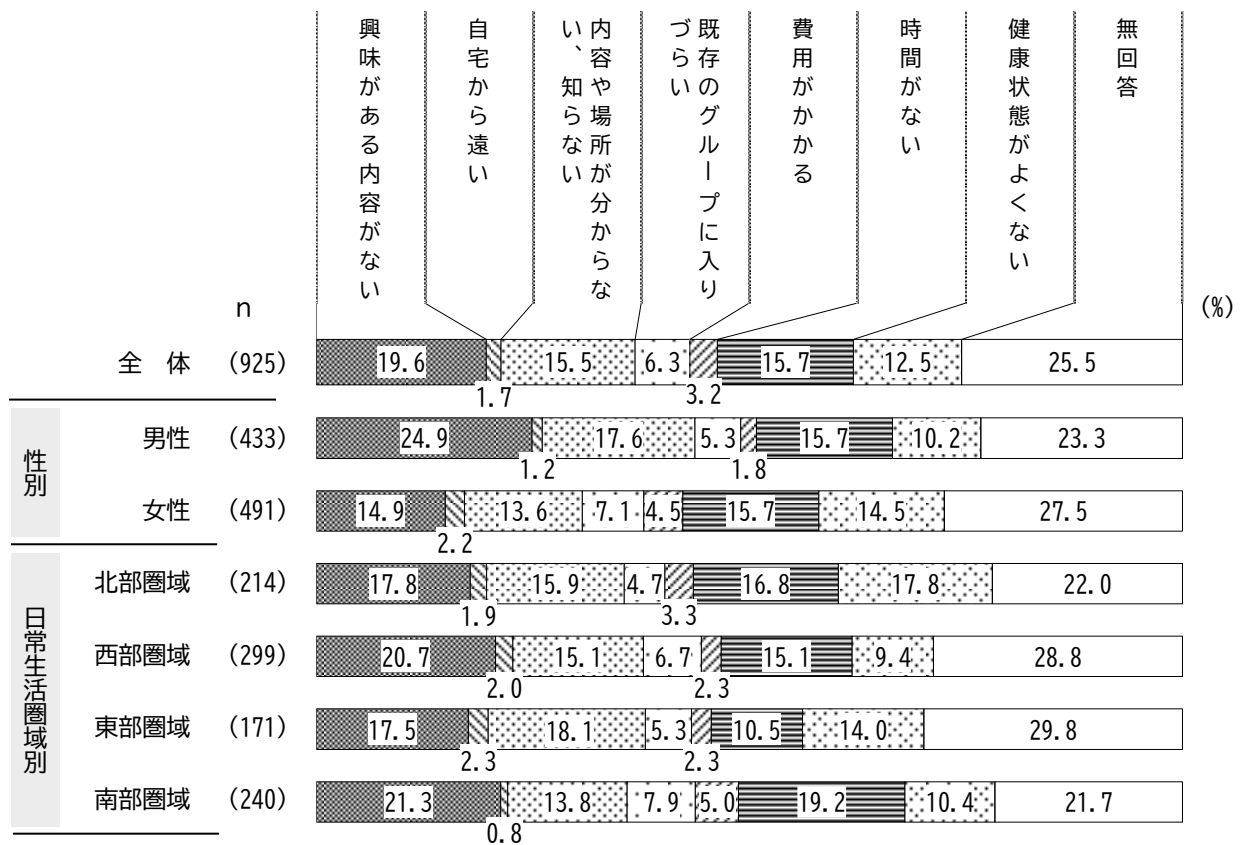


C. 趣味関係のグループ (カルチャーセンターを含む)

「興味がある内容がない」が19.6%で最も高く、次いで「時間がない」が15.7%となっています。
 性別にみると、“男性”で「興味がある内容がない」が24.9%と高くなっています。

日常生活圏域別にみると、“南部圏域”で「興味がある内容がない」が21.3%と高くなっています。

【性別、圏域別】



第2章 調査結果の詳細①
 (介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

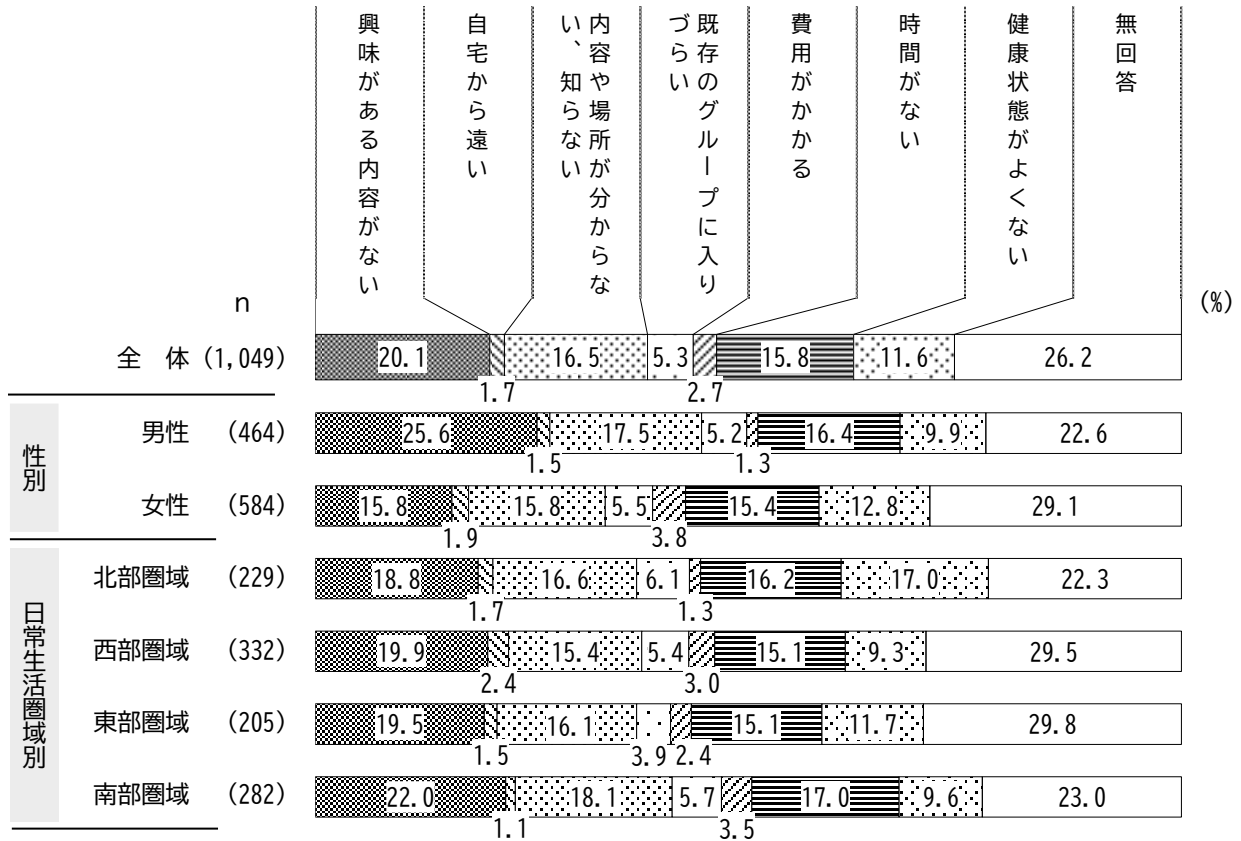
D. 学習・教養サークル

「興味がある内容がない」が20.1%で最も高く、次いで「内容や場所が分からない、知らない」が16.5%となっています。

性別にみると、“男性”で「興味がある内容がない」が25.6%と高くなっています。

日常生活圏域別にみると、“南部圏域”で「興味がある内容がない」が22.0%と高くなっています。

【性別、圏域別】



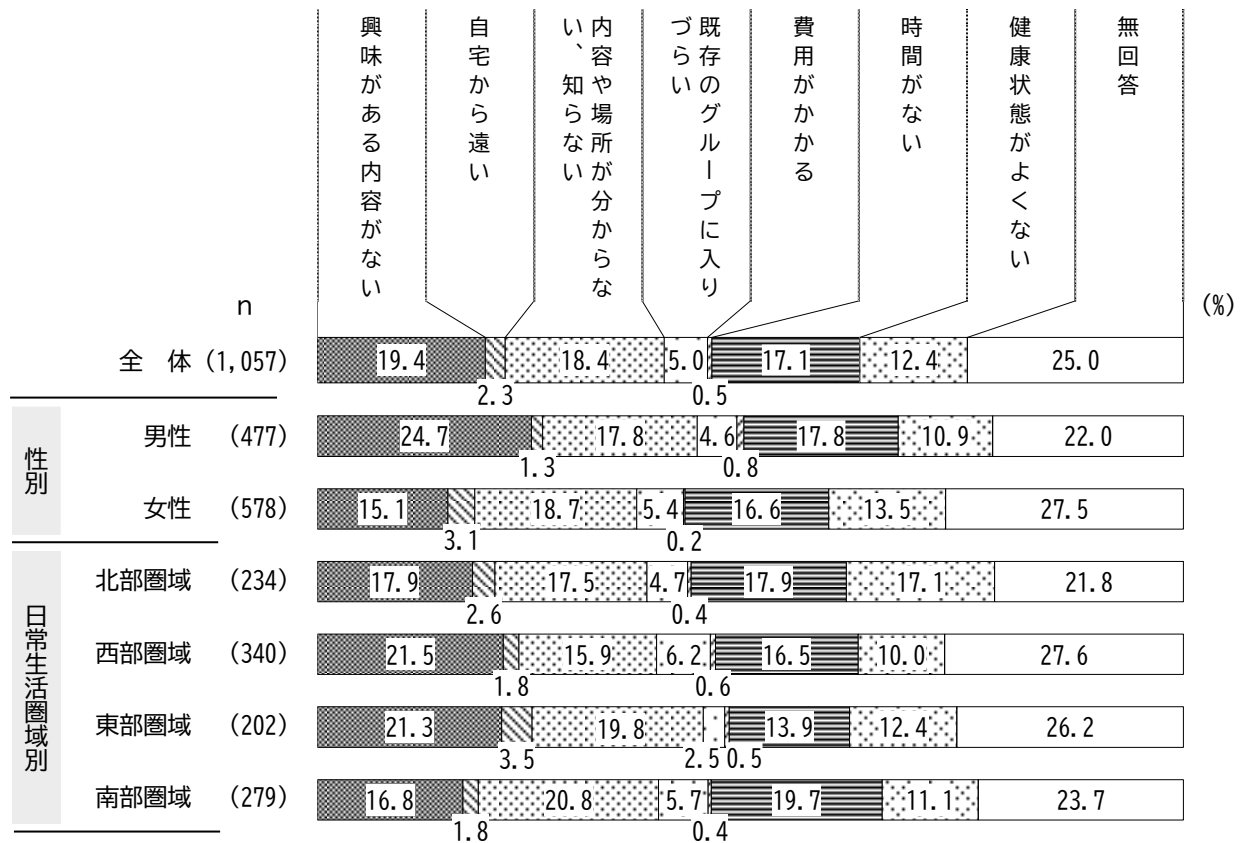
E. ダイヤモンド体操など介護予防のための通いの場

「興味がある内容がない」が19.4%で最も高く、次いで「内容や場所が分からない、知らない」が18.4%となっています。

性別にみると、“男性”で「興味がある内容がない」が24.7%と高くなっています。

日常生活圏域別にみると、“西部圏域”で「興味がある内容がない」が21.5%と高くなっています。

【性別、圏域別】



第2章 調査結果の詳細①
 (介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

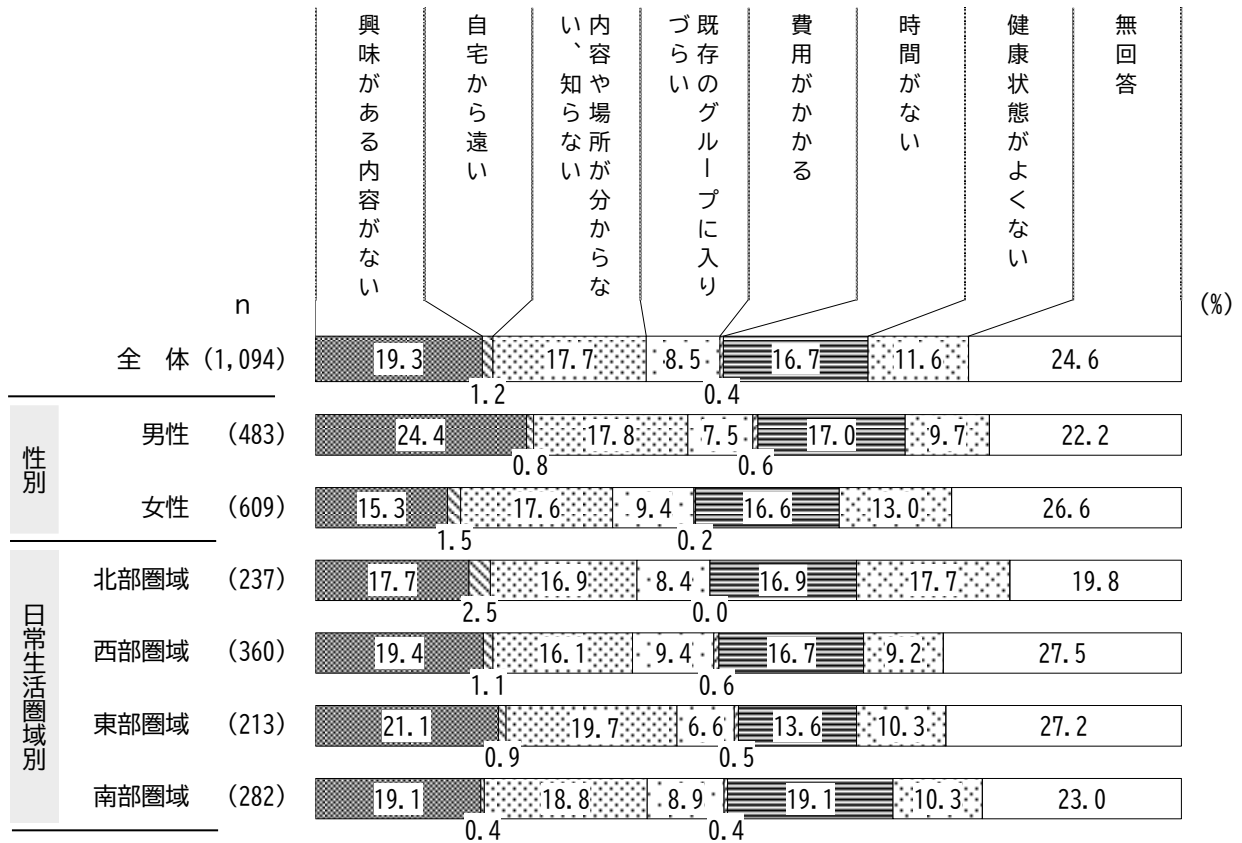
F. シニアクラブ

「興味がある内容がない」が19.3%で最も高く、次いで「内容や場所が分からない、知らない」が17.7%となっています。

性別にみると、“男性”で「興味がある内容がない」が24.4%と高くなっています。

日常生活圏域別にみると、“東部圏域”で「興味がある内容がない」が21.1%と高くなっています。

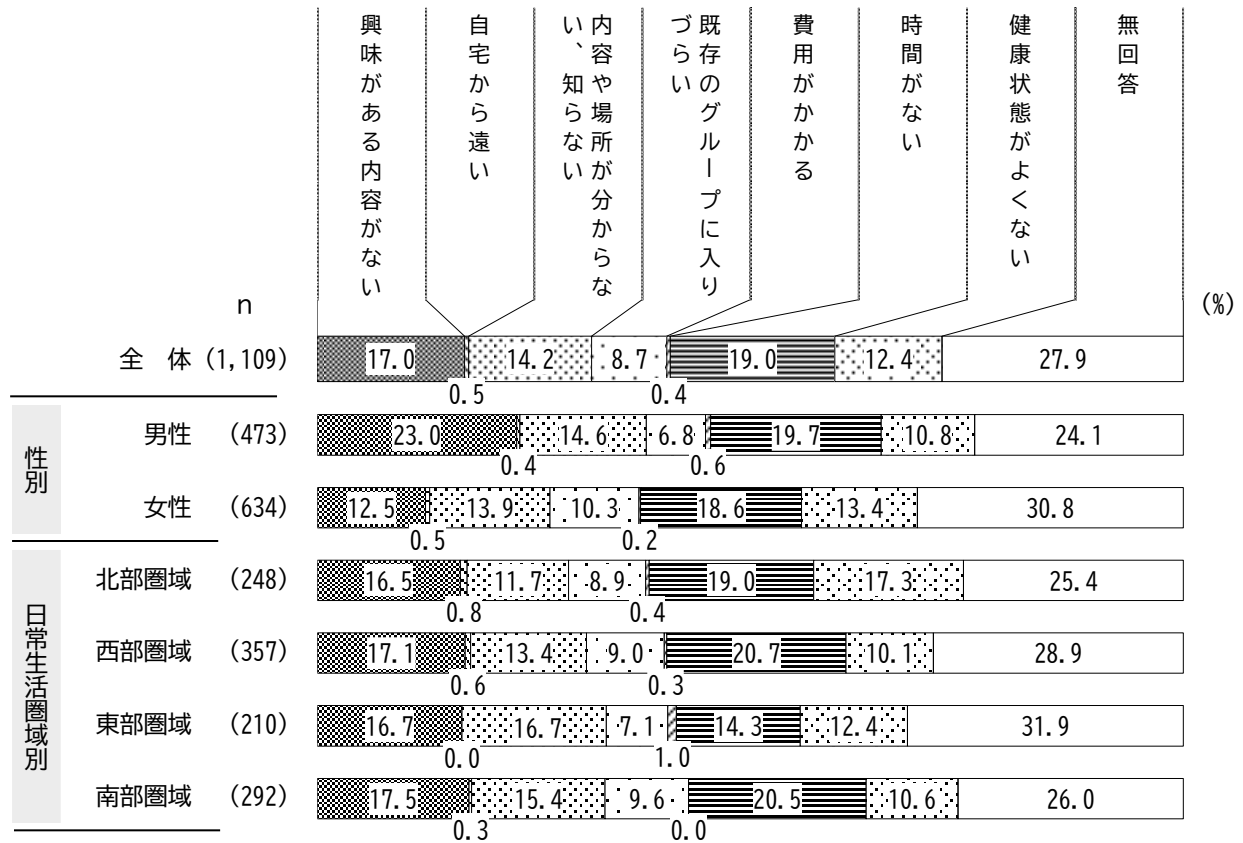
【性別、圏域別】



G. 町会・自治会

「時間がない」が19.0%で最も高く、次いで「興味がある内容がない」が17.0%となっています。
 性別にみると、“男性”で「興味がある内容がない」が23.0%と高くなっています。
 日常生活圏域別にみると、“西部圏域”で「時間がない」が20.7%と高くなっています。

【性別、圏域別】

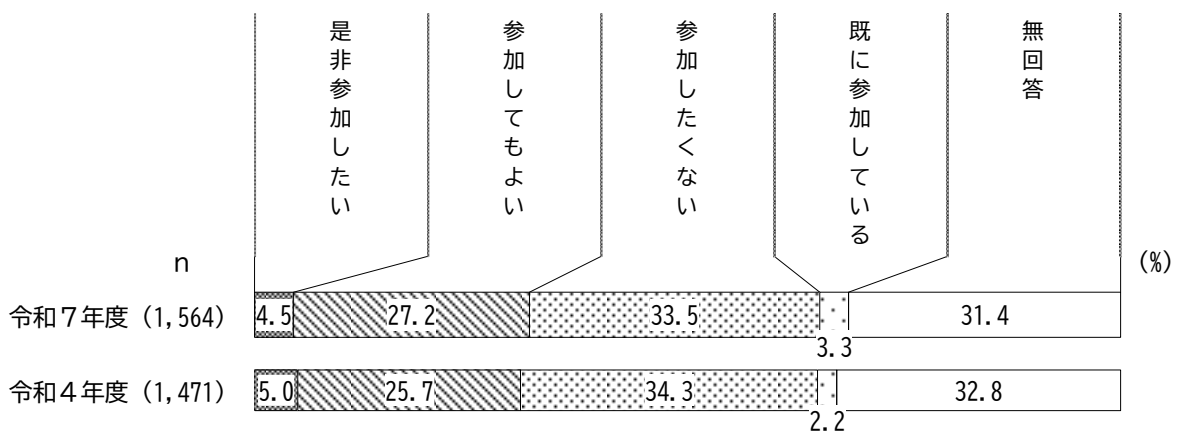


(4) 参加者としての参加意向

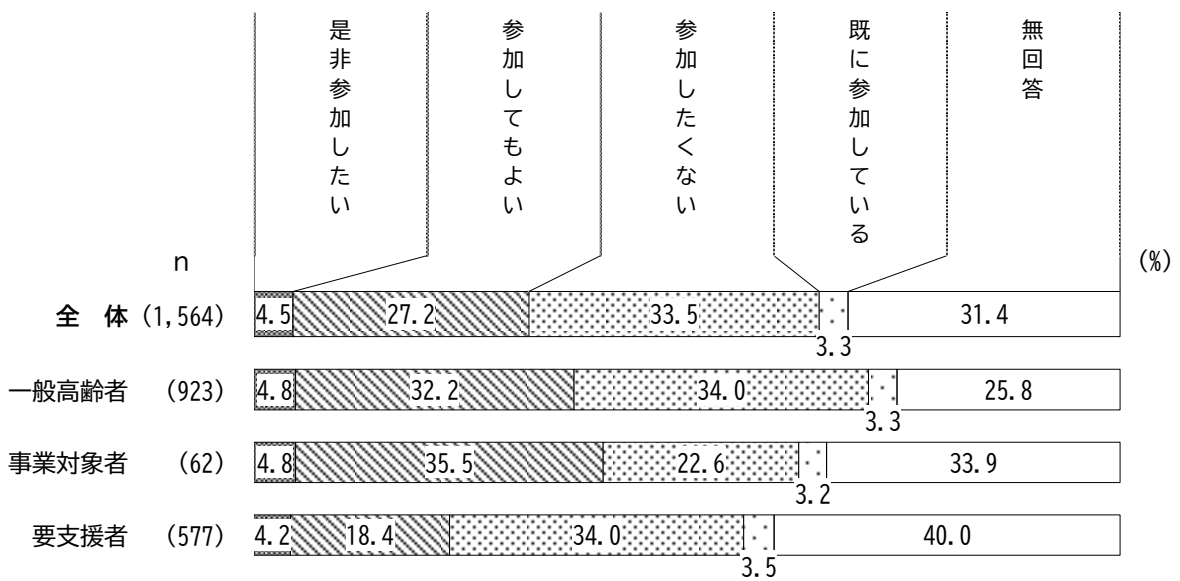
問5 (2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

「参加したくない」が33.5%で最も高く、次いで「参加してもよい」が27.2%となっています。前回の調査結果と比較すると、大きな違いはみられません。認定状況別にみると、「事業対象者」で「参加してもよい」が35.5%と高くなっています。

【経年比較】



【認定状況別】



(5) 参加者として参加してみたい地域活動

【(2) において「1. 是非参加したい」「2. 参加してもよい」の方のみ】

①参加者として参加してみたい地域活動はどれですか (いくつでも)

「軽体操のグループ」が41.0%で最も高く、次いで「ウォーキングのグループ」が33.2%となっています。

日常生活圏域別にみると、“西部圏域”で「手芸・工芸・絵画のグループ」が29.9%と高くなっています。

【圏域別】

		(%)						
	n	軽体操のグループ	ウォーキングのグループ	音楽(カラオケ・コーラス)のグループ	手芸・工芸・絵画のグループ	語学(英会話等)のグループ	茶話会・食事会	囲碁・将棋・麻雀のグループ
全体	497	41.0	33.2	28.2	24.7	22.5	21.7	20.7
北部圏域	114	41.2	31.6	30.7	25.4	23.7	22.8	20.2
西部圏域	154	42.9	36.4	26.0	29.9	26.0	23.4	20.8
東部圏域	87	40.2	28.7	28.7	14.9	21.8	19.5	27.6
南部圏域	141	39.7	33.3	27.7	24.8	18.4	20.6	17.0

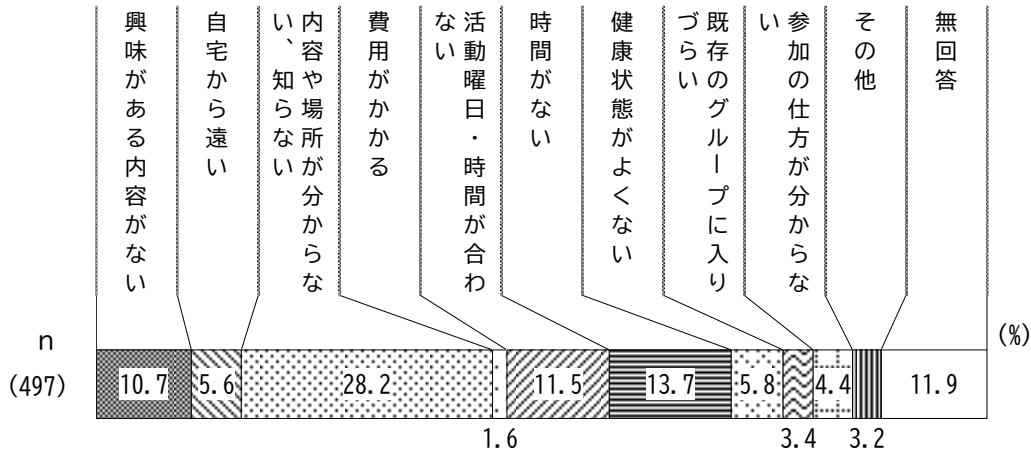
	n	ボウリング・ゲートボール・卓球	地域の見守りや清掃等のボランティア	俳句・川柳のグループ	eスポーツ	その他	無回答
全体	497	11.7	10.5	8.2	6.8	5.0	4.6
北部圏域	114	14.0	11.4	6.1	4.4	3.5	3.5
西部圏域	154	13.0	9.1	7.1	9.1	4.5	3.2
東部圏域	87	10.3	10.3	10.3	6.9	5.7	5.7
南部圏域	141	9.2	11.3	9.9	6.4	6.4	6.4

第2章 調査結果の詳細①
 (介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

(6) 参加してもよいと思いつながら、参加していない理由

【(2) において「1. 是非参加したい」「2. 参加してもよい」の方のみ】
 ②是非参加したい、参加してもよいと思いつながら、参加していない理由として最も当てはまるものはどれですか

「内容や場所が分からない、知らない」が28.2%で最も高く、次いで「時間がない」が13.7%となっています。

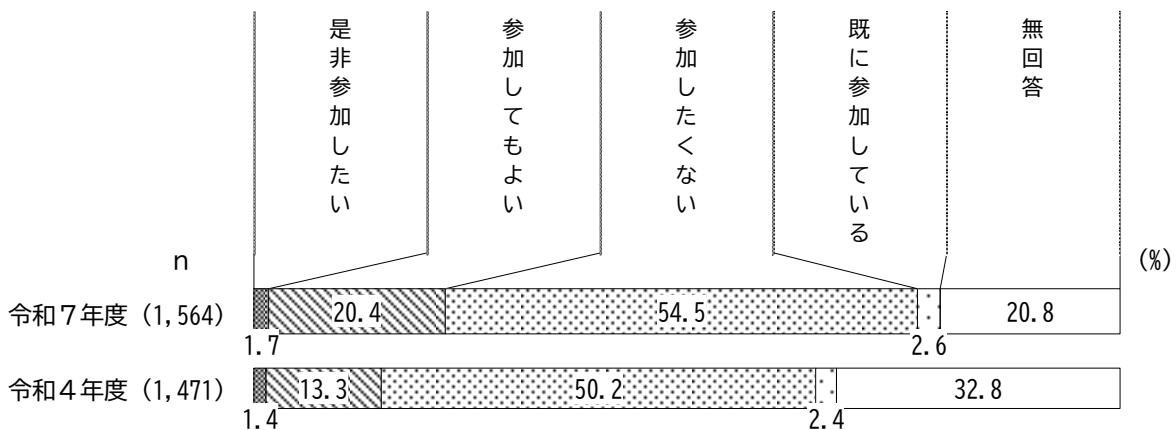


(7) 企画・運営としての参加意向

問5 (3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いつますか

「参加したくない」が54.5%で最も高く、次いで「参加してもよい」が20.4%となっています。前回の調査結果と比較すると、「参加してもよい」が7.1ポイント高くなっています。

【経年比較】



(8) どの年齢層が多い活動に参加したいか

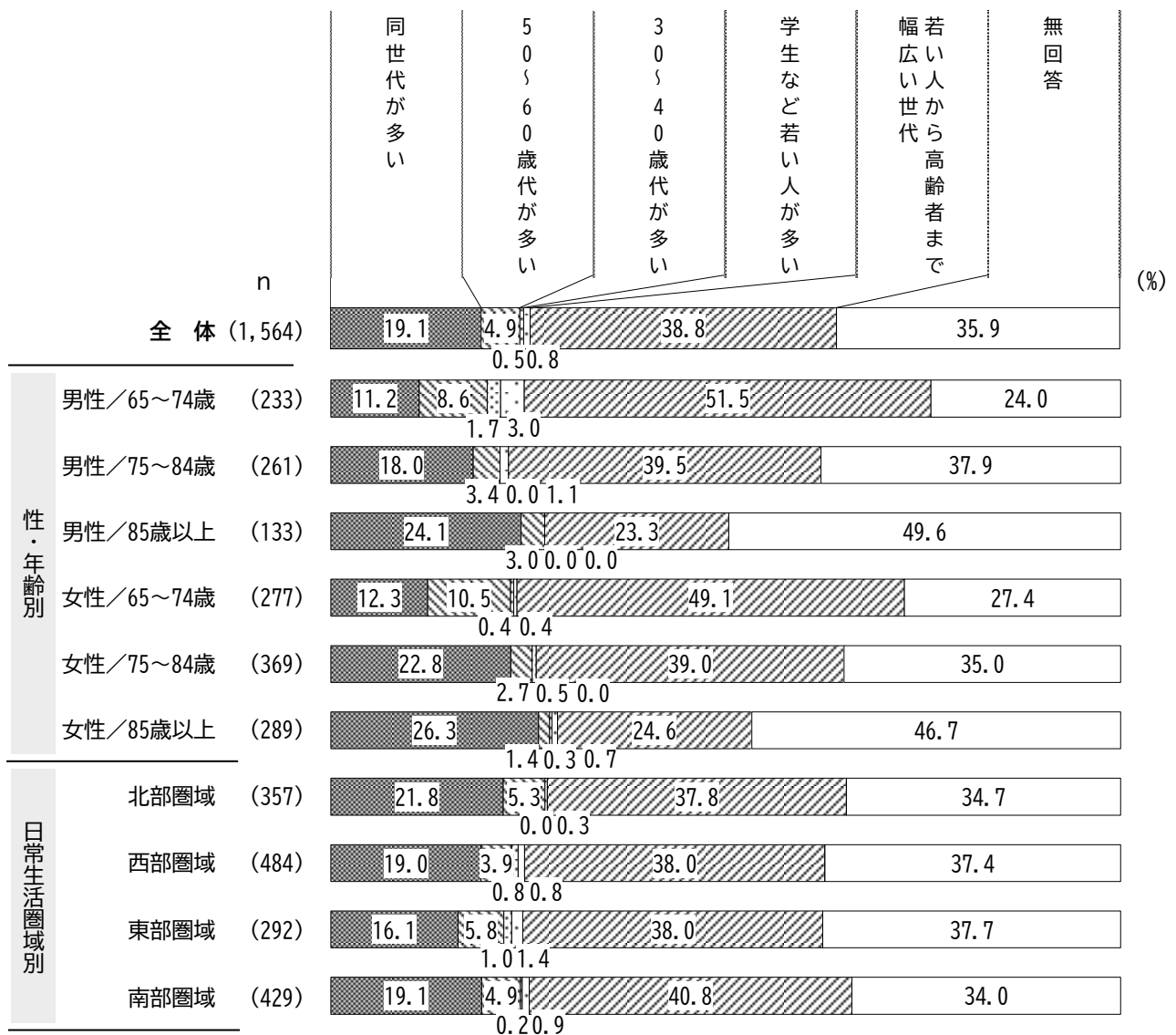
問5 (4) 地域の有志による活動に参加するとしたら、どのような年齢層が多い活動に参加したいですか

「若い人から高齢者まで幅広い世代」が38.8%で最も高く、次いで「同世代が多い」が19.1%となっています。

性・年齢別にみると、“男性65～74歳”で「若い人から高齢者まで幅広い世代」が51.5%、“女性65～74歳”で49.1%と高くなっています。

日常生活圏域別にみると、“南部圏域”で「若い人から高齢者まで幅広い世代」が40.8%と高くなっています。

【性・年齢別、圏域別】



第2章 調査結果の詳細①

(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

7. たすけあいについて

(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人

問6 (1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(いくつでも)

「友人」が50.3%で最も高く、次いで「配偶者」が38.7%となっています。
性別にみると、“女性”で「友人」が58.8%と高くなっています。

【性別】

	n	友人	配偶者	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	同居の子ども	近隣	その他	そのような人はいない	無回答
全体	1,564	50.3	38.7	32.4	29.9	17.1	7.1	4.5	6.6	4.3
男性	627	37.6	57.4	23.8	19.0	13.6	2.2	3.8	9.7	4.3
女性	935	58.8	26.3	38.2	37.2	19.6	10.4	4.9	4.5	4.3

(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人

問6 (2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人(いくつでも)

「友人」が51.3%で最も高く、次いで「配偶者」が36.6%となっています。
性別にみると、“女性”で「友人」が59.7%と高くなっています。

【性別】

	n	友人	配偶者	兄弟姉妹・親戚・親・孫	別居の子ども	同居の子ども	近隣	その他	そのような人はいない	無回答
全体	1,564	51.3	36.6	29.5	28.5	15.1	7.7	3.0	9.5	5.9
男性	627	38.9	55.3	20.7	24.4	13.6	3.2	3.7	11.8	5.4
女性	935	59.7	24.1	35.4	31.1	16.1	10.8	2.6	7.9	6.2

(3) 看病や世話をしてくれる人

問6 (3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人 (いくつでも)

「配偶者」が41.8%で最も高く、次いで「別居の子ども」が31.1%となっています。
性別にみると、“男性”で「配偶者」が62.2%と高くなっています。

【性別】

	n	配偶者	別居の子ども	同居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	友人	近隣	その他	そのような人はいない	無回答
全体	1,564	41.8	31.1	20.7	15.3	9.7	2.2	3.2	12.7	3.6
男性	627	62.2	26.0	15.9	8.1	5.3	0.8	2.4	13.9	3.3
女性	935	28.2	34.5	24.0	20.2	12.6	3.1	3.7	11.8	3.9

(4) 看病や世話をしてあげる人

問6 (4) 反対に、看病や世話をしてあげる人 (いくつでも)

「配偶者」が42.3%で最も高く、次いで「別居の子ども」が21.4%となっています。
性別にみると、“男性”で「配偶者」が57.7%と高くなっています。

【性別】

	n	配偶者	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	同居の子ども	友人	近隣	その他	そのような人はいない	無回答
全体	1,564	42.3	21.4	19.9	18.0	13.2	2.8	3.1	19.4	7.7
男性	627	57.7	16.6	12.4	14.8	6.9	0.6	2.2	21.2	6.2
女性	935	32.0	24.6	25.0	20.1	17.5	4.3	3.6	18.0	8.8

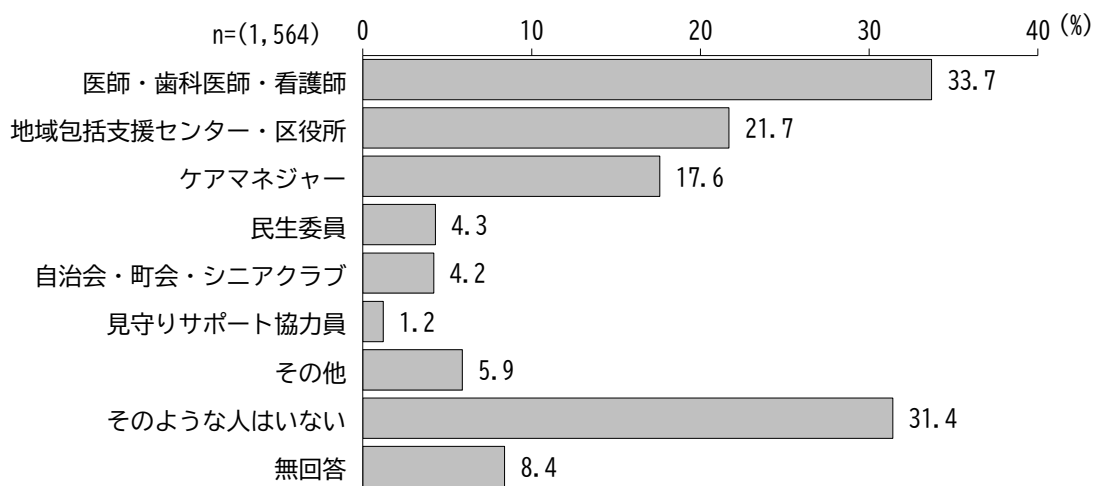
第2章 調査結果の詳細①

(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

(5) 家族や友人・知人以外で相談する相手

問6 (5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください (いくつでも)

「医師・歯科医師・看護師」が33.7%で最も高く、次いで「そのような人はいない」が31.4%となっています。

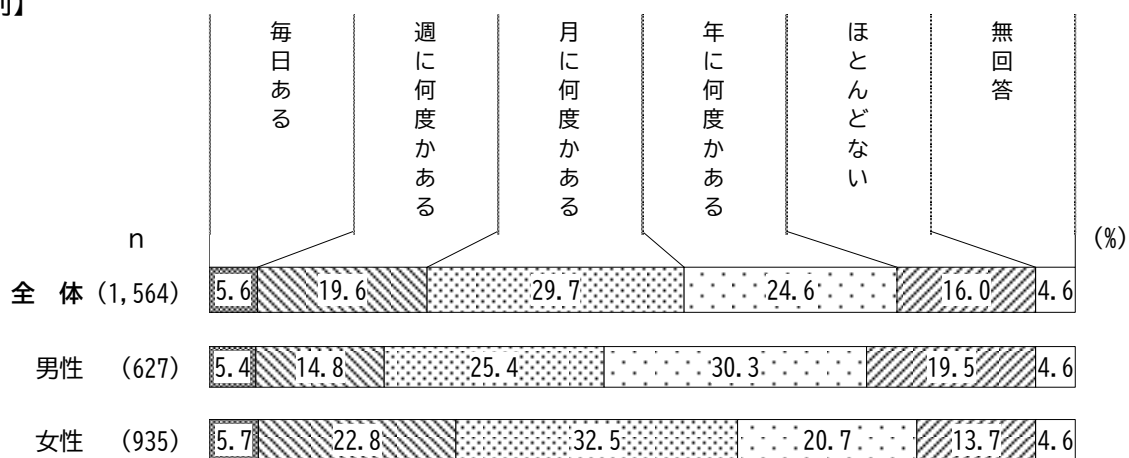


(6) 友人・知人と会う頻度

問6 (6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか

「月に何度かある」が29.7%で最も高く、次いで「年に何度かある」が24.6%となっています。性別にみると、“男性”で「年に何度かある」が30.3%と高くなっています。

【性別】



8. 健康について

(1) 健康状態

問7 (1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか

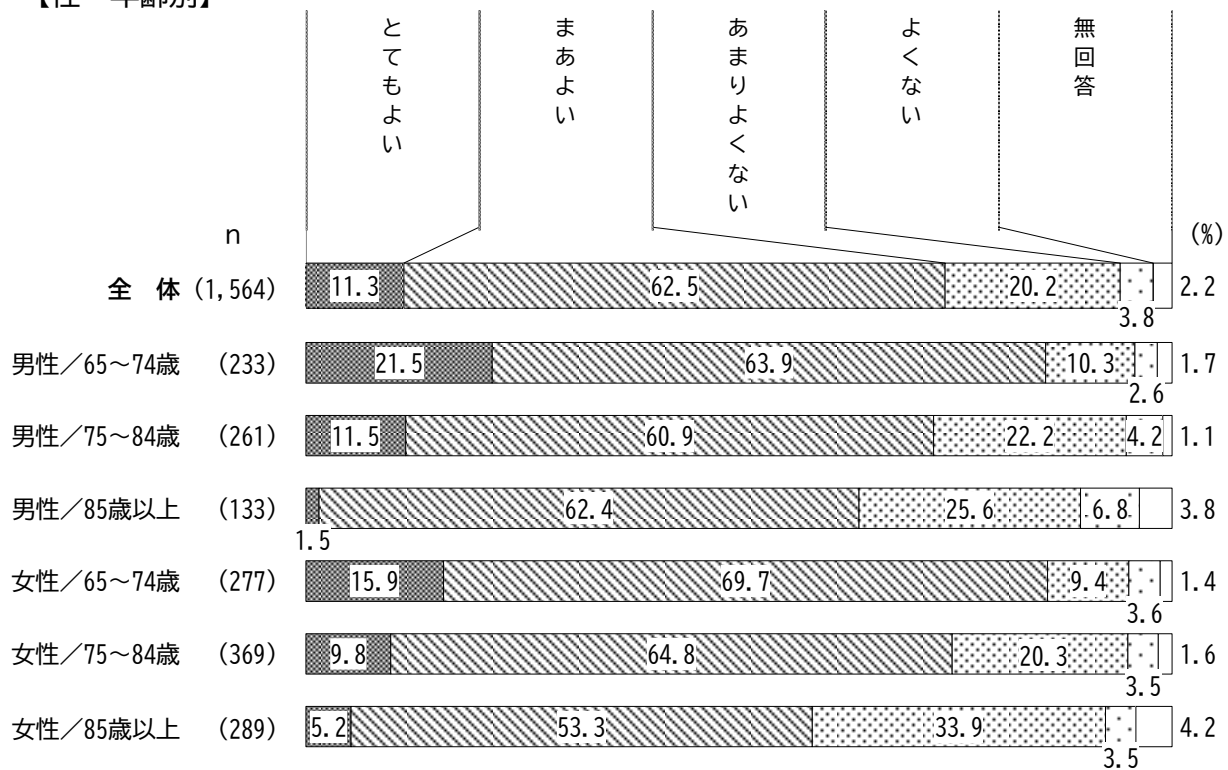
「まあよい」が62.5%で最も高く、次いで「あまりよくない」が20.2%となっています。

性・年齢別にみると、“女性65～74歳”で「まあよい」が69.7%、“男性65～74歳”で63.9%と高くなっています。

趣味の有無別にみると、“趣味あり”で「まあよい」が66.4%と高くなっています。

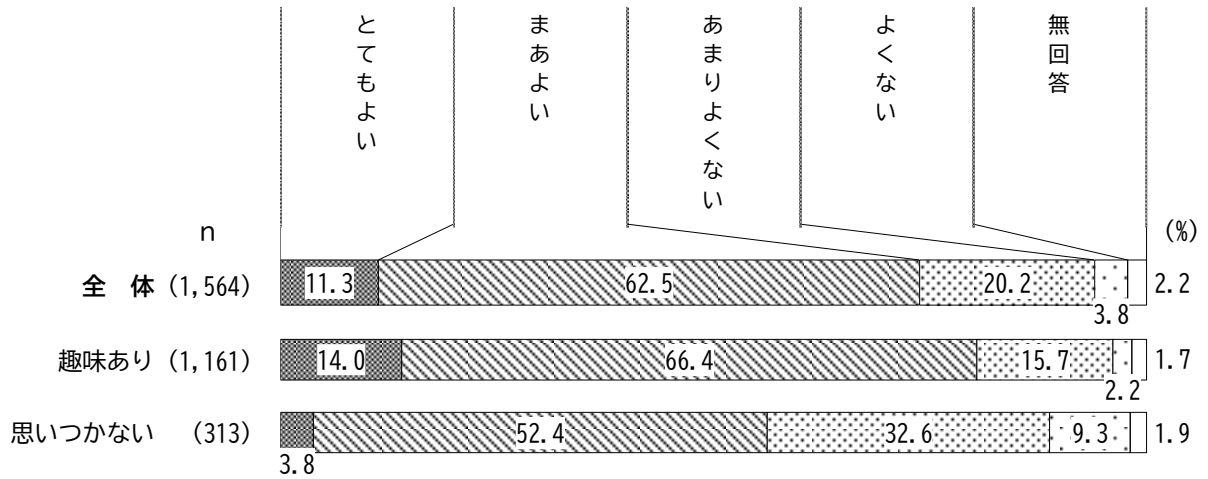
フレイルの認知度別にみると、フレイルについて知っている人ほど健康状態が「とてもよい」「まあよい」の割合が高くなっています。

【性・年齢別】

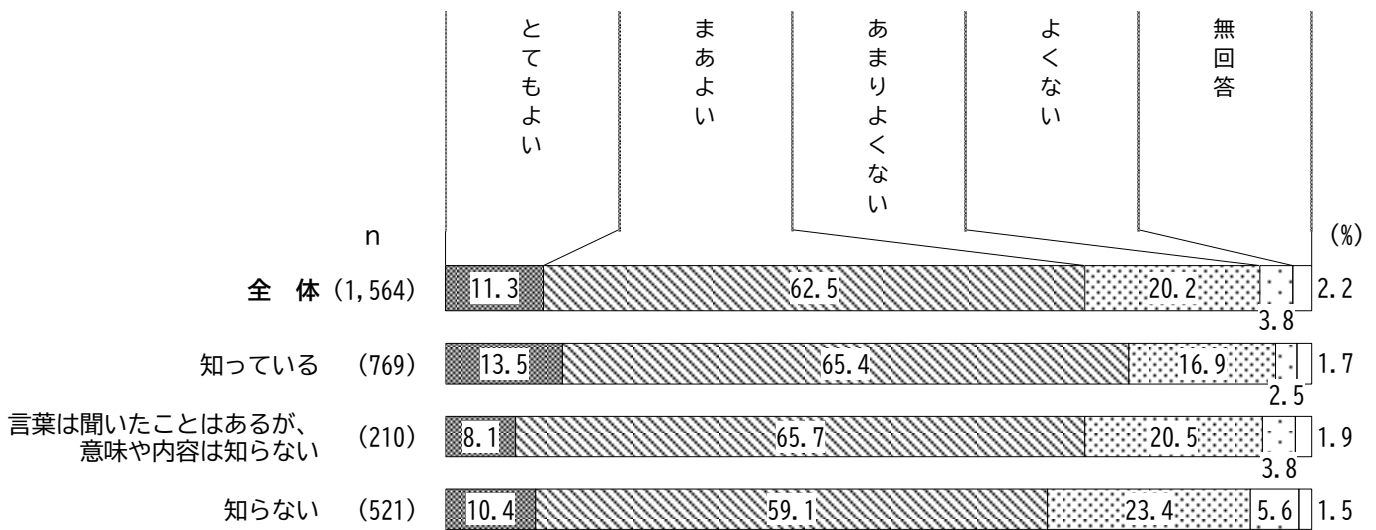


第2章 調査結果の詳細①
 (介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

【趣味の有無別】



【フレイルの認知度別】

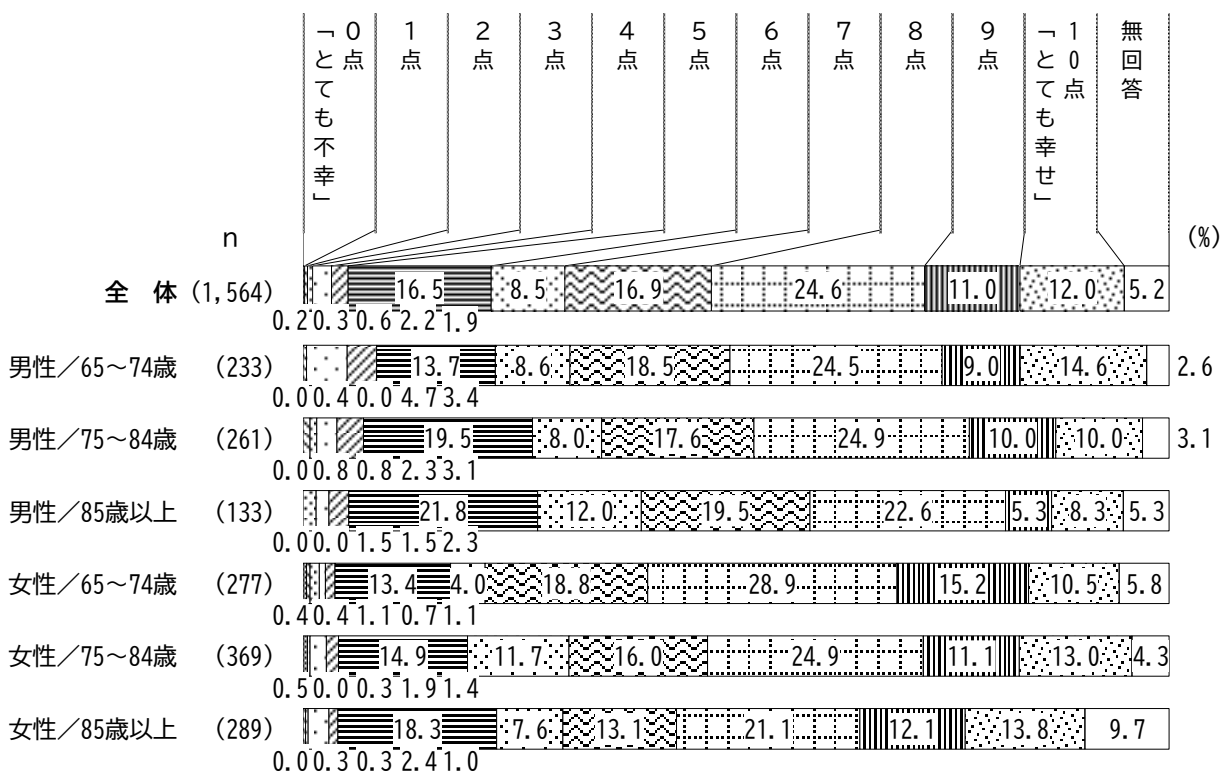


(2) 幸福度

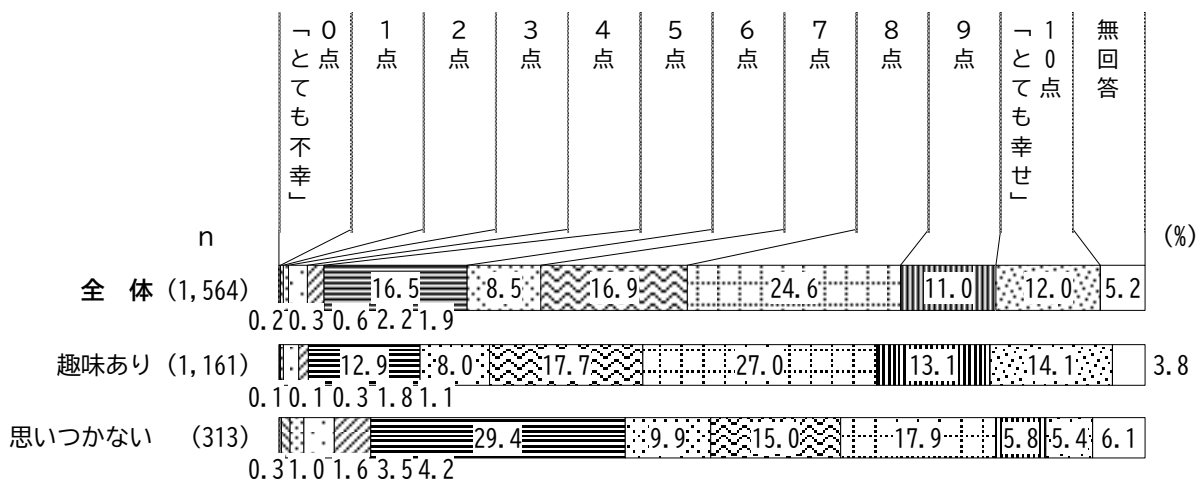
問7 (2) あなたは、現在どの程度幸せですか(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、点を○で囲んでください)

「8点」が24.6%で最も高く、次いで「7点」が16.9%となっています。
 性・年齢別にみると、“女性65～74歳”で「8点」が28.9%、“男性75～84歳”で24.9%と高くなっています。
 趣味の有無別にみると、“思いつかない”で「5点」が29.4%と高くなっています。

【性・年齢別】



【趣味の有無別】

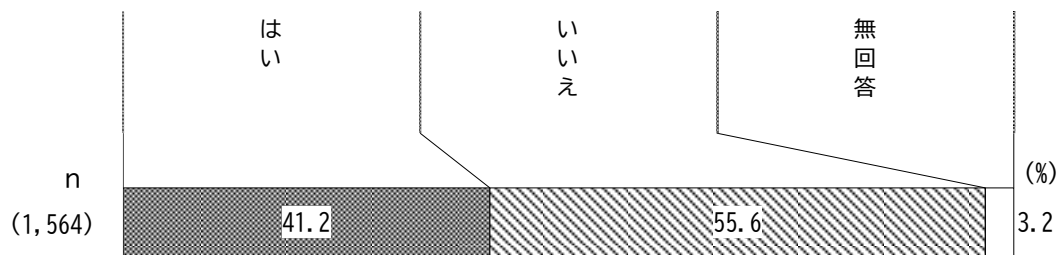


第2章 調査結果の詳細①
(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

(3) 気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあるか

問7(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

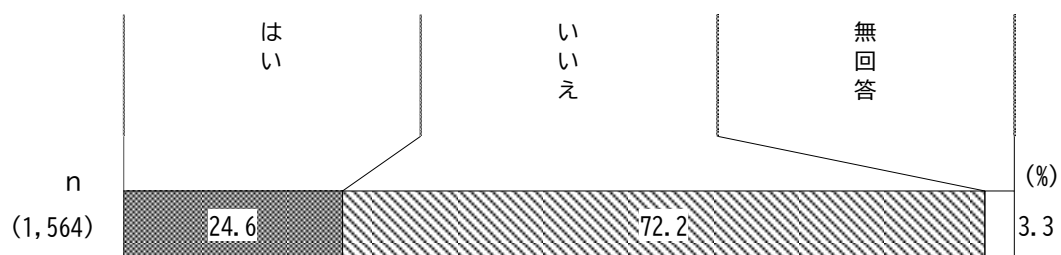
「はい」が41.2%、「いいえ」が55.6%となっています。



(4) 物事に対して興味がわからない・心から楽しめない感じがよくあるか

問7(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

「はい」が24.6%、「いいえ」が72.2%となっています。



(5) うつ傾向

ア 設問と評価

国の基本チェックリストでは、下の5つの設問に対する回答から、うつリスクの判定をします。

具体的には、5問中2問以上に該当した場合にうつと判定され、サービス・活動事業の対象者になります。

問番号	設問	該当する選択肢
問7(5)	(ここ2週間) 毎日の生活に充実感がない	「はい」
問7(6)	(ここ2週間) これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった	「はい」
問7(7)	(ここ2週間) 以前は楽に出来ていたことが今ではおっくうに感じられる	「はい」
問7(8)	(ここ2週間) 自分が役に立つ人間だと思えない	「はい」
問7(9)	(ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがする	「はい」

イ 評価結果

要支援認定を受けていない回答者985人のうち、20.4% (男性19.9%、女性20.8%) が該当しています。男性より女性で該当割合が高くなっています。

前回の調査結果と比べると、全体で3.3ポイント減少しています。

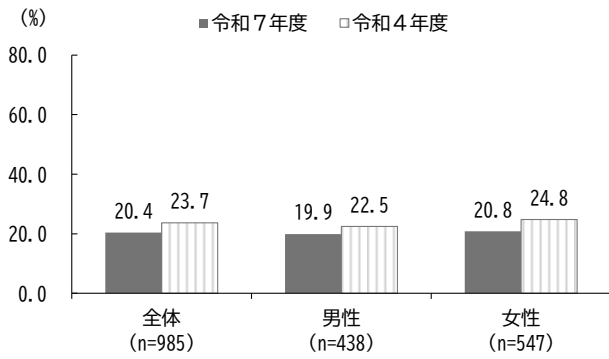
認定状況・性別にみると、要支援者で47.1% (男性43.4%、女性49.0%) が該当しています。男性、女性で比較すると女性が5.6ポイント高くなっています。

世帯構成・性別にみると、1人暮らしで24.0% (男性27.0%、女性22.4%) が該当しています。男性、女性で比較すると男性が4.6ポイント高くなっています。

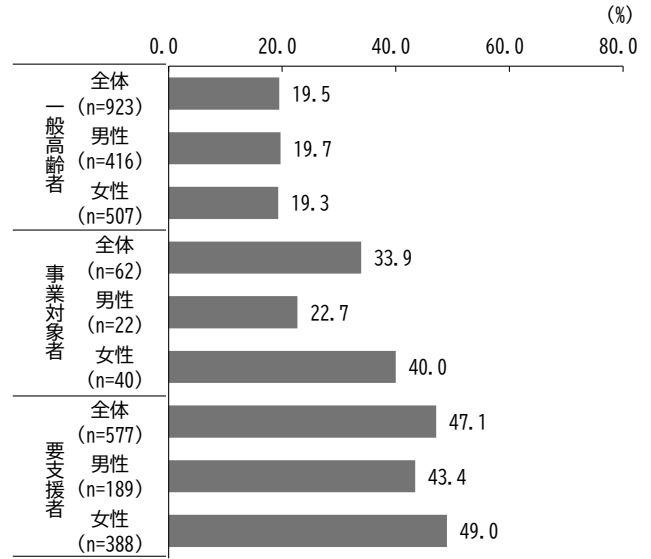
日常生活圏域・性別にみると、南部圏域で24.1% (男性22.7%、女性25.0%) が該当しています。男性、女性で比較すると女性が2.3ポイント高くなっています。

第2章 調査結果の詳細①
(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

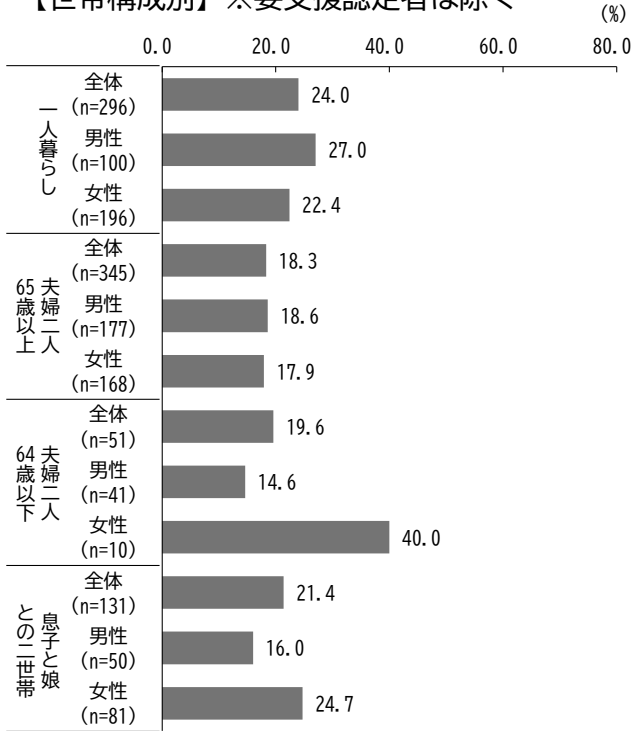
【該当割合】※要支援認定者は除く



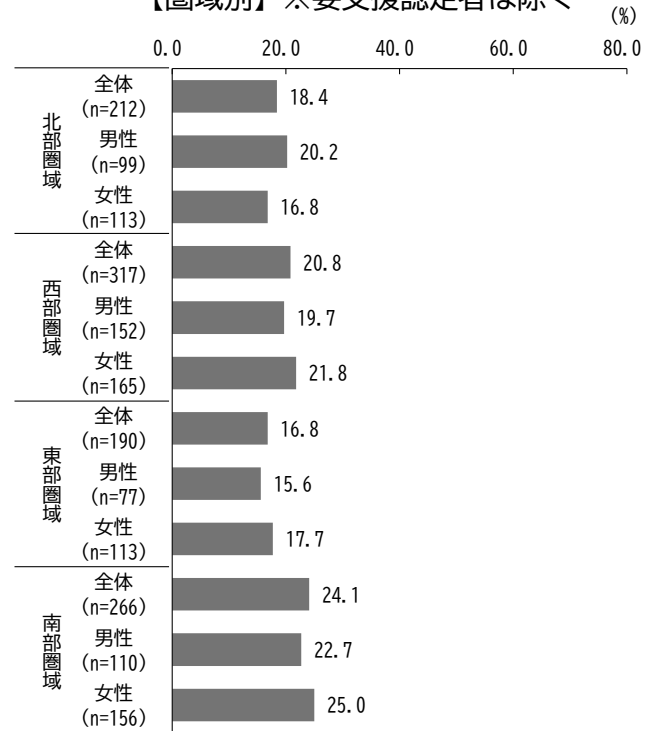
【認定状況別】



【世帯構成別】※要支援認定者は除く



【圏域別】※要支援認定者は除く



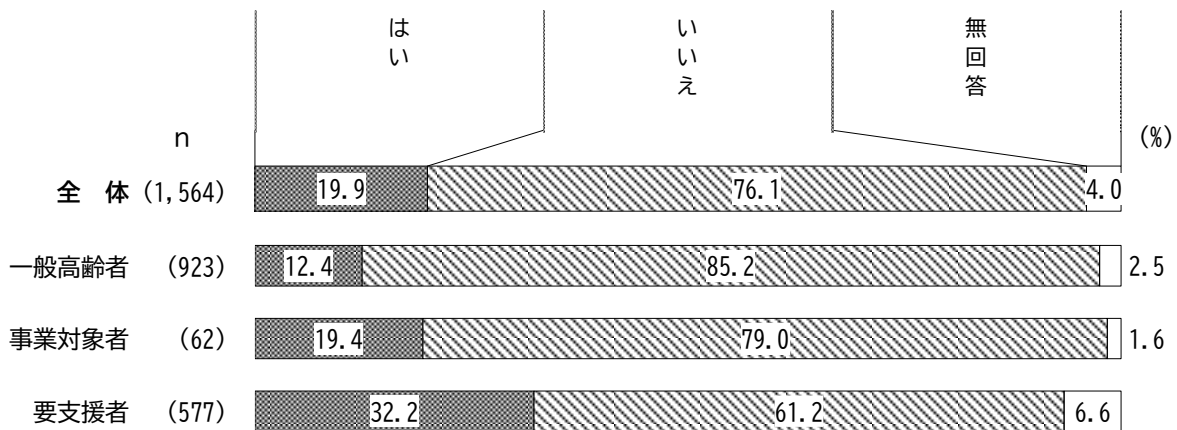
(6) 毎日の生活に充実感がない

問7 (5) (ここ2週間) 毎日の生活に充実感がない

「はい」が19.9%、「いいえ」が76.1%となっています。

認定状況別にみると、“要支援者”で「はい」が32.2%と高くなっています。一方、“一般高齢者”で「いいえ」が85.2%と高くなっています。

【認定状況別】



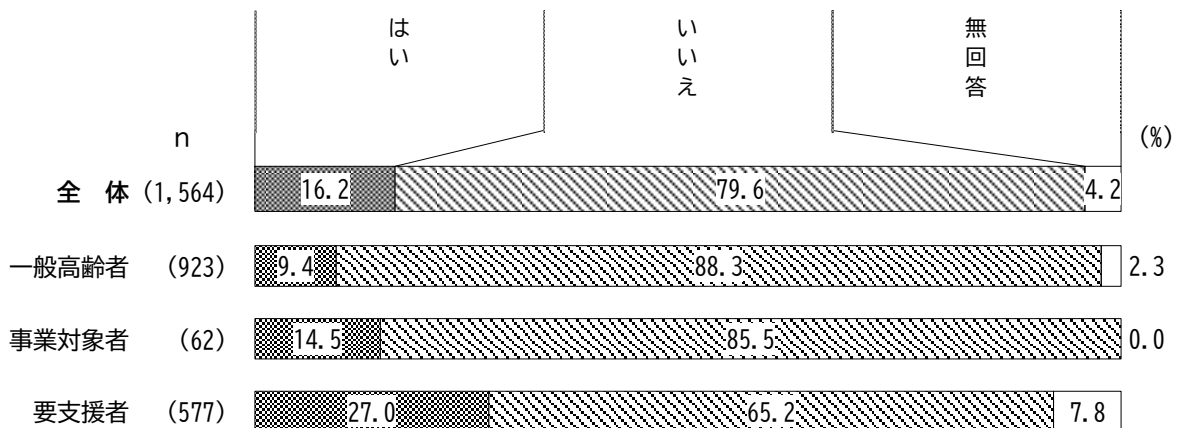
(7) これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった

問7 (6) (ここ2週間) これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった

「はい」が16.2%、「いいえ」が79.6%となっています。

認定状況別にみると、“要支援者”で「はい」が27.0%と高くなっています。一方、“一般高齢者”で「いいえ」が88.3%と高くなっています。

【認定状況別】



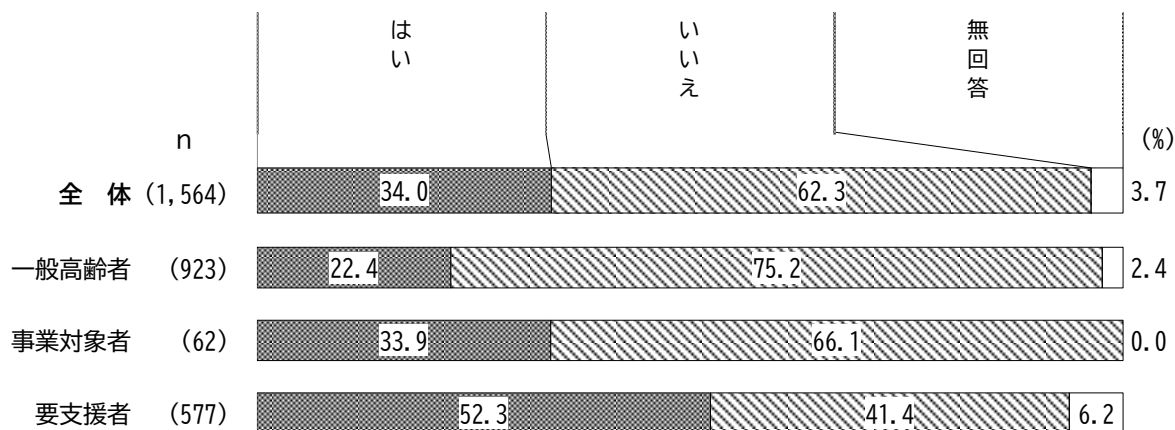
(8) 以前は楽に出来ていたことが今ではおっくうに感じられる

問7 (7) (ここ2週間) 以前は楽に出来ていたことが今ではおっくうに感じられる

「はい」が34.0%、「いいえ」が62.3%となっています。

認定状況別にみると、“要支援者”で「はい」が52.3%と高くなっています。一方、“一般高齢者”で「いいえ」が75.2%と高くなっています。

【認定状況別】



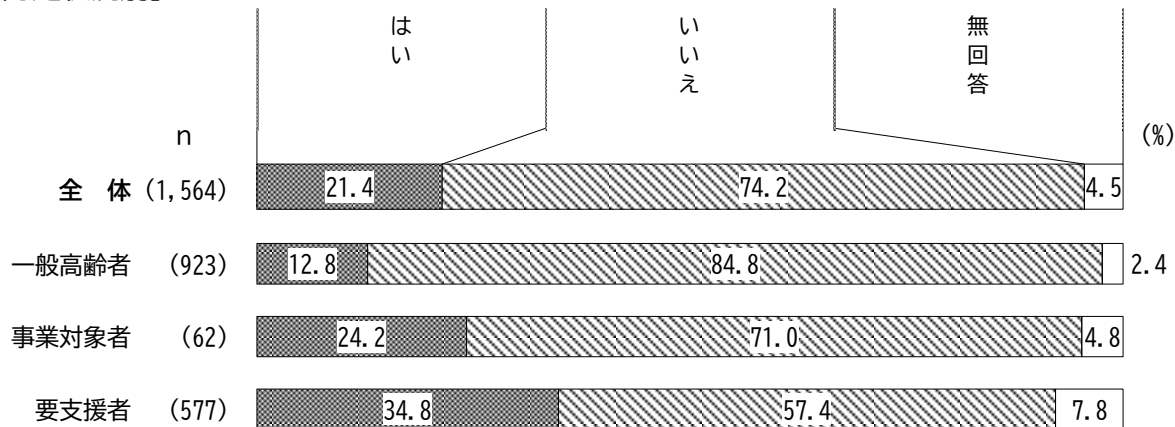
(9) 自分が役に立つ人間だと思えない

問7 (8) (ここ2週間) 自分が役に立つ人間だと思えない

「はい」が21.4%、「いいえ」が74.2%となっています。

認定状況別にみると、“要支援者”で「はい」が34.8%と高くなっています。一方、“一般高齢者”で「いいえ」が84.8%と高くなっています。

【認定状況別】



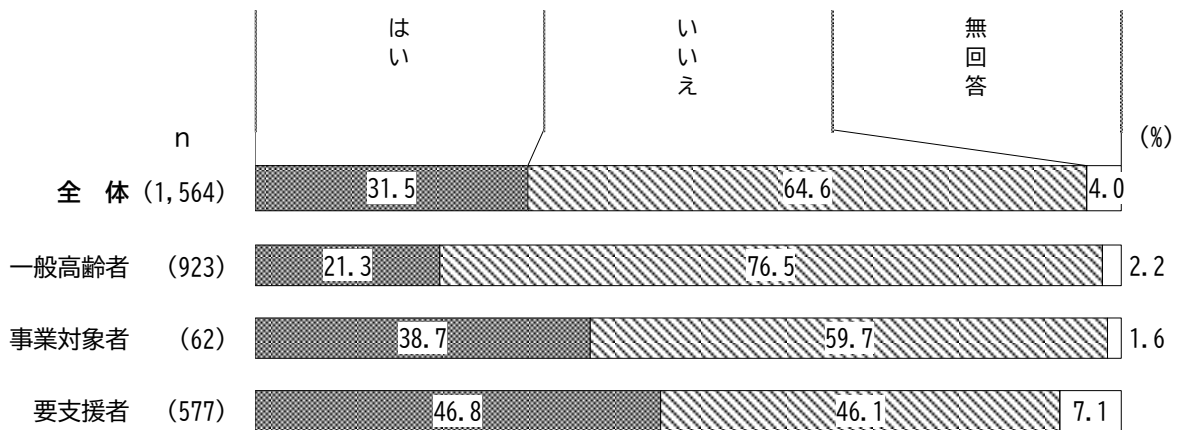
(10) 疲れたような感じがする

問7(9)(ここ2週間)わけもなく疲れたような感じがする

「はい」が31.5%、「いいえ」が64.6%となっています。

認定状況別にみると、“要支援者”で「はい」が46.8%と高くなっています。一方、“一般高齢者”で「いいえ」が76.5%と高くなっています。

【認定状況別】

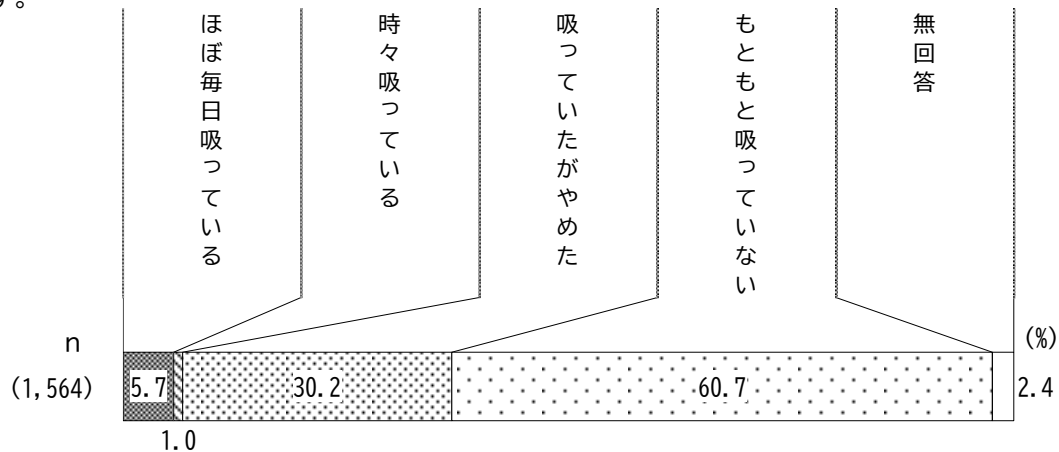


第2章 調査結果の詳細①
 (介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

(11) 喫煙状況

問7 (10) タバコは吸っていますか

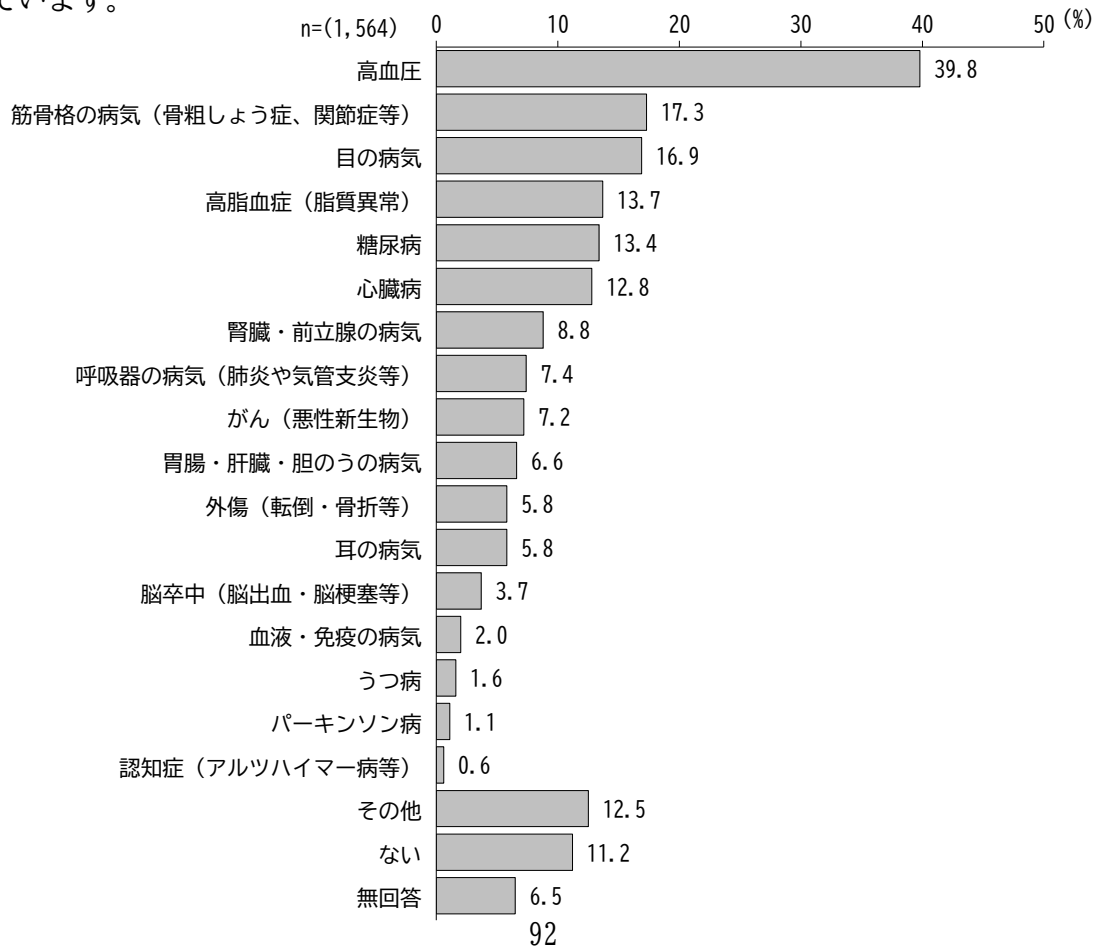
「もともと吸っていない」が60.7%で最も高く、次いで「吸っていたがやめた」が30.2%となっています。



(12) 現在治療中、または後遺症のある病気

問7 (11) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (いくつでも)

「高血圧」が39.8%で最も高く、次いで「筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)」が17.3%となっています。



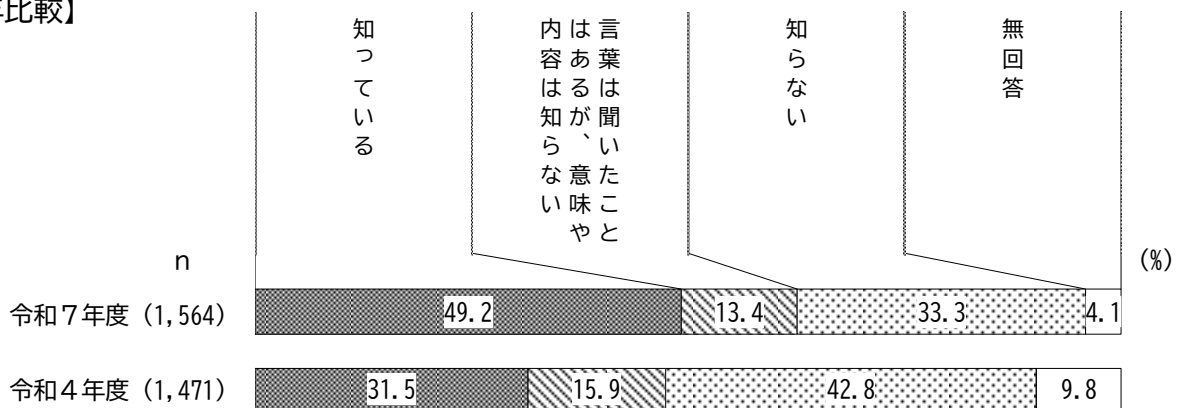
(13) 「フレイル」の認知度

問7 (12) 「フレイル※」という言葉を知っていますか

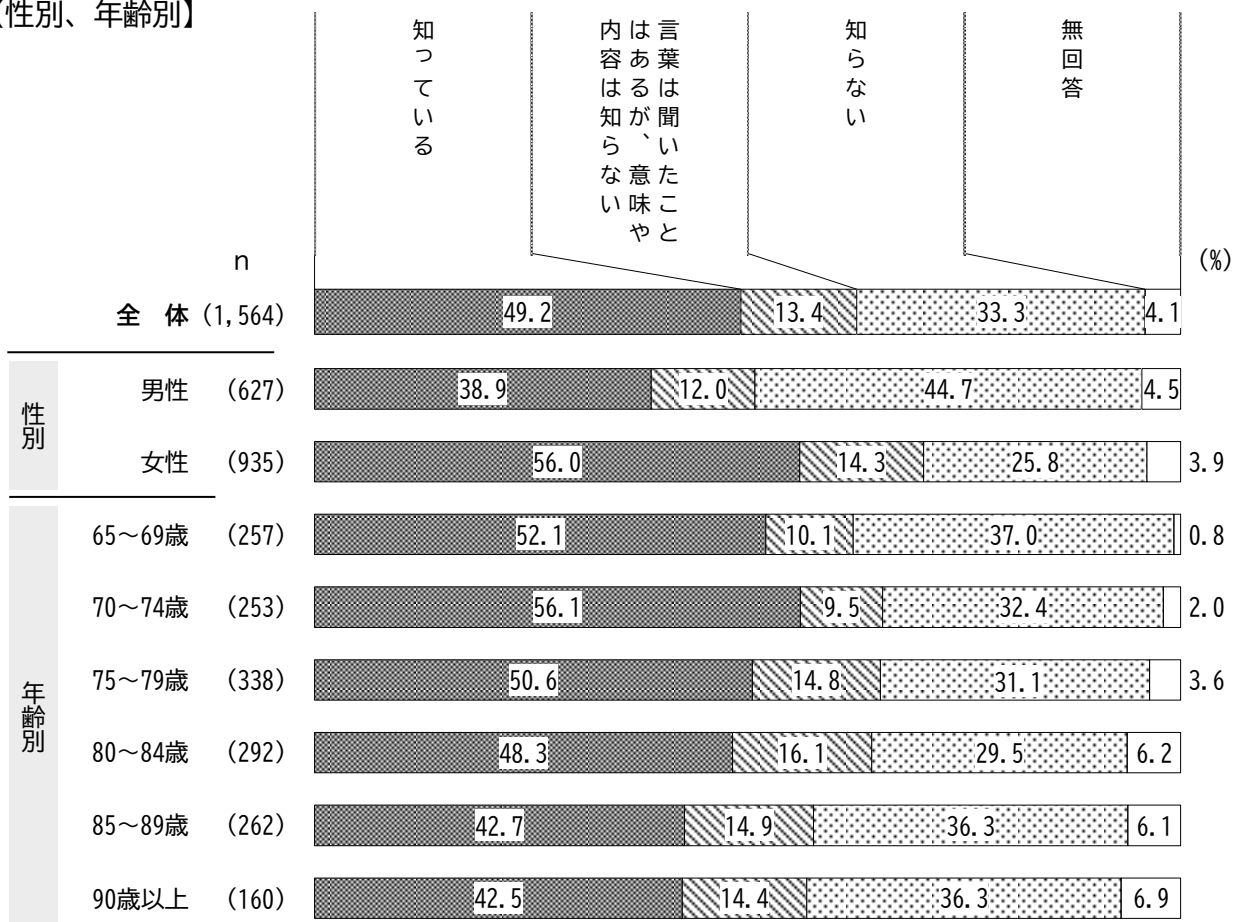
※フレイル…加齢に伴って、徐々に心身の機能が低下し、日常生活活動や自立度が低下していくこと。

「知っている」が49.2%で最も高く、次いで「知らない」が33.3%となっています。
前回の調査結果と比較すると、「知っている」が17.7ポイント高くなっています。
性別にみると、“女性”で「知っている」が56.0%と高くなっています。
年齢別にみると、“70～74歳”で「知っている」が56.1%と高くなっています。

【経年比較】



【性別、年齢別】



第2章 調査結果の詳細①
 (介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

(14) フレイル予防の理解度

【(12) で「1. 知っている」の方のみ】

①フレイル予防のための具体的方法についてのあなたの理解度として、最も近いものはどれですか

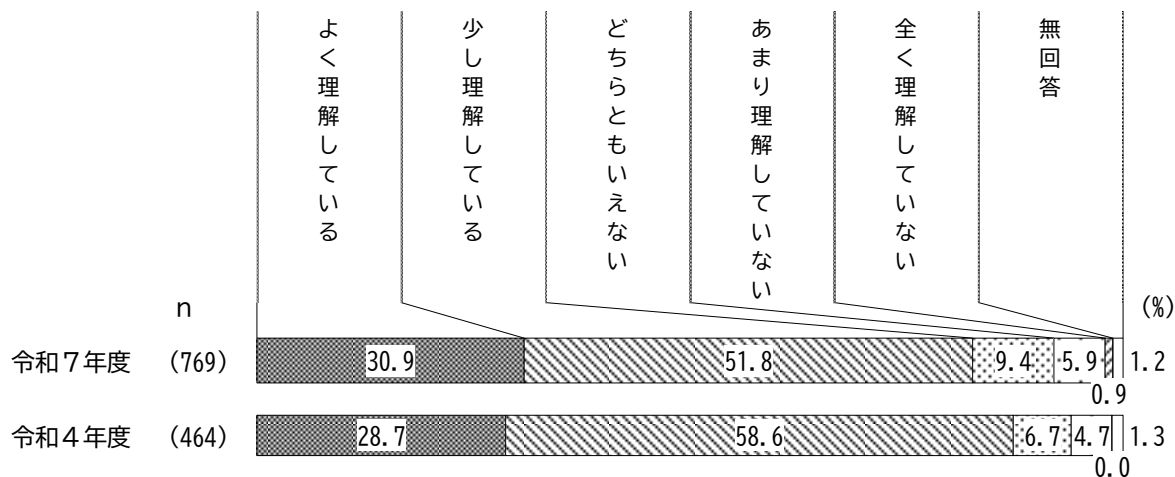
「少し理解している」が51.8%で最も高く、次いで「よく理解している」が30.9%となっています。

前回の調査結果と比較すると、「よく理解している」が2.2ポイント高くなっています。

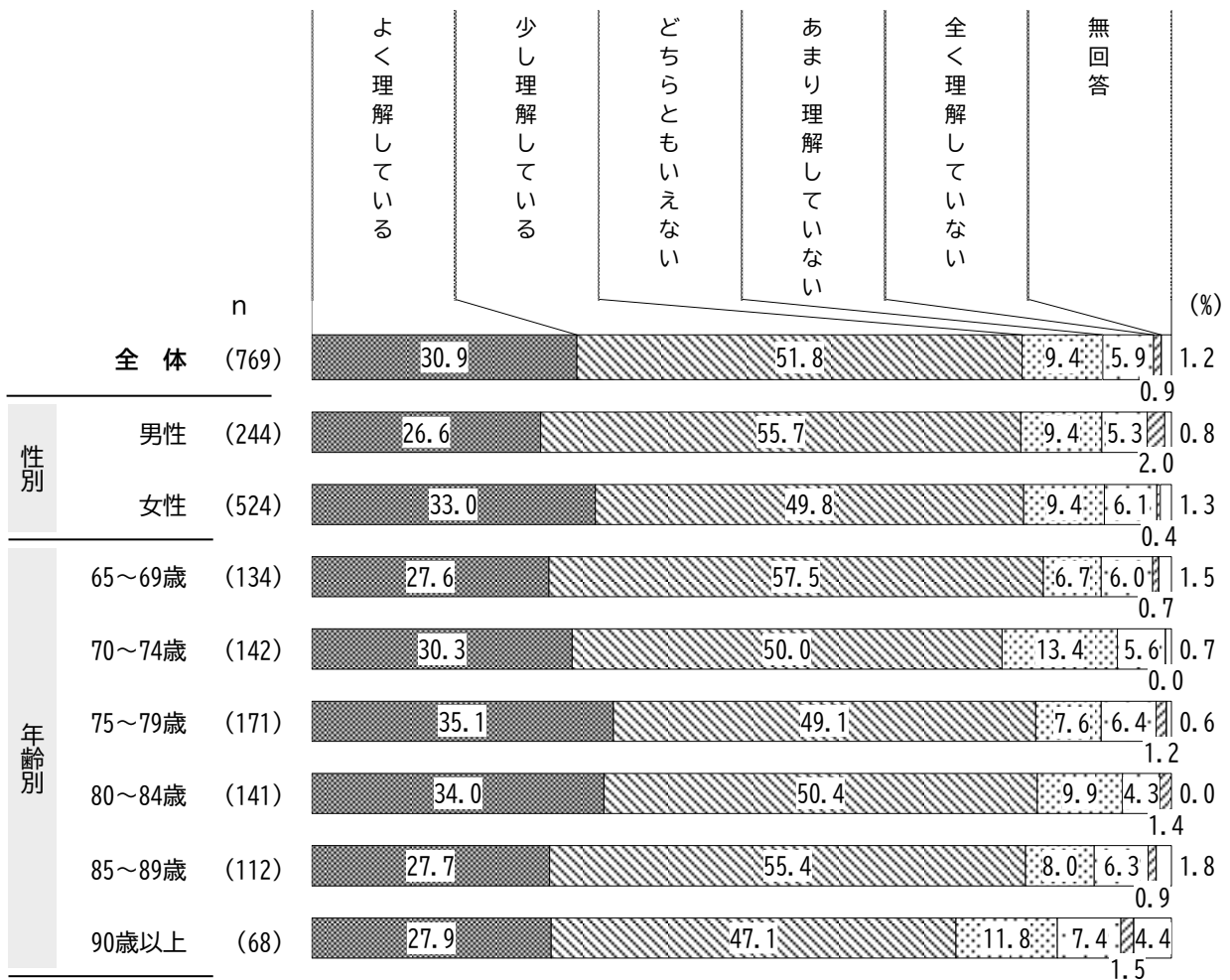
性別にみると、「男性」で「少し理解している」が55.7%と高くなっています。

年齢別にみると、「65～69歳」で「少し理解している」が57.5%と高くなっています。

【経年比較】



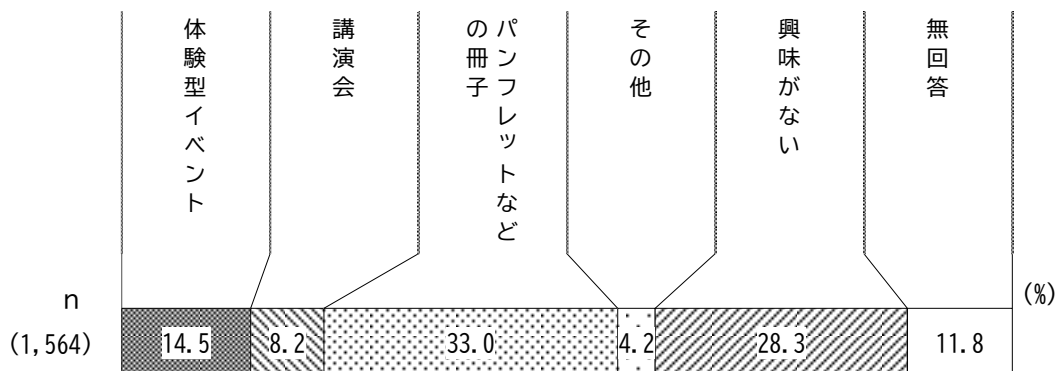
【性別、年齢別】



(15) フレイルを学ぶための形態

問7 (13) 渋谷区ではフレイルの意味や内容を伝えるイベントや講座を実施しています。どのような形でフレイルについて学びたいと思いますか。

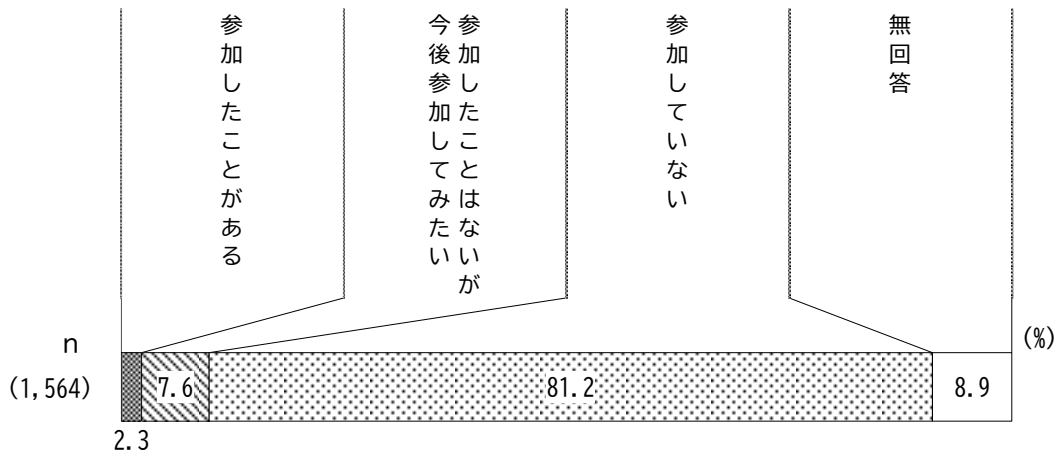
「パンフレットなどの冊子」が33.0%で最も高く、次いで「興味がない」が28.3%となっています。



(16) オンライン事業への参加有無

問7 (14) 渋谷区では介護予防・フレイル予防事業をオンラインで実施しています。オンラインで実施した事業に参加したことはありますか

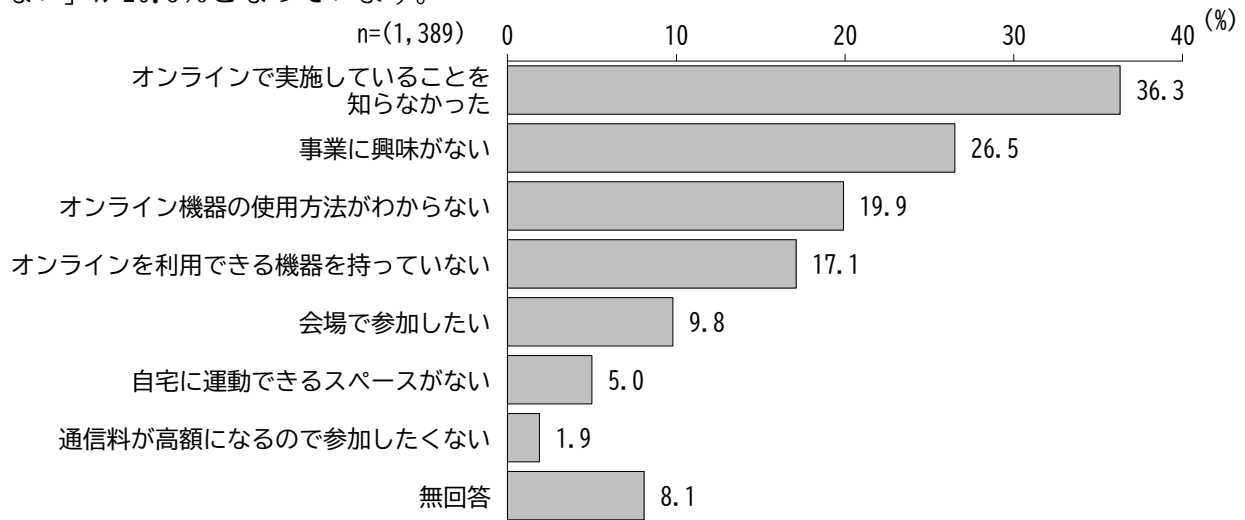
「参加したことはないが今後参加してみたい」が7.6%、「参加していない」が81.2%となっています。



(17) オンライン事業に参加していない理由

【(14) で「2. 参加したことはないが今後参加してみたい」、「3. 参加していない」の方のみ】
 ①参加していない理由はなんですか (いくつでも)

「オンラインで実施していることを知らなかった」が36.3%で最も高く、次いで「事業に興味がない」が26.5%となっています。



(18) 「通いの場」の認知度

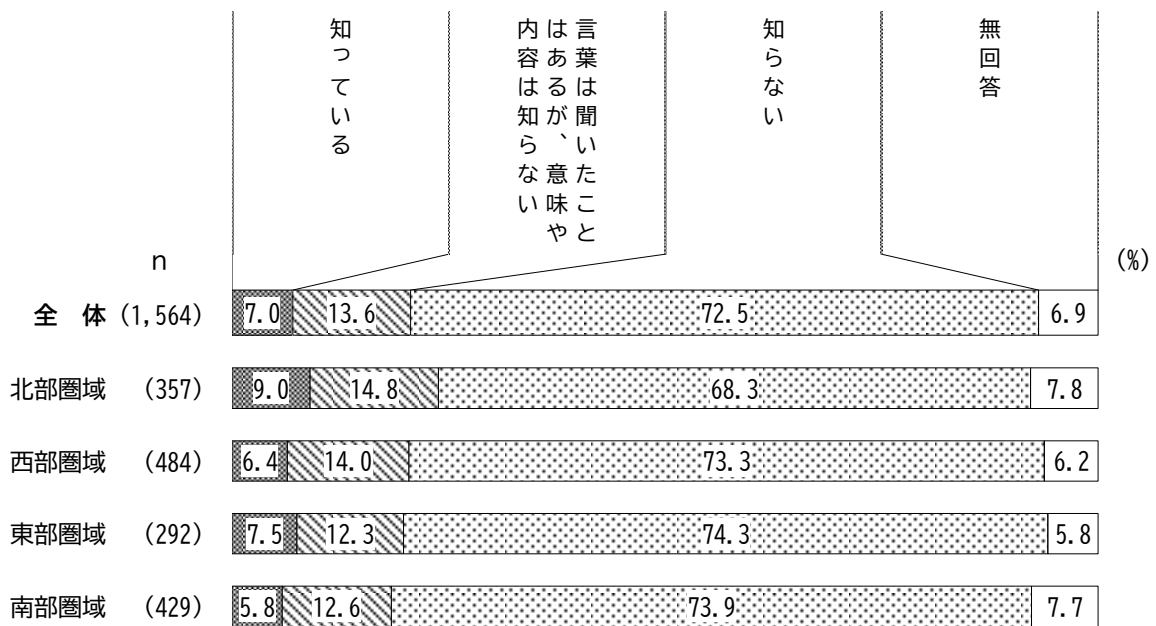
問7 (15) 「通いの場※」という言葉を知っていますか

※通いの場…介護予防のため、身近な地域の人たちが自主的な運営により定期的に集まって、仲間づくりや生きがいつくり、支え合いの輪を広げる活動です。

「知らない」が72.5%となっています。

日常生活圏域別にみると、“北部圏域”で「言葉は聞いたことはあるが、意味や内容は知らない」が14.8%と高くなっています。

【圏域別】

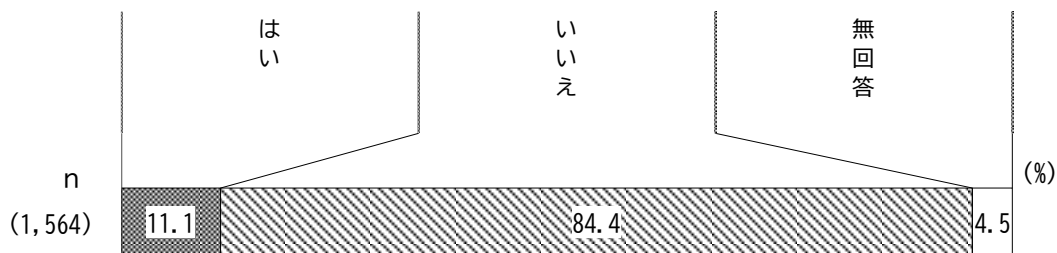


9. 認知症にかかる相談窓口の把握等について

(1) 認知症の症状がある人の有無

問8 (1) 認知症の症状がある、又は家族に認知症の症状がある人がいますか

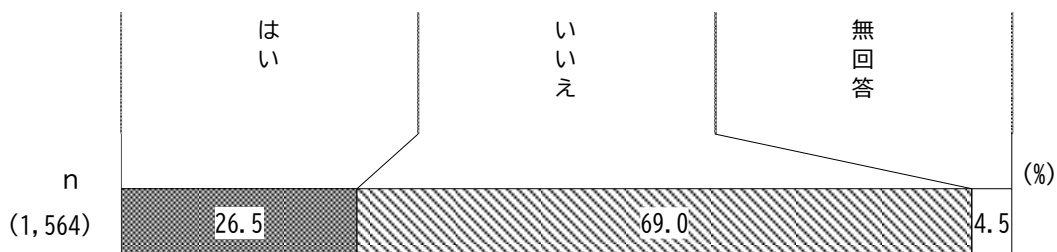
「はい」が11.1%、「いいえ」が84.4%となっています。



(2) 認知症に関する相談窓口の認知度

問8 (2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか

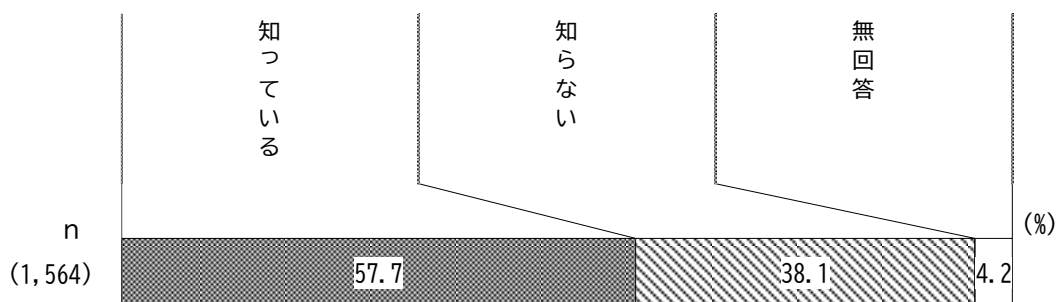
「はい」が26.5%、「いいえ」が69.0%となっています。



(3) 管轄する地域包括支援センターの認知度

問8 (3) 高齢者の相談窓口として、区内11か所に地域包括支援センターが設置されており、住所地ごとに担当の地域包括支援センターが決まっています。ご自分の担当の地域包括支援センターを知っていますか

「知っている」が57.7%、「知らない」が38.1%となっています。



(4) 認知症検診の受診希望

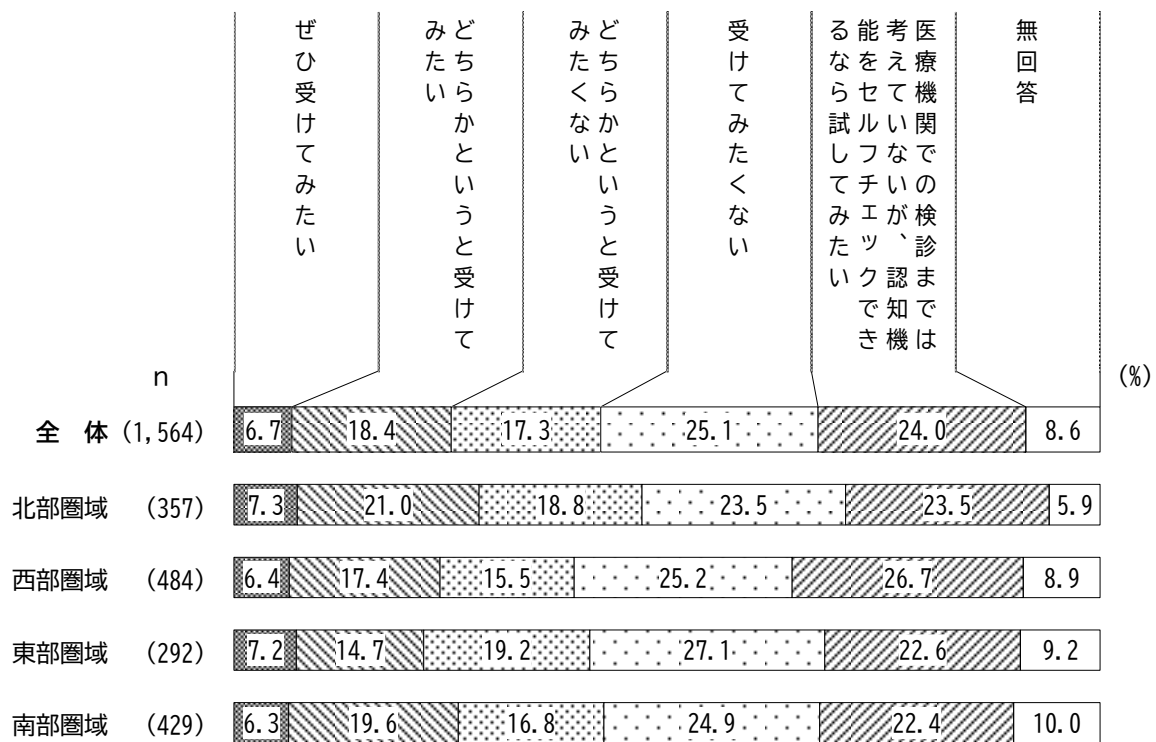
問8 (4) 認知症検診※を受けてみたいと思いますか

※認知症検診…医療機関において、医師による問診と簡単な検査を行い、認知症の疑いを早期に発見するもの

「受けてみたくない」が25.1%で最も高く、次いで「医療機関での検診までは考えていないが、認知機能をセルフチェックできるなら試してみたい」が24.0%となっています。

日常生活圏域別にみると、“東部圏域”で「受けてみたくない」が27.1%と高くなっています。

【圏域別】



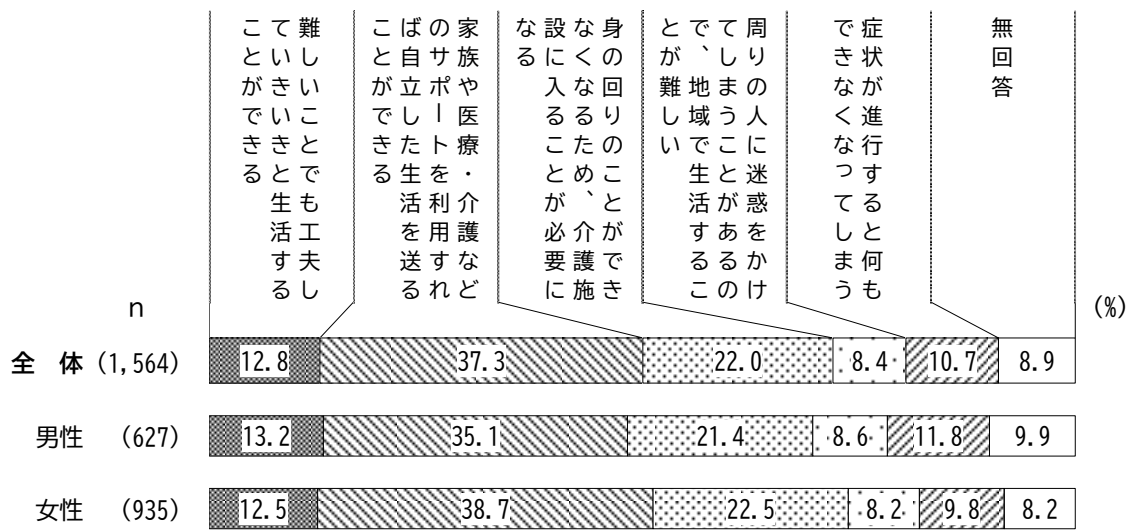
(5) 認知症に対するイメージ

問8 (5) あなたの認知症に対する最も近いイメージは次のうちどれですか

「家族や医療・介護などのサポートを利用すれば自立した生活を送ることができる」が37.3%で最も高く、次いで「身の回りのことができなくなるため、介護施設に入ることが必要になる」が22.0%となっています。

性別にみると、“女性”で「家族や医療・介護などのサポートを利用すれば自立した生活を送ることができる」が38.7%と高くなっています。

【性別】



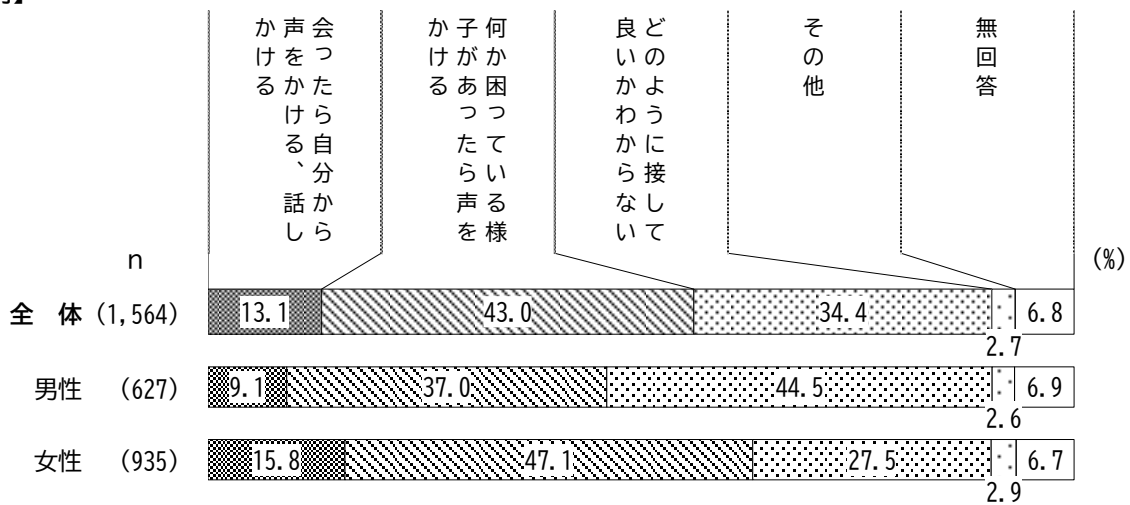
(6) 認知症の方との接し方

問8 (6) 近所に認知症の方がいたら、どのように接しますか

「何か困っている様子があったら声をかける」が43.0%で最も高く、次いで「どのように接して良いかわからない」が34.4%となっています。

性別にみると、“女性”で「何か困っている様子があったら声をかける」が47.1%と高くなっています。

【性別】

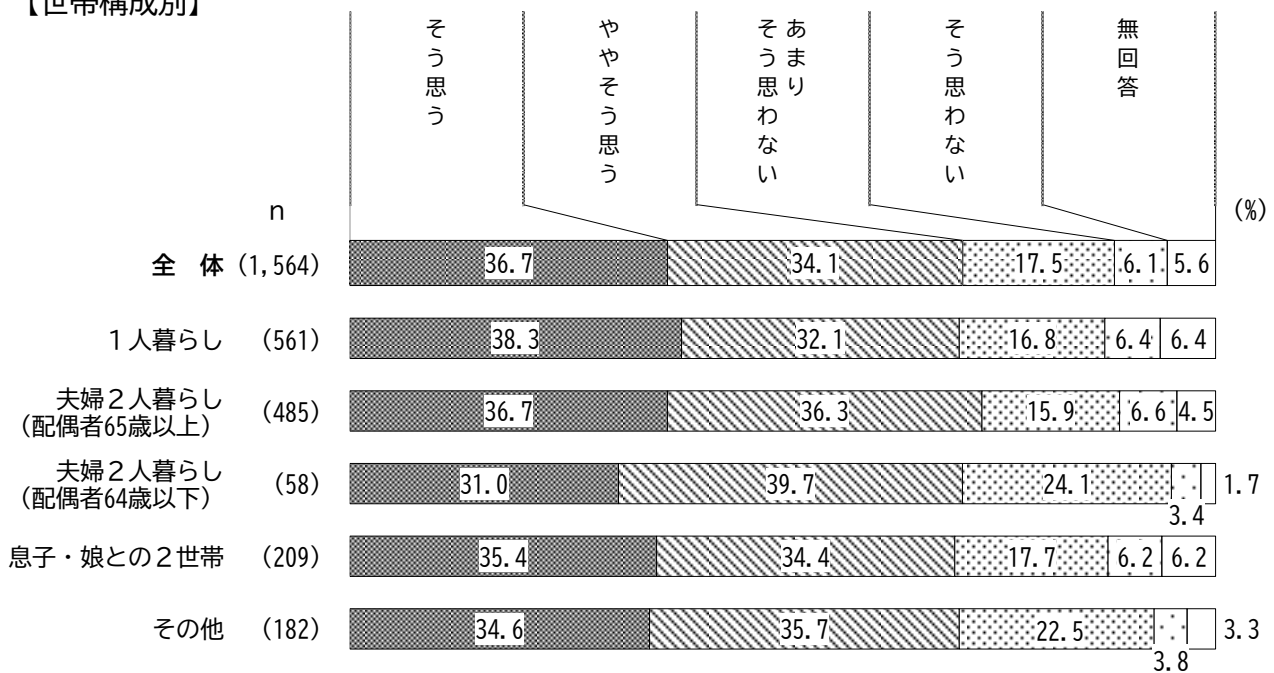


(7) 認知症になった場合の周囲への伝達

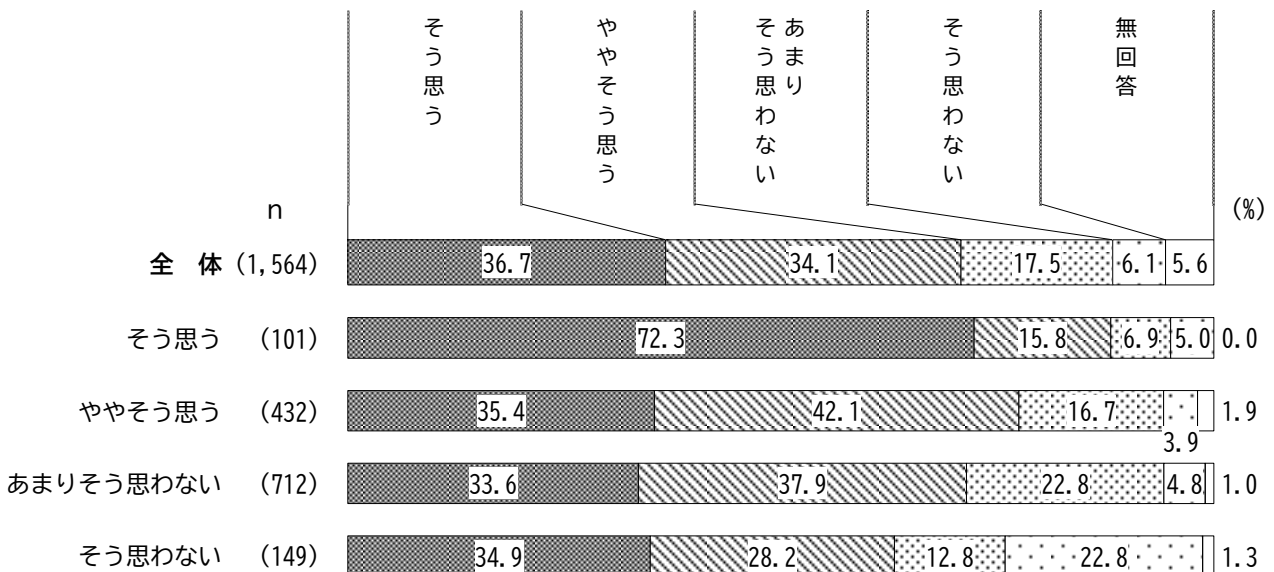
問8 (7) あなたや家族、身近な人が認知症になった場合、そのことを周囲に伝えてもよいと思いますか

「そう思う」が36.7%で最も高く、次いで「ややそう思う」が34.1%となっています。
 世帯構成別にみると、“夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）”で「ややそう思う」が39.7%と高くなっています。
 認知症の人の意思が尊重されていると思うか別にみると、「尊重されていると思う」人では、「そう思う」が72.3%と高くなっています。

【世帯構成別】



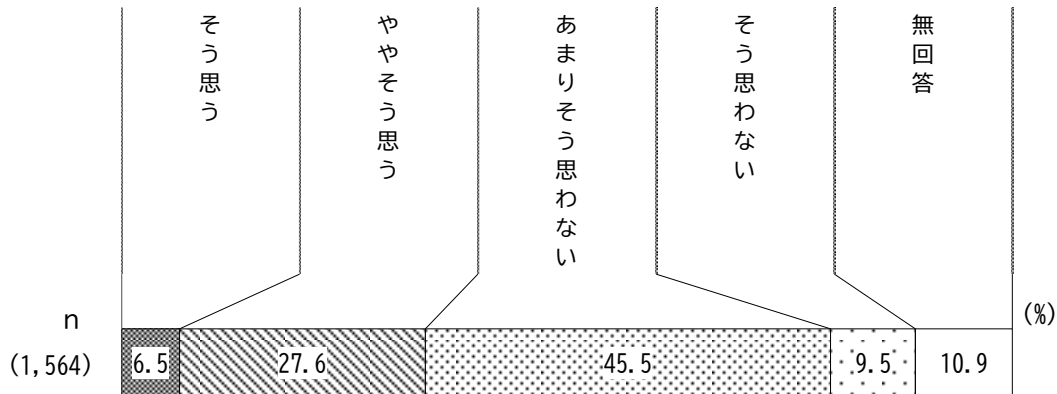
【認知症の人の意思が尊重されていると思うか別】



(8) 認知症の人の意思が尊重されていると思うか

問8 (8) あなたは、地域生活の様々な場面において、認知症の人の意思が尊重され、本人が望む生活が継続できていると考えますか

「あまりそう思わない」が45.5%で最も高く、次いで「ややそう思う」が27.6%となっています。

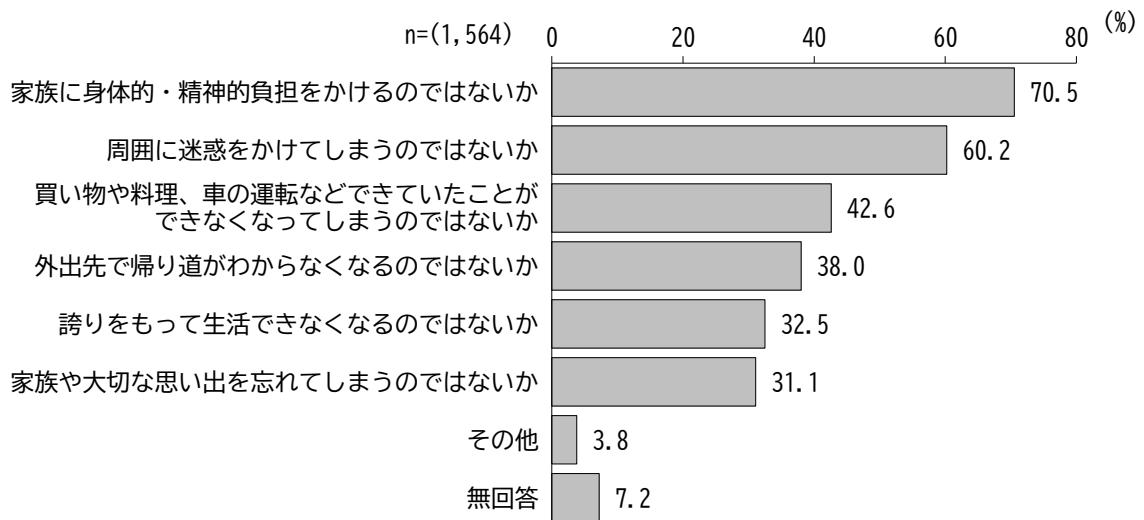


(9) 認知症に対する不安

問8 (9) あなたの認知症に対する不安は、次のうちどれですか (いくつでも)

「家族に身体的・精神的負担をかけるのではないかと」が70.5%で最も高く、次いで「周囲に迷惑をかけてしまうのではないかと」が60.2%、「買い物や料理、車の運転などできていたことができなくなってしまうのではないかと」が42.6%となっています。

年齢別にみると、どの年代でも「家族に身体的・精神的負担をかけるのではないかと」が高くなっています。



第2章 調査結果の詳細①
 (介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

【年齢別】

	n	家族に身体的・精神的負担をかけるのではないか	周囲に迷惑をかけてしまうのではないか	買い物や料理、車の運転などできないか	外出先で帰りがわからなくなる	誇りをもって生活できなくなるのではないか	家族や大切な思い出を忘れてしま	その他	(%) 無回答
全体	1,564	70.5	60.2	42.6	38.0	32.5	31.1	3.8	7.2
65-69歳	257	73.5	67.3	48.6	40.1	33.5	37.7	4.7	1.6
70-74歳	253	70.0	60.9	45.1	37.5	31.6	29.2	3.2	5.1
75-79歳	338	67.8	53.8	45.3	37.9	30.8	30.2	4.1	8.6
80-84歳	292	69.5	62.7	41.1	38.0	34.2	30.5	3.1	8.9
85-89歳	262	71.4	59.9	37.0	39.7	34.7	29.4	4.2	6.9
90歳以上	160	73.1	56.9	35.0	33.1	28.8	29.4	3.8	13.8

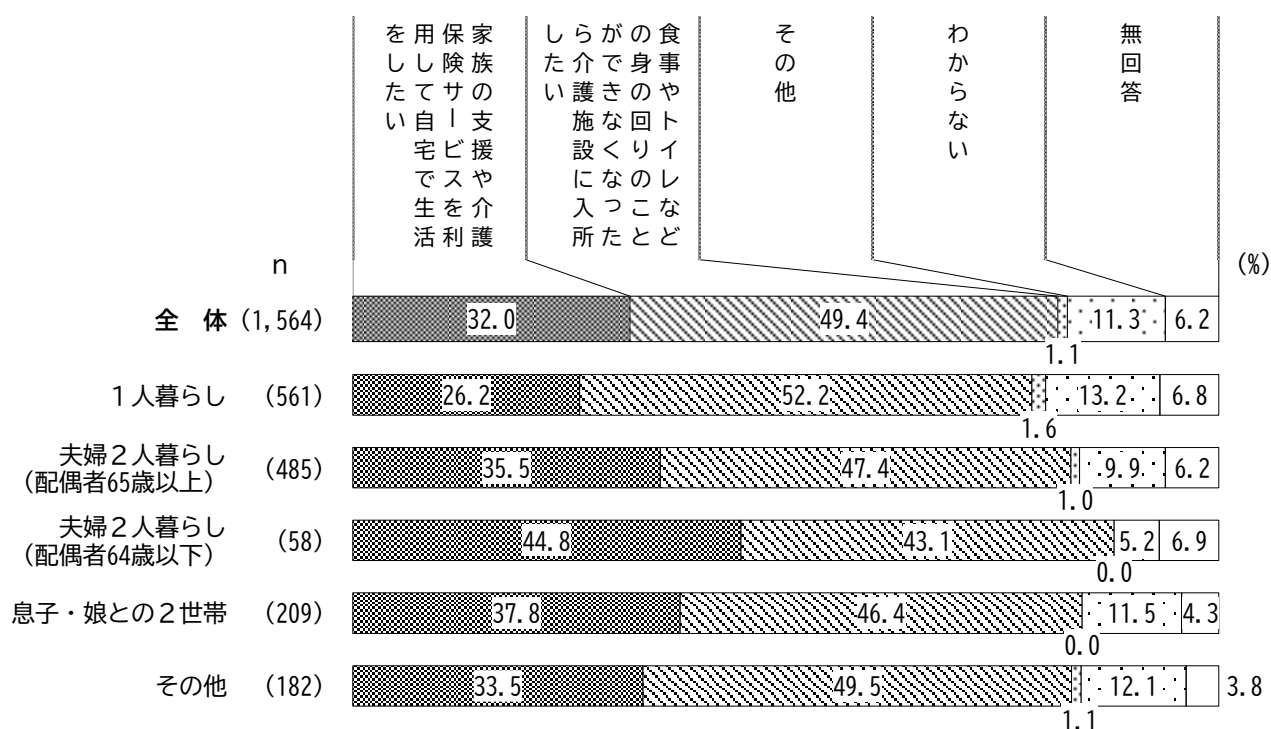
(10) 認知症になった場合の生活したい場所

問8 (10) あなたは、認知症になった場合、どこで生活したいですか

「食事やトイレなどの身の回りのことができなくなったら介護施設に入所したい」が49.4%で最も高く、次いで「家族の支援や介護保険サービスを利用して自宅で生活をしたい」が32.0%となっています。

世帯構成別にみると、“1人暮らし”で「食事やトイレなどの身の回りのことができなくなったら介護施設に入所したい」が52.2%と高くなっています。

【世帯構成別】

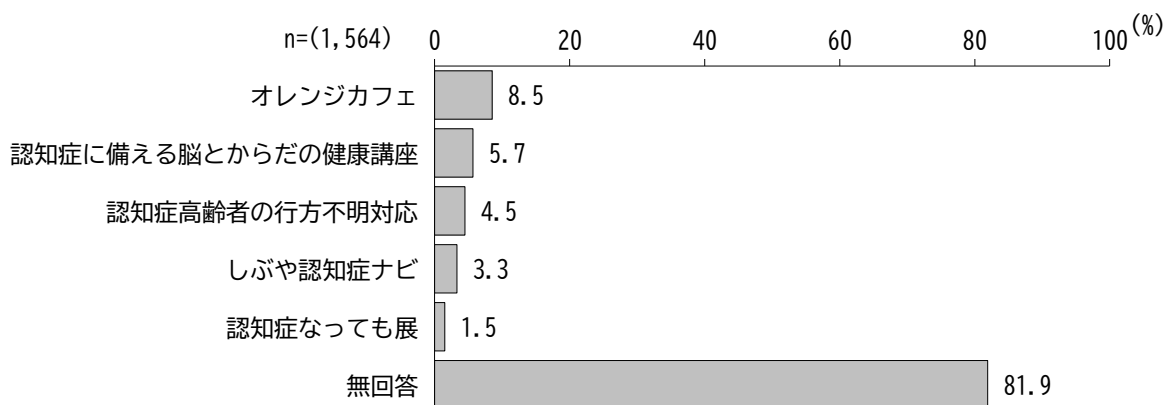


第2章 調査結果の詳細①
(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

(11) 渋谷区認知症施策の認知度

問8 (11) 渋谷区が取組む以下の認知症施策について、知っているものをご回答ください (いくつでも)

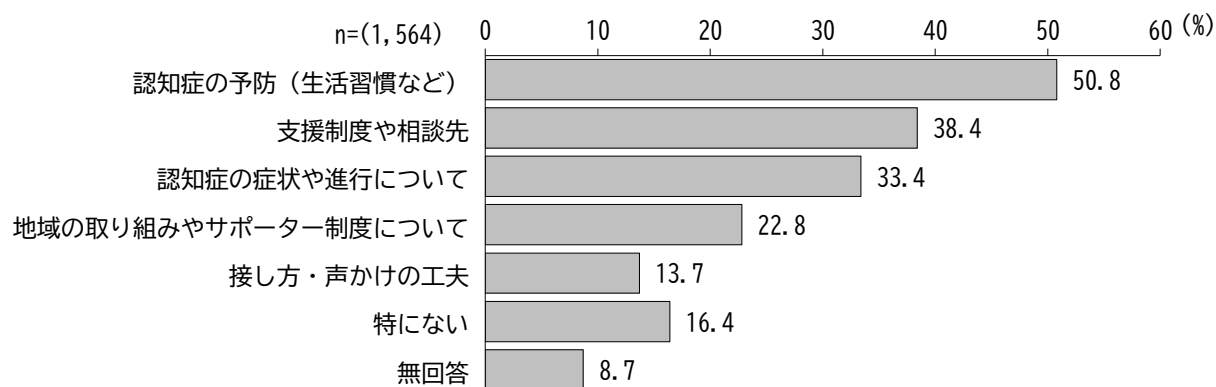
「オレンジカフェ」が8.5%で最も高く、次いで「認知症に備える脳とからだの健康講座」が5.7%となっています。



(12) 認知症について知りたいこと

問8 (12) あなたが「認知症についてもっと知りたい」と思う内容は何か (いくつでも)

「認知症の予防 (生活習慣など)」が50.8%で最も高く、次いで「支援制度や相談先」が38.4%、「認知症の症状や進行について」が33.4%となっています。

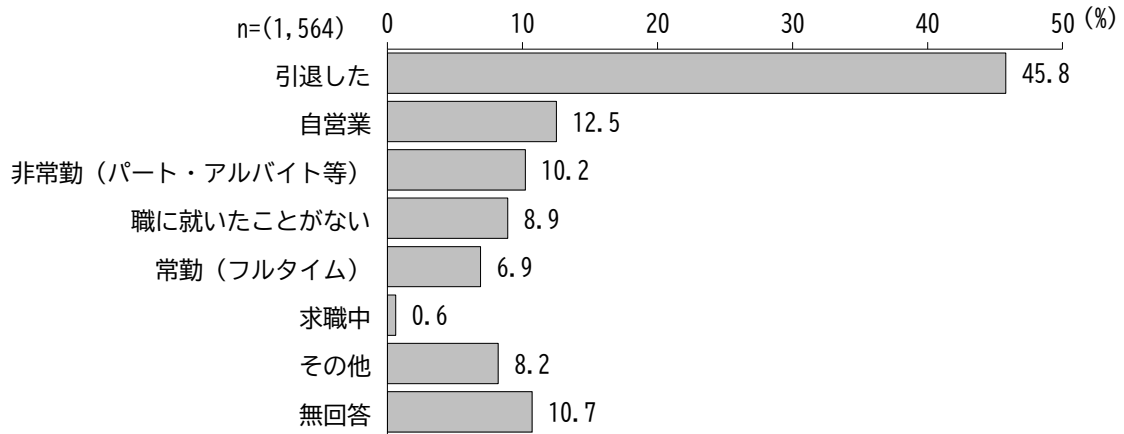


10. その他

(1) 就労状況

問9 (1) 現在のあなたの就労状態はどれですか (いくつでも)

「引退した」が45.8%で最も高く、次いで「自営業」が12.5%となっています。



(2) 交流してみたい世代

問9 (2) 地域における多世代交流について、交流してみたい世代はどの世代ですか (いくつでも)

「社会人」が14.8%で最も高く、次いで「プレシニア」が12.7%となっています。一方、「特になし」が54.0%となっています。

性・年齢別にみると、“男性65～74歳”で「社会人」が27.9%と高くなっています。

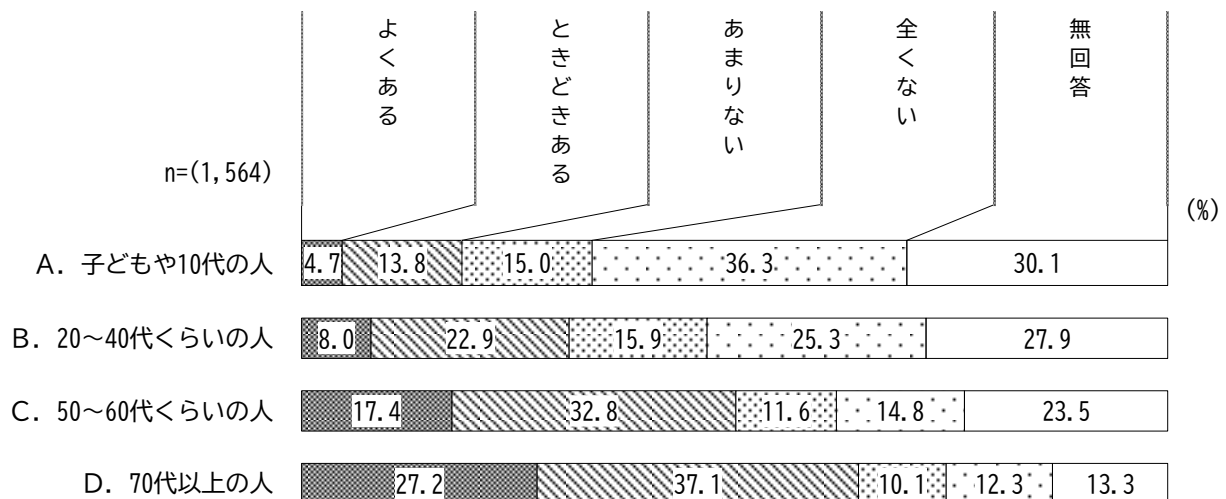
【性・年齢別】

		n	社会人	プレシニア	大学生	子を持つ家族	小学生	乳幼児	高校生	中学生	特になし	無回答
全体		1,564	14.8	12.7	7.5	6.3	4.8	4.0	3.8	3.0	54.0	17.0
男性	65～74歳	233	27.9	16.3	14.2	7.3	5.6	2.1	7.3	5.6	55.8	5.2
	75～84歳	261	13.4	10.7	7.7	3.4	3.1	0.8	3.8	3.4	59.0	15.3
	85歳以上	133	14.3	9.0	3.8	2.3	1.5	-	0.8	-	57.1	21.1
女性	65～74歳	277	15.5	18.1	9.4	8.3	7.9	7.6	4.7	4.7	57.4	6.1
	75～84歳	369	13.3	13.0	6.8	8.9	5.1	5.7	3.8	2.2	49.9	21.1
	85歳以上	289	7.3	8.0	3.1	4.8	3.8	4.8	1.7	1.4	48.1	31.5

(3) 会話をする機会

問9 (3) 近所づきあいや、地域活動・余暇活動の中で、あなたは、次のような年齢層の方と会話をする機会がどのくらいありますか。※ご家族や親戚、仕事関係の人はのぞきます。
 (それぞれ〇は1つ)

- A. 子どもや10代の人
 「全くない」が36.3%で最も高く、次いで「あまりない」が15.0%、「ときどきある」が13.8%となっています。
- B. 20~40代くらいの人
 「全くない」が25.3%で最も高く、次いで「ときどきある」が22.9%となっています。
- C. 50~60代くらいの人
 「ときどきある」が32.8%で最も高く、次いで「よくある」が17.4%となっています。
- D. 70代以上の人
 「ときどきある」が37.1%で最も高く、次いで「よくある」が27.2%となっています。



(4) スマートフォン (もしくはタブレット) の所持状況

問9 (4) 現在スマートフォン (もしくはタブレット) を持っていますか (いくつでも)

「スマートフォン」が74.6%で最も高く、次いで「タブレット」が16.2%となっています。
 年齢別にみると、“90歳以上”で「どちらも持っていない」が40.6%と高くなっています。

【年齢別】

	n	スマートフォン	タブレット	どちらも持っていない	無回答
全体	1,564	74.6	16.2	14.5	10.0
65-69歳	257	91.1	26.8	3.1	5.4
70-74歳	253	89.7	26.5	5.1	5.1
75-79歳	338	82.5	17.5	8.3	7.4
80-84歳	292	77.1	12.3	12.0	9.6
85-89歳	262	53.8	5.3	29.0	16.0
90歳以上	160	37.5	5.6	40.6	20.6

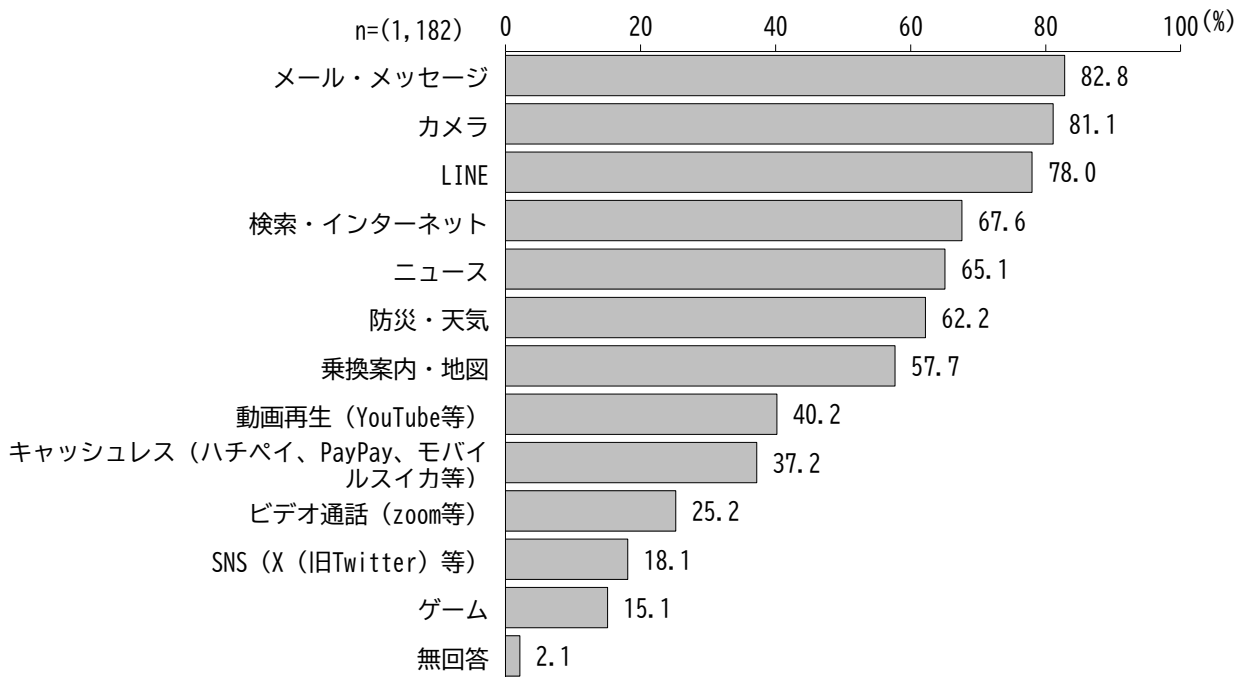
第2章 調査結果の詳細①
(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

(5) スマートフォンやタブレットで使用しているアプリ・機能

【(4)で「1. スマートフォン」「2. タブレット」の方のみ】

①使用しているアプリ・機能はなんですか (いくつでも)

「メール・メッセージ」が82.8%で最も高く、次いで「カメラ」が81.1%、「LINE」が78.0%となっています。



(6) スマートフォンアプリを活用した健康管理の実施状況

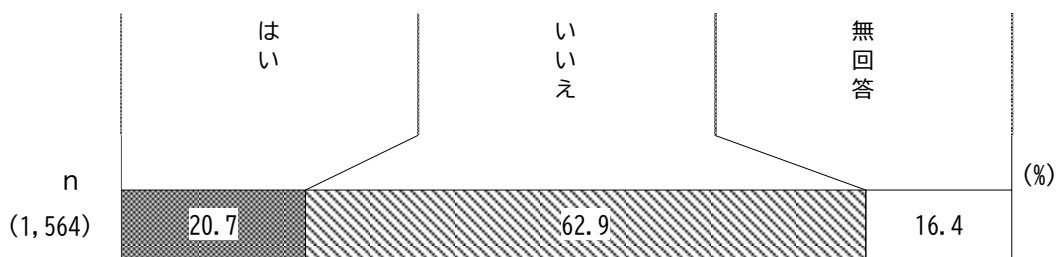
問9 (5) スマートフォンのアプリを活用して健康管理をしていますか

「はい」が20.7%、「いいえ」が62.9%となっています。

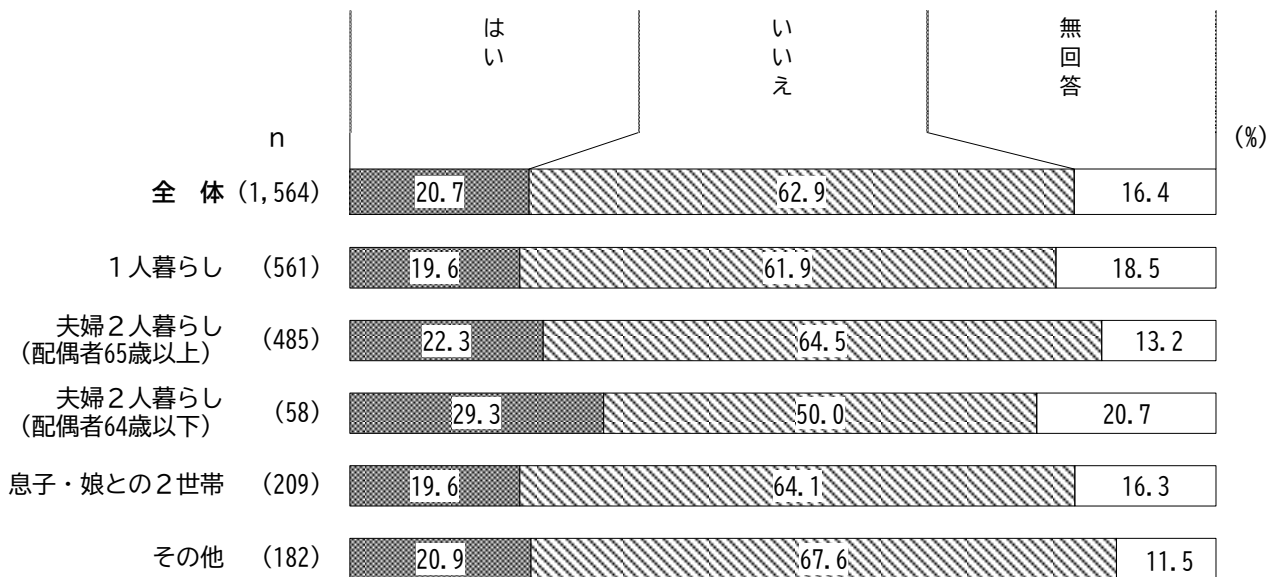
世帯構成別にみると、“夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）”で「はい」が29.3%と高くなっています。

外出頻度別にみると、外出が多いほど「はい」が高くなっています。

幸福度別にみると、幸福度が高いほど「はい」が高くなっています。

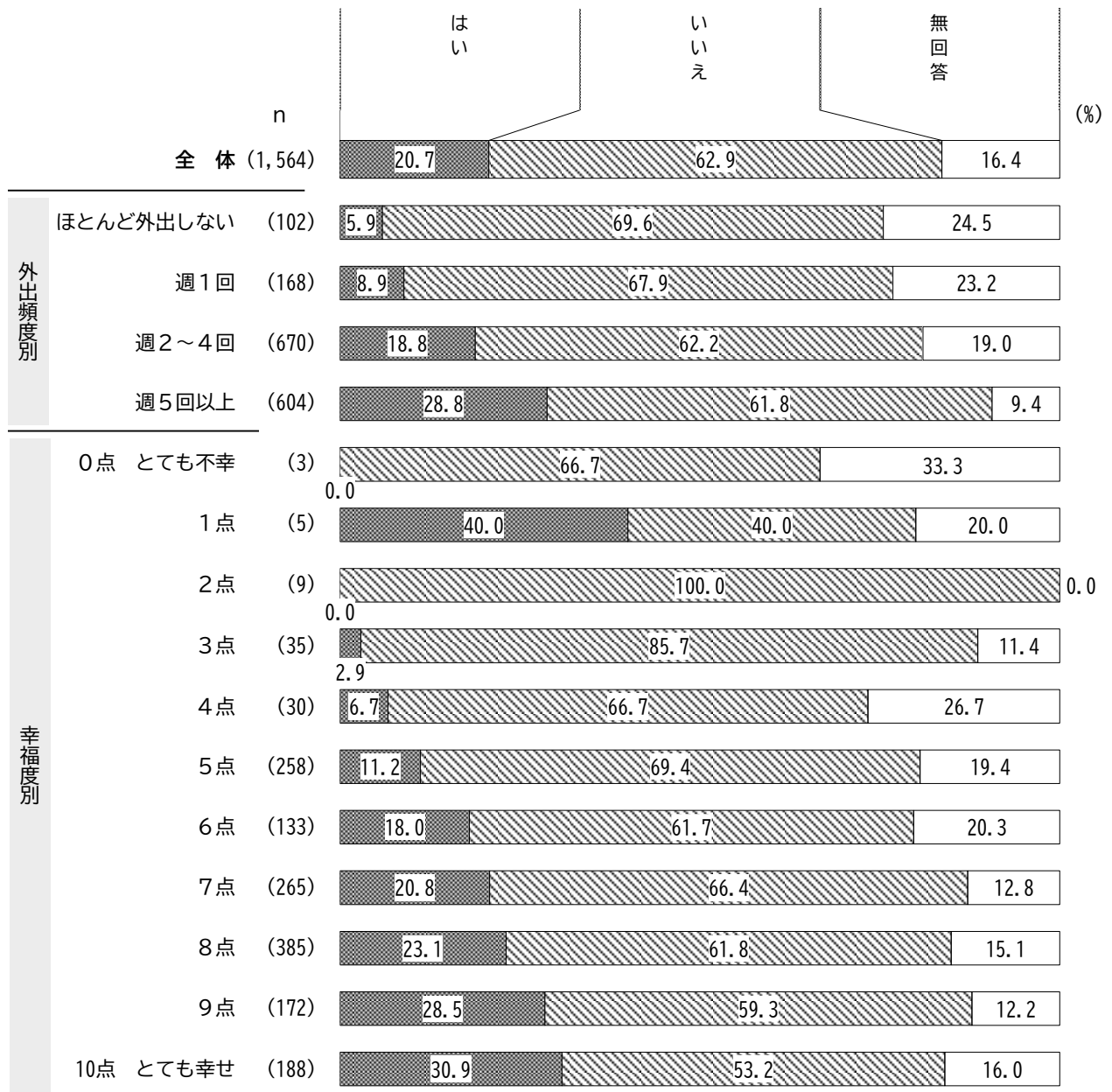


【世帯構成別】



第2章 調査結果の詳細①
 (介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

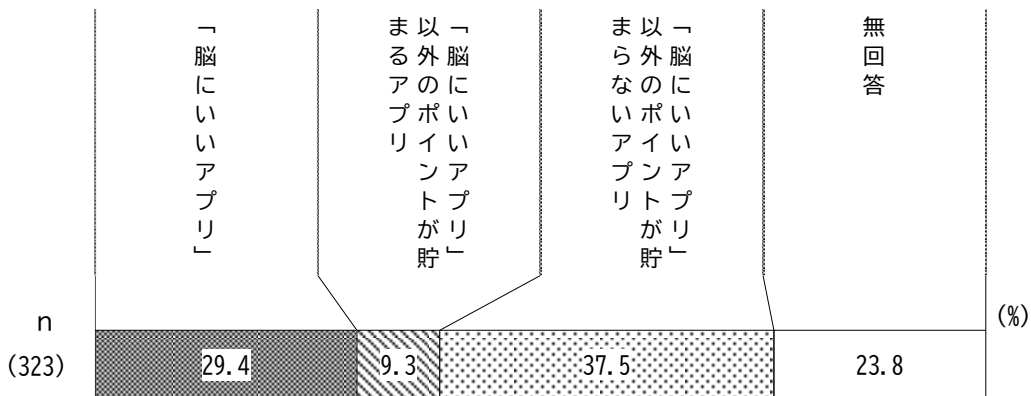
【外出頻度別、幸福度別】



(7) 使用している健康アプリ

【(5)で「1.はい」の方のみ】
①使用している健康アプリは何ですか

「脳にいいアプリ※」以外のポイントが貯まらないアプリ」が37.5%で最も高く、次いで「脳にいいアプリ」が29.4%となっています。

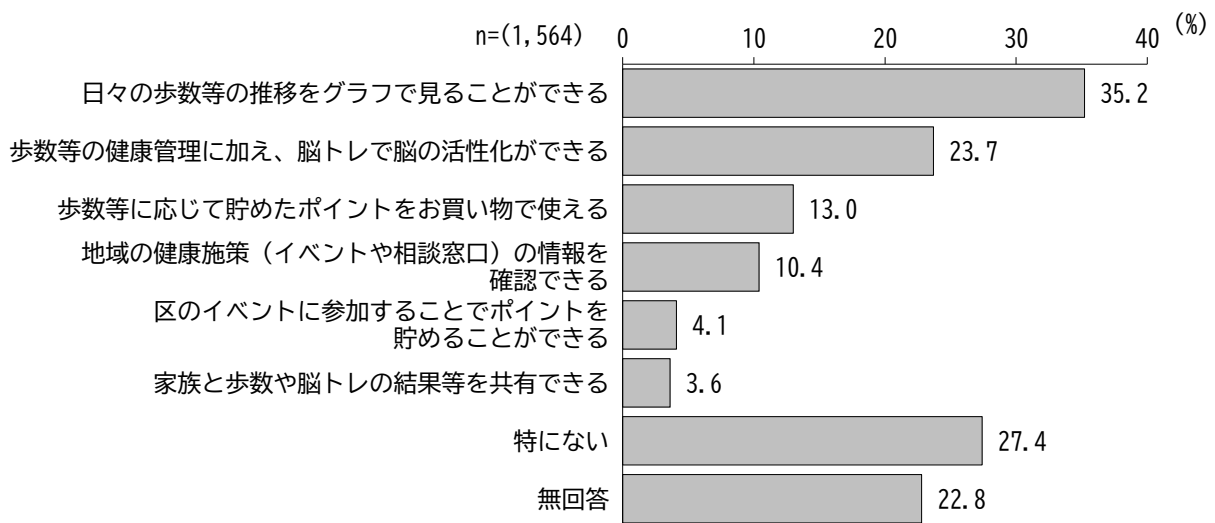


※脳にいいアプリ…渋谷区が推奨する健康アプリ

(8) ②健康管理をする際に利用したい機能

問9②スマートフォンのアプリを活用して健康管理をする際に、利用したい機能はなんですか (いくつでも)

「日々の歩数等の推移をグラフで見ることができる」が35.2%で最も高く、次いで「歩数等の健康管理に加え、脳トレで脳の活性化ができる」が23.7%となっています。一方、「特にない」が27.4%となっています。



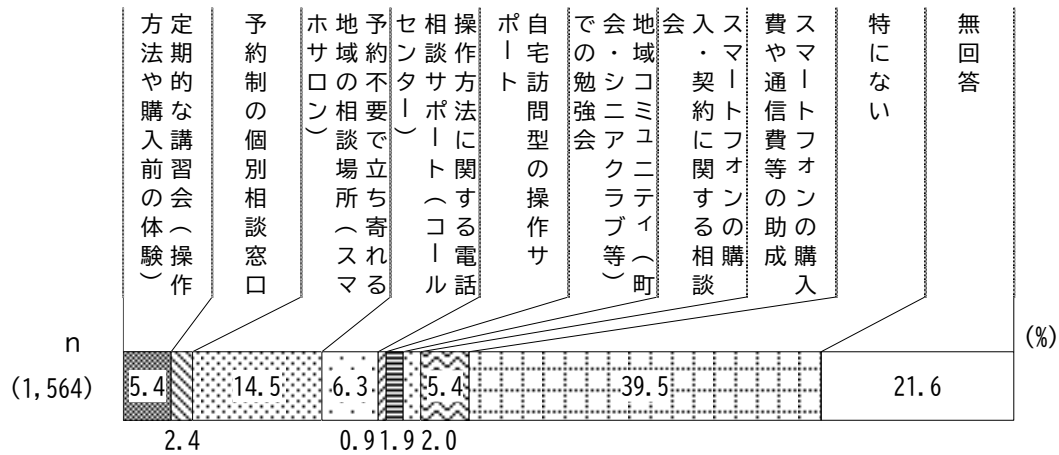
第2章 調査結果の詳細①

(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

(9) 最も利用したいスマートフォンに関するサポート

問9 (6) スマートフォンについて最も利用したいサポートはなんですか

「予約不要で立ち寄れる地域の相談場所（スマホサロン）」が14.5%で最も高くなっています。一方、「特にない」が39.5%となっています。



(10)「渋谷生涯活躍ネットワーク・シブカツ」の認知度

問9 (7)「渋谷生涯活躍ネットワーク・シブカツ※ (以下「シブカツ」という)」を知っていますか

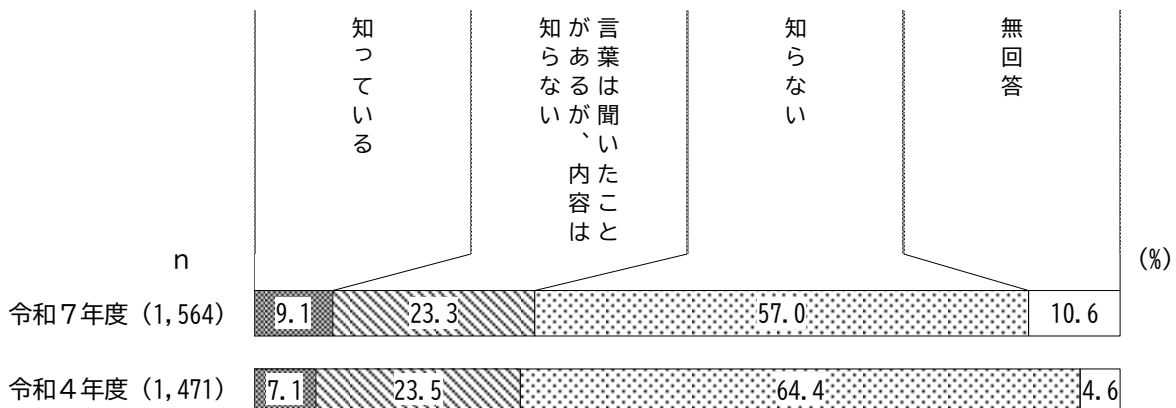
※渋谷生涯活躍ネットワーク・シブカツ…プレシニア世代からアクティブシニア世代の方が、いつまでも元気に活躍し続けられるよう、お持ちの経験や能力を活かす機会や新たな学びの場を提供するために、令和元年7月に渋谷ヒカリエ8階に開設した施設。

「知らない」が57.0%で最も高く、次いで「言葉は聞いたことがあるが、内容は知らない」が23.3%となっています。

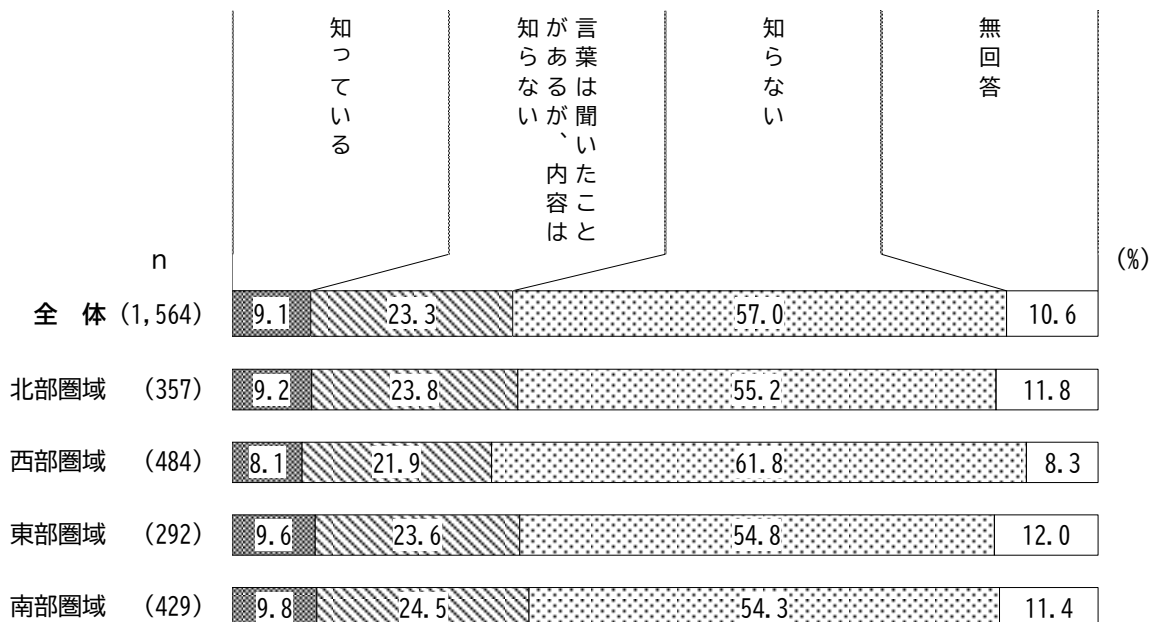
前回の調査結果と比較すると、「知らない」が7.4ポイント低くなっています。

日常生活圏域別にみると、“南部圏域”で「言葉は聞いたことがあるが、内容は知らない」が24.5%と高くなっています。一方、“西部圏域”で「知らない」が61.8%と高くなっています。

【経年比較】



【圏域別】

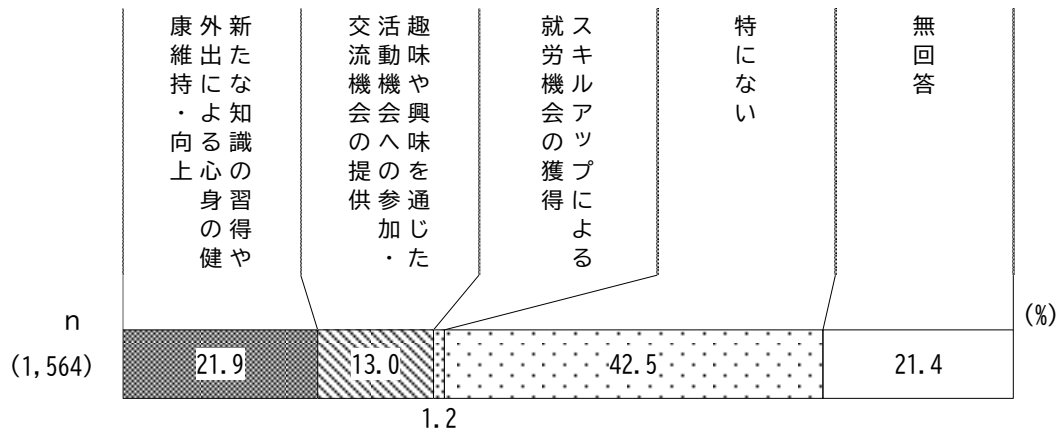


第2章 調査結果の詳細①
 (介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

(11) シブカツに期待すること

問9 (8) シブカツ (渋谷ハチコウ大学) が実施する講座で学ぶことにより最も期待することはなんですか

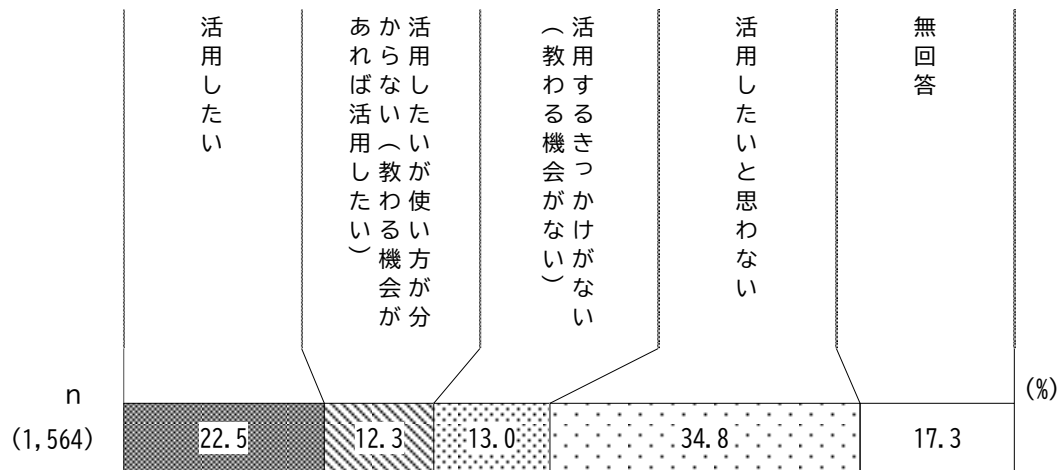
「新たな知識の習得や外出による心身の健康維持・向上」が21.9%で最も高くなっています。一方、「特にない」が42.5%となっています。



(12) 学び・人とのつながり・就職時におけるデジタル機器の活用意向

問9 (9) 区や大学の講座で学びたい・地域の団体や同じ趣味を持つ人とつながりたい・働き場所を探したいと思った時に、パソコンやスマートフォンなどのデジタル機器を活用したいと思いますか

「活用したいと思わない」が34.8%で最も高く、次いで「活用したい」が22.5%となっています。



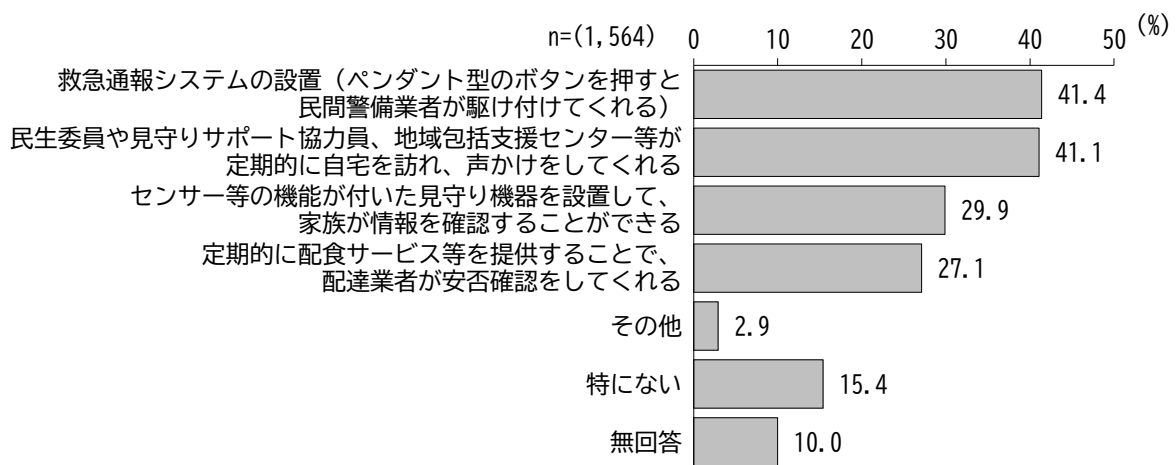
第2章 調査結果の詳細①
 (介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

(13) 利用したい「見守り支援」

問9 (10) もし、あなたがひとり暮らしまたは高齢者のみの世帯になった場合（現在これらの場合は現時点の意向として）、どのような「見守り支援」を利用したいと思いますか。（いくつでも）

「救急通報システムの設置（ペンダント型のボタンを押すと民間警備業者が駆け付けてくれる）」が41.4%で最も高く、次いで「民生委員や見守りサポート協力員、地域包括支援センター等が定期的に自宅を訪れ、声かけをしてくれる」が41.1%となっています。

性・年齢別にみると、“男性85歳以上”で「民生委員や見守りサポート協力員、地域包括支援センター等が定期的に自宅を訪れ、声かけをしてくれる」が57.1%と高くなっています。



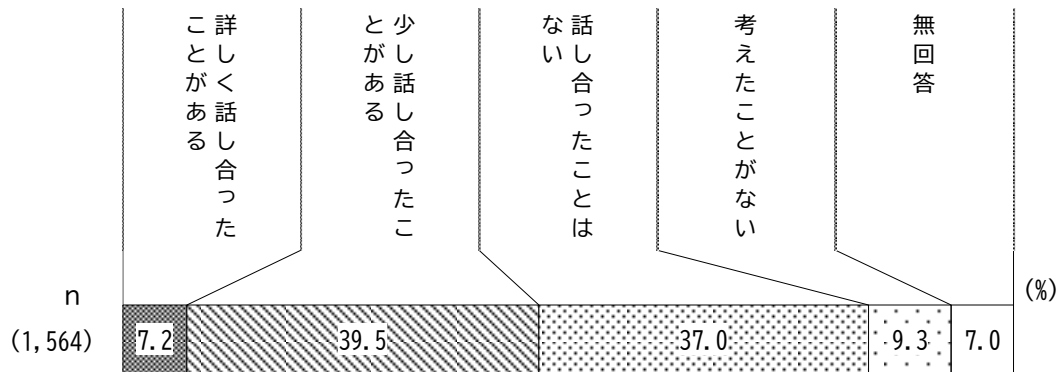
【性・年齢別】

		n	救急通報システムの設置（ペンダント型ボタンを押すと民間警備業者が駆け付けてくれる）	地域包括支援センター等が定期的に自宅を訪れ、声かけをしてくれる	民生委員や見守りサポート協力員、地域包括支援センター等が定期的に自宅を訪れ、声かけをしてくれる	センサー等の機能が付いた見守り機器を設置して、家族が情報を確認することができる	定期的に配食サービス等を提供することで、配達業者が安否確認をしてくれる	その他	特にない	無回答
全体		1,564	41.4	41.1	29.9	27.1	2.9	15.4	10.0	
男性	65～74歳	233	44.2	44.2	29.2	27.0	2.1	19.7	3.4	
	75～84歳	261	35.2	40.6	29.1	28.7	3.1	18.0	11.1	
	85歳以上	133	34.6	57.1	24.8	27.1	0.8	11.3	8.3	
女性	65～74歳	277	48.0	31.8	33.6	28.9	4.3	15.5	7.2	
	75～84歳	369	43.1	42.5	32.0	27.4	2.7	10.8	12.5	
	85歳以上	289	39.4	38.8	27.3	23.2	3.1	17.3	14.9	

(14) 人生の最期や終末期の過ごし方に関する家族や周囲との話し合いの有無

問9 (11) 人生の最期や終末期の過ごし方について、家族や周りの人等と話し合ったことがありますか

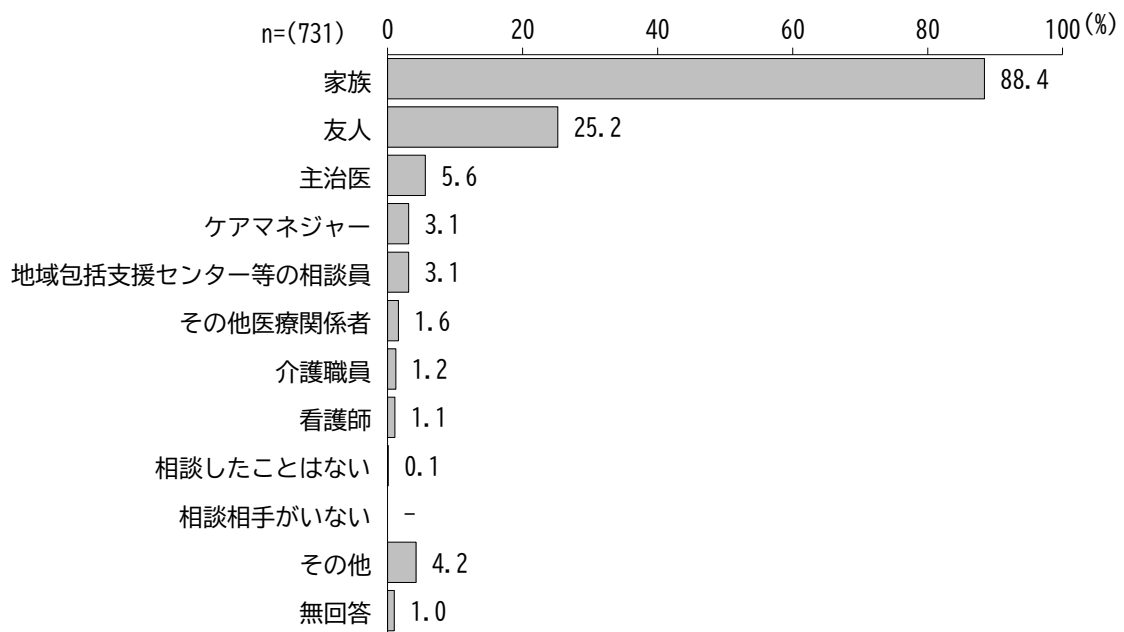
「少し話し合ったことがある」が39.5%で最も高く、次いで「話し合ったことはない」が37.0%となっています。



(15) 人生の最期や終末期の過ごし方について話し合った相手

【(11)で「1. 詳しく話し合ったことがある」「2. 少し話し合ったことがある」の方のみ】
 ①話し合った相手はどなたですか (いくつでも)

「家族」が88.4%で最も高く、次いで「友人」が25.2%となっています。

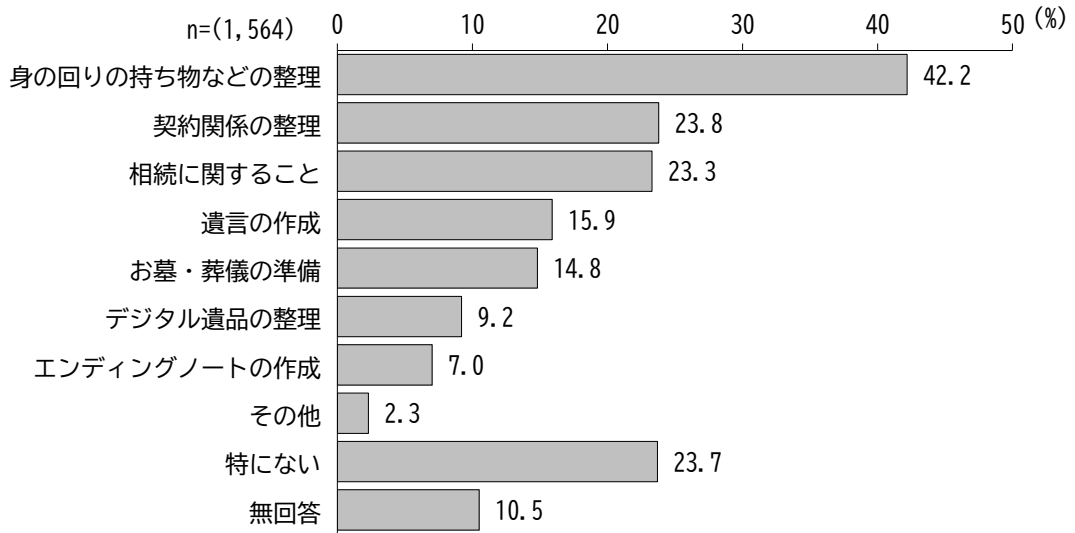


第2章 調査結果の詳細①
(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

(16) 終活を行う上で必要な支援

問9 (12) 終活を行うとすると、何を手伝ってもらいたいですか (いくつでも)

「身の回りの持ち物などの整理」が42.2%で最も高く、次いで「契約関係の整理」が23.8%、「相続に関すること」が23.3%となっています。一方、「特にない」が23.7%となっています。



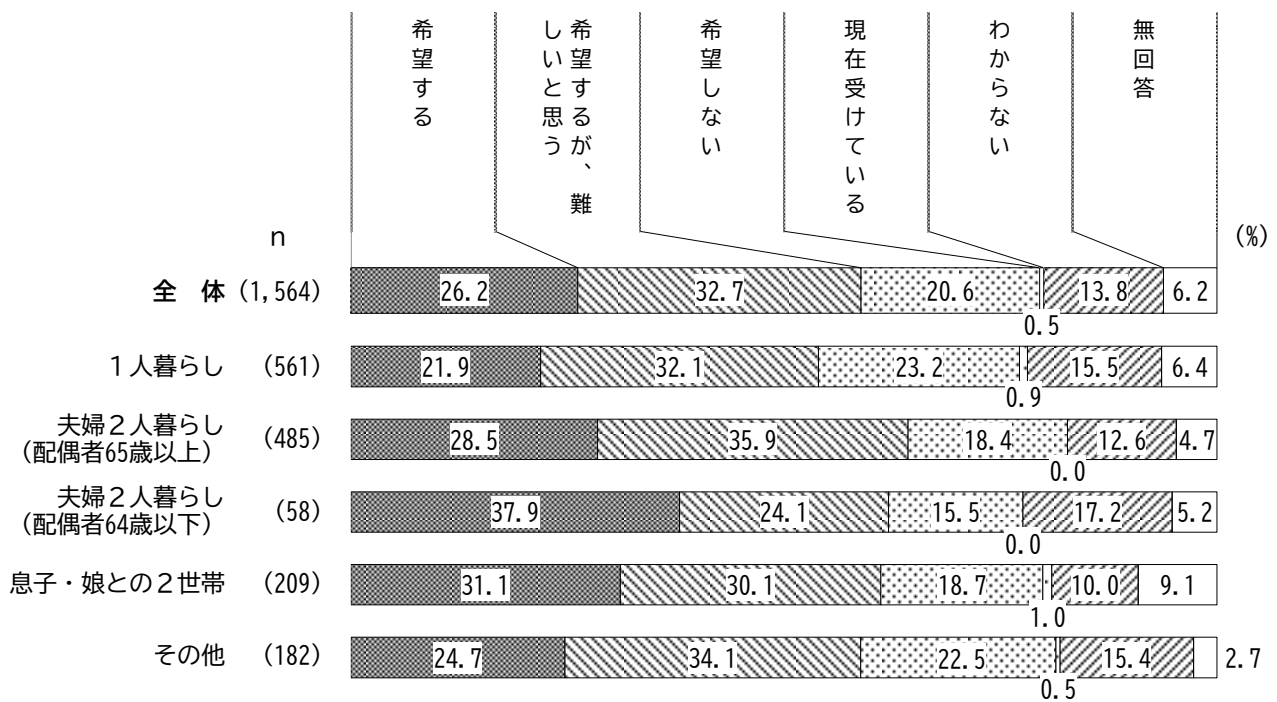
(17) 在宅療養の希望

問9 (13) あなたが病気やけがで長期の療養が必要となり、通院が困難になった場合、自宅で療養することを望みますか。

「希望するが、難しいと思う」が32.7%で最も高く、次いで「希望する」が26.2%となっています。

世帯構成別にみると、“夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）”で「希望する」が37.9%と高くなっています。

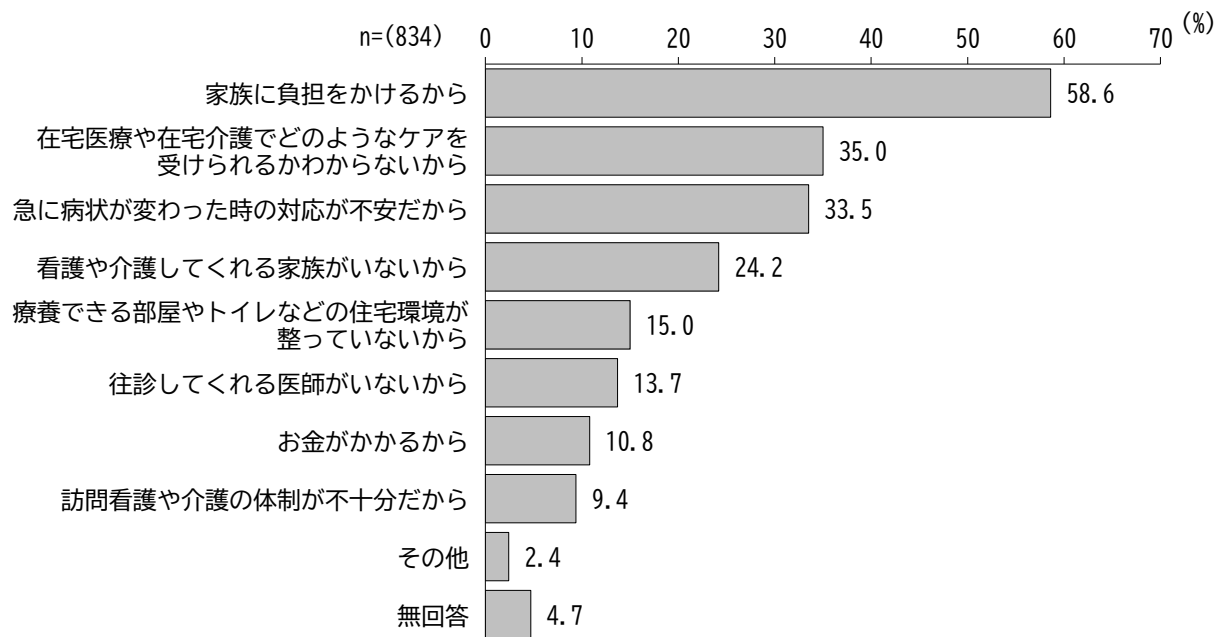
【世帯構成別】



(18) 在宅療養を希望しない理由

問9【(13)で「2.希望するが、難しいと思う」「3.希望しない」の方のみ】①自宅での療養を希望しない、または難しいと思う理由は何ですか(いくつでも)

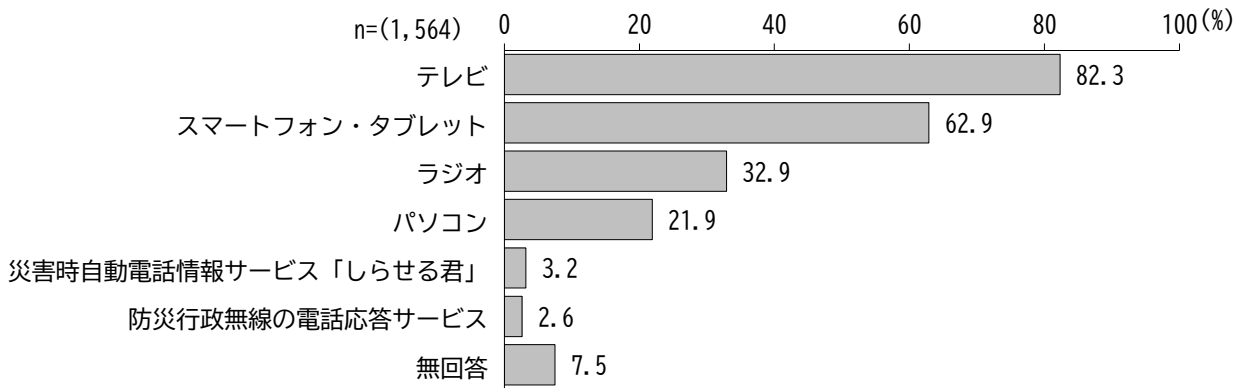
「家族に負担をかけるから」が58.6%で最も高く、次いで「在宅医療や在宅介護でどのようなケアを受けられるかわからないから」が35.0%、「急に病状が変わった時の対応が不安だから」が33.5%となっています。



(19) 自然災害発生時の情報入手手段

問9 (14) 地震・台風等の自然災害が発生した際に、どの媒体・サービスから情報を得ることができますか (いくつでも)

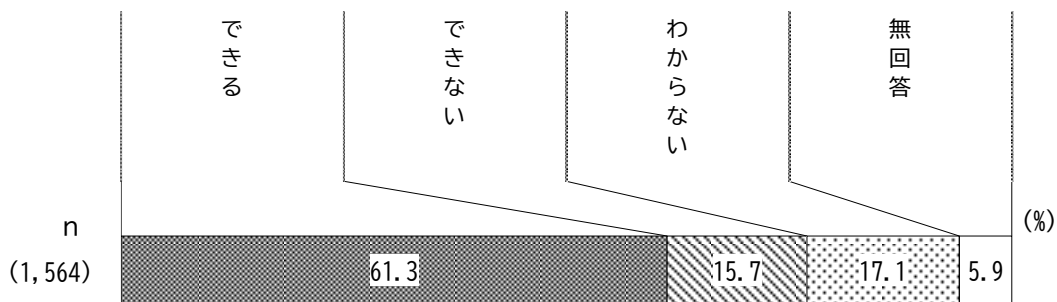
「テレビ」が82.3%で最も高く、次いで「スマートフォン・タブレット」が62.9%となっています。



(20) 災害時の単独避難の可否

問9 (15) あなたは、災害時、一人で避難することができますか

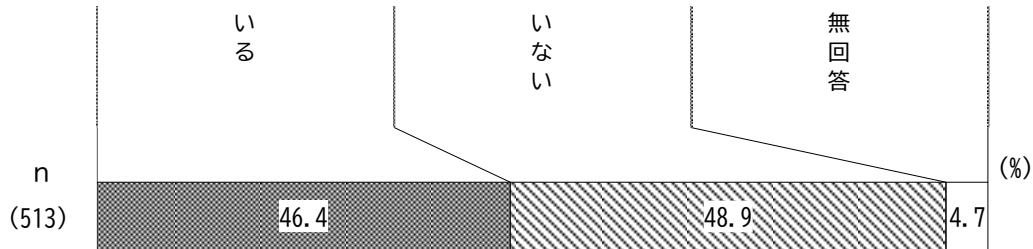
「できる」が61.3%で最も高く、次いで「わからない」が17.1%となっています。



(21) 手助けを頼める人の有無

【(15) で「2.できない」「3.わからない」の方のみ】
 ①避難に際して手助けを頼める人はいますか

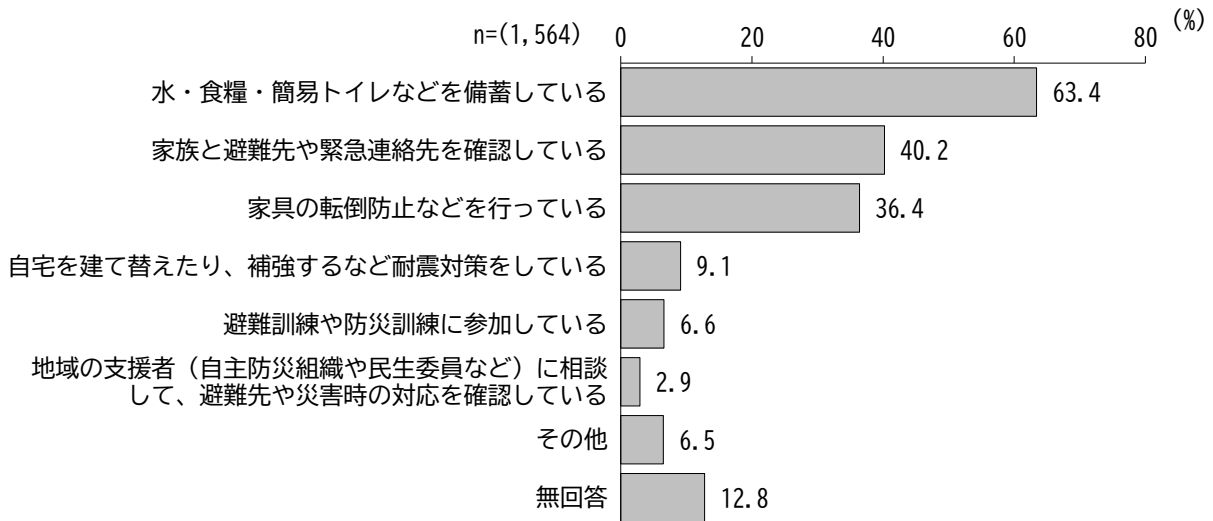
「いない」が48.9%となっています。



(22) 災害への備え

問9 (16) あなたは、地震などの災害に備えてどのようなことをしていますか。(いくつでも)

「水・食糧・簡易トイレなどを備蓄している」が63.4%で最も高く、次いで「家族と避難先や緊急連絡先を確認している」が40.2%となっています。



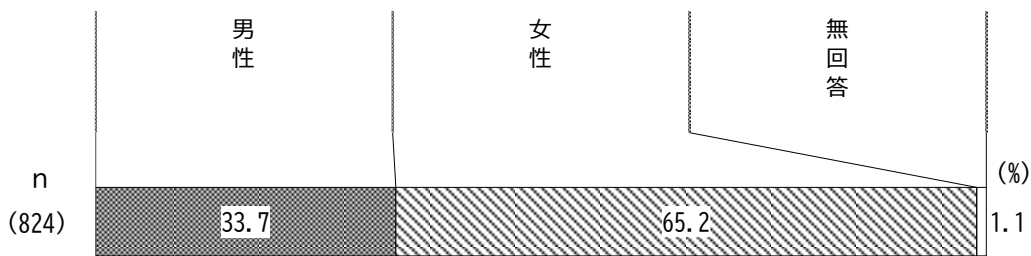
第2章 調査結果の詳細①
(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

第3章 調査結果の詳細② (在宅介護実態調査)

1. 基本属性

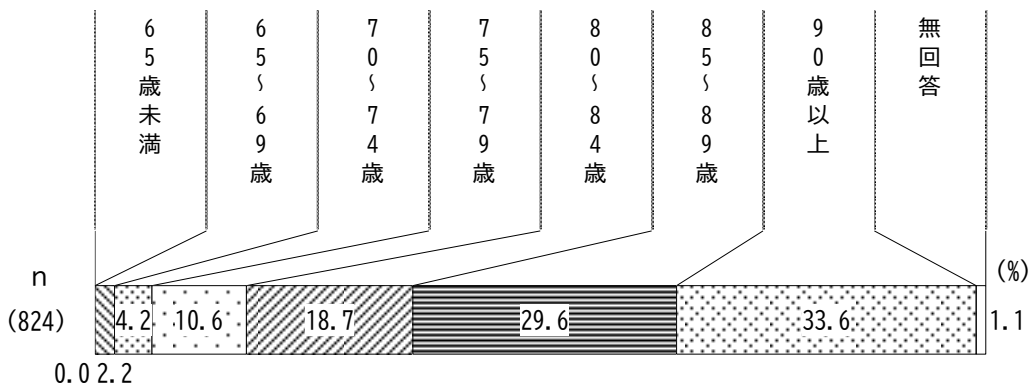
(1) 性別

「女性」が65.2%となっています。



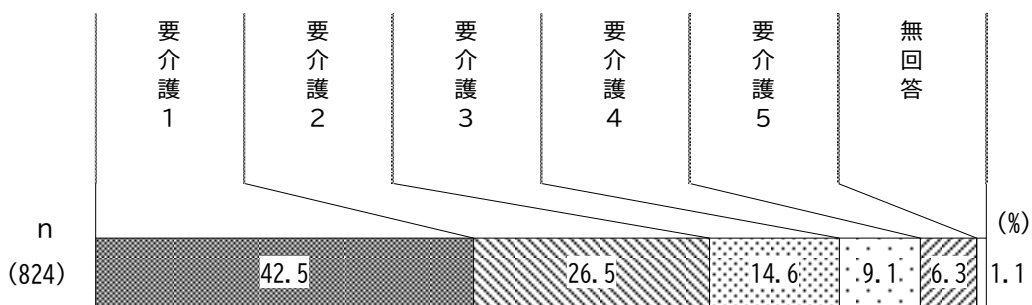
(2) 年齢

「90歳以上」が33.6%で最も高く、次いで「85～89歳」が29.6%となっています。



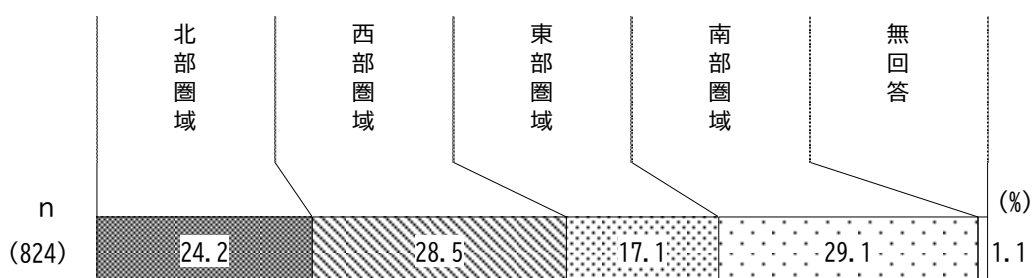
(3) 要介護度

「要介護1」が42.5%で最も高く、次いで「要介護2」が26.5%となっています。



(4) 日常生活圏域

「南部圏域」が29.1%で最も高く、次いで「西部圏域」が28.5%、「北部圏域」が24.2%、「東部圏域」が17.1%となっています。

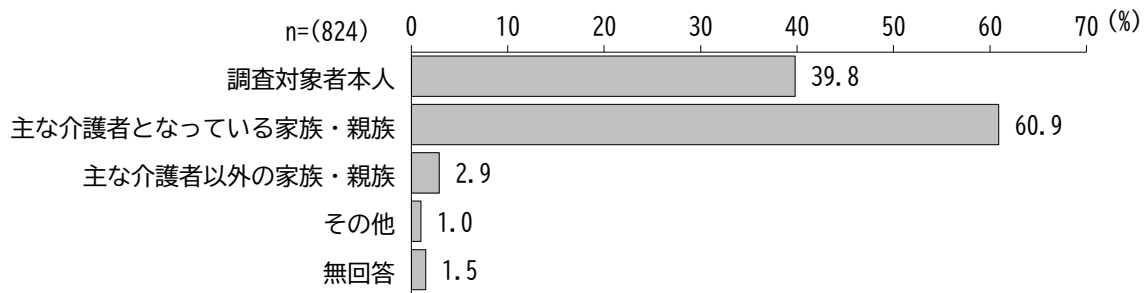


2. 本人について (A票)

(1) 調査票の回答者

問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか (複数回答可)

「主な介護者となっている家族・親族」が60.9%で最も高く、次いで「調査対象者本人」が39.8%となっています。

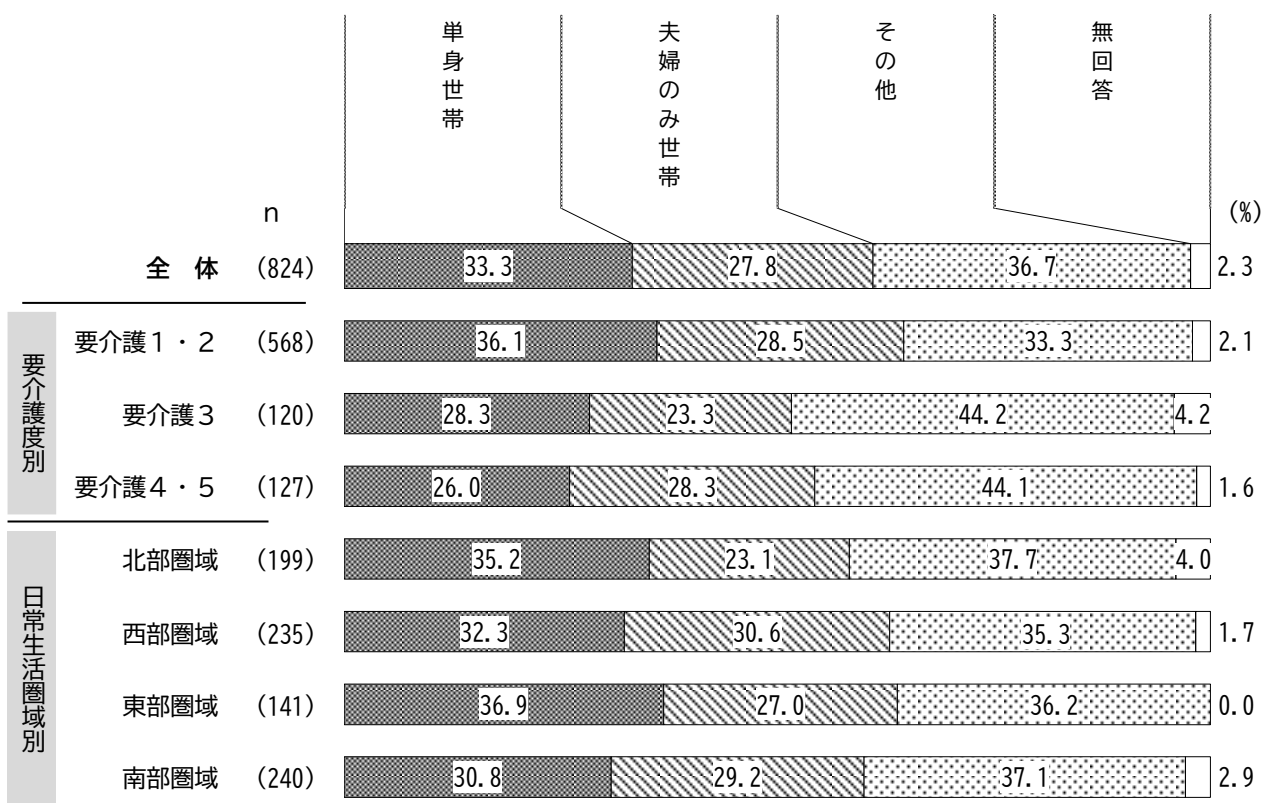


(2) 世帯類型

問2 世帯類型について、ご回答ください (1つを選択)

「単身世帯」が33.3%で最も高く、次いで「夫婦のみ世帯」が27.8%となっています。要介護度別にみると、“要介護1・2”で「単身世帯」が36.1%で高くなっています。日常生活圏域別にみると、“東部圏域”で「単身世帯」が36.9%で高くなっています。

【要介護度別、圏域別】



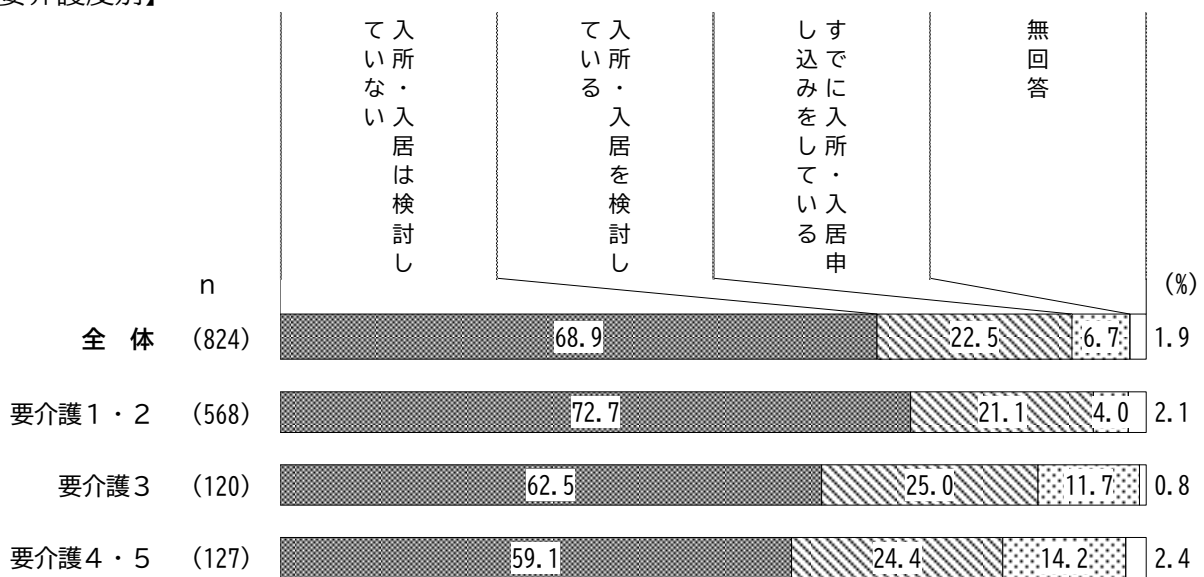
(3) 施設等への入所・入居の検討状況

問6 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つを選択）

「入所・入居は検討していない」が68.9%で最も高く、次いで「入所・入居を検討している」が22.5%となっています。

要介護度別にみると、“要介護1・2”で「入所・入居は検討していない」が72.7%と高くなっています。

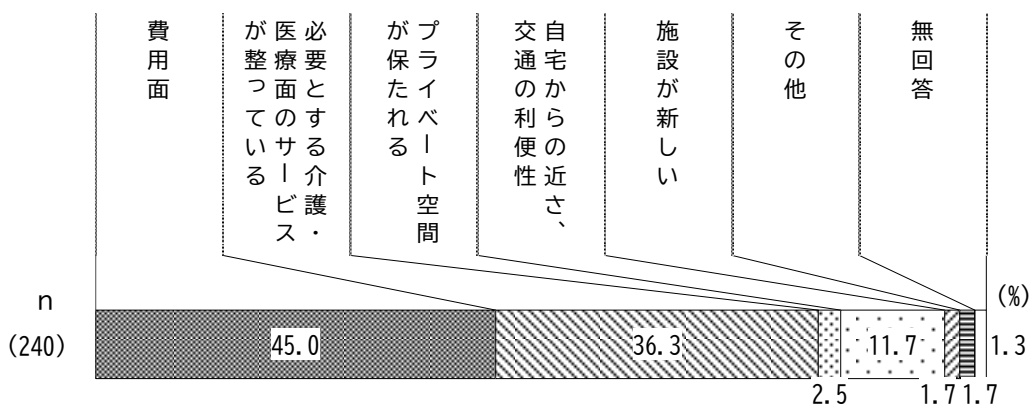
【要介護度別】



(4) 施設入所を検討する際、一番重視するポイント

問7 【問6で「2」「3」と回答した方におうかがいします】施設入所を検討する際、一番重視するポイントは何ですか（1つを選択）

「費用面」が45.0%で最も高く、次いで「必要とする介護・医療面のサービスが整っている」が36.3%となっています。



第3章 調査結果の詳細②
 (在宅介護実態調査)

(5) 申込み・検討している施設

問8 【問6で「2」「3」と回答した方におうかがいします】どの施設への入所・入居申し込みをしましたか、あるいは検討していますか（複数選択可）

「特別養護老人ホーム」が57.1%で最も高く、次いで「特定施設（有料老人ホーム等）」が27.9%となっています。

要介護度別にみると、“要介護4・5”で「特別養護老人ホーム」が69.4%と高くなっています。

【要介護度別】

	n	特別養護老人ホーム	特定施設（有料老人ホーム等）	老人保健施設	グループホーム	介護医療院	その他	無回答
全体	240	57.1	27.9	13.3	12.5	7.1	4.6	7.9
要介護1・2	143	50.3	34.3	17.5	16.8	4.2	6.3	9.1
要介護3	44	65.9	18.2	9.1	11.4	11.4	2.3	2.3
要介護4・5	49	69.4	14.3	6.1	2.0	12.2	2.0	8.2

(%)

(6) 本人が抱えている傷病

問9 ご本人が、現在抱えている傷病について、ご回答ください(複数選択可)

「認知症」が38.6%で最も高く、次いで「心疾患(心臓病)」が16.9%、「筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)」が16.3%となっています。

要介護度別にみると、「要介護3」で「認知症」が50.8%と高くなっています。

【要介護度別】

	n	認知症	心疾患(心臓病)	筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)	眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの)	糖尿病	脳血管疾患(脳卒中)	呼吸器疾患	変形性関節疾患	悪性新生物(がん)
全体	824	38.6	16.9	16.3	15.8	14.2	10.2	7.6	7.6	6.7
要介護1・2	568	35.0	18.0	17.3	17.8	12.5	10.2	7.6	7.4	7.2
要介護3	120	50.8	17.5	14.2	15.8	19.2	7.5	12.5	8.3	4.2
要介護4・5	127	44.1	11.0	11.8	6.3	17.3	12.6	3.9	7.1	7.1

	n	パーキンソン病	腎疾患(透析)	膠原病(関節リウマチ含む)	難病(パーキンソン病を除く)	その他	なし	わからない	無回答
全体	824	4.4	3.3	2.8	1.6	21.7	5.0	1.6	2.9
要介護1・2	568	3.5	3.3	3.2	1.4	20.2	5.1	1.8	3.3
要介護3	120	5.0	3.3	2.5	1.7	22.5	2.5	-	1.7
要介護4・5	127	7.1	3.1	0.8	2.4	27.6	7.1	2.4	2.4

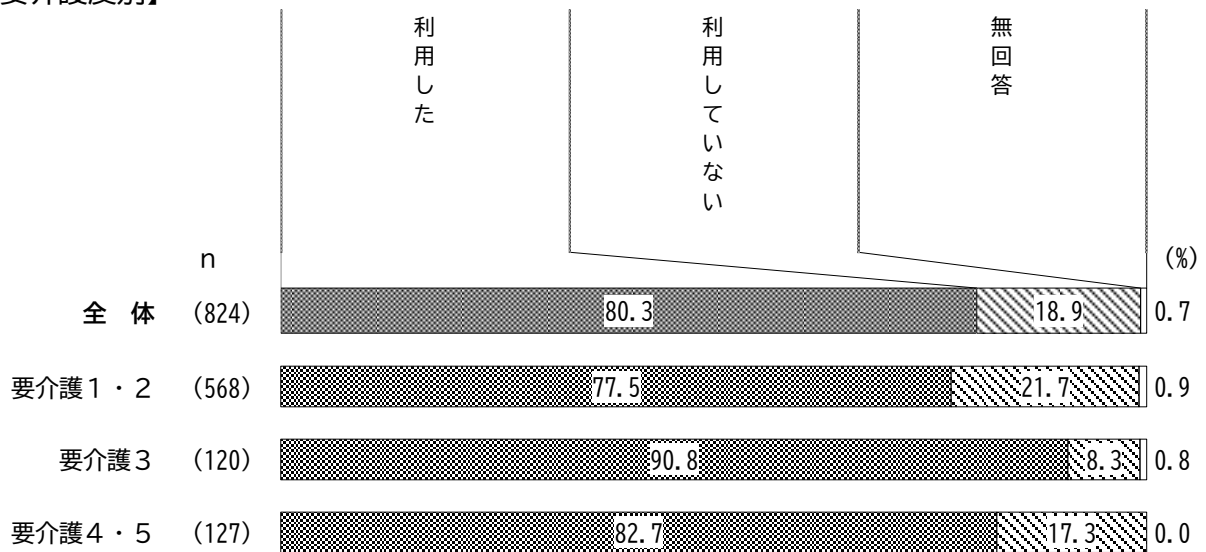
(7) 介護保険サービスの利用有無

問10 令和7年10月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか(1つを選択)

「利用した」が80.3%となっています。

要介護度別にみると、“要介護3”で「利用した」が90.8%と高くなっています。

【要介護度別】



(8) 介護保険サービスの利用状況

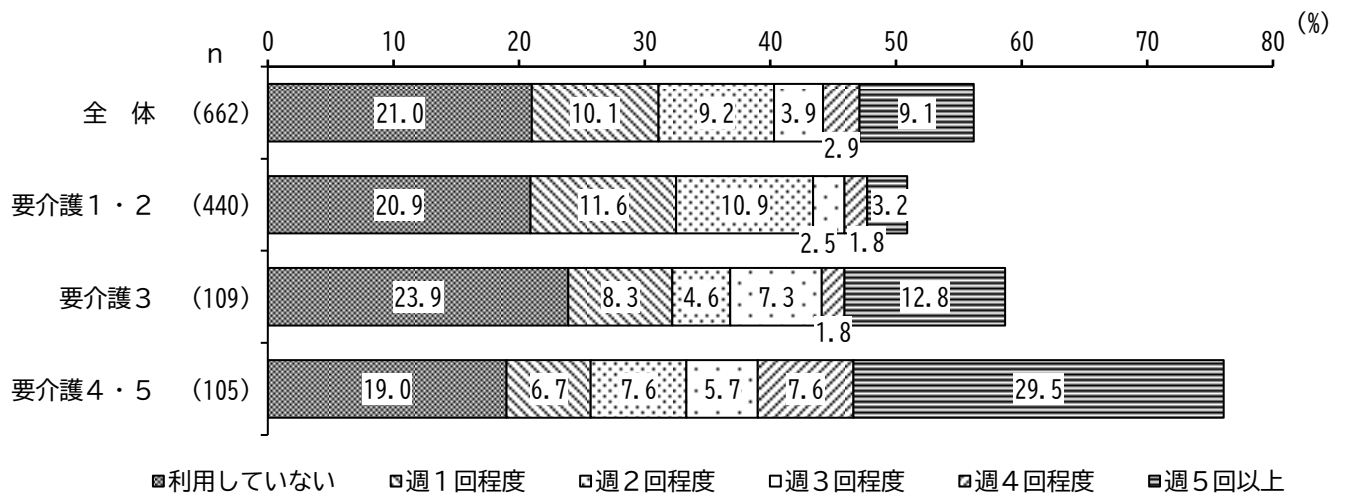
問11 【問10で「1」と回答した方におうかがいします】以下の介護保険サービスについて、令和7年10月の1か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない（0回、1. 利用していない）」を選択してください（それぞれ1つに○）

A. 訪問介護（ホームヘルプサービス）

「利用していない」が21.0%となっています。

要介護度別にみると、“要介護4・5”で「週5回以上」が29.5%と高くなっています。

【要介護度別】

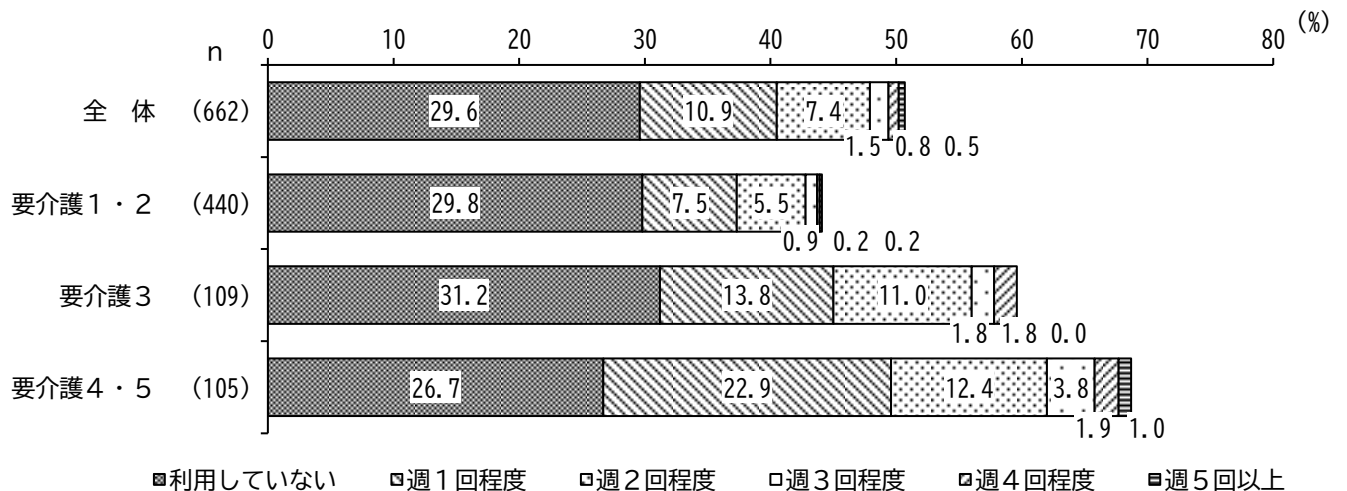


B. 訪問入浴介護

「利用していない」が29.6%となっています。

要介護度別にみると、“要介護4・5”で「週1回程度」が22.9%と高くなっています。

【要介護度別】



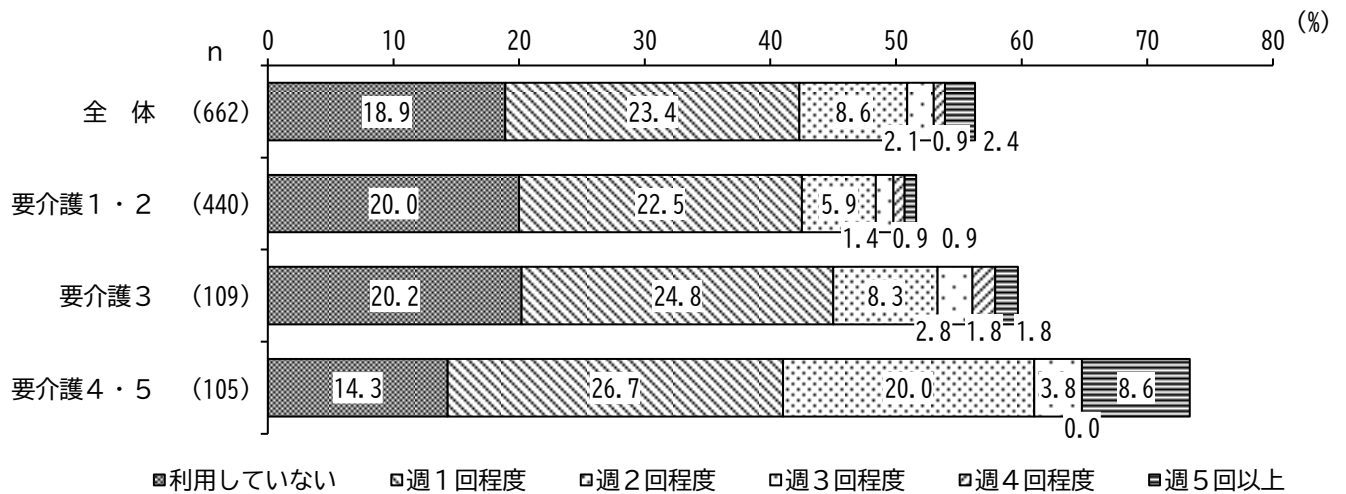
第3章 調査結果の詳細②
(在宅介護実態調査)

C. 訪問看護

「週1回程度」が23.4%となっています。

要介護度別にみると、“要介護4・5”で「週1回程度」が26.7%と高くなっています。

【要介護度別】

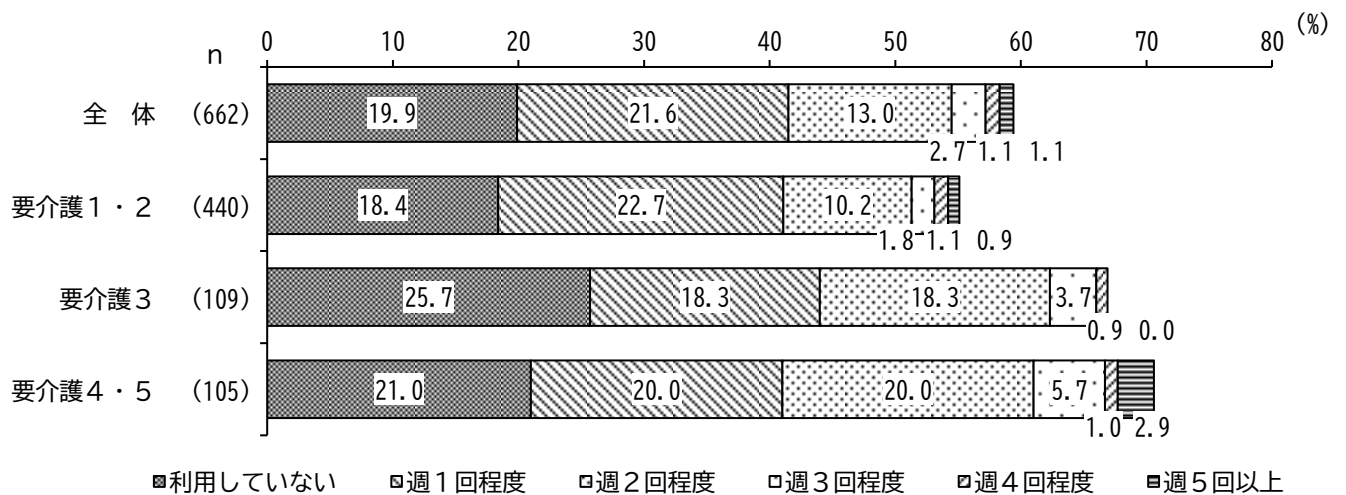


D. 訪問リハビリテーション

「週1回程度」が21.6%となっています。

要介護度別にみると、“要介護4・5”で「週2回程度」が20.0%と高くなっています。

【要介護度別】

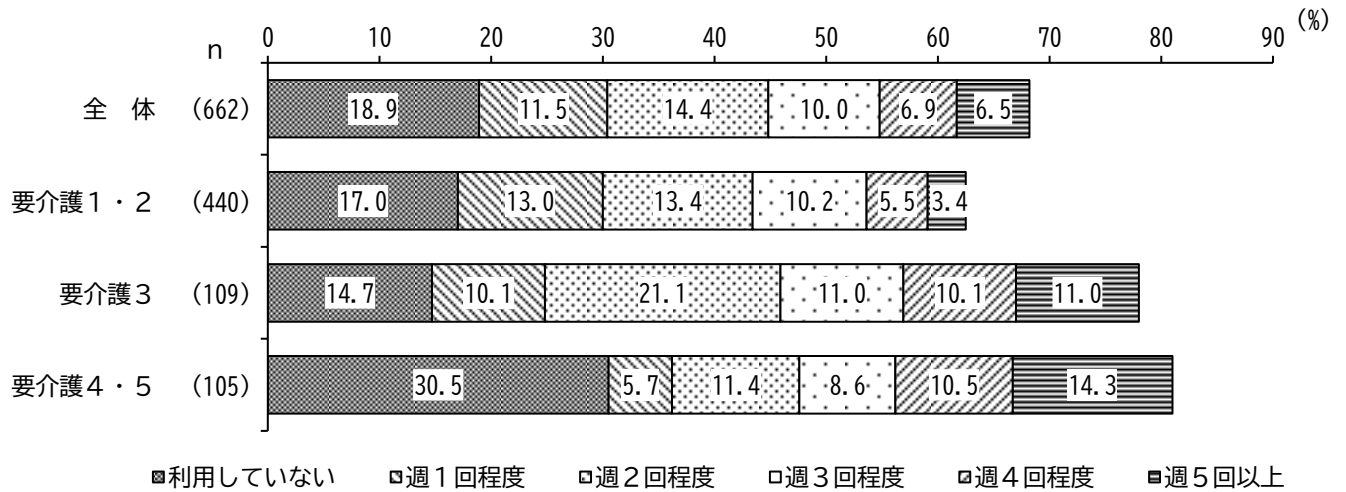


E. 通所介護（デイサービス）

「利用していない」が18.9%となっています。

要介護度別にみると、“要介護3”で「週2回程度」が21.1%と高くなっています。

【要介護度別】

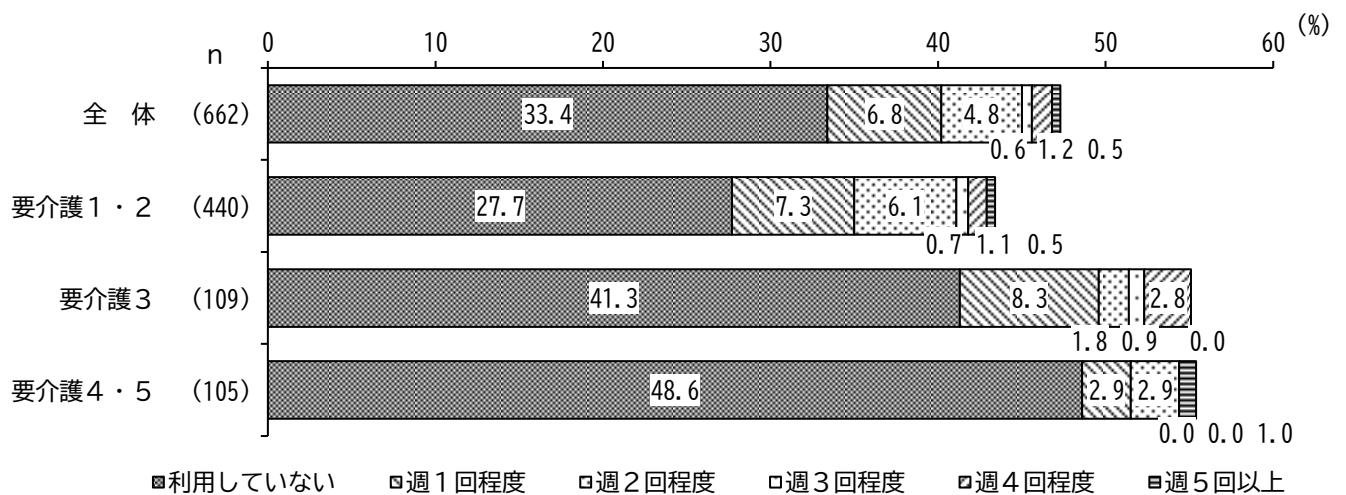


F. 通所リハビリテーション（デイケア）

「利用していない」が33.4%となっています。

要介護度別にみると、“要介護4・5”で「利用していない」が48.6%と高くなっています。

【要介護度別】



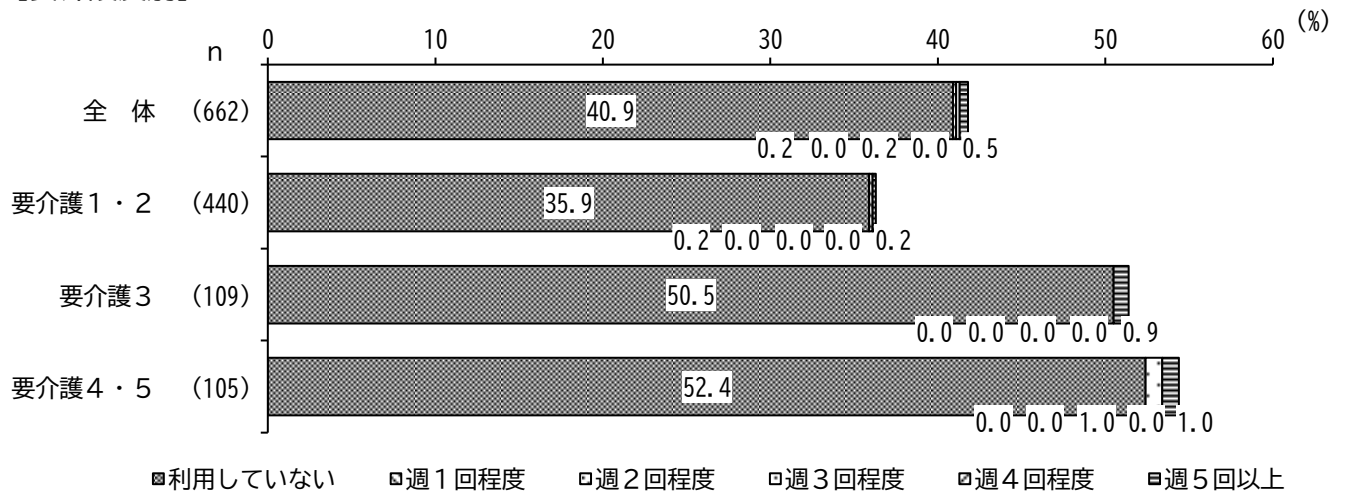
第3章 調査結果の詳細②
(在宅介護実態調査)

G. 夜間対応型訪問介護

「利用していない」が40.9%となっています。

要介護度別にみると、“要介護4・5”で「利用していない」が52.4%と高くなっています。

【要介護度別】

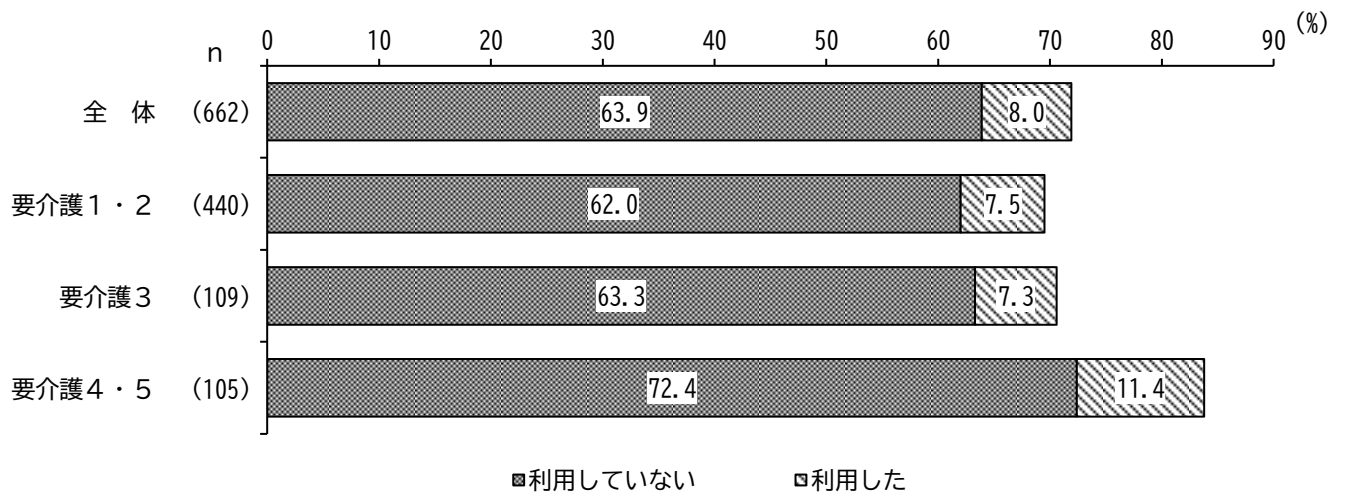


H. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

「利用していない」が63.9%となっています。

要介護度別にみると、“要介護4・5”で「利用した」が11.4%と高くなっています。

【要介護度別】

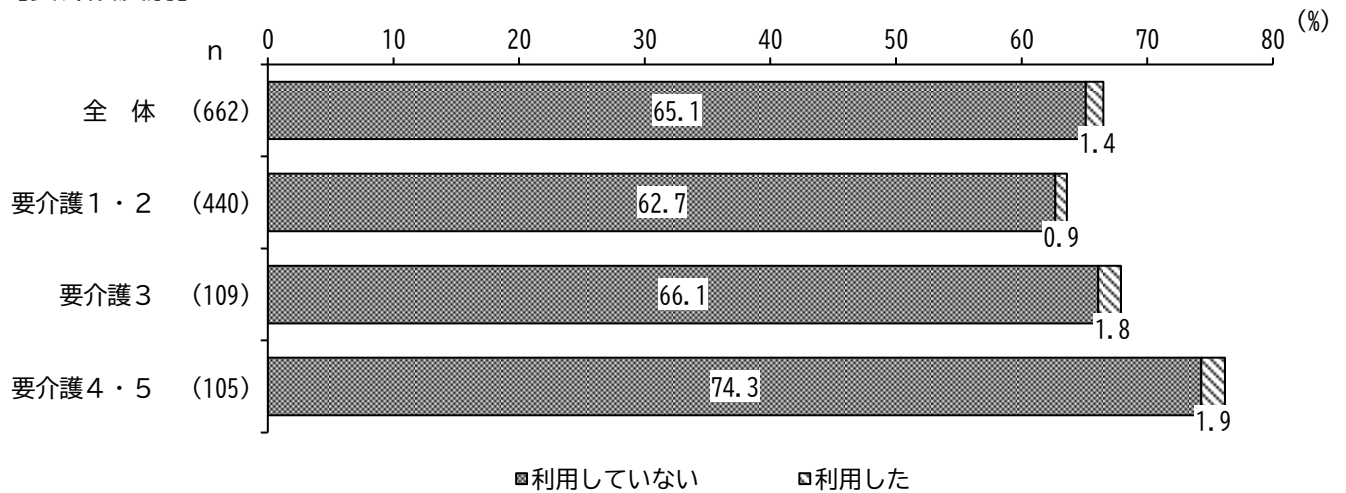


I. 小規模多機能型居宅介護

「利用していない」が65.1%となっています。

要介護度別にみると、“要介護4・5”で「利用していない」が74.3%と高くなっています。

【要介護度別】

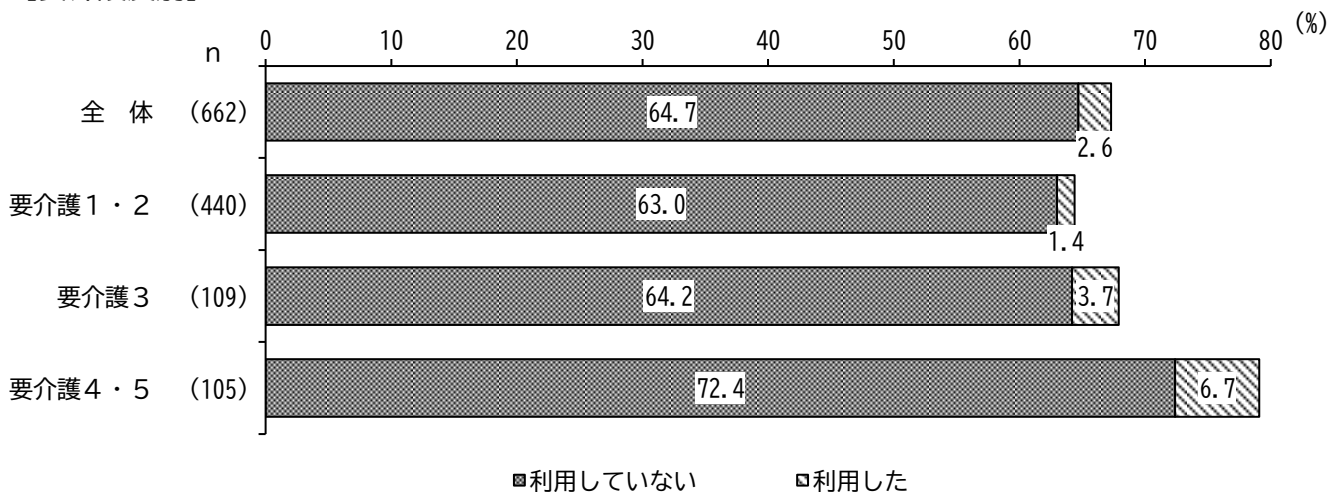


J. 看護小規模多機能型居宅介護

「利用していない」が64.7%となっています。

要介護度別にみると、“要介護4・5”で「利用していない」が72.4%と高くなっています。

【要介護度別】



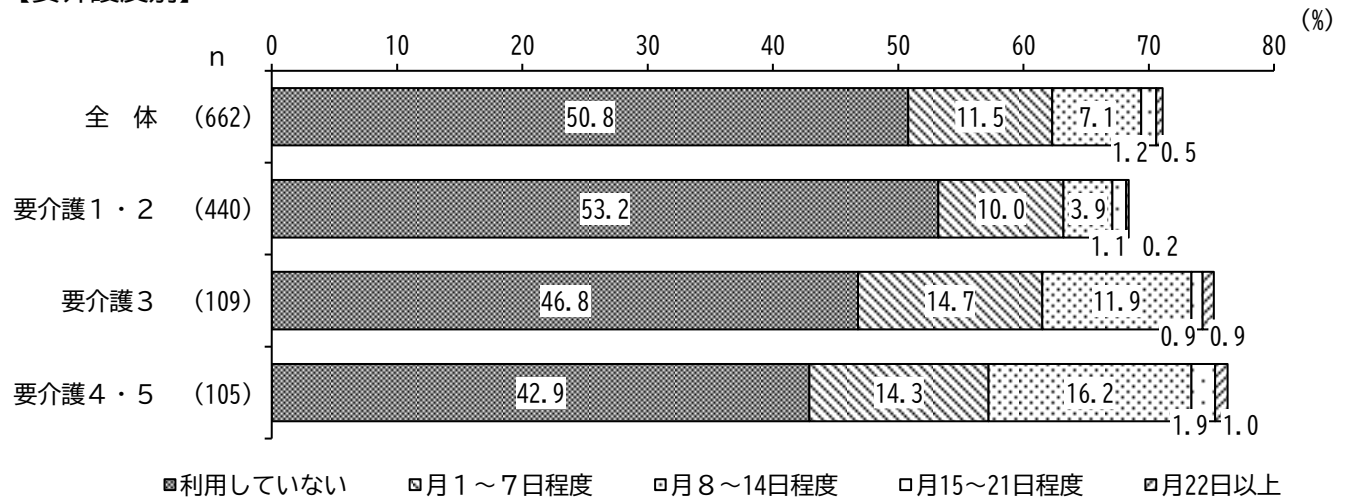
第3章 調査結果の詳細②
(在宅介護実態調査)

K. ショートステイ

「利用していない」が50.8%となっています。

要介護度別にみると、“要介護4・5”で「月8～14日程度」が16.2%と高くなっています。

【要介護度別】

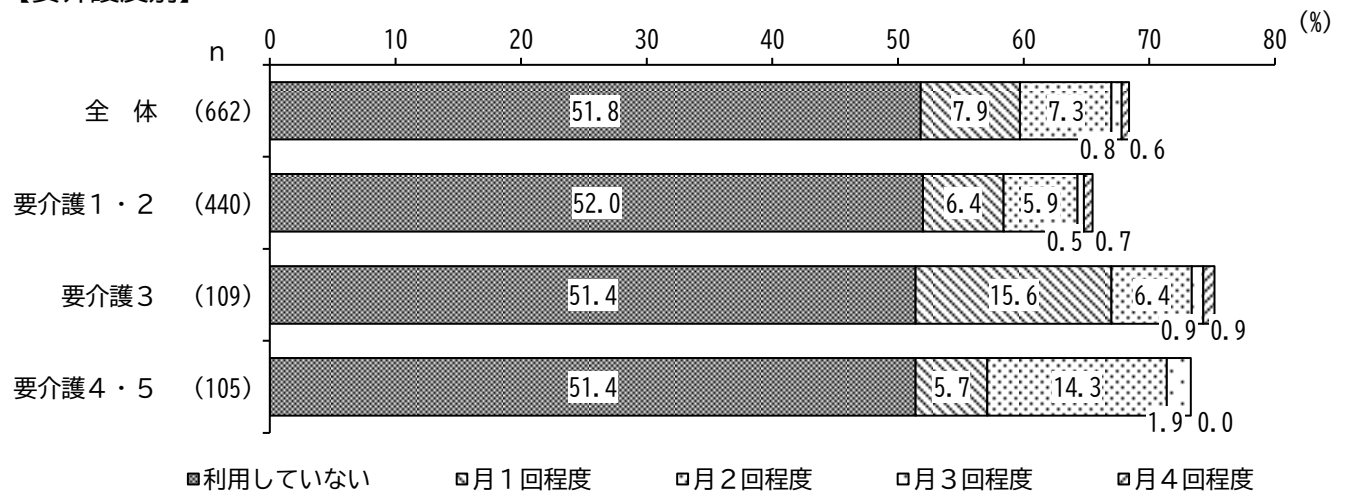


L. 居宅療養管理指導

「利用していない」が51.8%となっています。

要介護度別にみると、“要介護3”で「月1回程度」が15.6%と高くなっています。

【要介護度別】



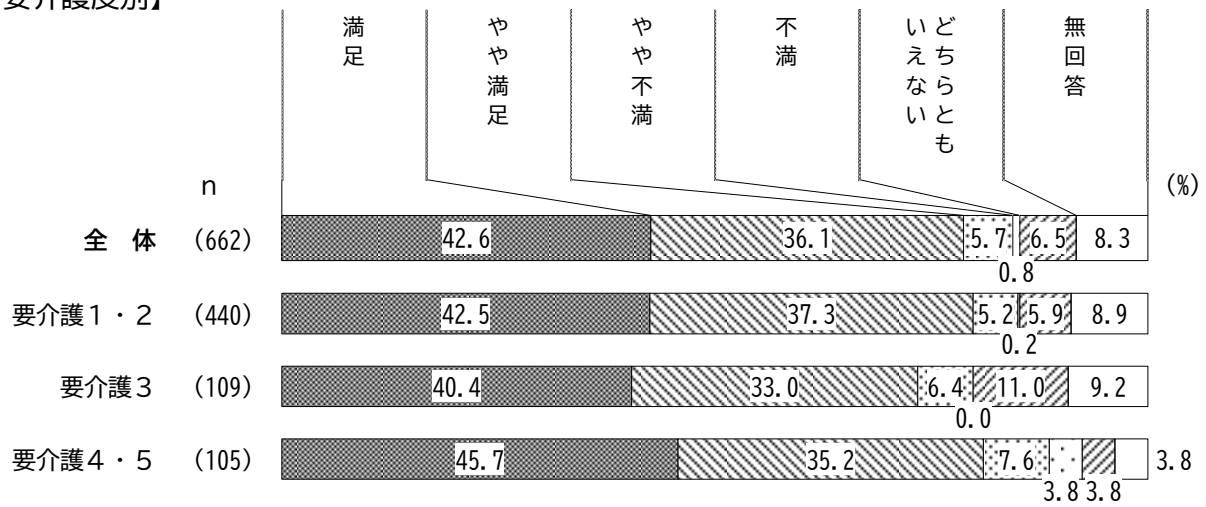
(9) 介護保険サービスの満足度

問12 【問10で「1」と回答した方におうかがいします】

現在のケアプランや利用されている介護保険サービスについて、満足度をご回答ください。(1つを選択)

「満足」が42.6%で最も高く、次いで「やや満足」が36.1%となっています。
要介護度別にみると、“要介護4・5”で「満足」が45.7%と高くなっています。

【要介護度別】



第3章 調査結果の詳細②
(在宅介護実態調査)

(10) 介護サービスやケアプランに関する、改善点や意見等

問13 【問12で「3」「4」と回答した方におうかがいします】

介護サービスやケアプランに関して、改善してほしい点やご意見があればご記入ください。(自由記述)

主な意見は以下の通りです。

【サービス内容】

- ・デイサービスにお散歩や体操がもっとあると良い

【対応】

- ・女性利用者に男性介護士の方が介助することに抵抗がある

【定員数】

- ・入浴サービスが定員オーバーで利用できない

【その他】

- ・介護者の悩みや精神面のサポートをして欲しい

(11) 介護保険サービスを利用していない理由

問14 【問10で「2」と回答した方におうかがいします】
介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（複数選択可）

「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が41.0%で最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が22.4%となっています。

要介護度別にみると、“要介護1・2”で「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が45.5%と高くなっています。

【要介護度別】

	n	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	本人にサービス利用の希望がない	家族が介護をするため必要ない	利用料を支払うのが難しい	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため（送迎がない）	サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない	以前、利用していたサービスに不満があった	利用したいサービスが利用できない、身近にない	その他	無回答
全体	156	41.0	22.4	16.7	3.8	2.6	2.6	1.3	0.6	19.2	17.3
要介護1・2	123	45.5	24.4	16.3	3.3	2.4	3.3	0.8	0.8	14.6	17.9
要介護3	10	40.0	20.0	10.0	-	10.0	-	-	-	40.0	10.0
要介護4・5	22	13.6	13.6	18.2	9.1	-	-	4.5	-	36.4	18.2

(12) 介護サービスの利用意向

問15 以下の介護サービスについて、今後利用したいか教えてください（それぞれ1つに○）

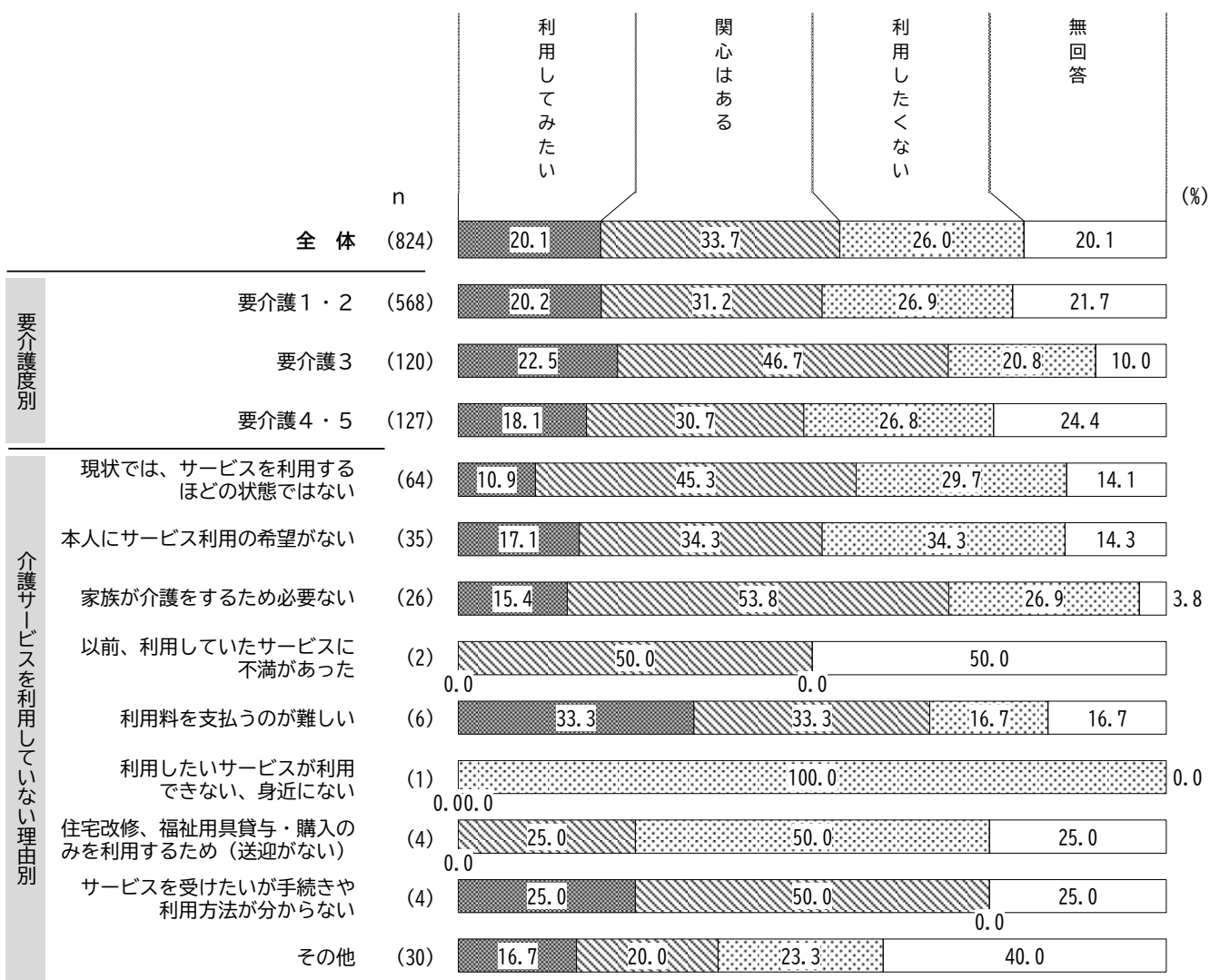
A. 通所を中心に、利用者の選択に応じて訪問や泊りを組み合わせて提供するサービス

「関心はある」が33.7%で最も高く、次いで「利用したくない」が26.0%となっています。

要介護度別にみると、「要介護3」で「関心はある」が46.7%と高くなっています。

介護保険サービスを利用していない理由別にみると、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」で「関心はある」が45.3%と高くなっています。

【要介護度別、介護保険サービスを利用していない理由別】



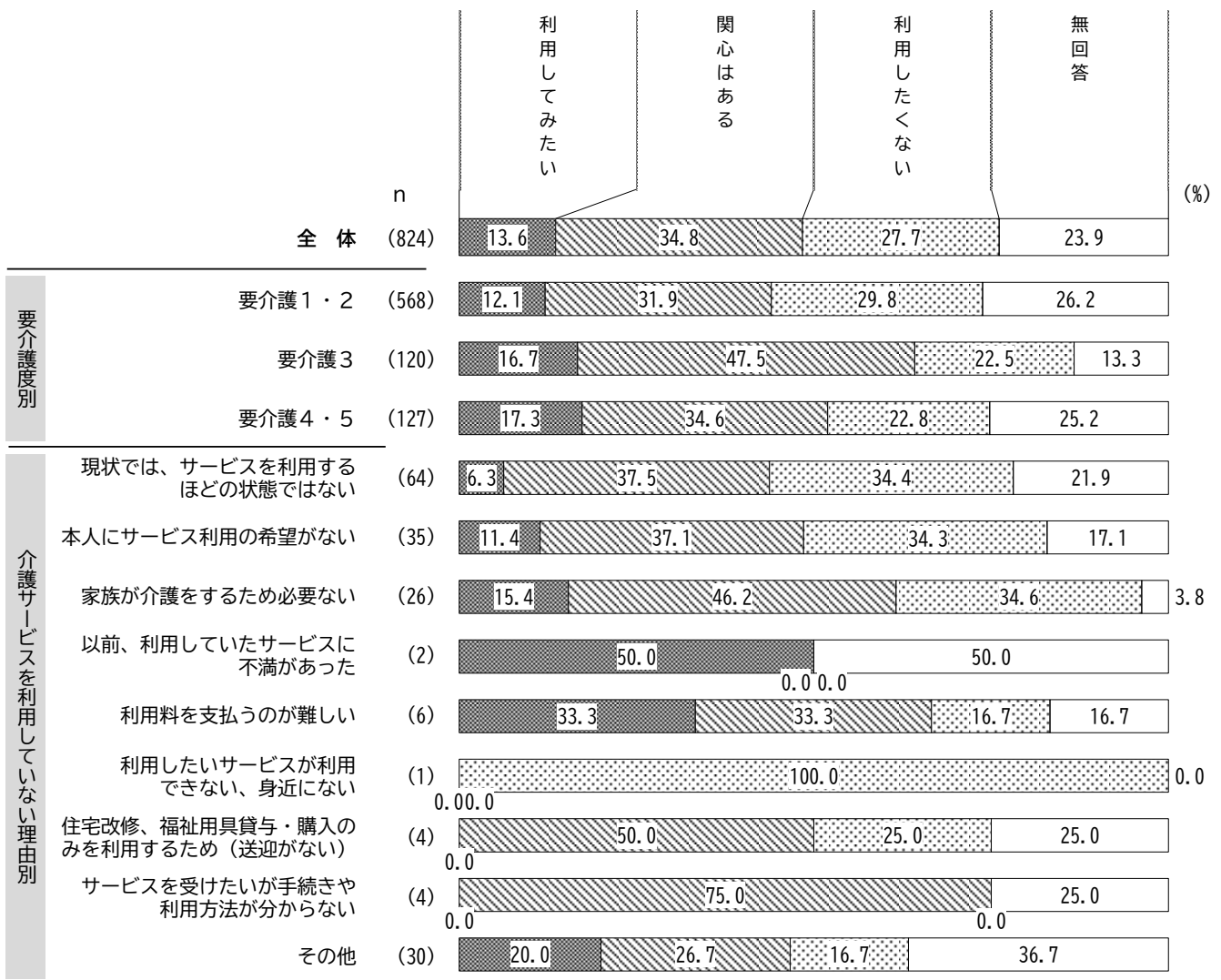
B. 訪問看護を組み合わせた、一か所での、通所、訪問、泊りの複合サービス

「関心はある」が34.8%で最も高く、次いで「利用したくない」が27.7%となっています。

要介護度別にみると、「要介護3」で「関心はある」が47.5%と高くなっています。

介護保険サービスを利用していない理由別にみると、“現状では、サービスを利用するほどの状態ではない”で「利用したくない」が34.4%と高くなっています。

【要介護度別、介護保険サービスを利用していない理由別】



第3章 調査結果の詳細②
(在宅介護実態調査)

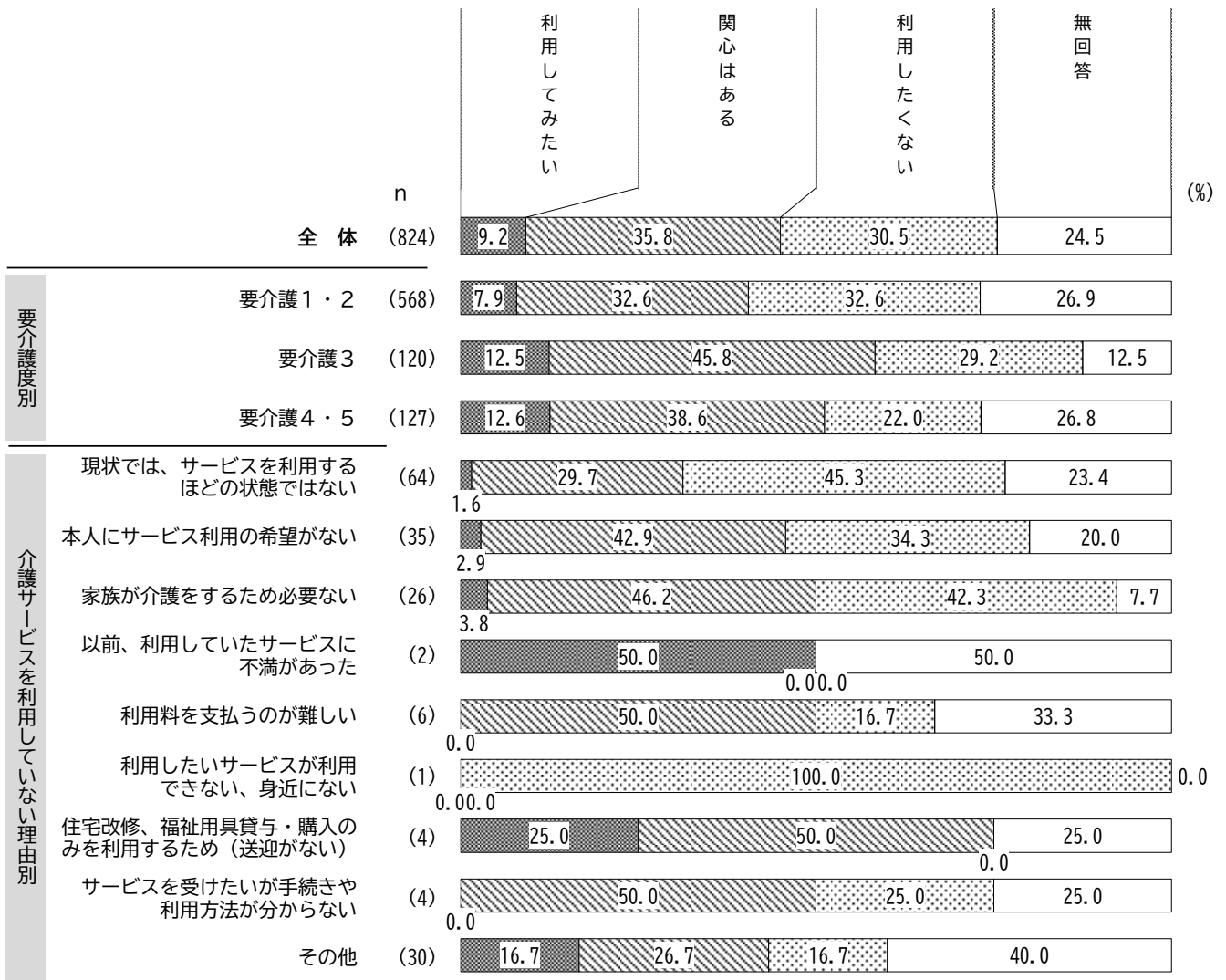
C. 訪問介護と訪問看護の連携による、1日数回の短時間と随時対応のサービス（24時間対応）

「関心はある」が35.8%で最も高く、次いで「利用したくない」が30.5%となっています。

要介護度別にみると、「要介護3」で「関心はある」が45.8%と高くなっています。

介護保険サービスを利用していない理由別にみると、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」で「利用したくない」が45.3%と高くなっています。

【要介護度別、介護保険サービスを利用していない理由別】



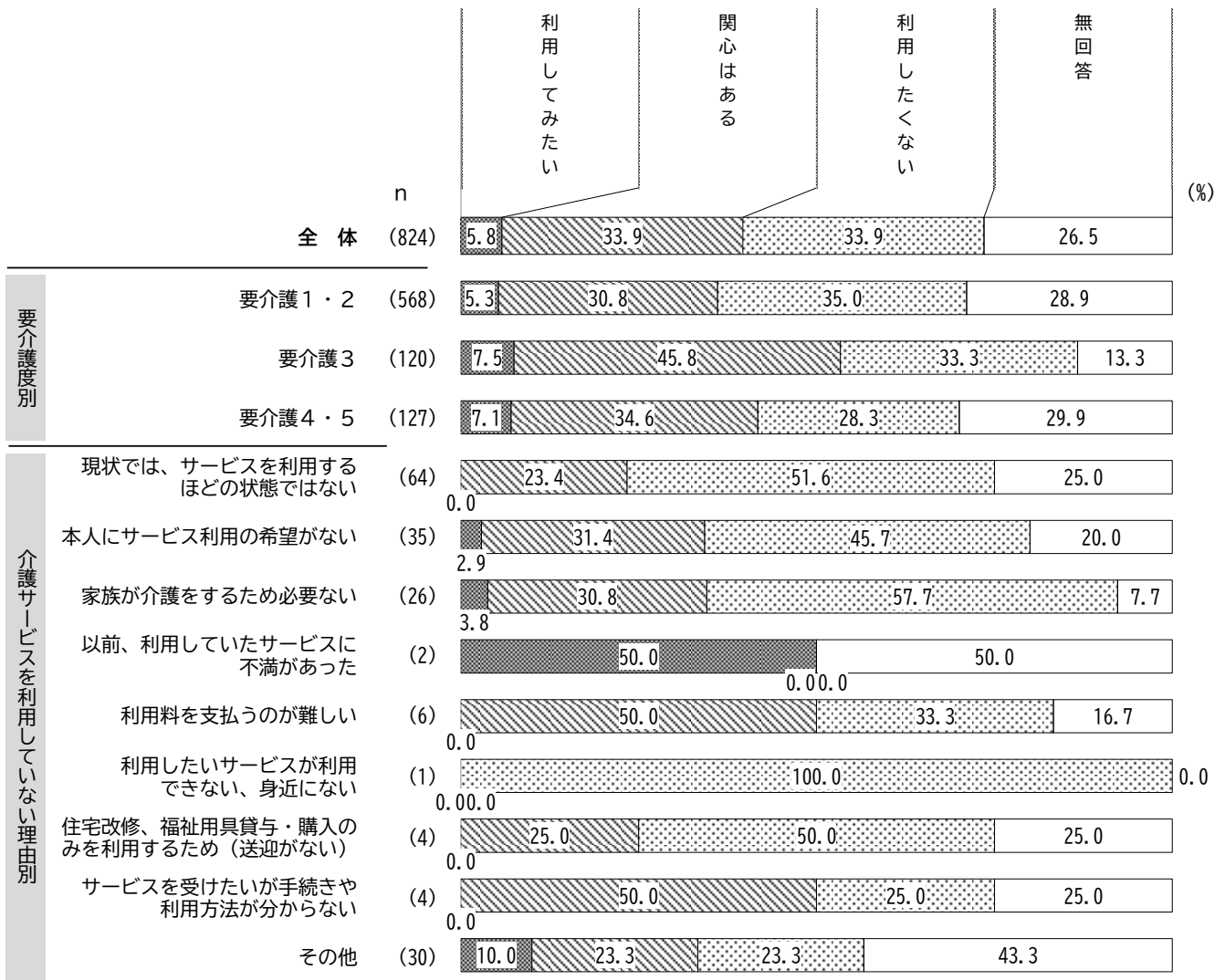
D. 巡回や通報システムによる夜間専用の訪問介護

「関心はある」「利用したくない」が33.9%で最も高くなっています。

要介護度別にみると、「要介護3」で「関心はある」が45.8%と高くなっています。

介護保険サービスを利用していない理由別にみると、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」で「利用したくない」が51.6%と高くなっています。

【要介護度別、介護保険サービスを利用していない理由別】



第3章 調査結果の詳細②
(在宅介護実態調査)

(13) 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況

問16 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービス※について、ご回答ください（複数選択可）

※総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

「配食」が11.7%で最も高く、次いで「掃除・洗濯」が10.7%となっています。一方、「特になし」が43.9%となっています。

要介護度別にみると、“要介護4・5”で「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が18.9%と高くなっています。

世帯類型別にみると、“単身世帯”で「配食」が18.2%と高くなっています。

【要介護度別、世帯類型別】

(%)

		n	配食	掃除・洗濯	移送サービス（介護・福祉タクシー等）	外出同行（通院、銀行、買い物など）	買い物（宅配は含まない）	ゴミ出し	見守り、声かけ
全体		824	11.7	10.7	9.0	7.3	5.9	4.9	3.5
要介護度別	要介護1・2	568	10.7	12.0	6.3	6.7	6.7	5.1	3.9
	要介護3	120	15.8	10.0	10.0	10.8	4.2	5.0	2.5
	要介護4・5	127	11.0	5.5	18.9	6.3	3.9	3.9	3.1
世帯類型別	単身世帯	274	18.2	15.7	7.3	9.1	9.9	8.8	4.7
	夫婦のみ世帯	229	7.9	10.9	10.5	6.1	3.5	3.9	3.9
	その他	302	8.3	6.0	9.6	6.3	4.0	2.0	2.3

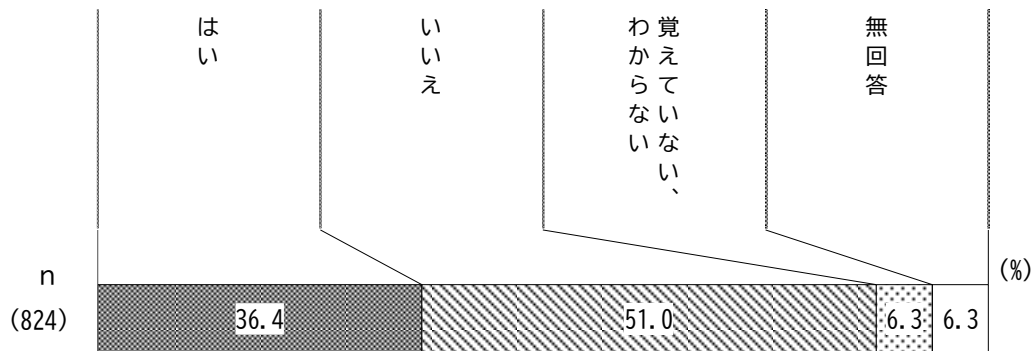
		n	調理	サロンなどの定期的な通	あんしんサービス	やすらぎサービス	その他	特になし	無回答
全体		824	3.4	1.9	1.5	1.1	4.1	43.9	19.4
要介護度別	要介護1・2	568	3.9	2.3	1.4	1.2	3.3	44.7	20.2
	要介護3	120	2.5	2.5	2.5	1.7	5.8	41.7	11.7
	要介護4・5	127	2.4	-	0.8	-	5.5	43.3	23.6
世帯類型別	単身世帯	274	4.4	2.9	2.2	1.1	4.7	34.3	17.5
	夫婦のみ世帯	229	4.4	1.7	1.3	1.7	3.5	42.4	24.0
	その他	302	1.7	1.3	0.7	0.7	4.0	54.6	17.2

(14) 福祉用具の自費購入・使用の経験

問17 要介護認定を受ける前に、福祉用具※を自費（介護保険外）で購入・使用していたことはありますか（1つを選択）

※歩行補助用具（シルバーカー、杖）、入浴補助具など

「いいえ」が51.0%となっています。



第3章 調査結果の詳細②
(在宅介護実態調査)

(15) 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

問18 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス※（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（複数選択可）
※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が26.3%で最も高く、次いで「外出同行（通院、銀行、買い物など）」が19.2%、「配食」が19.1%となっています。一方、「特になし」が26.9%となっています。

要介護度別にみると、“要介護4・5”で「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が37.8%と高くなっています。

【要介護度別】

		(%)						
	n	移送サービス（介護・福祉タクシー等）	外出同行（通院、銀行、買い物など）	配食	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	見守り、声かけ	調理
全体	824	26.3	19.2	19.1	16.5	13.6	10.9	8.0
要介護1・2	568	22.2	20.2	19.4	18.0	15.1	11.1	8.6
要介護3	120	32.5	17.5	19.2	12.5	10.8	12.5	5.8
要介護4・5	127	37.8	13.4	16.5	13.4	8.7	9.4	7.9

	n	ゴミ出し	あんしんサービス	サロンなどの定期的な通い	やすらぎサービス	その他	特になし	無回答
全体	824	7.9	7.6	7.3	4.1	4.7	26.9	14.3
要介護1・2	568	8.5	7.4	8.6	4.0	3.2	27.1	15.1
要介護3	120	5.0	5.8	6.7	4.2	10.8	23.3	13.3
要介護4・5	127	8.7	10.2	2.4	4.7	6.3	31.5	12.6

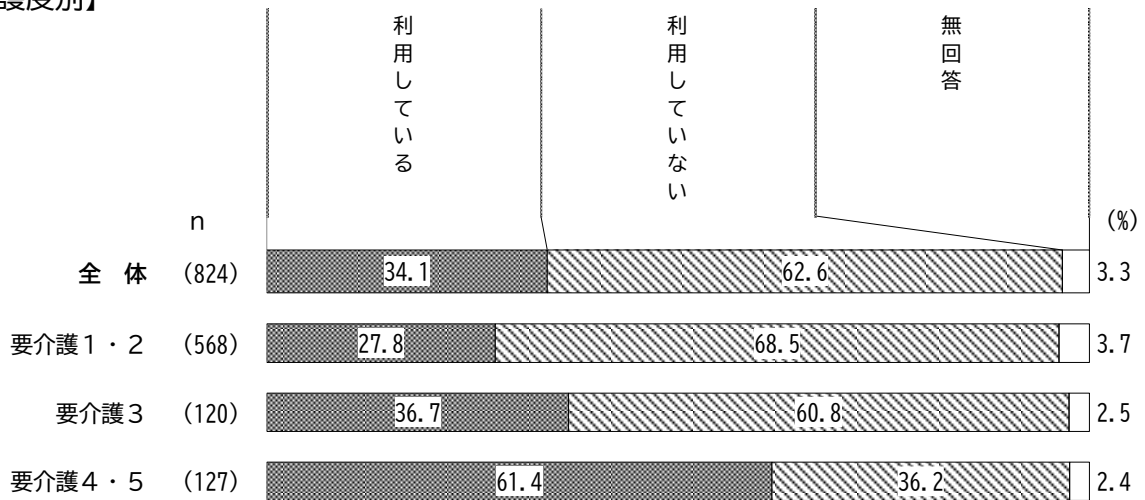
(16) 訪問診療の利用状況

問19 ご本人は、現在、訪問診療を利用していますか（1つを選択）

「利用していない」が62.6%となっています。

要介護度別にみると、“要介護4・5”で「利用している」が61.4%と高くなっています。

【要介護度別】



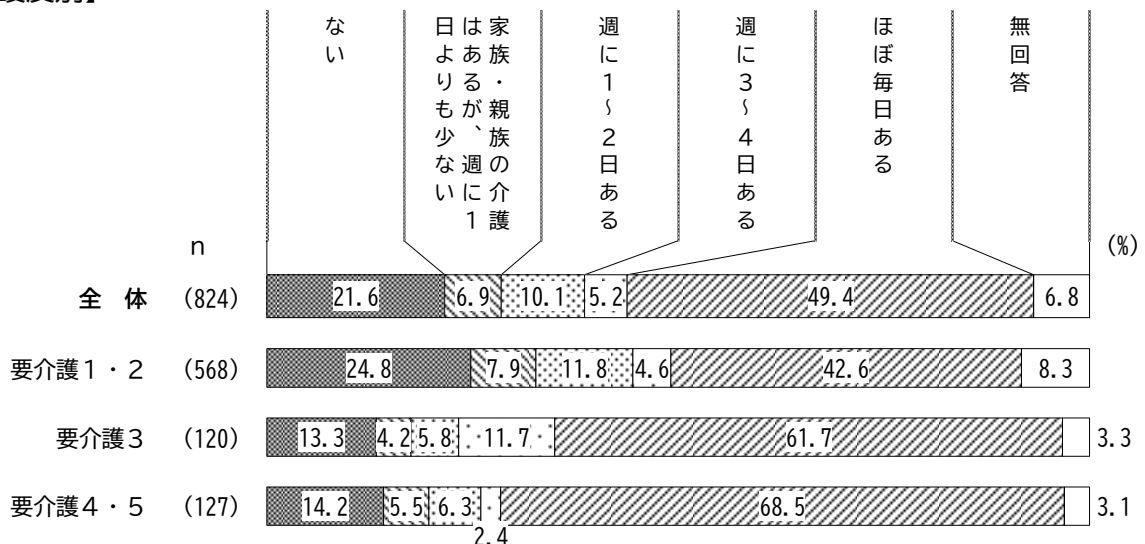
(17) 介護を受ける頻度

問20 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つを選択）

「ほぼ毎日ある」が49.4%で最も高く、次いで「ない」が21.6%となっています。

要介護度別にみると、“要介護4・5”で「ほぼ毎日ある」が68.5%と高くなっています。

【要介護度別】



3. 主な介護者の方について (B票)

(1) 介護を理由とした働き方の変化

問1 ご家族やご親族の中で、ご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)(複数選択可)

「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が70.3%となっています。

要介護度別にみると、“要介護4・5”で「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」が15.2%と高くなっています。

【要介護度別】

	n	た 主 な 介 護 者 が し じ を し め た (転 職 除 く)	主 な 介 護 者 が 転 職 し た	職 除 く 親 族 が し じ を し め た (転 職 除 く)	主 な 介 護 者 以 外 の 家 族 ・ 親 族 が し じ を し め た (転 職 除 く)	主 な 介 護 者 以 外 の 家 族 ・ 親 族 が 転 職 し た	た 介 護 の た め に し じ を し め た 家 族 ・ 親 族 は い な い	わ か ら な い	無 回 答
全 体	590	8.3	2.2	1.2	0.8	70.3	3.7	13.7	
要介護1・2	380	6.6	2.1	0.5	1.1	72.6	2.6	14.7	
要介護3	100	7.0	3.0	2.0	-	70.0	9.0	9.0	
要介護4・5	105	15.2	1.9	1.9	1.0	61.9	2.9	15.2	

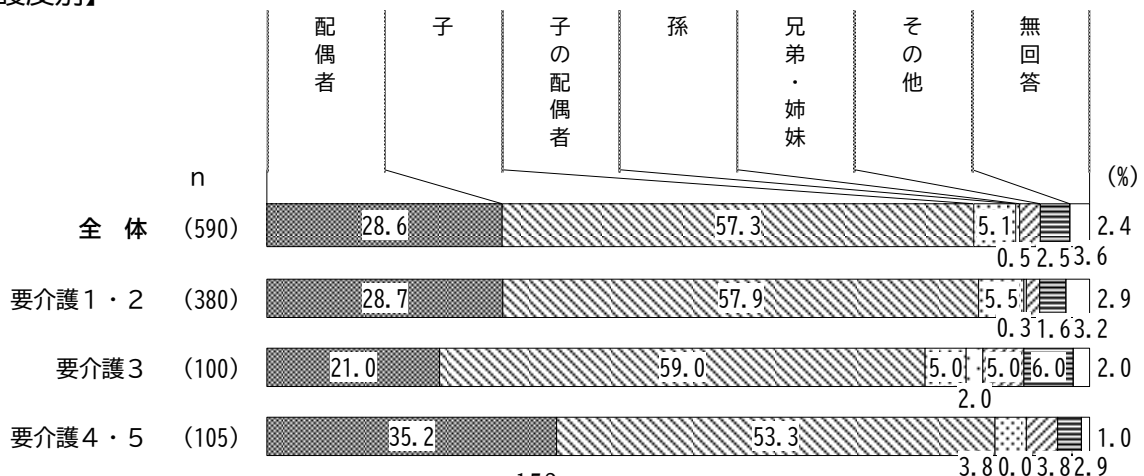
(2) 主な介護者の続柄

問2 主な介護者の方は、どなたですか(1つを選択)

「子」が57.3%で最も高く、次いで「配偶者」が28.6%となっています。

要介護度別にみると、“要介護4・5”で「配偶者」が35.2%と高くなっています。

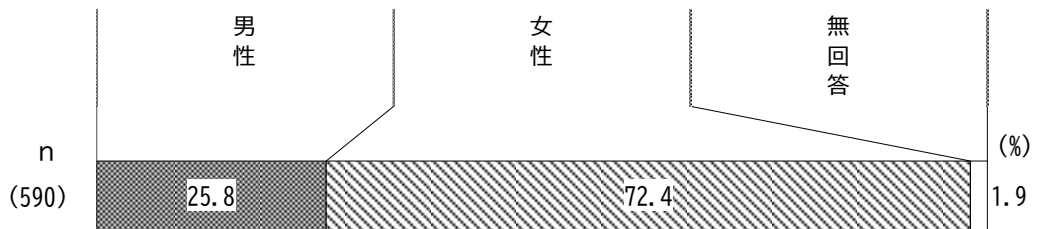
【要介護度別】



(3) 主な介護者の性別

問3 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つを選択）

「女性」が72.4%となっています。

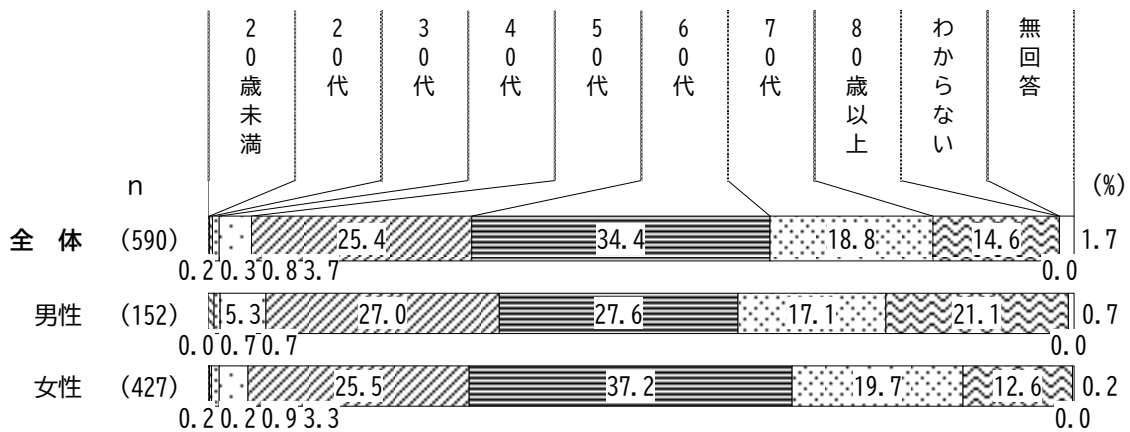


(4) 主な介護者の年齢

問4 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つを選択）

「60代」が34.4%で最も高く、次いで「50代」が25.4%、「70代」が18.8%となっています。主な介護者の性別にみると、「女性」で「60代」が37.2%と高くなっています。

【主な介護者の性別】

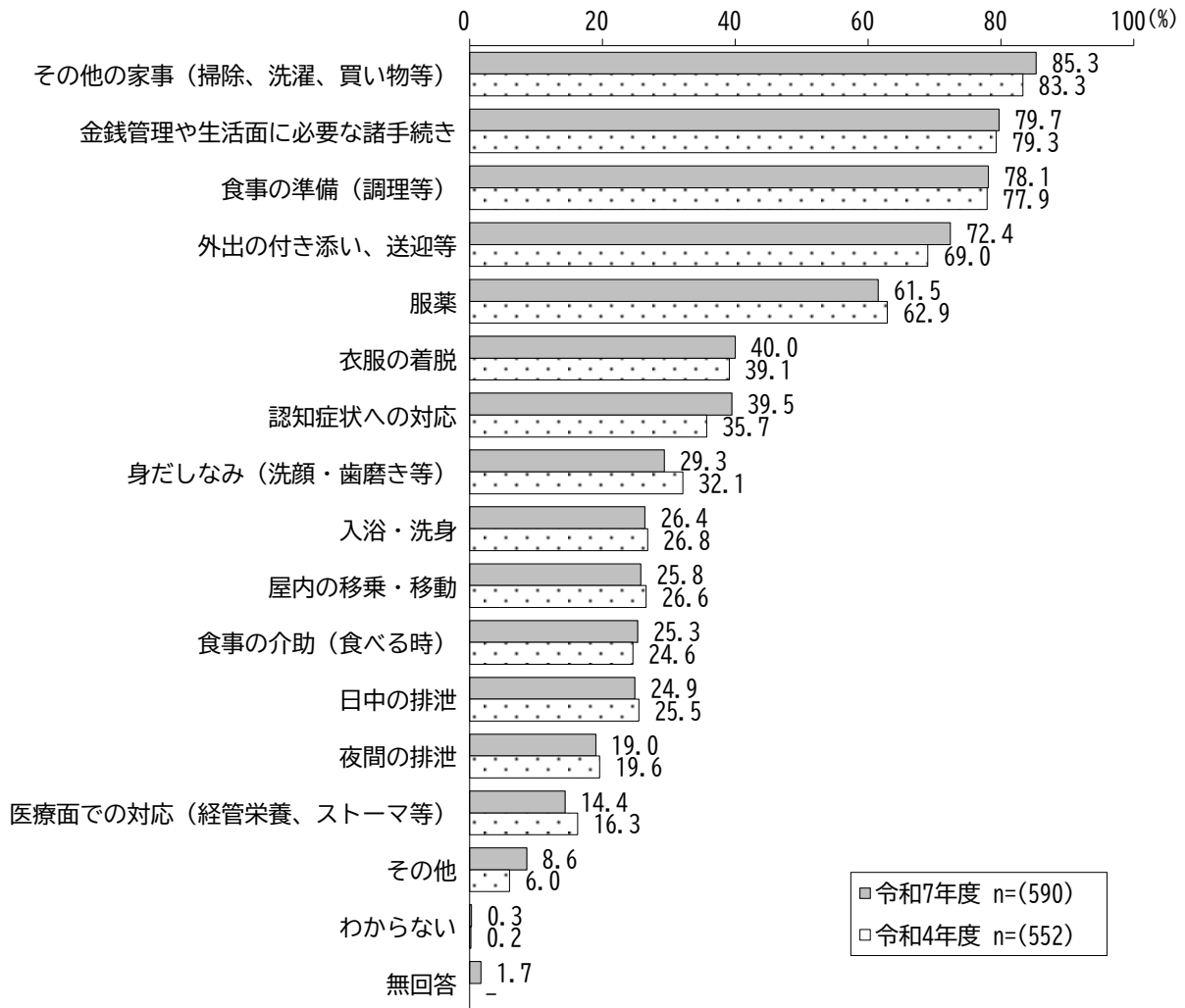


(5) 主な介護者が行っている介護内容

問5 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（複数選択可）

「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が85.3%で最も高く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が79.7%、「食事の準備（調理等）」が78.1%となっています。
 前回の調査結果と比較すると、各項目で大きな違いはみられません。
 要介護度別にみると、“要介護4・5”で「日中の排泄」が67.6%と高くなっています。

【経年比較】



【要介護度別】

(%)

	n	その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	食事の準備（調理等）	外出の付き添い、送迎等	服薬	衣服の着脱	認知症状への対応	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	入浴・洗身
全体	590	85.3	79.7	78.1	72.4	61.5	40.0	39.5	29.3	26.4
要介護1・2	380	83.7	76.1	75.3	75.3	54.2	26.6	37.6	15.0	25.5
要介護3	100	88.0	86.0	87.0	74.0	75.0	56.0	43.0	42.0	33.0
要介護4・5	105	88.6	87.6	80.0	60.0	76.2	74.3	43.8	69.5	24.8

	n	屋内の移乗・移動	食事の介助（食べる時）	日中の排泄	夜間の排泄	医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	その他	わからない	無回答
全体	590	25.8	25.3	24.9	19.0	14.4	8.6	0.3	1.7
要介護1・2	380	13.9	12.1	9.2	7.6	11.1	8.9	0.5	2.6
要介護3	100	35.0	35.0	40.0	26.0	14.0	10.0	-	-
要介護4・5	105	59.0	64.8	67.6	53.3	25.7	6.7	-	-

(6) 主な介護者が不安に感じる介護内容

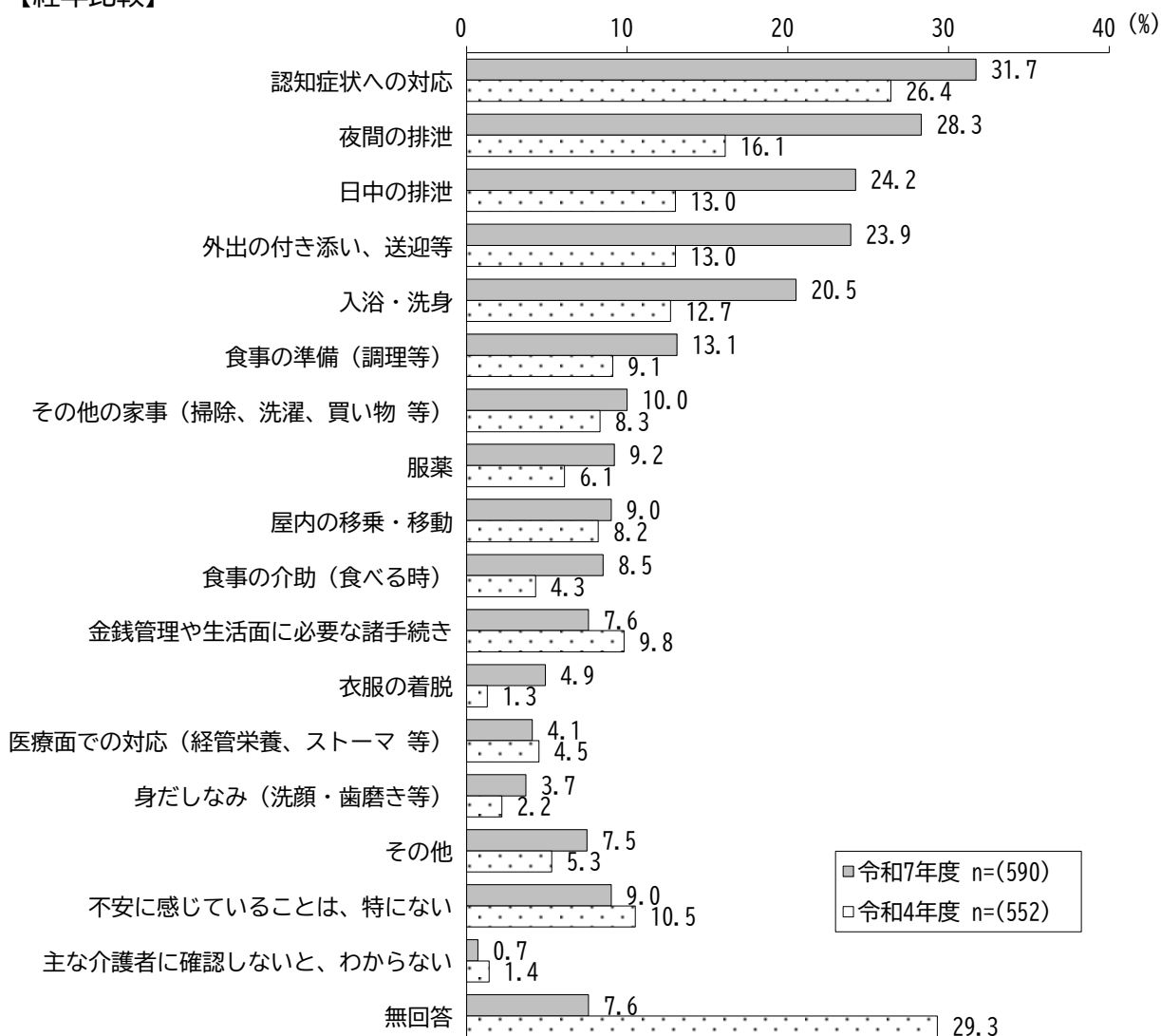
問6 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）

「認知症状への対応」が31.7%で最も高く、次いで「夜間の排泄」が28.3%、「日中の排泄」が24.2%となっています。

前回の調査結果と比較すると、「夜間の排泄」が12.2ポイント高くなっています。

要介護度別にみると、「要介護3」で「日中の排泄」が31.0%と高くなっています。

【経年比較】



【要介護度別】

(%)

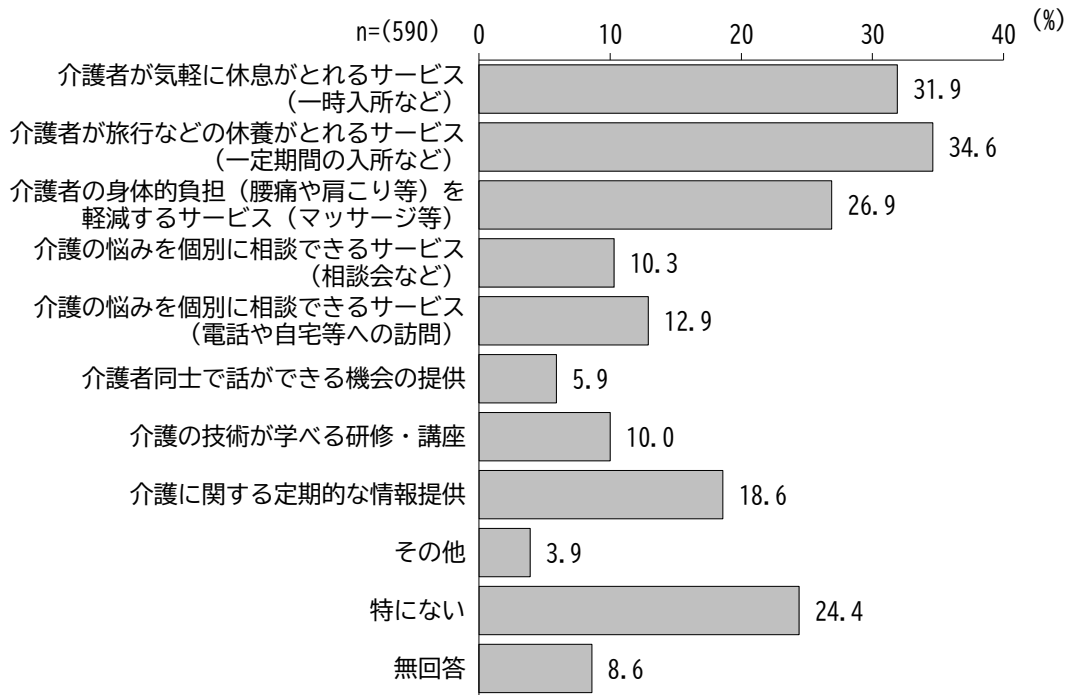
	n	認知症状への対応	夜間の排泄	日中の排泄	外出の付き添い、送迎等	入浴・洗身	食事の準備(調理等)	濯、買物等(掃除、洗)	その他の家事(掃除、洗)	服薬	屋内の移乗・移動
全体	590	31.7	28.3	24.2	23.9	20.5	13.1	10.0	9.2	9.0	
要介護1・2	380	31.6	26.6	22.1	25.0	23.4	15.5	12.6	11.6	6.8	
要介護3	100	37.0	31.0	31.0	27.0	18.0	10.0	7.0	7.0	12.0	
要介護4・5	105	27.6	31.4	24.8	14.3	12.4	5.7	3.8	1.9	12.4	

	n	食事の介助(食べる時)	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	衣服の着脱	医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	その他	不安に感じていることは、特になし	主な介護者に確認しないとわからない	無回答
全体	590	8.5	7.6	4.9	4.1	3.7	7.5	9.0	0.7	7.6
要介護1・2	380	7.1	7.9	6.1	3.4	4.5	6.3	7.6	1.1	7.6
要介護3	100	9.0	10.0	3.0	4.0	2.0	10.0	7.0	-	3.0
要介護4・5	105	13.3	4.8	2.9	6.7	2.9	9.5	16.2	-	12.4

(7) 介護者自身が受けてみたい支援

問7 介護者ご自身が受けてみたい支援はありますか（複数選択可）

「介護者が旅行などの休養がとれるサービス（一定期間の入所など）」が34.6%で最も高く、次いで「介護者が気軽に休息がとれるサービス（一時入所など）」が31.9%、「介護者の身体的負担（腰痛や肩こり等）を軽減するサービス（マッサージ等）」が26.9%となっています。



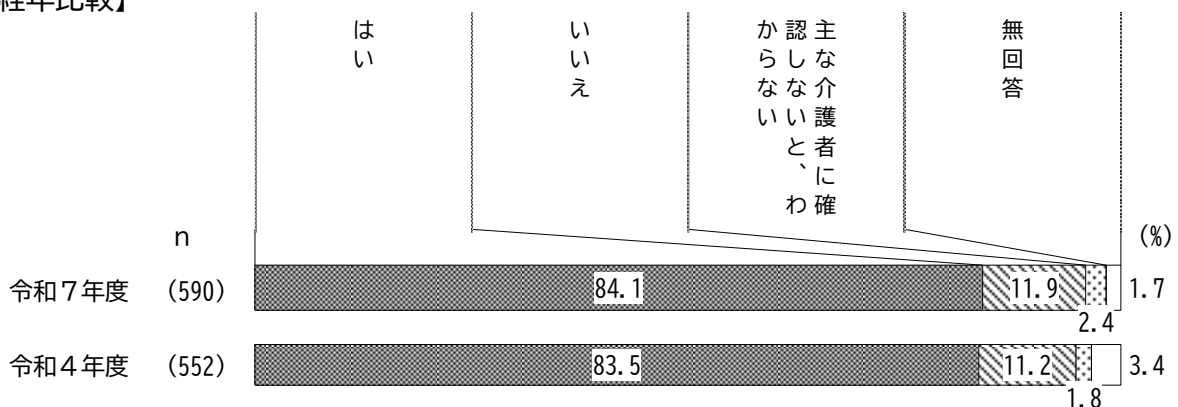
(8) 主な介護者の相談先の有無

問8 主な介護者の方には、心配事などについて相談できる人がいますか（1つを選択）

「はい」が84.1%となっています。

前回の調査結果と比較すると、大きな違いはみられません。

【経年比較】



(9) 相談できる人の関係性

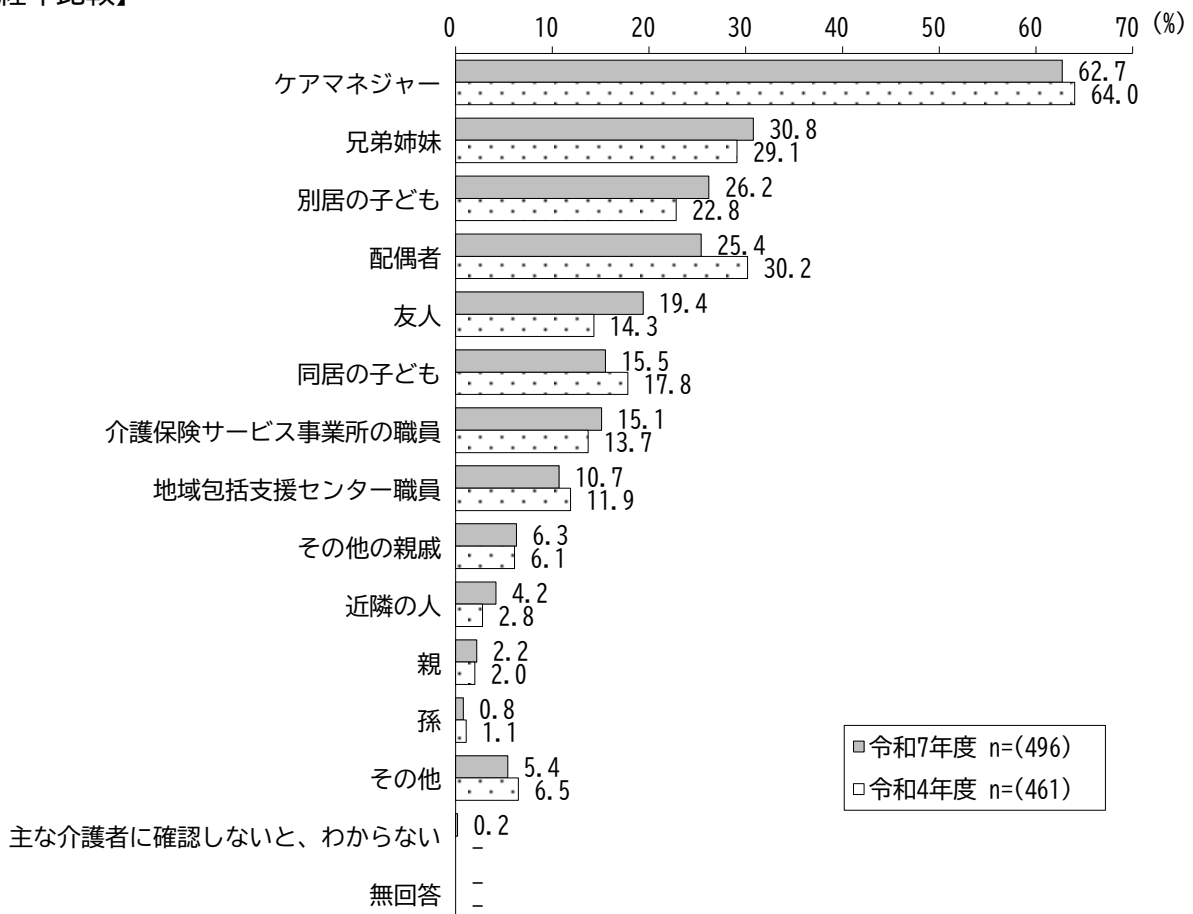
問9 【問8で「1」と回答した方におうかがいします】

主な介護者の方が相談できるのは、主な介護者の方からみてどなたですか（複数選択可）

「ケアマネジャー」が62.7%で最も高く、次いで「兄弟姉妹」が30.8%、「別居の子ども」が26.2%となっています。

前回の調査結果と比較すると、「配偶者」が4.8ポイント低くなっています。

【経年比較】



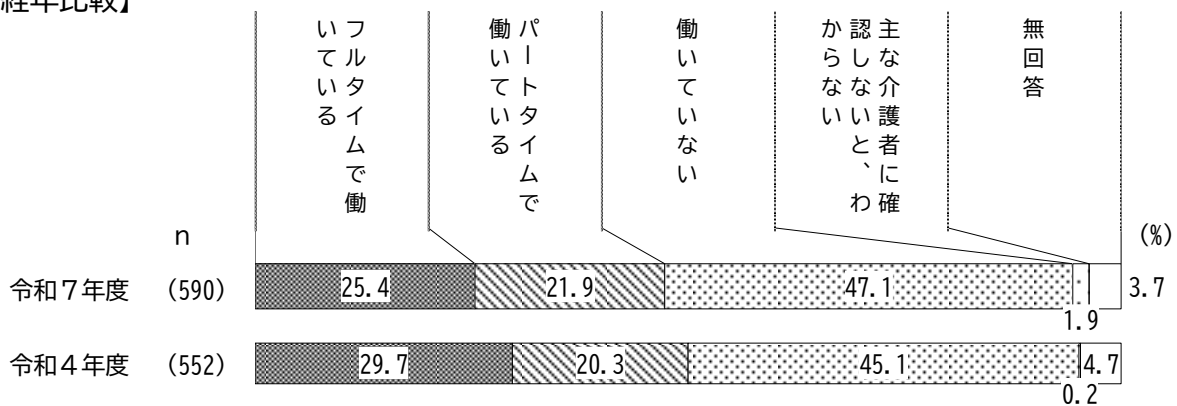
(10) 勤務形態

問10 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つを選択）

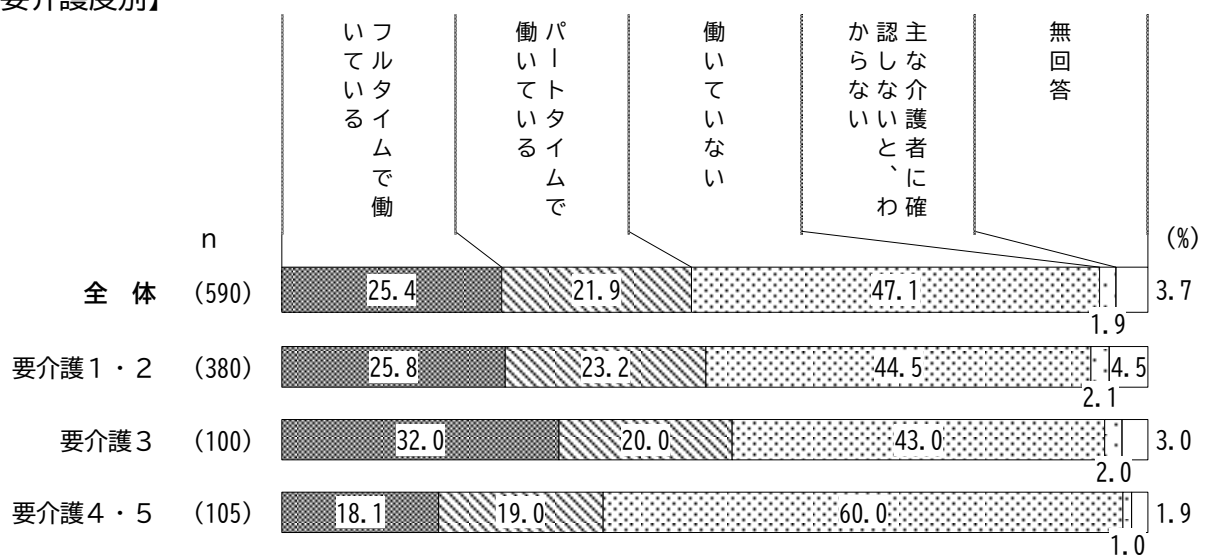
「働いていない」が47.1%で最も高く、次いで「フルタイムで働いている」が25.4%、「パートタイムで働いている」が21.9%となっています。

前回の調査結果と比較すると、「フルタイムで働いている」が4.3ポイント低くなっています。要介護度別にみると、“要介護4・5”で「働いていない」が60.0%と高くなっています。

【経年比較】



【要介護度別】



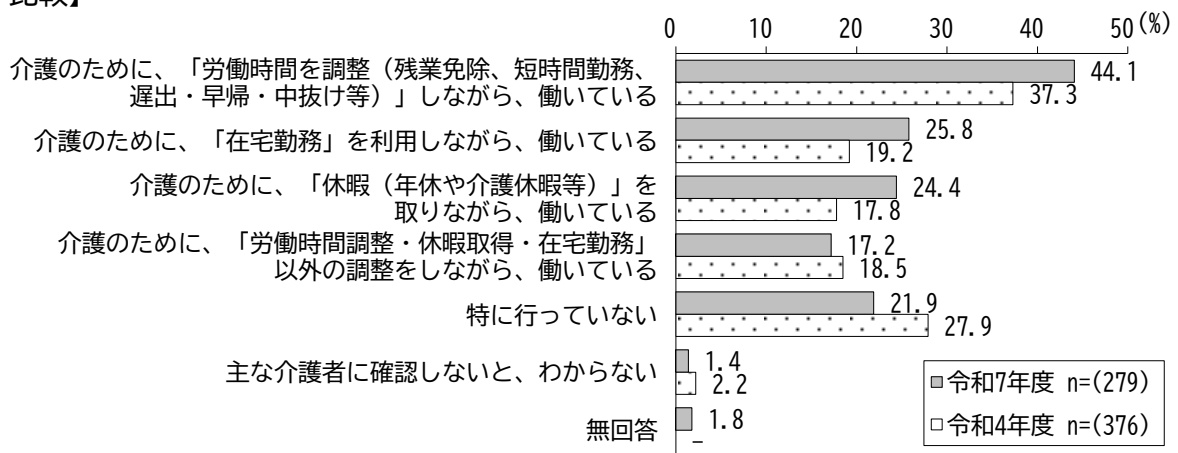
(11) 介護による働き方の調整状況

問11 【問10で「1」「2」と回答した方におうかがいします】主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか（複数選択可）

「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が44.1%で最も高く、次いで「介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている」が25.8%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が24.4%となっています。

前回の調査結果と比較すると、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が6.8ポイント高くなっています。

【経年比較】



(12) 仕事と介護の両立に効果がある勤め先からの支援

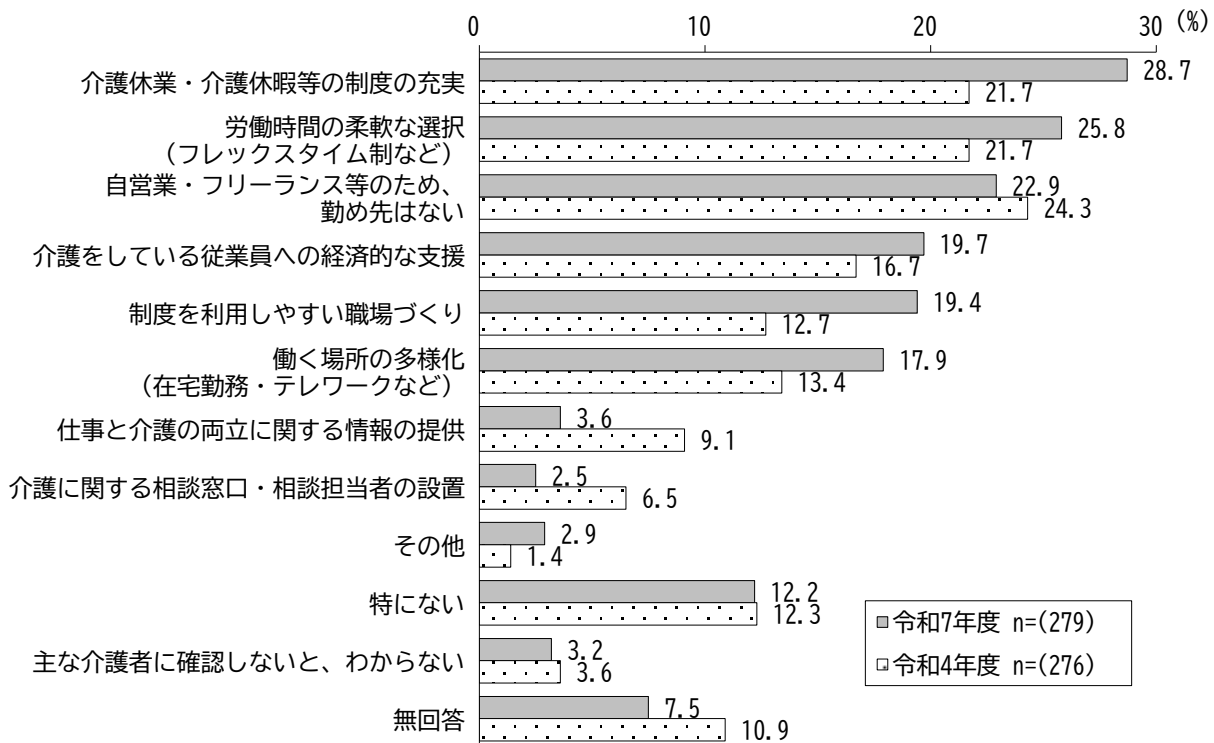
問12 【問10で「1」「2」と回答した方におうかがいします】

主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで選択可）

「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が28.7%で最も高く、次いで「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が25.8%、「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」が22.9%となっています。

前回の調査結果と比較すると、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が7.0ポイント高くなっています。

【経年比較】



(13) 仕事と介護の両立の可能性

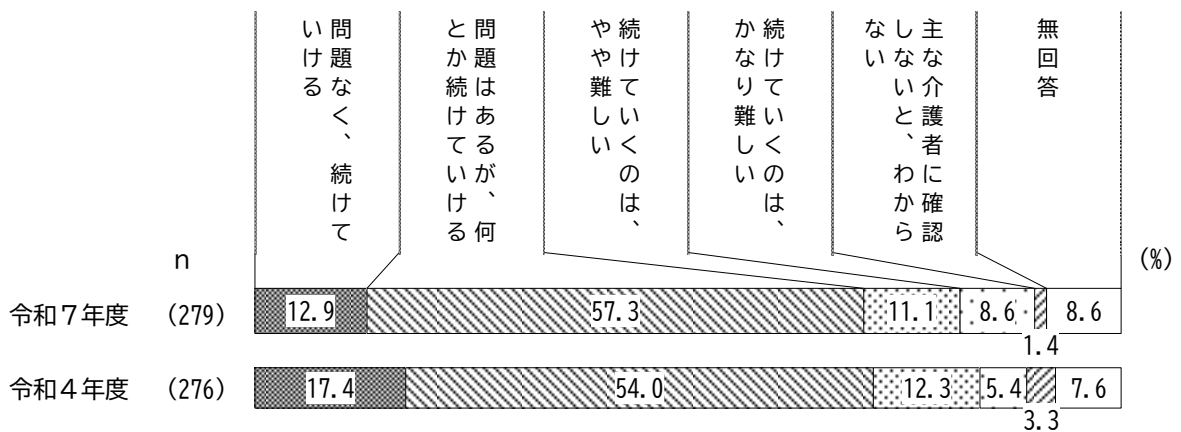
問13 【問10で「1」「2」と回答した方におうかがいします】主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つを選択）

「問題はあるが、何とか続けていける」が57.3%で最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が12.9%、「続けていくのは、やや難しい」が11.1%となっています。

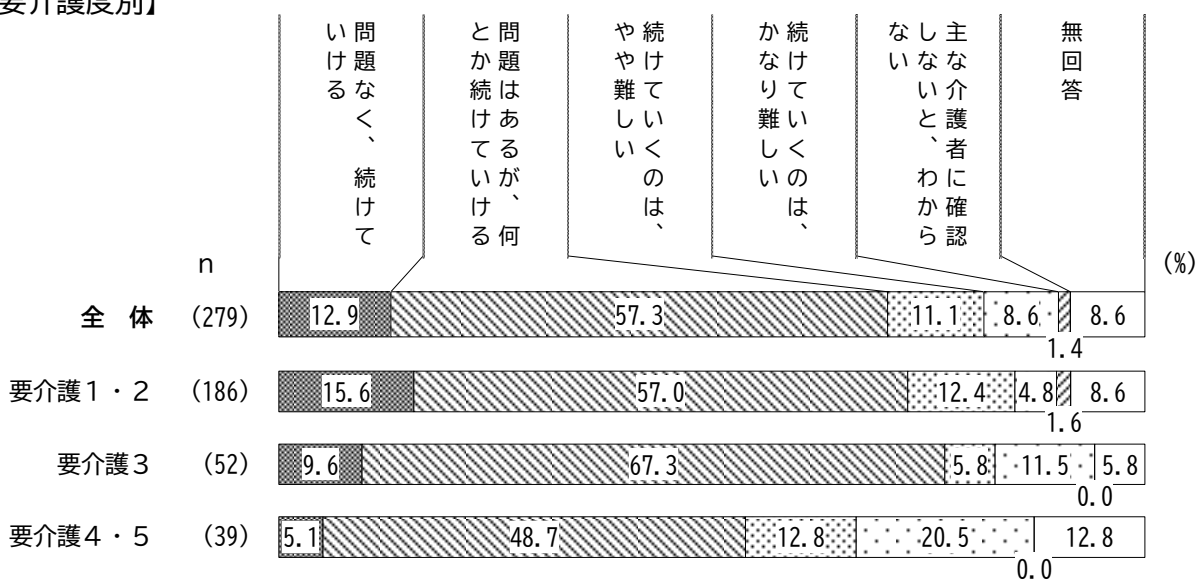
前回の調査結果と比較すると、「問題なく、続けていける」が4.5ポイント低くなっています。

要介護度別にみると、“要介護4・5”で「続けていくのは、かなり難しい」が20.5%と高くなっています。

【経年比較】



【要介護度別】



第3章 調査結果の詳細②
(在宅介護実態調査)

第4章 調査票

1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 しづや いきいきあんしんアンケート

ごあいさつ

皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃から渋谷区の高齢者福祉事業及び介護保険事業にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。このたび渋谷区では、令和8年度末に策定する『第10期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進基本計画』に活用するため、調査を実施することといたしました。本調査は、厚生労働省が作成した「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」の項目に、更なる区民ニーズの把握のため渋谷区独自の質問項目を加えて「しづや いきいきあんしんアンケート」として実施するものです。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただきご協力をお願いいたします。

渋谷区 福祉部

記入日	令和7年	月	日
調査票を記入されるのはどなたですか。○を付けてください。			
1. 宛名のご本人		2. 宛名のご本人の家族・親族	
3. 宛名のご本人のケアマネジャー		4. その他	

ご記入に際してのお願い

- この調査の対象者は、令和7年10月1日現在、渋谷区内に住所を持つ要支援認定をお持ちの方と、要介護・要支援認定をお持ちでない65歳以上の方から無作為に選ばれた方です。ただし、施設入所している方等は除きます。
- ご家族の方がご本人の代わりに記入されたり、聞き取りながら記入されてもかまいません。
- ご回答に当たっては質問をよくお読みいただき、特に指示がない場合は該当する番号1つを○で囲み、(いくつでも)とある場合は○を複数囲むことが可能です。数字を記入する欄は右詰め(例

0	6	2
---	---	---

 kg)でご記入ください。
- 「あなたの～」と尋ねている質問項目がいくつかあります。この場合「あなた」とは、宛名のご本人を指しますので、ご本人以外のご家族が記入された場合でも、宛名のご本人に関して記入してください。
- 調査票記入後は、3つ折りで同封の返信用封筒に入れてお送りください。

12月2日(火)までに 投函してください。

この調査についてのお問い合わせは、以下までお願いいたします。

【お問い合わせダイヤル】

●調査票の記入方法について

委託先：株式会社サーベイリサーチセンター

電話 0120-764-928

受付期間 11月12日～12月2日 9:00～17:00 (土日、祝日を除く)

●調査全般について

渋谷区役所高齢者福祉課福祉計画係

電話 03-3463-1868

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。

なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものとさせていただきます。

【個人情報の保護および活動目的について】

この調査は、高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進基本計画策定の際の基礎資料とするために行うものです。本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理するデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。

集計・分析の際は、調査票の番号（右上）と年齢、性別、居住地区（日常生活圏域）、要介護度のみが記載された集計用名簿を照合して行うため、個人が特定されることはありません。

本調査で得られた情報につきましては、上記の目的以外には利用いたしません。また、渋谷区個人情報保護条例を遵守し、適正に取り扱わせていただきます。

調査委託業者について

この調査は、介護予防等に関する調査・分析を目的とするもので、渋谷区が下記業者に委託し、実施するものです。

下記調査委託業者は、個人情報の取り扱いにつきましては、厳重な保護管理体制を構築し、業務を推進しております。

下記調査委託業者は、本調査に係る個人情報の開示、訂正、利用停止等を求められた場合は、「個人情報の保護に関する法律」に基づき対応いたします。個人情報の取り扱いについて、ご不明な点や疑問などがございましたら、お気軽にお尋ねください。



調査委託業者

株式会社サーベイリサーチセンター

〒112-0004 東京都文京区後楽1丁目1番3号

電話 0120-764-928

問1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成をお教えてください

1. 1人暮らし
2. 夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）
3. 夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）
4. 息子・娘との2世帯
5. その他

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

1. 介護・介助は必要ない ⇒ (3) へ
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない ⇒ (2) ①へ ※②は回答不要
3. 現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）
⇒ (2) ① ②へ

【(2) において「2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「3. 現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】

①介護・介助が必要になった主な原因はなんですか（いくつでも）

- | | | |
|---|---|---------------------------------------|
| 1. 脳卒中（脳出血・脳梗塞等）
<small>のうそっちゅう のうしゅっけつ・のうこうそく</small> | 2. 心臓病 | 3. がん（悪性新生物） |
| 4. 呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等）
<small>はいきしゅ</small> | 5. 関節の病気（リウマチ等） | |
| 6. 認知症（アルツハイマー病等）
<small>にんちしょう</small> | 7. パーキンソン病
<small>しかく ちょうかくしょう</small> | 8. 糖尿病
<small>とうにょうびょう</small> |
| 9. 腎疾患（透析）
<small>じんしつかん</small> | 10. 視覚・聴覚障がい
<small>しかく ちょうかくしょう</small> | 11. 骨折・転倒
<small>こっせつ てんどう</small> |
| 12. 脊椎損傷
<small>せきついそんしょう</small> | 13. 高齢による衰弱
<small>すいじゃく</small> | |
| 14. その他（ | | 15. 不明 |

【(2) において「3. 現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】

②主にどなたの介護、介助を受けていますか（いくつでも）

1. 配偶者（夫・妻）
2. 息子
3. 娘
4. 子の配偶者
5. 孫
6. 兄弟・姉妹
7. 介護サービスのヘルパー
8. その他（

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

1. 大変苦しい
2. やや苦しい
3. ふつう
4. ややゆとりがある
5. 大変ゆとりがある

(4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか

- | | | |
|---|--|---|
| 1. 持家（一戸建て）
<small>みんかんちんたいじゅうたく</small> | 2. 持家（集合住宅） | 3. 公営賃貸住宅
<small>こうえいちんたいじゅうたく</small> |
| 4. 民間賃貸住宅（一戸建て）※ | 5. 民間賃貸住宅（集合住宅）※
<small>みんかんちんたいじゅうたく</small> | |
| 6. 借家※ | 7. その他（ | |

※一般的な賃貸借契約がある場合は4. 5. の民間賃貸住宅を選択し、それ以外の賃貸借は借間も含めて6. の借家を選択してください

問2 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(3) 15分位続けて歩いていますか

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか

1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない

(5) 転倒に対する不安は大きいですか

1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない

(6) 週に1回以上は外出していますか

1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2～4回 4. 週5回以上

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか

1. とても減っている 2. 減っている 3. あまり減っていない 4. 減っていない

(8) 外出を控えていますか

1. はい ⇒ (8) ①へ 2. いいえ ⇒ (9) へ

【(8)で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ】

①外出を控えている理由は、次のどれですか (いくつでも)

1. 病気 2. 障しょうがい (脳卒のうそつちゅう中の後遺症こういししょうなど) 3. 足腰などの痛み 4. トイレの心配 (失禁など)
5. 耳の障しょうがい (聞こえの問題など) ⇒ (8) ②へ
6. 目の障しょうがい 7. 外での楽しみがない 8. 経済的に出られない 9. 交通手段がない
10. その他 ()

【(8) ①で「5. 耳の障しょうがい (聞こえの問題など)」の方のみ】

②耳の「聞こえ」について耳鼻咽喉科を受診したことがありますか。

1. 受診済 ⇒ (8) ③へ 2. 受診予定 ⇒ (8) ③へ 3. 受診していない ⇒ (9) へ

【(8) ②で「1. 受診済」「2. 受診予定」の方のみ】

③補聴器の購入を検討していますか

1. 購入済・購入予定 2. 検討中 3. 高額のため購入できない 4. 試したが合わなかった
5. 補聴器は不要と診断された 6. その他 ()

(9) 外出する際の移動手段はなんですか (いくつでも)

- | | | | |
|-------------------|----------|-----------------|----------------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車 | 3. バイク | 4. 自動車 (自分で運転) |
| 5. 自動車 (人に乗せてもらう) | 6. 電車 | 7. 路線バス | |
| 8. 病院や施設のバス | 9. 車いす | 10. 電動車いす (カート) | |
| 11. 歩行器・シルバーカー | 12. タクシー | | |
| 13. その他 (|) | | |

(10) 公共交通機関 (鉄道・バス) を利用して区内の目的地まで移動する場合、不便と感ずることはありますか (いくつでも)

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 公共交通機関を利用しない | 2. 不便と感ずない |
| 3. 目的地までの路線がない | 4. 目的地までの路線はあるが、本数が少ない |
| 5. 自宅や目的地の近くに駅やバス停がない | 6. 混んでいていつも座れない |
| 7. バリアフリー化がされていない | 8. その他 (|
| |) |

問3 食べることについて

(1) 身長・体重

身長 cm 体重 kg

(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

1. はい 2. いいえ

(3) お茶や汁物等でむせることがありますか

1. はい 2. いいえ

(4) 口の渇きが気になりますか

1. はい 2. いいえ

(5) 歯磨き (人にやってもらう場合も含む) を毎日していますか

1. はい 2. いいえ

(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください

(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 | 2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし |
| 3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用 | 4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし |

(7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか

1. はい 2. いいえ

(8) どなたかと食事をともにする機会がありますか

1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある 4. 年に何度かある 5. ほとんどない

問4 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じますか

1. はい 2. いいえ

(2) 5分前のことが思い出せますか

1. はい 2. いいえ

(3) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか

1. はい 2. いいえ

(4) 今日が何月何日かわからない時がありますか

1. はい 2. いいえ

(5) バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(6) 自分で食品・日用品の買物をしていますか

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(7) 自分で食事の用意をしていますか

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(8) 自分で請求書の支払いをしていますか

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(9) 自分で預貯金の出し入れをしていますか

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(10) 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか

1. はい 2. いいえ

問5 地域の活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか
 ※A-Hそれぞれにご回答ください

	1. 週4回以上	2. 週2～3回	3. 週1回	4. 月1～3回	5. 年に数回	6. 参加して いない
A. ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
B. スポーツ関係のグループや クラブ (スポーツジムを含む)	1	2	3	4	5	6
C. 趣味関係のグループ (カルチャーセンターを含む)	1	2	3	4	5	6
D. 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
E. ダイヤモンド体操など 介護予防のための通いの場	1	2	3	4	5	6
F. シニアクラブ	1	2	3	4	5	6
G. 町会・自治会	1	2	3	4	5	6
H. 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

「1. 週4回以上」～「4. 月1～3回」
 にひとつでも該当した方は、
 次のページ (1) ①もご回答ください

「5. 年に数回」
 「6. 参加していない」
 にひとつでも該当した方は、
 次のページ (1) ②も
 ご回答ください

※項目によって、「1. 週4回以上」～「4. 月1～3回」と
 「5. 年に数回」「6. 参加していない」どちらにも該当するものが
 ある場合は、次ページ (1) ①②どちらにもご回答ください

【(1) において「1. 週4回以上」「2. 週2～3回」「3. 週1回」「4. 月1～3回」と回答した項目がある方のみ】

①参加のきっかけはどれですか (いくつでも)

1. 友人・知人からの誘い 2. 家族からの勧め 3. 地域包括支援センター職員からの勧め
 4. 区ニュース 5. チラシ・ポスター 6. 町会等の掲示版
 7. ホームページ 8. SNS (X等) 9. LINE
 10. その他 ()

【(1) において「5. 年に数回」「6. 参加していない」に該当した項目のみ】

②あまり参加していない、参加していない理由として最も当てはまるものはどれですか

※A-Gそれぞれにご回答ください

	1. 興味がある 内容がない	2. 自宅から 遠い	3. 内容や 場所が 分からない、 知らない	4. 既存の グループ に入り づらい	5. 費用が かかる	6. 時間が ない	7. 健康状態が よくない
A. ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6	7
B. スポーツ関係のグループや クラブ (スポーツジムを含む)	1	2	3	4	5	6	7
C. 趣味関係のグループ (カルチャーセンターを含む)	1	2	3	4	5	6	7
D. 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6	7
E. ダイヤモンド体操など 介護予防のための通いの場	1	2	3	4	5	6	7
F. シニアクラブ	1	2	3	4	5	6	7
G. 町会・自治会	1	2	3	4	5	6	7

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

1. 是非参加したい } ⇒ (2) ① ②へ
 2. 参加してもよい }
 3. 参加したくない } ⇒ (3) へ
 4. 既に参加している }

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	
1. はい	2. いいえ
(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	
1. はい	2. いいえ
(5) (ここ2週間) 毎日の生活に充実感がない	
1. はい	2. いいえ
(6) (ここ2週間) これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった	
1. はい	2. いいえ
(7) (ここ2週間) 以前は楽に出来ていたことが今ではおっくうに感じられる	
1. はい	2. いいえ
(8) (ここ2週間) 自分が役に立つ人間だと思えない	
1. はい	2. いいえ
(9) (ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがする	
1. はい	2. いいえ
(10) タバコは吸っていますか	
1. ほぼ毎日吸っている 2. 時々吸っている 3. 吸っていたがやめた 4. もともと吸っていない	
(11) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (いくつでも)	
1. ない	
2. 高血圧	3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)
4. 心臓病	5. 糖尿病
6. 高脂血症 (脂質異常)	7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)
8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気	9. 腎臓・前立腺の病気
10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)	11. 外傷 (転倒・骨折等)
12. がん (悪性新生物)	13. 血液・免疫の病気
14. うつ病	
15. 認知症 (アルツハイマー病等)	16. パーキンソン病
17. 目の病気	
18. 耳の病気	19. その他 ()

(12) 「フレイル^{*}」という言葉を知っていますか

1. 知っている ⇒ (12) ①へ
2. 言葉は聞いたことはあるが、意味や内容は知らない ⇒ (13) へ
3. 知らない ⇒ (13) へ

※加齢に伴って、徐々に心身の機能が低下し、日常生活活動や自立度が低下していくこと

【(12) で「1. 知っている」の方のみ】

①フレイル予防のための具体的方法についてのあなたの理解度として、最も近いものはどれですか

1. よく理解している
2. 少し理解している
3. どちらともいえない
4. あまり理解していない
5. 全く理解していない

(13) 渋谷区ではフレイルの意味や内容を伝えるイベントや講座を実施しています。どのような形でフレイルについて学びたいと思いますか。

1. 体験型イベント
2. 講演会
3. パンフレットなどの冊子
4. その他 ()
5. 興味がない

(14) 渋谷区では介護予防・フレイル予防事業をオンラインで実施しています。オンラインで実施した事業に参加したことはありますか

1. 参加したことがある ⇒ (15) へ
2. 参加したことはないが今後参加してみたい ⇒ (14) ①へ
3. 参加していない ⇒ (14) ①へ

【(14) で「2. 参加したことはないが今後参加してみたい」、「3. 参加していない」の方のみ】

①参加していない理由はなんですか (いくつでも)

1. オンラインで実施していることを知らなかった
2. 会場で参加したい
3. オンラインを利用できる機器を持っていない
4. 通信料が高額になるので参加したくない
5. オンライン機器の使用方法がわからない
6. 自宅に運動できるスペースがない
7. 事業に興味がない

(15) 「通いの場^{*}」という言葉を知っていますか

1. 知っている
2. 言葉は聞いたことはあるが、意味や内容は知らない
3. 知らない

※通いの場とは、介護予防のため、身近な地域の人たちが自主的な運営により定期的集まって、仲間づくりや生きがいづくり、支え合いの輪を広げる活動です。

(9) あなたの認知症に対する不安は、次のうちどれですか (いくつでも)

1. 家族に身体的・精神的負担をかけるのではないか
2. 周囲に迷惑をかけてしまうのではないか
3. 買い物や料理、車の運転などできていたことができなくなってしまうのではないか
4. 家族や大切な思い出を忘れてしまうのではないか
5. 誇りをもって生活できなくなるのではないか
6. 外出先で帰り道がわからなくなるのではないか
7. その他 ()

(10) あなたは、認知症になった場合、どこで生活したいですか

1. 家族の支援や介護保険サービスを利用して自宅で生活をしたい
2. 食事やトイレなどの身の回りのことができなくなったら介護施設に入所したい
3. その他 ()
4. わからない

(11) 渋谷区が取り組む以下の認知症施策について、知っているものをご回答ください (いくつでも)

1. オレンジカフェ
2. しぶや認知症ナビ
3. 認知症なっても展
4. 認知症に備える脳とからだの健康講座
5. 認知症高齢者の行方不明対応

(12) あなたが「認知症についてもっと知りたい」と思う内容は何ですか (いくつでも)

1. 認知症の症状や進行について
2. 認知症の予防 (生活習慣など)
3. 接し方・声かけの工夫
4. 支援制度や相談先
5. 地域の取り組みやサポーター制度について
6. 特になし

問9 その他

(1) 現在のあなたの就労状態はどれですか (いくつでも)

1. 職に就いたことがない
2. 引退した
3. 常勤 (フルタイム)
4. 非常勤 (パート・アルバイト等)
5. 自営業
6. 求職中
7. その他

(2) 地域における多世代交流について、交流してみたい世代はどの世代ですか (いくつでも)

1. 乳幼児
2. 小学生
3. 中学生
4. 高校生
5. 大学生
6. 社会人
7. 子を持つ家族
8. プレシニア*
9. 特になし

※おおよそ55歳以上65歳未満の方

(3) 近所づきあいや、地域活動・余暇活動の中で、あなたは、次のような年齢層の方と会話をする機会がどのくらいありますか。

※ご家族や親戚、仕事関係の人はのぞきます。(それぞれ○は1つ)

	1. よくある	2. ときどきある	3. あまりない	4. 全くない
A. 子どもや10代の人	1	2	3	4
B. 20~40代くらいの人	1	2	3	4
C. 50~60代くらいの人	1	2	3	4
D. 70代以上の人	1	2	3	4

(4) 現在スマートフォン（もしくはタブレット）を持っていますか（いくつでも）

- 1. スマートフォン ⇒ (4) ①へ
- 2. タブレット ⇒ (4) ①へ
- 3. どちらも持っていない ⇒ (5) へ

【(4) で「1. スマートフォン」「2. タブレット」の方のみ】

①使用しているアプリ・機能はなんですか（いくつでも）

- 1. LINE
- 2. メール・メッセージ
- 3. 防災・天気
- 4. カメラ
- 5. ニュース
- 6. 検索・インターネット
- 7. 動画再生 (YouTube等)
- 8. ゲーム
- 9. 乗換案内・地図
- 10. キャッシュレス (ハチペイ、PayPay、モバイルスイカ等)
- 11. SNS (X (旧Twitter) 等)
- 12. ビデオ通話 (zoom等)

(5) スマートフォンのアプリを活用して健康管理をしていますか

- 1. はい ⇒ (5) ① ②へ
- 2. いいえ ⇒ (5) ②へ

【(5) で「1. はい」の方のみ】

①使用している健康アプリは何ですか

- 1. 「脳にいいアプリ※」
- 2. 「脳にいいアプリ」以外のポイントが貯まるアプリ
- 3. 「脳にいいアプリ」以外のポイントが貯まらないアプリ

※渋谷区が推奨する健康アプリ

②スマートフォンのアプリを活用して健康管理をする際に、利用したい機能はなんですか
(いくつでも)

1. 日々の歩数等の推移をグラフで見ることができる
2. 歩数等の健康管理に加え、脳トレで脳の活性化ができる
3. 家族と歩数や脳トレの結果等を共有できる
4. 地域の健康施策（イベントや相談窓口）の情報を確認できる
5. 歩数等に応じて貯めたポイントをお買い物で使える
6. 区のイベントに参加することでポイントを貯めることができる
7. 特にない

(6) スマートフォンについて最も利用したいサポートはなんですか

1. 定期的な講習会（操作方法や購入前の体験）
2. 予約制の個別相談窓口
3. 予約不要で立ち寄れる地域の相談場所（スマホサロン）
4. 操作方法に関する電話相談サポート（コールセンター）
5. 自宅訪問型の操作サポート
6. 地域コミュニティ（町会・シニアクラブ等）での勉強会
7. スマートフォンの購入・契約に関する相談会
8. スマートフォンの購入費や通信費等の助成
9. 特にない

(7) 「渋谷生涯活躍ネットワーク・シブカツ※（以下「シブカツ」という）」を知っていますか

1. 知っている
2. 言葉は聞いたことがあるが、内容は知らない
3. 知らない

※プレシニア世代からアクティブシニア世代の方が、いつまでも元気に活躍し続けられるよう、お持ちの経験や能力を生かす機会や新たな学びの場を提供するために、令和元年7月に渋谷ヒカリエ8階に開設した施設

(8) シブカツ（渋谷ハチコウ大学）が実施する講座で学ぶことにより最も期待することはなんですか

1. 新たな知識の習得や外出による心身の健康維持・向上
2. 趣味や興味を通じた活動機会への参加・交流機会の提供
3. スキルアップによる就労機会の獲得
4. 特にない

(9) 区や大学の講座で学びたい・地域の団体や同じ趣味を持つ人とつながりたい・働き場所を探したいと思った時に、パソコンやスマートフォンなどのデジタル機器を活用したいとしますか

1. 活用したい
2. 活用したいが使い方が分からない（教わる機会があれば活用したい）
3. 活用するきっかけがない（教わる機会がない）
4. 活用したいと思わない

【(13) で「2. 希望するが、難しいと思う」「3. 希望しない」の方のみ】

①自宅での療養を希望しない、または難しいと思う理由は何ですか（いくつでも）

1. 在宅医療や在宅介護でどのようなケアを受けられるかわからないから
2. 急に病状が変わった時の対応が不安だから
3. 往診してくれる医師がいないから
4. 訪問看護や介護の体制が不十分だから
5. 家族に負担をかけるから
6. 看護や介護してくれる家族がいないから
7. 療養できる部屋やトイレなどの住宅環境が整っていないから
8. お金がかかるから
9. その他（ ）

(14) 地震・台風等の自然災害が発生した際に、どの媒体・サービスから情報を得ることができますか（いくつでも）

1. スマートフォン・タブレット
2. テレビ
3. ラジオ
4. パソコン
5. 災害時自動電話情報サービス「しらせる君」
6. 防災行政無線の電話応答サービス

(15) あなたは、災害時、一人で避難することができますか

1. できる ⇒ (16) へ
2. できない ⇒ (15) ①へ
3. わからない ⇒ (15) ①へ

【(15) で「2. できない」「3. わからない」の方のみ】

①避難に際して手助けを頼める人はいますか

1. いる
2. いない

(16) あなたは、地震などの災害に備えてどのようなことをしていますか。（いくつでも）

1. 家族と避難先や緊急連絡先を確認している
2. 水・食糧・簡易トイレなどを備蓄している
3. 家具の転倒防止などを行っている
4. 自宅を建て替えたり、補強するなど耐震対策をしている
5. 避難訓練や防災訓練に参加している
6. 地域の支援者（自主防災組織や民生委員など）に相談して、避難先や災害時の対応を確認している
7. その他（ ）

■■■■以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました■■■■

2. 在宅介護実態調査

在宅介護実態調査 しづや いきいきあんしんアンケート

ごあいさつ

皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃から渋谷区の高齢者福祉事業及び介護保険事業にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび渋谷区では、令和8年度末に策定する『第10期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進基本計画』に活用するため、調査を実施することといたしました。本調査は、厚生労働省が作成した「在宅介護実態調査」の項目に、更なる区民ニーズの把握のため渋谷区独自の質問項目を加えて「しづやいきいきあんしんアンケート」として実施するものです。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただきご協力をお願いいたします。

渋谷区 福祉部

ご記入に際してのお願い

- 1 この調査の対象者は、令和7年10月1日現在、渋谷区内に住所を持つ65歳以上で要介護認定をお持ちの方から無作為に選ばれた方です。ただし、施設入所している方等は除きます。
- 2 ご家族の方がご本人の代わりに記入されたり、聞き取りながら記入されてもかまいません。
- 3 ご回答に当たっては質問をよくお読みいただき、該当する番号を○で囲み、数字を記入する欄は右詰め（例

0	6	2
---	---	---

 kg）でご記入ください。
- 4 「あなたの～」と尋ねている質問項目がいくつかあります。この場合「あなた」とは、宛名のご本人を指しますので、ご本人以外のご家族が記入された場合でも、宛名のご本人に関して記入してください。
- 5 調査票記入後は、3つ折りで同封の返信用封筒に入れてお送りください。

12月2日(火)までに 投函してください。

この調査についてのお問い合わせは、以下までお願いいたします。

【お問い合わせダイヤル】

●調査票の記入方法について

委託先：株式会社サーベイリサーチセンター

電話 0120-764-928

受付期間 11月12日～12月2日 9:00～17:00（土日、祝日を除く）

●調査全般について

渋谷区役所介護保険課介護相談係

電話 03-3463-2137

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。

なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものとさせていただきます。

【個人情報の保護および活動目的について】

この調査は、高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進基本計画策定の際の基礎資料とするために行うものです。本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理するデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。

集計・分析の際は、調査票の番号（右上）と年齢、性別、居住地区（日常生活圏域）、要介護度のみが記載された集計用名簿を照合して行うため、個人が特定されることはありません。

本調査で得られた情報につきましては、上記の目的以外には利用いたしません。また、渋谷区個人情報保護条例を遵守し、適正に取り扱わせていただきます。

調査委託業者について

この調査は、介護予防等に関する調査・分析を目的とするもので、渋谷区が下記業者に委託し、実施するものです。

下記調査委託業者は、個人情報の取り扱いにつきましては、厳重な保護管理体制を構築し、業務を推進しております。

下記調査委託業者は、本調査に係る個人情報の開示、訂正、利用停止等を求められた場合は、「個人情報の保護に関する法律」に基づき対応いたします。個人情報の取り扱いについて、ご不明な点や疑問などがございましたら、お気軽にお尋ねください。



調査委託業者

株式会社サーベイリサーチセンター

〒112-0004 東京都文京区後楽1丁目1番3号

電話 0120-764-928

A票 あて名のご本人様について、おうかがいします

問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか（複数回答可）

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 調査対象者本人 | 2. 主な介護者となっている家族・親族 |
| 3. 主な介護者以外の家族・親族 | 4. その他 |

問2 世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）

1. 単身世帯 2. 夫婦のみ世帯 3. その他（ ）

問3 ご本人の性別について、ご回答ください（1つを選択）

1. 男性 2. 女性

問4 ご本人の年齢について、ご回答ください（1つを選択）

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 65歳未満 | 2. 65～69歳 | 3. 70～74歳 | 4. 75～79歳 |
| 5. 80～84歳 | 6. 85～89歳 | 7. 90歳以上 | |

問5 ご本人の要介護度について、ご回答ください（1つを選択）

- | | | | |
|---------|---------|---------|----------|
| 1. 要支援1 | 2. 要支援2 | 3. 要介護1 | 4. 要介護2 |
| 5. 要介護3 | 6. 要介護4 | 7. 要介護5 | 8. わからない |

問6 現時点での、施設等※ への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つを選択）

1. 入所・入居は検討していない 2. 入所・入居を検討している
3. すでに入所・入居申し込みをしている

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

問7 【問6で「2」「3」と回答した方におうかがいします】

施設入所を検討する際、一番重視するポイントは何ですか（1つを選択）

- | | |
|------------------|--------------------------------|
| 1. 費用面 | 2. 必要とする介護・医療面のサービスが整っている |
| 3. プライベート空間が保たれる | 4. 自宅からの近さ、交通の利便性 |
| 5. 施設が新しい | 6. その他（ ） |

問8 【問6で「2」「3」と回答した方におうかがいします】

どの施設への入所・入居申し込みをしましたか、あるいは検討していますか（複数選択可）

- | | |
|--------------|--------------------------------|
| 1. 特別養護老人ホーム | 2. 老人保健施設 |
| 3. 介護医療院 | 4. 特定施設（有料老人ホーム等） |
| 5. グループホーム | 6. その他（ ） |

	利用の有無 (1つに○)				
H. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1. 利用していない	2. 利用した			
I. 小規模多機能型居宅介護	1. 利用していない	2. 利用した			
J. 看護小規模多機能型居宅介護	1. 利用していない	2. 利用した			
定期巡回・随時対応型訪問介護看護：1日複数回の定期訪問と、通報（コール）による随時の訪問介護や訪問看護を昼夜問わず受けられるサービスです。 小規模多機能型居宅介護：通所を中心に利用者の選択に応じて、在宅への訪問や泊まりのサービスを組み合わせられるサービスです。 看護小規模多機能型居宅介護：小規模多機能型居宅介護と訪問看護を組み合わせたサービスです。					
	1か月あたりの利用日数 (1つに○)				
	利用していない	月1～7日 程度	月8～14日 程度	月15～21日 程度	月22日 以上
K. ショートステイ	0回	1～7日	8～14日	15～21日	22日以上
	1か月あたりの利用回数 (1つに○)				
	利用していない	月1回 程度	月2回 程度	月3回 程度	月4回 程度
L. 居宅療養管理指導	0回	1回	2回	3回	4回
居宅療養管理指導：訪問する医師などから療養上の管理や指導を受けられるサービスです。					
問12 【問10で「1」と回答した方におうかがいします】 現在のケアプランや利用されている介護保険サービスについて、満足度をご回答ください。 (1つを選択) 1. 満足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不満 5. どちらともいえない					
問13 【問12で「3」「4」と回答した方におうかがいします】 介護サービスやケアプランに関して、改善してほしい点やご意見があればご記入ください。 (自由記述)					

問18 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス※（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（複数選択可）

- | | | | |
|--------------|----------------------|-----------------------|-----------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 | 3. 掃除・洗濯 | 4. 買い物（宅配は含まない） |
| 5. ゴミ出し | 6. 外出同行（通院、銀行、買い物など） | 7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等） | |
| 8. 見守り、声かけ | | 9. サロンなどの定期的な通いの場 | |
| 10. あんしんサービス | | 11. やすらぎサービス | |
| 12. その他（ | | ） | |
| | | 13. 特になし | |

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

問19 ご本人は、現在、訪問診療を利用していますか（1つを選択）

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 利用している | 2. 利用していない |
|-----------|------------|

※ 訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

問20 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つを選択）

- | | |
|----------------------------|--------------|
| 1. ない ⇒ 調査は終了です | } B票へお進みください |
| 2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない | |
| 3. 週に1～2日ある | |
| 4. 週に3～4日ある | |
| 5. ほぼ毎日ある | |

B票へお進みください



問6 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）

〔身体介護〕

- | | | | |
|-------------------------|----------|----------------|----------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 | 3. 食事の介助（食べる時） | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等） | 6. 衣服の着脱 | 7. 屋内の移乗・移動 | |
| 8. 外出の付き添い、送迎等 | 9. 服薬 | 10. 認知症状への対応 | |
| 11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ等） | | | |

〔生活援助〕

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 12. 食事の準備（調理等） | 13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物等） |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |

〔その他〕

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 15. その他（ | ） |
| 16. 不安に感じていることは、特にない | 17. 主な介護者に確認しないと、わからない |

問7 介護者ご自身が受けたい支援はありますか（複数選択可）

- | | |
|--|-------------------|
| 1. 介護者が気軽に休息がとれるサービス（一時入所など） | |
| 2. 介護者が旅行などの休養がとれるサービス（一定期間の入所など） | |
| 3. 介護者の身体的負担（腰痛や肩こり等）を軽減するサービス（マッサージ等） | |
| 4. 介護の悩みを個別に相談できるサービス（相談会など） | |
| 5. 介護の悩みを個別に相談できるサービス（電話や自宅等への訪問） | |
| 6. 介護者同士で話ができる機会の提供 | 7. 介護の技術が学べる研修・講座 |
| 8. 介護に関する定期的な情報提供 | 9. その他（ |
| 10. 特にない | ） |

問8 主な介護者の方には、心配事などについて相談できる人がいますか（1つを選択）

- | | | |
|-------|--------|-----------------------|
| 1. はい | 2. いいえ | 3. 主な介護者に確認しないと、わからない |
|-------|--------|-----------------------|

問9 【問8で「1」と回答した方におうかがいします】

主な介護者の方が相談できるのは、主な介護者の方からみてどなたですか（複数選択可）

- | | | | |
|------------------------|-------------|------------------|---------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども | 4. 兄弟姉妹 |
| 5. 親 | 6. 孫 | 7. その他の親戚 | 8. 近隣の人 |
| 9. 友人 | 10. ケアマネジャー | 11. 地域包括支援センター職員 | |
| 12. 介護保険サービス事業所の職員 | 13. その他（ | ） | |
| 14. 主な介護者に確認しないと、わからない | | | |

問10 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つを選択）

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1. フルタイムで働いている | 2. パートタイムで働いている |
| 3. 働いていない | } 調査は終了です |
| 4. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

問11 【問10で「1」「2」と回答した方におうかがいします】

主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか（複数選択可）

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、選出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

問12 【問10で「1」「2」と回答した方におうかがいします】

主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで選択可）

- | | |
|---------------------------|----------------------------|
| 1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない | 2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実 |
| 3. 制度を利用しやすい職場づくり | 4. 労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など） |
| 5. 働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど） | 6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供 |
| 7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置 | 8. 介護をしている従業員への経済的な支援 |
| 9. その他（ | ） |
| 10. 特にない | 11. 主な介護者に確認しないと、わからない |

問13 【問10で「1」「2」と回答した方におうかがいします】

主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つを選択）

1. 問題なく、続けていける
2. 問題はあるが、何とか続けていける
3. 続けていくのは、やや難しい
4. 続けていくのは、かなり難しい
5. 主な介護者に確認しないと、わからない

■■■以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。■■■

渋谷区
高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画に係る実態調査
結果報告書

介護予防・日常生活圏域二一ズ調査
在宅介護実態調査

令和8年3月発行

発行 渋谷区福祉部高齢者福祉課福祉計画係／介護保険課介護相談係
住所 〒150-8010 渋谷区宇田川町1-1
電話 03-3463-1868・2137（直通）
